HP Color LaserJet CM6030/CM6040 MFP シリーズ

ユーザーズ ガイド

HP Color LaserJet CM6030/CM6040 MFP シリーズ

ユーザーズ ガイド

目次

3 Windows 用ソフトウェア

4 Macintosh でのプリンタの使用

8 製品機能の使用

9 印刷タスク

10 カラーの使用

11 コピー

12 スキャンして電子メールに送信

1 製品の基本情報

製品の比較

表 1-1 製品一覧

機種	機能
HP Color LaserJet CM6040 MFP	● 100 枚多目的給紙トレイ (トレイ 1) ● 40 ページ/分 (ppm) ● 500 枚給紙トレイ 2 個 ● 50 枚までセットできる自動文書フィーダ (ADF) ● 10/100Base-TX ネットワーク接続用 HP Jetdirect 内蔵プリント サーバ ● 512MB のランダム アクセス メモリ (RAM) ● 両面印刷ユニット ● ハード ドライブ
HP Color LaserJet CM6040f MFP	● 100 枚多目的給紙トレイ (トレイ 1) ● 40 ppm ● 500 枚給紙トレイ 4 個 ● 50 枚までセットできる自動文書フィーダ (ADF) ● 10/100Base-TX ネットワーク接続用 HP Jetdirect 内蔵プリント サーバ ● 512MB のランダム アクセス メモリ (RAM) ● 両面印刷ユニット ● ハード ドライブ ● アナログ ファックス
HP Color LaserJet CM6030 MFP	● 100 枚多目的給紙トレイ (トレイ 1) ● 30 ppm ● 500 枚給紙トレイ 2 個 ● 50 枚までセットできる自動文書フィーダ (ADF) ● 10/100Base-TX ネットワーク接続用 HP Jetdirect 内蔵プリント サーバ ● 512MB のランダム アクセス メモリ (RAM) ● 両面印刷ユニット ● ハード ドライブ
HP Color LaserJet CM6030f MFP	● 100 枚多目的給紙トレイ (トレイ 1) ● 30 ppm ● 500 枚給紙トレイ 4 個 ● 50 枚までセットできる自動文書フィーダ (ADF)

表 1-1 製品一覧 (続き)

機種	機能
	● 10/100Base-TX ネットワーク接続用 HP Jetdirect 内蔵プリント サーバ ● 512MB のランダム アクセス メモリ (RAM) ● 両面印刷ユニット ● ハード ドライブ ● アナログ ファックス

製品機能

表 1-2 機能

速度とスループット	• 印刷速度は、レター サイズで最大 40 ページ/分 (ppm) (HP Color LaserJet CM6040) または 30 ページ/分 (ppm) (HP Color LaserJet CM6030) です。 • 最初のページを印刷するまでの時間は 11 秒未満 • 推奨する最大印刷量 15,000 ページ/月 (HP Color LaserJet CM6040) または 10,000 ページ/月 (HP Color LaserJet CM6030) • 835MHz (メガヘルツ) のマイクロプロセッサ • 高速両面印刷
解像度	• 600dpi、ImageREt (Image Resolution Enhancement technology：超解像技術) 4800 採用、全体的な品質を最適化 • 細い線や小さな文字もきれいに印刷できる 1200 x 600dpi
メモリ	• 512MB のランダム アクセス メモリ (RAM) を搭載。128MB または 256MB の 200 ピン スモール アウトライン デュアル インライン メモリ モジュール (SO-DIMM) を使用して 768MB まで拡張可能 • MEt (Memory Enhancement Technology：メモリ強化テクノロジ) により自動的にデータを圧縮し、RAM を効率的に使用
ユーザー インタフェース	• HP Easy Select Control Panel • 内蔵 Web サーバからサポートおよびサプライ品の注文にアクセス可能 (ネットワーク接続対応製品の場合) • HP Easy Printer Care ソフトウェア (Web ベースのステータスおよびトラブルシューティング ツール) • HP Easy Printer Care ソフトウェアと内蔵 Web サーバを使用した、インターネットでのサプライ品注文機能
言語とフォント	• HP プリンタ制御言語 (PCL) 6 • HP ユニバーサル プリンタ ドライバ (UPD) PCL 5 • HP UPD postscript (PS) • プリンタ管理言語 • スケーラブル TrueType PS フォント 80 書体
プリント カートリッジとイメージ ドラム (各 4 個)	• トナーとイメージ システム • 黒プリント カートリッジは、印字率 5% で 19,500 ページまで印刷可能 • カラー プリント カートリッジは、印字率 5% で 21,000 ページまで印刷可能 • イメージ ドラムは、印字率 5% で 35,000 ページまで印刷可能 • HP 純正プリント カートリッジ検出 • 自動トナー テープ リムーバー

表 1-2 機能 (続き)

用紙処理	• **給紙** ◦ **トレイ 1 (多目的トレイ)** ： 普通紙、OHP フィルム、ラベル、封筒、および他の用紙に対応する汎用トレイ。用紙の種類の一覧は、102 ページの 「サポート対象の用紙タイプ」を参照してください。最大で用紙 100 枚、OHP フィルム 50 枚、または封筒 10 枚をセットできます。99 ページの 「サポートされている用紙および印刷メディアのサイズ」を参照してください。 ◦ **トレイ 2、3、4、5** ： 500 枚給紙トレイ。標準用紙サイズを自動検出し、カスタムサイズの用紙も印刷可能です。トレイ 2 には、最大 279 x 432mm (11 x 17 インチ) および A3 サイズの用紙を、トレイ 3、4、5 には、最大 305 x 457mm (12 x 18 インチ) および SRA3 をセットできます。サポートしている用紙サイズの一覧は、99 ページの 「サポートされている用紙および印刷メディアのサイズ」を参照してください。サポートしている用紙の種類の一覧は、102 ページの 「サポート対象の用紙タイプ」を参照してください。 ◦ **自動文書フィーダ (ADF)** ： 50 枚までの用紙をセット可能 ◦ **ADF 両面印刷スキャン** ： ADF には両面印刷文書をスキャンするための自動両面印刷ユニットが装備されています。 ◦ **両面印刷** ： 自動的に用紙の両面に印刷します。 自動両面印刷できる用紙のサイズは、175mm ～ 320mm (6.9 ～ 12.6 インチ) x 210mm ～ 457mm (8.3 ～ 18 インチ) です。重量は、60 ～ 220g/m² (16 ～ 58 ポンド) です。 • **排紙** ◦ **標準排紙ビン** ： 標準の排紙ビンは、プリンタ上部のスキャナの下にあります。500 枚までの用紙を収容できます。ビンがいっぱいになったことを検出するセンサーが付いています。 ◦ **オプションの 3 ビン ステイプラ/スタッカ** ： 複数の排紙ビンに分けて排紙、便利なステイプル留め (50 枚まで)、ジョブのオフセット、排紙容量の追加を行えます。スタッカには、 100 枚、500 枚、および 1000 枚用の 3 種類のビンが備わっています。 ◦ **オプションのブックレット メーカー フィニッシャ** ： 便利なステイプル留め (50 枚まで)、中綴じ (15 枚まで)、1 枚の谷折り、ジョブの分割とオフセット、排紙容量の追加を行えます。ブックレット メーカー フィニッシャには、 1000 枚用ビンが 2 つと、中綴じブックレットを最大 25 部収容できるビンが 1 つ備わっています。 ◦ **ADF 排紙ビン** ： ADF 排紙ビンは ADF 給紙トレイの下にあります。このビンには 50 枚までの用紙をセットでき、ビンがいっぱいになると自動的に停止します。
対応オペレーティング システム	• Windows 2000® • Windows XP® • Windows Server 2003® • Windows Vista™ • Macintosh OS
接続	• 内蔵 HP Jetdirect プリント サーバ用の LAN (Local area network) コネクタ (RJ-45) • 拡張 I/O (EIO) スロット 1 基 • USB 2.0 接続 • オプションのアナログ ファックス カード • 他のデバイスを接続するための外部インタフェース ハーネス (FIH) 接続 (AUX) • オプションの HP デジタル送信ソフトウェア (DSS)

表 1-2 機能 (続き)

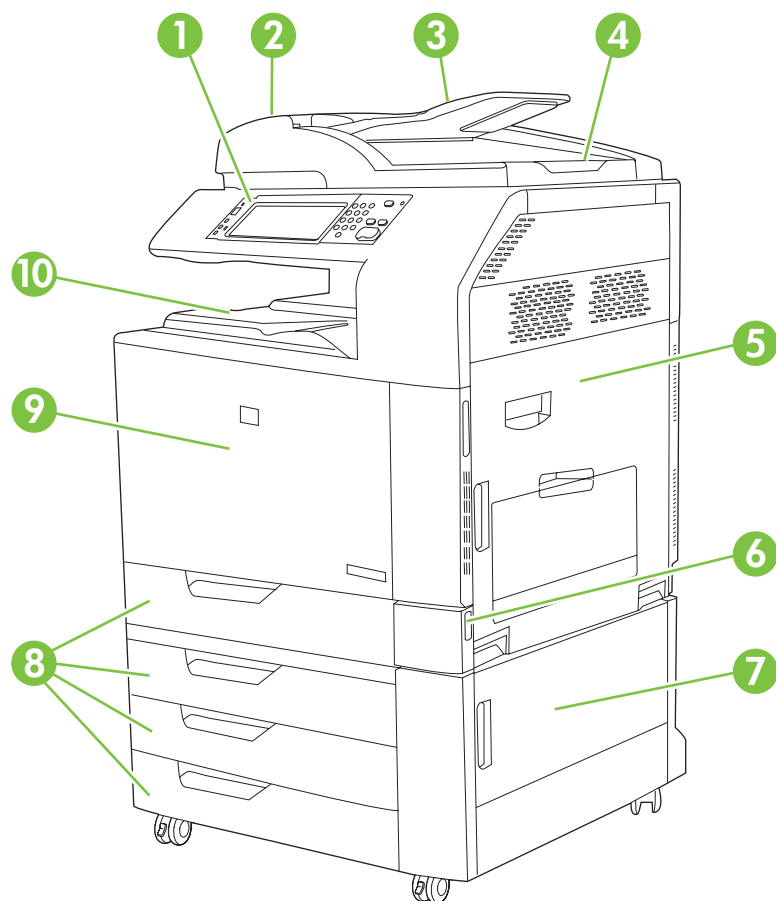
環境への配慮	● スリープ設定による省エネルギー ● 再利用可能な部品や素材を多く使用
セキュリティ機能	● セキュア ディスク消去モード ● セキュリティ ロック (オプション) ● ジョブ保持 ● 保存ジョブのユーザーの PIN 認証 ● DSS 認証 ● IPv6 セキュリティ
コピーおよび送信	● テキスト、グラフィックスおよびテキストとグラフィックスが混在した形式のためのモード ● ジョブ割り込み機能 ● 用紙 1 枚に複数のページを印刷 ● コントロール パネルのアニメーション (紙詰まりの復旧など) ● スキャンおよび電子メールへ送信 　◦ 電子メールとファックスのローカル アドレス帳 　◦ LDAP アドレス指定 ● フォルダへ送信 ● 自動両面印刷 (両面) スキャン

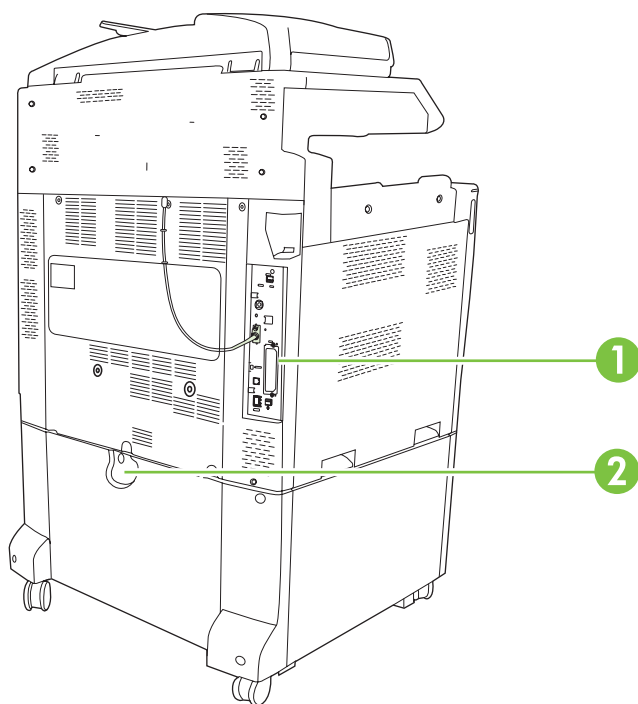
クイック リファレンス ジョブ エイド

クイック リファレンス ジョブ エイドでは、この製品を使用するための追加の操作手順を説明します。クイック リファレンス ジョブ エイドには、製品 CD、または www.hp.com/support/cljcm6030mfp もしくは www.hp.com/support/cljcm6040mfp よりアクセスします。

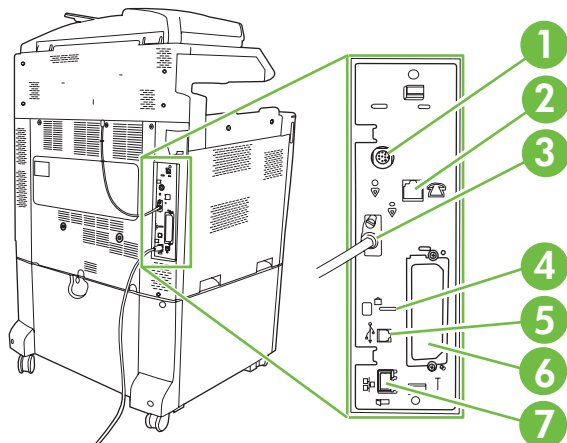
各部の名称

正面図

HP Color LaserJet CM6030/CM6040 MFP シリーズ

1	コントロール パネル
2	自動文書フィーダ (ADF) 上部カバー
3	原稿のコピー/スキャン/ファックス用の ADF 給紙トレイ
4	ADF 排紙ビン
5	右側ドア (トランスファー ユニット、トランスファー ローラー、およびフューザの着脱時に開く)
6	オン/オフ スイッチ
7	右下ドア
8	HP Color LaserJet CM6030 MFP および HP Color LaserJet CM6040 MFP: トレイ 2、3 HP Color LaserJet CM6030f MFP および HP Color LaserJet CM6040f MFP: トレイ 2、3、4、および 5
9	正面ドア (プリント カートリッジやイメージ ドラムの着脱時に開く)
10	排紙ビン

背面図

1	インタフェース ポートおよびフォーマッタ
2	増設給紙トレイのロック レバー

インタフェース ポート

この製品には、コンピュータまたはネットワークに接続するためのポートが 5 つあります。これらのポートは、背面の左隅にあります。

1	Foreign Interface Harness (FIH)
2	ファックス接続 (取り付けられている場合)
3	スキャナ ケーブル
4	Kensington ロックのアクセス ポート
5	USB 2.0 ポート
6	EIO 拡張スロット
7	ネットワーク ポート

シリアル番号およびモデル番号の位置

モデル番号とシリアル番号は、プリンタ背面の ID ラベルに記載されています。シリアル番号には、生産国/地域、プリンタのバージョン、製品コード、およびプリンタの製造番号に関する情報が含まれています。

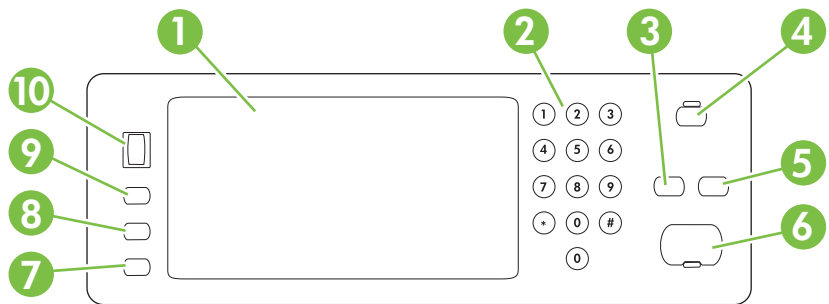
モデル名	モデル番号
HP Color LaserJet CM6030 MFP	CE664A
HP Color LaserJet CM6030f MFP	CE665A
HP Color LaserJet CM6040 MFP	Q3938A
HP Color LaserJet CM6040f MFP	Q3939A

2 コントロール パネル

コントロール パネルの使用

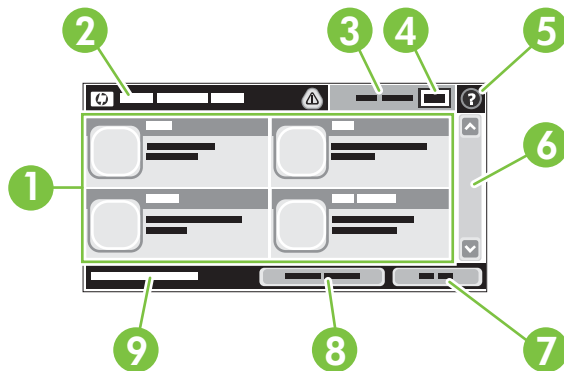
コントロール パネルには、すべてのデバイス機能にアクセスできる VGA タッチスクリーンがあります。ボタンと数値キーパッドを使用して、ジョブとデバイスのステータスを制御します。LED は全体のデバイス ステータスを示します。

コントロール パネルのレイアウト

コントロール パネルには、タッチスクリーン グラフィック ディスプレイ、ジョブ コントロール ボタン、数字キーパッド、3 つの LED ステータス ランプが付いています。

1	タッチスクリーン グラフィック ディスプレイ	タッチスクリーンを使用して、すべてのデバイス機能を開いて、設定します。
2	数字キーパッド	必要な部数やその他の数値を入力できます。
3	リセット ボタン	ジョブの設定を工場出荷時またはユーザー定義のデフォルト値にリセットします。
4	スリープ ボタン	デバイスが長時間操作されない場合、スリープ モードに入ります。デバイスをスリープ モードにしたり、スリープ モードから復帰させるには、スリープ ボタンを押します。
5	停止ボタン	現在のジョブを閉じて、[ジョブ ステータス] 画面を開きます。
6	スタート ボタン	コピー ジョブを開始する、デジタル送信を開始する、または、中断したジョブを続行します。
7	**注意**ランプ	ユーザーの操作が必要であることを示します。たとえば、用紙トレイが空の場合やタッチスクリーンにエラー メッセージが表示されている場合などです。
8	**印刷可**ランプ	ジョブの処理を開始する準備が整っていることを示します。
9	**データ**ランプ	プリンタがデータを受信中であることを示します。
10	コントラスト調整ダイヤル	このダイヤルを回して、見る角度に応じて、タッチスクリーン ディスプレイのコントラストを調整します。

[ホーム] 画面

[ホーム] 画面からデバイス機能にアクセスできます。また、デバイスの現在のステータスが表示されます。

注記： デバイスの設定によって、[ホーム] 画面に表示される機能は変わります。

1	機能	システム管理者の設定方法によって、ここに表示される項目は変わります。たとえば次の項目が表示されます。 ● コピー ● ファックス ● 電子メール ● セカンダリ電子メール ● ジョブ ステータス ● ネットワーク フォルダ ● ジョブ保存 ● ワークフロー ● サプライ品のステータス ● 管理
2	デバイスのステータス行	ステータス行には、全体的なデバイスのステータスに関する情報が表示されます。現在のステータスに応じて、さまざまなボタンが表示されます。ステータス行に表示できるボタンの説明については、16 ページの 「タッチスクリーンのボタン」を参照してください。
3	コピーの種類	コピーがカラーかどうかを示します。
4	部数	部数ボックスには、設定されたコピー枚数が表示されます。
5	[ヘルプ] ボタン	[ヘルプ] ボタンにタッチすると、内蔵のヘルプ システムが表示されます。
6	スクロール バー	使用できる機能リストをすべて確認するには、スクロール バーの上矢印または下矢印にタッチします。
7	サインアウト	制限付きの機能にアクセスするためにデバイスにサイン インしている場合、サイン アウトするには、[サインアウト] にタッチします。サイン アウトすると、すべてのオプションがデフォルト設定に戻ります。

8	ネットワーク アドレス	ネットワーク接続に関する情報を検索するには、[ネットワーク アドレス] にタッチします。
9	日付と時刻	現在の日付と時刻がここに表示されます。システム管理者は、日時の表示に使用する書式 (12 時間形式または 24 時間形式など) を選択できます。

タッチスクリーンのボタン

タッチスクリーンのステータス行には、デバイスのステータスに関する情報が表示されます。ここにはさまざまなボタンが表示されます。次の表で各ボタンを説明します。

	[ホーム] ボタン。[ホーム] ボタンにタッチすると、どの画面からでも [ホーム] 画面に戻ります。
	スタート ボタン。使用している機能の動作を開始するには、スタート ボタンにタッチします。 注記： このボタン名は機能ごとに変わります。たとえば、コピー 機能では、ボタン名が [コピー開始] になります。
	[停止] ボタン。印刷ジョブまたはファックス ジョブを処理している場合、[スタート] ボタンではなく [停止] ボタンが表示されます。現在のジョブを中断するには、[停止] にタッチします。ジョブをキャンセルするか再開するかの確認メッセージが表示されます。
	[エラー] ボタン。[エラー] ボタンは、処理を続行する前に注意が必要なエラーが発生したときに表示されます。[エラー] ボタンにタッチすると、エラーを説明するメッセージが表示されます。メッセージには問題を解決する指示も記載されます。
	[警告] ボタン。デバイスに問題が発生していても、処理が続行できるときに [警告] ボタンが表示されます。[警告] ボタンにタッチすると、問題を説明するメッセージが表示されます。メッセージには問題を解決する指示も記載されます。
	[ヘルプ] ボタン。[ヘルプ] ボタンにタッチすると、内蔵のヘルプ システムが表示されます。詳細については、16 ページの 「コントロール パネルのヘルプ システム」 を参照してください。

コントロール パネルのヘルプ システム

このプリンタには、各画面の使い方を説明するヘルプ システムが組み込まれています。ヘルプ システムを開くには、画面の右上隅のヘルプ ボタン にタッチします。

一部の画面では、[ヘルプ] にタッチすると、特定のトピックを検索できるグローバル メニューが表示されることがあります。メニューのボタンにタッチして、メニュー構造を参照できます。

個々のジョブの設定が含まれた画面では、[ヘルプ] にタッチすると、その画面のオプションについて説明するトピックが表示されます。

エラーや警告が通知されたら、エラー または警告 ボタンにタッチして、問題を説明するメッセージを表示します。このメッセージには、問題解決に役立つ手順も記載されています。

[管理] メニューの操作

[ホーム] 画面の [管理] をタッチしてメニュー構造を開きます。この機能を表示するには、[ホーム] 画面の下部にスクロールが必要な場合があります。

管理 メニューには、いくつかのサブメニューがあり、画面の左側に表示されます。メニュー名にタッチすると、メニュー構造が展開されます。メニュー名の横にあるプラス記号 (+) は、サブメニューがあることを示します。前のレベルに戻るには、[戻る] にタッチします。

[管理] メニューを終了するには、画面の左上隅の [ホーム] ボタン にタッチします。

このプリンタには、メニューを通して使用できる各機能を説明するヘルプが組み込まれています。多くのメニューで、タッチスクリーンの右側でヘルプを使用できます。または、画面の右上隅のヘルプ ボタン にタッチしてヘルプ システム全体を開きます。

以下の表に、[管理] メニューの下にある各メニューの全体構造を示します。

[情報] メニュー

[管理] > [情報]

このメニューを使用して、デバイス内に保存されている情報ページとレポートを印刷します。

表 2-1 [情報] メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
設定/ステータス ページ	管理メニュー マップ		印刷	管理メニューの基本構造と現在の管理設定を示します。
	設定/ステータス ページ		印刷	現在のデバイスの設定を示す一連の設定ページです。
	サプライ品ステータス ページ		印刷	カートリッジ、保守キット、およびステイプルなどのサプライ品のステータスを示します。
	使用状況ページ		印刷	各用紙タイプとサイズに印刷したページ数に関する情報を示します。
	カラー使用状況ジョブ ログ		印刷	ジョブごとのカラー使用状況を示すディレクトリ ページです。ページの内容には、ユーザー名、アプリケーション名、モノクロのみのページとカラー ページ数などが含まれます。
	ファイル ディレクトリ		印刷	このデバイスに装着された大容量記憶装置 (フラッシュ ドライブ、メモリ カード、ハードディスクなど) の情報を含むディレクトリ ページです。
ファックス レポート	ファックス使用状況ログ		印刷	このデバイスから送受信されたファックスのリストを含むページです。
	ファックス コール レポート	ファックス コール レポート	印刷	最後に送信または受信したファックスに関する詳細レポートです。
		レポート上のサムネイル	はい いいえ (デフォルト)	コール レポートでファックスの最初のページのサムネイルを含めるかどうかを選択します。
		レポート印刷時間	自動印刷しない ファックス ジョブ後に印刷 ファックス送信ジョブ後に印刷 ファックス エラー後に印刷 (デフォルト) 送信エラー後にのみ印刷 受信エラー後にのみ印刷	
	請求書コード レポート		印刷	送信ファックスに使用された請求書コードのリストです。このレポートには、各コードに請求された送信ファックスの数が示されます。
	ブロックされた ファックス リスト		印刷	このデバイスに送信されるファックスをブロックする電話番号のリストです。
	短縮ダイアル リスト		印刷	このデバイスに設定されている短縮ダイアルを示します。

表 2-1 [情報] メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
サンプル ページ/フォント	デモンストレーション ページ		印刷	プリンタの印刷機能を示すページのプリントアウトです。
	RGB サンプル		印刷	さまざまな RGB 値のカラー サンプルの印刷結果です。サンプルは色合わせのガイドとして使用できます。
	CMYK サンプル		印刷	さまざまな CMYK 値のカラー サンプルの印刷結果です。サンプルは色合わせのガイドとして使用できます。
	PCL フォント リスト		印刷	現在デバイスで使用できる PCL (printer control language) フォントのリストを印刷します。
	PS フォント リスト		印刷	現在このデバイスで使用できる PostScript (PS) フォントのリストです。

[デフォルト ジョブ オプション] メニュー

管理 > デフォルト ジョブ オプション

このメニューを使用して、各機能のデフォルト オプションを指定します。これらのメニューは、ユーザーがジョブの作成時に別のオプションを指定していない場合に使用されます。

原稿のデフォルト オプション

管理 > デフォルト ジョブ オプション > 原稿のデフォルト オプション

表 2-2 [原稿のデフォルト オプション] メニュー

メニュー項目	値	説明
用紙サイズ	リストから用紙サイズを選択します。	原稿のコピーやスキャンに最もよく使用する用紙サイズを選択します。
印刷面の選択	1	原稿のコピーまたはスキャン時に、印刷面を片面と両面のどちらにするかを選択します。
	2	
方向	縦	原稿のコピーやスキャンに最もよく使用する用紙の向きを選択します。短辺を上に向けてセットする場合は [縦] を選択し、長辺を上に向けてセットする場合は [横] を選択します。
	横	
テキスト/画像の最適化	手動調整	テキスト、画像、または両方が混在する場合など、原稿のタイプに応じて出力を最適化します。 [手動調整] を選択した場合、もっとも頻繁に使用されるテキストと画像の混合を指定してください。
	テキスト	
	印刷された写真	
	写真	

イメージ調整

管理 > デフォルト ジョブ オプション > イメージ調整

表 2-3 **[イメージ調整] メニュー**

メニュー項目	値	説明
濃さ	値を選択します。	出力の濃度 (暗さ) のレベルを選択します。
背景のクリーンアップ	範囲内で値を調整します。	[背景の消去] 設定を大きくすると、背景からぼやけたイメージが削除されたり、薄い背景色が削除されたりします。
鮮明度	範囲内で値を調整します。	[鮮明度] 設定を調整して、イメージを明確にしたり、和らげたりします。

デフォルト コピー オプション

管理 > デフォルト ジョブ オプション > デフォルト コピー オプション

表 2-4 デフォルト コピー オプション メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
コピー部数		部数を入力します。出荷時のデフォルト設定は 1 です。	コピー ジョブのデフォルトの部数を設定します。
印刷面の選択		1 2	コピーのデフォルトの印刷面を片面にするか両面にするかを設定します。
カラー/黒		自動検出 カラー 黒 (デフォルト)	デフォルトのコピー モードをカラーにするかモノクロにするかを選択します。
ステイプル/ソート	ステイプル	なし (デフォルト) 左に 1 箇所、斜め 左に 2 箇所 上に 2 箇所 右に 1 箇所、斜め 右に 2 箇所	部数のセットのステイプル留めおよびソートのオプションを設定します。 **[ソート]** を選択した場合、最初から最後まで 1 部ずつコピーしてから、2 部目のコピーを開始します。それ以外の場合、1 ページ目を全部数分印刷してから、2 ページ目を印刷します。以下同じように印刷を行います。 プリンタにステイプル機能や丁合い機能がない場合があります。これらの機能は、オプションの排紙アクセサリが取り付けられているかどうかによって異なります。
	ソート	オフ オン (デフォルト)	
排紙ビン		<Binname>	コピー用のデフォルトの排紙ビンを選択します。 このオプションは、オプションの排紙アクセサリが取り付けられている場合にだけ使用できます。
最小マージン		標準 (推奨) (デフォルト) 最小マージン出力	原稿が用紙の端近くに印刷されている場合、[最小マージン] 機能を使用して、用紙の端にシャドウが印刷されるのを防ぐことができます。この機能を [縮小/拡大] 機能と併用すれば、ページ全体を確実にコピーできます。
自動的に余白を含む		オフ (デフォルト) オン	この機能により、スキャン中にイメージ サイズが自動的に縮小され、余白が含まれます。

デフォルト ファックス オプション

管理 > デフォルト ジョブ オプション > デフォルト ファックス オプション

表 2-5 [ファックス送信設定] メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
解像度		標準画質 (100x200dpi) (デフォルト) 高画質 (200x200dpi) 最高画質 (300x300dpi)	送信される文書の解像度を設定します。イメージの解像度が高くなると、dpi の数値が高くなり、表示がより精細になります。イメージの解像度が低くなると、dpi の数値が低くなり、表示はあまり精細ではなくなりますが、ファイル サイズは小さくなります。
ファックス ヘッダ		プリペンド (デフォルト) (デフォルト) オーバーレイ	ページのファックス ヘッダの位置を選択します。 [プリペンド] を選択すると、ファックス ヘッダがファックスの内容の上に印刷され、ファックスの内容はページの下方へ移動します。[オーバーレイ] を選択すると、ファックス ヘッダがファックスの内容の最上部の上に重ねて印刷され、ファックスの内容はページの下方へ移動しません。このオプションを使用すると、1 ページのファックスが 2 ページに分割されるのを防ぐことができます。

表 2-6 [ファックス受信] メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
ファックス転送	ファックス転送	オフ (デフォルト) カスタム	受信したファックスを別のファックス デバイスに転送するには、[ファックス転送] と [カスタム] を選択します。これを選択したら、他のファックス デバイスの番号を [ファックス転送番号] フィールドに入力します。初めてこのメニュー項目を選択すると、PIN を設定するよう指示されます。このメニューを使用するたびに、PIN を入力します。これは、[ファックス印刷] メニューのアクセスに使用するものと同じ PIN です。
	PIN の作成		
受信ファックスのスタンプ	有効 無効 (デフォルト)		このデバイスが受信するファックスの各ページに、日付、時刻、送信者の電話番号、およびページ番号を追加します。
用紙の大きさに合わせる	有効 (デフォルト) 無効		レターサイズまたは A4 サイズよりも大きいファックスを縮小して、レターサイズまたは A4 サイズのページに合わせることができます。この機能が [無効] に設定されている場合、レターサイズまたは A4 サイズよりも大きいファックスは複数のページにまたがって印刷されます。
ファックス用紙トレイ	トレイのリストから選択します。デフォルト設定は、自動 です。		受信ファックスに使用する用紙のサイズとタイプがセットされたトレイを選択します。
排紙ビン	<Binname>		必要に応じて、ファックスに使用するデフォルトの排紙ビンを選択します。

デフォルト電子メール オプション

管理 > デフォルト ジョブ オプション > デフォルト電子メール オプション

メニュー項目	値	説明
文書ファイル タイプ	PDF (デフォルト) JPEG TIFF M-TIFF	電子メールのためのファイル形式を選択します。
出力品質	高 (大きなファイル) 中 (デフォルト) 低 (小さなファイル)	高品質の出力を選択すると、出力ファイル サイズが増えます。
解像度	300 dpi 200 dpi 150 dpi (デフォルト) 75 dpi	解像度を選択します。ファイル サイズを小さくするには、設定値を低くします。
カラー/黒	カラー スキャン (デフォルト) モノクロ スキャン	電子メールをモノクロまたはカラーのどちらにするかを指定します。
TIFF バージョン	TIFF 6.0 (デフォルト) TIFF (Post 6.0)	スキャンしたファイルの保存に使用する TIFF バージョンを指定します。

デフォルトでフォルダに送信するオプション

管理 > デフォルト ジョブ オプション > デフォルトでフォルダに送信するオプション

メニュー項目	値	説明
カラー/黒	カラー スキャン モノクロ スキャン (デフォルト)	ファイルをモノクロとカラーのどちらにするかを指定します。
文書ファイル タイプ	PDF (デフォルト) M-TIFF TIFF JPEG	ファイルのファイル形式を選択します。
TIFF バージョン	TIFF 6.0 (デフォルト) TIFF (Post 6.0)	スキャンしたファイルの保存に使用する TIFF バージョンを指定します。
出力品質	高 (大きなファイル) 中 (デフォルト) 低 (小さなファイル)	高品質の出力を選択すると、出力ファイル サイズが増えます。
解像度	75 dpi 150 dpi (デフォルト) 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	解像度を選択します。ファイル サイズを小さくするには、設定値を低くします。

デフォルト印刷オプション

管理 > デフォルト ジョブ オプション > デフォルト印刷オプション

表 2-7 デフォルト印刷オプション メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
ジョブの印刷部数		値を入力します。	印刷ジョブのデフォルトのコピー部数を設定します。
デフォルト用紙サイズ		(対応サイズのリスト)	用紙サイズを選択します。
デフォルト カスタム用紙サイズ	計測単位	ミリメートル インチ	印刷ジョブの用紙サイズとして [カスタム] が選択されたときに使用されるデフォルトの用紙サイズを設定します。
	X 寸法		[デフォルト カスタム用紙サイズ] の幅の測定値を設定します。
	Y 寸法		[デフォルト カスタム用紙サイズ] の高さの測定値を設定します。
排紙ビン		<binname>	印刷ジョブのデフォルトの排紙ビンを選択します。オプション トレイが取り付けられている場合、排紙ビン オプションは異なります。
印刷面		片面 両面	デフォルトの印刷ジョブを片面にするか両面にするかを選択します。

[時刻/スケジューリング] メニュー

管理 > 時刻/スケジューリング

このメニューを使用して、時刻の設定オプションと、スリープ モードへの移行と復帰の設定オプションを指定します。

注記： 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

表 2-8 時刻/スケジューリング メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
日付/時刻	日付形式		YYYY/MMM/DD (デフォルト) MMM/DD/YYYY DD/MMM/YYYY	この機能を使用して現在の日付と時刻を設定し、送信ファックスのタイムスタンプに使用する日付形式と時刻形式を設定します。
	日付	月 日 年		
	時刻形式		12 時間 (AM/PM) (デフォルト) 24 時間	
	時刻	時間 分 午前 午後		
スリープ遅延			1 分 (デフォルト) 20 分 30 分 45 分 1 時間 (60 分) 90 分 2 時間制 4 時間制	この機能を使用して、スリープ モードに入る前にデバイスが無操作状態にある時間を選択します。
スリープ復帰時刻	月曜日 火曜日 水曜日 木曜日 金曜日		オフ (デフォルト) カスタム	[カスタム] を選択して、月曜日から日曜日までのスリープ復帰時刻を設定します。このスケジュールに合わせてスリープ モードが終了します。スリープのスケジュールを使用すると、デバイスを使用するための電力と準備時間を節約できるため、ウォーム アップが完了するまで待つ必要はなくなります。

表 2-8 時刻/スケジューリング メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
	土曜日			
	日曜日			
スリープ タイム	月曜日		オフ (デフォルト)	この機能を使用して、各曜日のデバイスが使用されない期間にスリープ タイムを設定します (たとえば、毎日夜の特定の時間)。スリープ タイムを設定すると、デバイスは自動的に低電力モードになります。曜日を選択し、カスタム を選択して、カスタム スリープ タイム スケジュールを設定します。
	火曜日		カスタム	
	水曜日			
	木曜日			
	金曜日			
	土曜日			
	日曜日			
ファックス印刷		PIN の作成		プライベート ファックスのセキュリティが心配な場合、この機能を使用し、印刷スケジュールを作成することによって、ファックスを自動的に印刷する代わりに保存します。このメニュー項目を初めて選択する場合、PIN を設定するようにプロンプトが表示されます。このメニューを使用するたびに PIN を入力します。

[管理] メニュー

管理 > 管理

このメニューを使用して、グローバル デバイス管理オプションをセットアップします。

注記： 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

表 2-9 管理 メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
ネットワーク アドレス ボタン	表示 非表示 (デフォルト)		この機能を使用して、[ホーム] 画面にネットワーク アドレス ボタンを表示します。
保存されたジョブ管理	クイック コピー ジョブ保存制限	保存する最大ジョブ数を選択します。	デバイスに保存されているジョブの表示と管理を行うには、このメニューを使用します。
	クイック コピー ジョブ保留タイムアウト	オフ (デフォルト) 1 時間 4 時間 1 日 1 週	
スリープ モード		無効 スリープ遅延を使用 (デフォルト)	デバイスのスリープ モード設定をカスタマイズするには、この機能を使用します。 [時刻/スケジューリング] メニューで指定した遅延時間後に、スリープ モードに移行するようにデバイスを設定するには、[スリープ遅延を使用] を選択します。
サプライ品を管理	サプライ品の交換	残量少で停止 空で停止 (デフォルト) 空を無視 1 空を無視 2	プリント カートリッジ、フューザ キット、またはトランスファー キットの残量が少なくなったときのプリンタの動作を設定します。サプライ品の残量が少なくなったら、残量少で停止 を選択して、印刷を停止します。空で停止 を選択すると、カラー プリント カートリッジが空になるまで、印刷を継続できます。 空を無視 1 を選択すると、カートリッジが空になったり、他のサプライ品が消耗したときに、印刷を続行できます。トナー回収ユニットがいっぱいになると、印刷を停止します。このオプションを使用すると、印刷品質が低下する場合があります。 空を無視 2 を選択すると、カートリッジが空になった場合、他のサプライ品が消耗した場合、および使用済みトナー回収ユニットがいっぱいになった場合に、印刷を続行できます。このオプションを使用すると、プリンタが損傷する場合があります。
	サプライ品残量低下/注文しきい値	範囲内の値を選択してください。デフォルトは 5% です。	このメニューを使用して、サプライ品を発注するしきい値の変更など、サプライ品の管理タスクを実行します。
	カラー サプライ品がなくなりました	停止 (デフォルト) 黒を自動継続	カラー トナーがなくなったときのプリンタの動作を設定します。黒を自動継続 を選択すると、黒のトナーだけを使用して、印刷を続行します。

表 2-9 管理 メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
カラーの使用制限	カラー印刷の使用	カラー有効 (デフォルト) 権限がある場合はカラーを使用 カラーを無効にする	この項目を使用して、管理者がカラー印刷を無効にしたり、制限することができます。権限がある場合はカラーを使用 設定を使用するには、内蔵 Web サーバ、HP Easy Printer Care ソフトウェア、または Web Jetadmin でユーザーの権限およびアプリケーションの権限を設定します。
	カラー コピーの使用	カラー有効 (デフォルト) カラーを無効にする	この項目を使用して、管理者がカラー コピーを無効にし、または制限することができます。
カラー/黒混合		自動 (デフォルト) ほぼカラー ページ ほぼ黒ページ	この項目は、パフォーマンスを最大限に高め、プリント カートリッジの寿命を最長化するために、エンジンをカラー モードからモノクロ モードに切り替える方法を制御します。 プリンタを工場出荷時のデフォルト設定にリセットするには、自動 を選択します。 通常の印刷ジョブが、ページ全面のカラー印刷の場合は、[ほぼカラー ページ] を選択します。 通常の印刷ジョブが、モノクロ ジョブ、またはカラーとモノクロ ジョブの組み合わせの場合は、[ほぼ黒ページ] を選択します。

[初期セットアップ] メニュー

管理 > 初期セットアップ

注記： 「(デフォルト)」と表示されている値は、工場出荷時のデフォルト値です。一部のメニュー項目にはデフォルト値がありません。

ネットワークおよび I/O

管理 > 初期セットアップ > ネットワークおよび I/O

表 2-10 ネットワークおよび I/O

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
I/O タイムアウト		範囲内の値を選択します。出荷時のデフォルト設定は、15 秒 です。	I/O タイムアウトとは、印刷ジョブが失敗するまでの経過時間を指します。デバイスが印刷ジョブのために受信しているデータの流れが中断された場合、デバイスはここで設定した時間まで待機し、それ以上待ってもデータが来ない場合は、ジョブが失敗したものとしてレポートします。
内蔵 Jetdirect	オプション リストについては31 ページの 表 2-11 「Jetdirect のメニュー」を参照してください。		

表 2-11 Jetdirect のメニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
TCP/IP	有効		オフ： TCP/IP プロトコルを無効にします。 オン (デフォルト)： TCP/IP プロトコルを有効にします。
	ホスト名		英数字で最大 32 文字。デバイスの識別に使用されます。この名前は HP Jetdirect の設定ページに表示されます。デフォルトのホスト名は NPIxxxxxx です。この xxxxxx は LAN ハードウェア (MAC) アドレスの下 6 桁です。
	IPV4 設定	設定方法	TCP/IPv4 パラメータを HP Jetdirect プリント サーバに設定する方法を指定します。 Bootp： BootP サーバから自動設定する場合は、BootP (Bootstrap Protocol) を使用します。 DHCP： DHCPv4 サーバから自動設定する場合は、DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) を使用します。この項目を使用し、DHCP リースが存在する場合、[DHCP の解放] メニューと [DHCP の更新] メニューを使用して DHCP リース オプションを設定できます。 自動 IP： 自動リンク - ローカル IPv4 アドレスを使用します。169.254.x.x という形式のアドレスが自動的に割り当てられます。 手動： TCP/IPv4 パラメータを設定するには、[手動設定] メニューを使用します。
		デフォルトの IP	強制的な TCP/IP の再設定時に、プリント サーバがネットワークから IP アドレスを取得できない場合のデ

表 2-11 **Jetdirect のメニュー (続き)**

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
			フォルトの IP アドレスを指定します (たとえば、手動で BootP または DHCP を使用する設定にした場合)。 自動 IP： リンク - ローカル IP アドレス 169.254.x.x が設定されます。 旧： 以前の HP Jetdirect デバイスに合わせて、アドレス 192.0.0.192 が設定されます。
		DHCP の解放	[設定方法] が [DHCP] に設定され、プリント サーバの DHCP リースが存在する場合、このメニューが表示されます。 いいえ (デフォルト)： 現在の DHCP リースが保存されます。 はい： 現在の DHCP リースとリースされた IP アドレスが解放されます。
		DHCP の更新	[設定方法] が [DHCP] に設定され、プリント サーバの DHCP リースが存在する場合、このメニューが表示されます。 いいえ (デフォルト)： プリント サーバからは DHCP リースの更新は要求されません。 はい： プリント サーバから、現在の DHCP リースの更新が要求されます。
		プライマリ DNS	プライマリ DNS サーバの IP アドレス (n.n.n.n) を指定します。
		セカンダリ DNS	セカンダリ DNS サーバの IP アドレス (n.n.n.n) を指定します。
	IPV6 設定	有効	プリント サーバで IPv6 操作を有効または無効にするには、この項目を使用します。 オフ： IPv6 が無効になります。 オン (デフォルト)：IPv6 が有効になります。
		アドレス	手動設定： このメニューを使用して、プリント サーバーの IPv6 アドレスを手動で設定します。 有効： 手動の設定を有効にするには、この項目を選択して、[オン] を選択します。手動の設定を無効にするには、[オフ] を選択します。 アドレス： 32 桁の 16 進数の IPv6 ノード アドレス (コロンありの 16 進構文を使用します) を入力するには、この項目を使用します。
		DHCPV6 ポリシー	指定されたルーター： プリント サーバが使用するステートフルな自動設定方法は、ルーターで決定されます。ルーターは、プリント サーバが DHCPv6 サーバからアドレス、設定情報、またはその両方のいずれを取得するかを指定します。 ルーターが使用できません： ルーターが使用できない場合、プリント サーバは DHCPv6 サーバからステートフル設定を取得する必要があります。

表 2-11 **Jetdirect のメニュー (続き)**

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
			常時： ルーターが使用できるかどうかにかかわらず、プリント サーバは DHCPv6 サーバからステートフル設定を常に取得します。
		プライマリ DNS	プリント サーバが使用するプライマリ DNS サーバの IPv6 アドレスを指定するには、この項目を使用します。
		セカンダリ DNS	プリント サーバーが使用するセカンダリ DNS サーバーの IPv6 アドレスを指定するには、この項目を使用します。
	プロキシ サーバー		デバイスの内蔵アプリケーションから使用するプロキシ サーバを指定します。通常、プリント サーバはインターネット アクセスするネットワーク クライアントが使用します。プリント サーバには Web ページがキャッシュされ、クライアントに対して、ある程度のインターネット セキュリティを提供しています。 プリント サーバを指定するには、IPv4 アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。名前の長さは 255 オクテットまでです。 ネットワークによっては、利用している Independent Service Provider (ISP) にプロキシ サーバのアドレスを問い合わせる必要があります。
	プロキシ サーバーのポート		クライアントのにプリント サーバが使用するポート番号を入力します。このポート番号は、ネットワーク上のプロキシ処理用に予約するポートです。値は 0 ～ 65535 です。
IPX/SPX	有効		オフ: IPX/SPX プロトコルを無効にします。 オン (デフォルト) : IPX/SPX プロトコルを有効にします。
	フレーム タイプ		ネットワークのフレーム タイプ設定を選択します。 自動 : フレーム タイプに自動的に設定し、最初に検出されたフレーム タイプに制限します。 EN_8023、EN_II、EN_8022、および EN_SNAP : Ethernet ネットワークのフレーム タイプを選択します。
APPLETALK	有効		オフ： AppleTalk プロトコルを無効にします。 オン (デフォルト) : AppleTalk プロトコルを有効にします。
DLC/LLC	有効		オフ： DLC/LLC プロトコルを無効にします。 オン (デフォルト) : DLC/LLC プロトコルを有効にします。

表 2-11 **Jetdirect のメニュー (続き)**

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
セキュリティ	セキュリティ ページの印刷		はい (デフォルト)： HP Jetdirect プリント サーバーの現在のセキュリティ設定が記載されたページを印刷します。 いいえ： セキュリティ設定ページは印刷されません。
	安全な WEB		設定の管理に、内蔵 Web サーバが HTTPS (セキュア HTTP) のみを使用する通信を受け入れるか、HTTP と HTTPS の両方を受け入れるかを指定します。 HTTPS 必須 (デフォルト)： 安全で暗号化された通信を行うために、HTTPS アクセスのみを受け入れます。プリント サーバは保護されたサイトと表示されます。 HTTP/HTTPS オプション： HTTP または HTTPS を使用したアクセスが許可されます。
	IPSEC		プリント サーバー上にファイアウォールを指定します。 維持： ファイアウォールのステータスは、現在の設定と同じままです。 無効： プリント サーバー上のファイアウォール機能は無効になります。
	セキュリティのリセット		プリント サーバの現在のセキュリティ設定を保存するか、工場出荷時の設定にリセットするかを設定します。 いいえ： 現在のセキュリティ設定が維持されます。 はい： セキュリティ設定は出荷時のデフォルト設定にリセットされます。
診断	内部テスト		複数のテストを使って、ネットワーク ハードウェアや TCP/IP ネットワーク接続の問題を診断します。 内部テストを使用すると、ネットワーク エラーがデバイスの内部か外部かを特定するときに役立ちます。内部テストを使用して、プリント サーバのハードウェアと通信経路を確認します。テストを選択して有効にし、実行時間を設定した後は、[実行] を選択してテストを開始します。 実行時間によっては、デバイスの電源を切るか、エラーが発生して診断ページが印刷されるまで、選択したテストは継続的に実行されます。
		LAN HW テスト	注意： この内部テストを実行すると、TCP/IP 設定は消去されます。 このテストによって、内部ループバック テストが実行されます。内部ループバック テストでは、内部ネットワーク ハードウェア上でのみパケットが送受信されます。ネットワークで外部の伝送はありません。 このテストを使用するには、[はい] を選択します。このテストを使用しない場合は [いいえ] を選択します。
		HTTP テスト	このテストでは、定義済みページをデバイスから取得して HTTP の操作が確認され、内蔵 Web サーバがテストされます。

表 2-11 **Jetdirect のメニュー (続き)**

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
			このテストを使用するには、[はい] を選択します。このテストを使用しない場合は [いいえ] を選択します。
		SNMP テスト	このテストでは、デバイス上の定義済み SNMP オブジェクトにアクセスすることで、SNMP 通信の操作が確認されます。 このテストを使用するには、[はい] を選択します。このテストを使用しない場合は [いいえ] を選択します。
		データ経路テスト	このテストを使用すると、HP PostScript Level 3 エミュレーション デバイスに関するデータ経路と破損の問題を特定するときに役立ちます。定義済み PS ファイルがデバイスに送信されますが、テストはペーパーレスになり、印刷は実行されません。 このテストを使用するには、[はい] を選択します。このテストを使用しない場合は [いいえ] を選択します。
		すべてのテストを選択	使用できる内部テストをすべて選択するには、この項目を使用します。 すべてのテストを選択するには、はい を選択します。個別のテストを選択するには、いいえ を選択します。
		実行時間 [時]	内部テストを実行する期間 (時間単位) を指定するには、この項目を使用します。1 ～ 60 時間の値を選択できます。ゼロ (0) を選択すると、エラーが発生するかデバイスの電源を切るまで、テストは永続的に実行されます。 HTTP、SNMP、データ経路の各テストの結果データは、テストの完了後に印刷されます。
		実行	いいえ： 選択したテストを開始しません。 はい： 選択したテストを開始します。

表 2-11 **Jetdirect のメニュー (続き)**

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
	Ping テスト		このテストは、ネットワーク通信を確認するときに使用されます。このテストで、リンクレベルのパケットがリモート ネットワーク ホストに送信され、適切な応答が待機されます。Ping テストを実行するには、次の項目を設定します。
		排紙先タイプ	対象デバイスが IPv4 または IPv6 ノードかを指定します。
		排紙先 IPv4	IPv4 アドレスを入力します。
		排紙先 IPv6	IPv6 アドレスを入力します。
		パケット サイズ	リモート ホストに送信する各パケットのサイズをバイト単位で指定します。最小値は 64 (デフォルト)、最大値は 2048 です。
		タイムアウト	リモート ホストからの応答を待機する期間を秒単位で指定します。デフォルトは 1 で最大値は 100 です。
		ページ カウント	このテストで送信する Ping テスト パケット数を指定します。1 ～ 100 時間の値を選択します。テストを継続的に実行するように設定するには、0 を選択します。
		結果の印刷	Ping テストが継続的な操作として設定されなかった場合、テスト結果を印刷できます。結果を印刷するには、[はい] を選択します。[いいえ] (デフォルト) を選択すると、結果は印刷されません。
		実行	Ping テストを開始するかどうかを指定します。Ping テストを実施するには はい を、実施しない場合は いいえ を選択します。

表 2-11 **Jetdirect のメニュー (続き)**

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
	Ping の結果		Ping テストのステータスと結果をコントロール パネルのディスプレイで表示するには、この項目を使用します。次の項目を選択できます。
		送信したパケット	最新のテストが開始された以降、または終了した以降に、リモート ホストに送信されたパケット数 (0 〜 65535) を表示します。
		受信したパケット	最新のテストが開始された以降、または終了した以降に、リモート ホストから受信したパケット数 (0 〜 65535) を表示します。
		消失率	最新のテストが開始された以降、または終了した以降に、リモート ホストから応答がなかった Ping テスト パケット送信の割合を表示します。
		RTT 最小	パケットの伝送と応答について、検出された RoundTrip-Time (RTT) の最小値 (0 〜 4096 ミリ秒) を表示します。
		RTT 最大	パケットの伝送と応答について、検出された RoundTrip-Time (RTT) の最大値 (0 〜 4096 ミリ秒) を表示します。
		RTT 平均	パケットの伝送と応答について、RoundTrip-Time (RTT) の平均値 (0 〜 4096 ミリ秒) を表示します。
		Ping が進行中	Ping テストが進行中がどうかを表示します。[はい] はテストが進行中であることを示し、[いいえ] はテストが完了したか実行されていないことを示します。
		更新	Ping テスト結果を表示すると、この項目は最新の Ping テスト データに更新されます。データを更新するには [はい]、既存のデータを保守するには [いいえ] を選択します。ただし、メニューがタイムアウトするか、手動でメイン メニューに戻すと、自動的に更新されます。
リンク速度			プリント サーバのリンク速度と通信モードはネットワークに合わせる必要があります。使用できる設定は、デバイスとインストール済みプリント サーバによって変わります。次のリンク設定のいずれかを選択します。 注意： リンク設定を変更する場合、プリント サーバとネットワーク デバイスのネットワーク設定が失われる可能性があります。 自動 (デフォルト) プリント サーバは、自動ネゴシエーション機能を使用して、許可されている中で最高のリンク速度と通信モードで設定します。自動ネゴシエーションが失敗すると、検出されたハブ/スイッチ ポートの検出済みリンク速度に応じて、100TX HALF または 10TX HALF が設定されます (1000T 半二重の選択には対応していません)。 10T ハーフ： 10 Mbps、半二重操作。 10T フル： 10 Mbps、全二重操作。 100TX ハーフ： 100 Mbps、半二重操作。 100TX フル： 100 Mbps、全二重操作。

表 2-11 **Jetdirect のメニュー (続き)**

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
			100TX 自動： 自動ネゴシエーションの最高リンク速度を 100 Mbps に制限します。 1000TX フル： 1000 Mbps、全二重操作。
プロトコル設定の印刷			次のプロトコルの設定を参照するには、この項目を使用します。IPX/SPX、Novell NetWare、AppleTalk、DLC/LLC。

ファックス セットアップ

管理 > 初期セットアップ > ファックス セットアップ

表 2-12 ファックス セットアップ メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
必要な設定	国/地域		(表示される国/地域)	ファックスの送信に関して法的に必要な設定を行います。
	日付/時刻	日付形式		
		日付		
		時刻形式		
		時刻		
	ファックス ヘッダ情報	電話番号		
		会社名		
PC ファックス送信			無効 有効 (デフォルト)	この機能を使用して、PC ファックス送信 を有効または無効にします。PC にファックス送信ドライバがインストールされていれば、PC ファックス送信 を使用して、コンピュータからプリンタ経由でファックスを送信できます。

表 2-12 ファックス セットアップ メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
ファックス送信設定	ファックス ダイアル音量		オフ 低 (デフォルト) 高	この機能を使用して、デバイスがファックス番号をダイアルするときのトーンの音量を設定します。
	エラー修正モード		有効 (デフォルト) 無効	エラー修正モード が有効で、ファックス送信時にエラーが発生した場合、エラーが発生した部分をもう一度デバイスで送受信します。
	JBIG 圧縮		有効 (デフォルト) 無効	JBIG 圧縮を使用すると、ファックスの送信時間が短縮されるため、通話費用を抑えることができます。ただし、JBIG 圧縮を使用すると、古いファックス機との間に互換性の問題が起きる場合があります。この問題が発生する場合は、JBIG 圧縮をオフにします。
	最大ボーレート		リストから値を選択します。デフォルト値は 33.6K です。	ファックス受信の最大ボー レートを設するには、この機能を使用します。これは、ファックスの問題のトラブルシューティング用の診断ツールとして使用できます。
	TCF T.30 遅延タイマ		デフォルト (デフォルト) カスタム	この設定はデフォルト値のままにし、HP テクニカル サポートの技術者から指示された場合にのみ変更してください。この設定に関連する調整手順は、このガイドで取り扱われる内容の範囲外です。
	TCF 延長		デフォルト (デフォルト) カスタム	この設定はデフォルト値のままにし、HP テクニカル サポートの技術者から指示された場合にのみ変更してください。この設定に関連する調整手順は、このガイドで取り扱われる内容の範囲外です。
	ダイアル モード		トーン (デフォルト) パルス	トーン ダイアルまたはパルス ダイアルのどちらを使用するかを選択します。
	通話中の場合のリダイアル		範囲は 0 ～ 9 です。出荷時のデフォルト設定は 3 回です。	回線が使用中の場合に、リダイアルを試行する回数を入力します。
	無応答時のリダイアル回数		なし (デフォルト) 1 回のみ 2 回	この機能を使用して、受信者のファックス番号が応答しない場合のダイアル試行回数を指定します。 注記： [2 回] は、米国とカナダ以外の国/地域で使用できます。

表 2-12 ファックス セットアップ メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
	リダイアル間隔		範囲は 1 ～ 5 分です。出荷時のデフォルト設定は 5 分です。	この機能を使用して、受信者の番号が通話中や応答しないときのダイアル試行の回数を指定します。
	ダイアル トーンを検出		有効 無効 (デフォルト)	この機能を使用して、ファックスを送信する前に、デバイスがダイアル トーンを確認するかどうかを指定します。
	ダイアル プレフィックス		オフ (デフォルト) カスタム	この機能を使用して、デバイスからファックスを送信するときにダイアルする必要があるプレフィックス番号を指定します。
	請求書コード		オフ (デフォルト) カスタム	請求書コードを有効にすると、送信ファックスに請求書コードの入力を指示するメッセージが表示されます。 範囲は 1 ～ 16 桁です。デフォルトの設定は 1 桁です。
ファックス受信設定	応答するまでの呼び出し回数		範囲は国/地域によって変わります。出荷時のデフォルト設定は 2 回です。	この機能を使用して、ファックス モデムが応答するまでに鳴らす呼び出し音の回数を指定します。
	呼び出し間隔		デフォルト (デフォルト) カスタム	この設定は、一部の PBX（構内交換機）で呼び出し信号を調整する必要がある場合に使用します。この設定は、HP テクニカル サポートの技術者から指示された場合にのみ変更してください。
	呼び出し回数		デフォルト (デフォルト) カスタム	この設定はデフォルト値のままにし、HP テクニカル サポートの技術者から指示された場合にのみ変更してください。この設定に関連する調整手順は、このガイドで取り扱われる内容の範囲外です。
	呼び出し音量		オフ 低 (デフォルト) 高	ファックスの呼び出し音量を設定します。
	ブロックするファックス番号	ブロック番号を追加	追加するファックス番号を入力します。	この機能を使用して、ブロックするファックス リストに電話番号を追加または削除します。ブロックするファックス リストには、30 までの番号を含めることができます。デバイスは、ブロックするファックス番号を受信すると、その受信ファックスを削除します。また、ブロックしたファックスをジョブ アカウント情報と一緒にアクティビティ ログに記録します。
		ブロックされた番号を削除	削除するファックス番号を選択します。	
		ブロックされた番号をすべてクリア	いいえ (デフォルト) はい	

電子メール セットアップ

管理 > 初期セットアップ > 電子メール セットアップ

このメニューを使用して、電子メール機能を有効にし、基本的な電子メール設定を行います。

注記：　詳細な電子メール設定を行うには、内蔵 Web サーバを使用します。詳細については、193 ページの 「内蔵 Web サーバ」を参照してください。

表 2-13 電子メール セットアップ メニュー

メニュー項目	値	説明
アドレス確認	オン (デフォルト) オフ	このオプションを使用すると、電子メール アドレスを入力したときに電子メール アドレスの構文がチェックされます。有効な電子メール アドレスには、「@」記号と「.」が必要です。
送信ゲートウェイの検出		デバイスが電子メールの送信に使用できる SMTP ゲートウェイのネットワークを検索します。
SMTP ゲートウェイ	値を入力します。	デバイスから電子メールを送信するときに使用される SMTP ゲートウェイの IP アドレスを指定します。
送信ゲートウェイのテスト		SMTP ゲートウェイが機能するかどうかを確認するために、構成された SMTP ゲートウェイをテストします。

[送信設定] メニュー

管理 > 初期セットアップ > 送信設定

表 2-14 [送信設定] メニュー

メニュー項目	値	説明
ファックス番号の確認	無効 (デフォルト) 有効	ファックス番号の確認が有効に設定されている場合、正しく入力されているかどうかを確認するために、ファックス番号を 2 回入力するよう要求されます。

[デバイス動作] メニュー

管理 > デバイス動作

表 2-15 デバイス動作 メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
言語			リストから言語を選択します。	コントロール パネルのメッセージを別の言語で表示したい場合に選択します。新しい言語を選択すると、キーボードの配列も変わる場合があります。
キー打鍵音			オン (デフォルト) オフ	この機能を使用して、画面にタッチしたり、コントロール パネルのボタンを押すときに音を出すかどうかを指定したりします。
アイドル状態のタイムアウト			10 ～ 300 秒の値を入力します。出荷時のデフォルト設定は 60 秒です。	コントロール パネルで何らかの操作を行い、そのまま放置したときにデバイスがデフォルト設定にリセットされるまでのタイムアウト時間を指定します。
警告/エラー動作	クリア可能な警告		オン ジョブ (デフォルト)	コントロール パネルに解除可能な警告が表示される時間を設定します。
	継続可能なイベント		自動継続 (10 秒) (デフォルト) ［OK］ をタッチして続行	デバイスで特定のエラーが起きた場合のデバイスの動作を設定します。
	紙詰まりの除去		自動 (デフォルト) オフ オン	デバイスが紙詰まり中に処理されなかったページを処理する方法を設定します。

表 2-15 デバイス動作 メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
トレイの設定	要求されたトレイを使用		優先 (デフォルト) 最初	ジョブが特定の給紙トレイを指定した場合に、デバイスがジョブを処理する方法を制御します。
	手差しプロンプト		常時 (デフォルト) セットしてから使用	ジョブのタイプまたはサイズが指定したトレイと一致しなかったときに、デバイスがそれに代わって汎用トレイから給紙する場合、どのように指示を表示するかを指定します。
	PS はメディアに従う		有効 (デフォルト) 無効	PostScript (PS) または HP の用紙処理モデルのどちらかを選択します。
	別のトレイを使用		有効 (デフォルト) 無効	指定したトレイが空の場合に、別のトレイを選択するようにコントロール パネルに指示を表示するかどうかを指定します。
	サイズ/タイプ プロンプト		ディスプレイ (デフォルト) 非表示	トレイが開いたり、閉じたりするごとにトレイ設定メッセージを表示するかどうかを制御します。
	空白ページを両面印刷		自動 (デフォルト) はい	デバイスが両面印刷ジョブを処理する方法を制御します。
	イメージの回転		左から右 右から左 代替	[イメージの回転] オプションにより、フィニッシャが取り付けられているかどうかにかかわらず、給紙トレイに同じ方向で用紙をセットできます。 注記： このメニューで設定したイメージの回転は、ステイプル留めが要求されない場合や、対応していないメディアが使用されているために要求されたステイプル留めが適用できない場合、またはステイプラを使用できない場合に適用されます。 左綴じになるようにイメージを回転させるには、左から右 を選択します。この設定は、文化的に左から右に読むことが標準になっているところでの印刷ジョブに適しています。これがデフォルト設定です。 右綴じになるようにイメージを回転させるには、右から左 を選択します。この設定は、通常、文化的に右から左に読むことが標準になっているところでの印刷ジョブに適しています。 別のセット方向を使用する場合は、[代替] を選択します（旧製品で使用されている印刷済み用紙の場合はこのほうが適しているかもしれません）。
マルチ機能フィニッシャ または MBM-3 ビン ステイプラ	動作モード		メールボックス 排紙トレイ ファンクションセパレータ	このメニューは、HP 3 ビン ステイプラ/スタッカまたは HP ブックレット メーカー/フィニッシャが取り付けられている場合に表示されます。 デフォルトの動作モードを設定します。**メールボックス** は、ユーザーまたはユーザーのグループを各排紙ビンに割り当てます。**排紙トレイ**は、すべての排紙ビンを 1 つの大型

表 2-15 デバイス動作 メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
				ビンとして扱います。1 つのビンがいっぱいになると、ジョブが自動的に次のビンに排紙されます。**ファンクションセパレータ** で、ファックスやコピーなどの特定の種類のジョブ用のデフォルトのビンを指定します (ステイプラ/スタッカのみ)。
	ステイプル		なし 左に 1 箇所、斜め 右に 1 箇所、斜め 左に 2 箇所 右に 2 箇所 上に 2 箇所	排紙される文書のステイプルの値が指定されていない場合のデフォルトの綴じ方を選択します。
	ステイプラの針なし		停止 継続	ステイプル留めを指定している場合に、針がなくなったときのデフォルトの動作を設定します。**停止** は、針がなくなると印刷を停止します。**継続** は、針がなくなっても印刷を続行します。
	オフセット		オフ オン	ジョブのオフセット機能のオン/オフを切り替えます。複数部数を印刷したときに、排紙ビン内で各部がずらされて配置されます。
	A4/レター ステイプル		標準 代替 1 代替 2	ステイプラ バッファを使用して、紙詰まりが起きないように印刷エンジンの速度を調節します。 注記： 自動感知モードが有効になっている場合、選択したメディアの種類または感知したメディアの種類によって、ステイプラ バッファを使用するかどうかが決まります。 **標準** 設定を有効にした場合、可能な限りステイプラ バッファを使用して、標準の速度になります。 **代替 1** に設定すると、エンジンが自動感知モードのときに、紙詰まりが起きないように速度を下げます。自動感知モードでない場合は、可能な限りステイプラ バッファを使用し、標準の速度を保ちます。 **代替 2** に設定すると、ステイプラ バッファは使用されず、紙詰まりを避けるため常に低速になります。
	折りたたみ (LTR-R & A4-R)		-4.0mm -3.5mm -3.0mm -2.5mm -2.0mm -1.5mm -1.0mm	レターおよび A4 の用紙を折りたたむ位置を調整します (ブックレット メーカーのみ)。

表 2-15 デバイス動作 メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
			-0.5mm	
			0.0mm	
			0.5mm	
			1.0mm	
			1.5mm	
			2.0mm	
			2.5mm	
			3.0mm	
			3.5mm	
			4.0mm	
	折りたたみ (リーガル & JISB4)		-4.0mm	リーガルと JIS B4 の用紙を折りたたむ位置を調整します (ブックレット メーカーのみ)。
			-3.5mm	
			-3.0mm	
			-2.5mm	
			-2.0mm	
			-1.5mm	
			-1.0mm	
			-0.5mm	
			0.0mm	
			0.5mm	
			1.0mm	
			1.5mm	
			2.0mm	
			2.5mm	
			3.0mm	
			3.5mm	
			4.0mm	
	折りたたみ (11x17 & A3)		-4.0mm	11x17 と A3 の用紙を折りたたむ位置を調整します (ブックレット メーカーのみ)。
			-3.5mm	
			-3.0mm	
			-2.5mm	
			-2.0mm	
			-1.5mm	

表 2-15 デバイス動作 メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
			-1.0mm -0.5mm 0.0mm 0.5mm 1.0mm 1.5mm 2.0mm 2.5mm 3.0mm 3.5mm 4.0mm	
通常のコピー動作				
	事前スキャン		有効 (デフォルト) 無効	即時スキャンをオンにします。事前スキャン を有効にすると、元の文書のページがディスクにスキャンされ、プリンタを使用できるようになるまで保持されます。
	自動印刷中断		有効 無効 (デフォルト)	この機能を有効にすると、複数部の印刷を設定されたプライベート ジョブがコピー ジョブによって中断される可能性があります。 コピー ジョブは、印刷ジョブの 1 部の終了時に、プリント キューに挿入されます。コピー ジョブが完了すると、印刷ジョブの残りの部数について印刷が続行されます。
	コピー中断		有効 無効 (デフォルト)	この機能を有効にすると、新しいコピー ジョブを開始するときに、現在の印刷を中断できます。現在のジョブを中断することを確認するように求められます。
	代替レターヘッド モード		オフ (デフォルト) オン	このオプションを選択すると、片面コピーまたは両面コピーのどちらを実行するかにかかわらず、すべての印刷ジョブでレターヘッドまたは印刷済み用紙を同じようにセットできます。

表 2-15 デバイス動作 メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
通常の印刷動作	A4/レター置き換え		いいえ はい (デフォルト)	この機能を有効にすると、印刷ジョブは A4 のジョブを送信したときに A4 サイズの用紙がデバイスにセットされていない場合、レターサイズの用紙に印刷します (またはレターサイズの用紙を送信したときにレターサイズの用紙がセットされていない場合、A4 の用紙に印刷します)。このオプションでは、タブロイド版の代わりに A3 の用紙に印刷したり、A3 の用紙の代わりにタブロイド版の用紙に印刷することもできます。
	手差し		有効 無効 (デフォルト)	この機能を有効にすると、ユーザーはコントロール パネルからジョブ の用紙ソースとして手差しを選択できます。
	Courier フォント		標準 (デフォルト) 濃い	使用する Courier フォントのバージョンを選択します。
	ワイド A4		有効 無効 (デフォルト)	A4 サイズの用紙の印刷できる範囲を変更します。このオプションを有効にした場合、A4 用紙の 1 行に 10 ピッチの文字を 80 文字印刷できます。
	PS エラーの印刷		有効 無効 (デフォルト)	デバイスで PostScript (PS) エラーが発生したときに、PS エラー ページを印刷するかどうかを選択します。
	PDF エラーの印刷		有効 無効 (デフォルト)	デバイスで PDF エラーが発生したときに、PDF エラー ページを印刷するかどうかを選択します。
	パーソナリティ		自動 (デフォルト) PCL PDF PS	デバイスが使用するプリンタ言語を選択します。 *通常は、プリンタ言語を変更しないでください*。この設定をある言語に変更しても、特別なソフトウェア コマンドをデバイスに送信しない限り、デバイスは自動的に 1 つの言語から別の言語に切り替えることはありません。

表 2-15 デバイス動作 メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
	PCL	用紙の行数	5 ～ 128 行の値を入力します。出荷時のデフォルト設定は 60 行です。	PCL とは、Hewlett-Packard がプリンタ機能にアクセスするために開発したプリンタ コマンドのセットです。
		方向	縦 (デフォルト) 横	印刷ジョブに最もよく使用する用紙の向きを選択します。短辺を上に向けてセットする場合は [縦] を選択し、長辺を上に向けてセットする場合は [横] を選択します。
		フォント ソース	リストから言語を選択します。	ユーザーソフト デフォルト フォントのフォント ソースを選択します。
		フォント番号	フォント番号を入力します。範囲は 0 ～ 999 です。出荷時のデフォルト設定は 0 です。	[フォント ソース] メニュー項目で指定されたソースを使用するユーザーソフト デフォルト フォントのフォント番号を指定します。デバイスは、各フォントに番号を割り当てて、PCL フォント リストに表示します ([管理] メニューから利用可能)。
		フォント ピッチ	0.44 ～ 99.99 の範囲の値を入力します。出荷時のデフォルト設定は、10.00 です。	[フォント ソース] と [フォント番号] でアウトライン フォントが指定されている場合、この機能を使用して、デフォルトのピッチを選択します (固定間隔フォントの場合)。
		シンボル セット	PC-8 (デフォルト) (50 種類の記号設定から選択)	利用可能な複数のシンボル セットのどれか 1 つを、コントロール パネルから選択します。シンボル セットは、これらすべての文字を 1 つのフォントにまとめたものです。
		LF に CR を追加	いいえ (デフォルト) はい	下位互換の PCL ジョブ (ジョブ コントロールのない純粋なテキスト) に使用される改行 (LF) に、キャリッジ リターン (CR) を追加するかどうかを設定します。
		空白ページを省略	いいえ (デフォルト) はい	このオプションは、独自の PCL を作成するユーザーのためのオプションです。たとえば、フォーム フィードを余分に追加して空白ページを印刷させることができます。[はい] が選択されると、ページが空白の場合、改ページは無視されます。
		メディア ソース マッピング	標準 (デフォルト) クラシック	デバイス ドライバを使用していない場合や、ソフトウェア プログラムにトレイ選択オプションがない場合に、給紙トレイを番号で選択して管理します。

[印刷品質] メニュー

管理 > 印刷品質

表 2-16 印刷品質 メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
カラー調節	ハイライト	シアン濃度. マゼンタ濃度. イエロー濃度. 黒濃度 **+5** ～ **-5**。デフォルトは **0** です。	印刷ページのハイライトの暗さまたは明るさを調整します。値を小さくすると印刷ページのハイライトが明るくなり、値を大きくすると印刷ページのハイライトが暗くなります。
	中間トーン	シアン濃度. マゼンタ濃度. イエロー濃度. 黒濃度 **+5** ～ **-5**。デフォルトは **0** です。	印刷ページの中間トーンの暗さまたは明るさを調整します。値を小さくすると印刷ページの中間トーンが明るくなり、値を大きくすると印刷ページの中間トーンが暗くなります。
	シャドウ	シアン濃度. マゼンタ濃度. イエロー濃度. 黒濃度 **+5** ～ **-5**。デフォルトは **0** です。	印刷ページのシャドウの暗さまたは明るさを調整します。値を小さくすると印刷ページのシャドウが明るくなり、値を大きくすると印刷ページのシャドウが暗くなります。
	カラー値の復元		すべての濃度値を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。
設定の登録	テスト ページ	印刷	画像がページの上下、左右に対して中央に位置するように余白を調整します。表面に印刷される画像と裏面に印刷される画像の位置を合わせるように調整することもできます。 登録を設定する場合、テスト ページを印刷します。
	ソース	すべてのトレイ トレイ <X> :<コンテンツ> (トレイを選択)	[設定の登録] ページを印刷するためのソース給紙トレイを選択します。
	トレイ <X> の調整	X または Y 軸に沿って -20 ～ 20 の範囲で位置を調整します。0 がデフォルトです。 X1 シフト X2 シフト Y シフト	各トレイの位置を調整します。 イメージを作成する場合、シートが上から下へデバイスに*送られて*くると、デバイスはページを横方向に*スキャン*します。 スキャンの方向は、X として表されます。X1 は、両面ページの表面のスキャン方向です。X2 は、両面ページの裏面のスキャン方向です。給紙の方向は Y で表されます。
プリント モード	<用紙タイプ>		用紙タイプに関連するモードを設定します。

表 2-16 印刷品質 メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
自動感知モード	トレイ 1 感知	フル感知 (トレイ 1 のデフォルト) 拡張感知 (トレイ 2 ～ 5 のデフォルト) OHP フィルムのみ	フル感知 を選択すると、薄手の用紙、普通紙、厚手の用紙、光沢紙、耐久紙、および OHP フィルムが認識されます。拡張感知 を選択すると、普通紙、OHP フィルム、光沢紙、および耐久紙が認識されます。OHP フィルムのみ を選択すると、OHP フィルムかどうかだけが識別されます。
	トレイ 2 ～ 5 感知	拡張感知 OHP フィルムのみ (デフォルト)	[拡張感知] を選択した場合、デバイスは普通紙、OHP フィルム、光沢紙、および耐久紙を認識します。[OHP フィルムのみ] を選択した場合、デバイスは OHP フィルムおよび OHP 以外のフィルム タイプのみ認識します。
最適化	用紙カール	標準 短縮	用紙が曲がらないようにするには、短縮 に設定します。印刷の最高速度が 40ppm から 10ppm に、3/4 速度が 30ppm から 7.5ppm に下がります。
	定義済みの回転	オフ (デフォルト) オン	ページに水平方向の線ができる場合は、この機能を オン にします。ただし、プリンタが起動するのに時間がかかります。
	フューザ温度	標準 (デフォルト) 代替 1 代替 2 代替 3	印刷した画像が同じページの下部または次のページにぼんやりとした影となって繰り返し写る場合は、用紙タイプやプリント モードの設定がご使用の用紙と合っているかをまず確認します。それでもこの問題が解決しない場合は、フューザ温度機能を代替設定のいずれかに変更します。まず 代替 1 設定を試し、問題が解決するかどうかを確認します。解決しない場合は [代替 2]、[代替 3] の順に試します。[代替 2] や [代替 3] に設定すると、1 つの印刷ジョブから次のジョブまでの間隔が大幅に延びる場合があります。
	トレイ 1	標準 (デフォルト) 代替	トレイ 1 から印刷しているときに用紙の裏面にしみができる場合は、モードを 代替 に設定します。この設定にすると、クリーニングの頻度が上がります。
	光沢モード	標準(デフォルト) 高	安定した高い光沢が必要な場合に選択します。写真などの光沢仕上げの印刷ジョブで、2 ページ目以降の光沢が落ちる場合は、この機能を 高 に設定します。この設定にすると、どの種類タイプでも印刷速度が下がります。

表 2-16 印刷品質 メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
	薄手メディア	自動(デフォルト) オン	薄手の用紙を使用しているときに、ヒューザに紙が巻き込まれるのを防ぎます。薄手の用紙に印刷したりトナーの使用量の多い印刷を行っているときに、特に、フューザ遅延またはフューザへの紙の巻き込みによる紙詰まりのメッセージが頻繁に表示される場合は、この機能を オン に設定します。
	環境	標準(デフォルト) 低温	周りの温度が非常に低い場合に、パフォーマンスを最適化します。温度が低い場所に設置しているプリンタで、印刷した画像にブリスタ (気泡状の印刷不良) などの問題が発生する場合は、この機能を 低温 に設定します。
	ラインの電圧	標準(デフォルト) 100V	電圧が低い場合に、パフォーマンスを最適化します。温度が低い場所に設置しているプリンタで、印刷した画像にブリスタ (気泡状の印刷不良) などの問題が発生する場合は、この機能を 100V に設定します。
	クリーニング頻度	標準 (デフォルト) 代替	出力したページに 38mm 間隔で繰り返し印刷不良が見られる場合は、代替 に設定します。これにより、C ローラーのクリーニング頻度が上がります。逆に印刷速度が低下したり消耗品の交換頻度が上がることがあります。
	ダブルブレード バイアス	標準 (デフォルト) 代替	出力したページに白く短い縦線が現れる場合は、代替 に設定します。これにより、印刷出力に黒っぽい点が発生することがあります。何回か印刷を行って、この設定が適切かどうかを確認してください。
	ごみ箱	標準 (デフォルト) 代替	印字率の低い印刷ジョブで、特に、出力の長さ方向に縞模様が発生する場合は、代替 に設定します。
	放電ブラシ	オフ (デフォルト) オン	低温および低湿度の環境で薄手の用紙を使用し、10 ページを超える両面印刷ジョブでトナーが飛び散る場合は、この機能を有効にします。
	背景	オフ (デフォルト) オン	印刷したページの背景の陰影が濃い場合は、この機能を オン にします。オンにすると、光沢が下がることがあります。
	厚手モード	30 PPM (デフォルト) 24 PPM	デフォルトは、30 PPM です。24 PPM を選択すると、印刷速度は落ちますが、厚手の用紙でのトナーの溶解処理が向上します。
	トラッキング コントロール	オフ (デフォルト) オン	転写電圧を調整して、カラーの安定性を向上します。この設定は、[オン] にしておく必要があります。
	最適化モードの復元		[最適化] メニューのすべての設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。
解像度	Image REt 4800 1200X600dpi		ほとんどの印刷ジョブに適した高速、高品質の印刷を行うには、Image REt 4800 を選択します。 1200X600dpi を選択すると、印刷品質は利用できる最高の品質になりますが、印刷速度が遅くなるおそれがあります。この設定は、非常に細い線や高精度なグラフィックスを含むジョブには便利な場合があります。
カラー REt		有効 (デフォルト) 無効	斜めの線、曲線、輪郭をなめらかに表現できるレゾリューション エンハンスメント テクノロジ (REt) 設定を有効または無効にします。

表 2-16 印刷品質 メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
校正/クリーニング			
	クリーニング ページの処理	プロセス	この機能を使用して、フューザー内の加圧ローラーから余分なトナーを落とすためのクリーニング ページを作成し、処理します。このプロセスには、最大 2.5 分かかります。
	クイック校正	校正	プリンタの部分的な校正を行います。
	完全校正	校正	プリンタの完全校正を行います。
	スリープ復帰/電源投入時の遅延校正	いいえ はい (デフォルト)	プリンタがスリープから復帰したり、プリンタの電源を入れたときの校正のタイミングを制御します。 ● スリープから復帰したり、電源を入れたときにすぐにプリンタを校正する場合は、いいえ を選択します。校正が終わるまで、印刷は実行されません。 ● 校正を行う前に印刷ジョブを受け付けるには、はい を選択して、スリープ状態のプリンタを有効にします。プリンタは短時間だけ新しいジョブを受け付けます。受信したジョブをすべて印刷し終える前に、校正が始まる場合があります。 注記： 最良の結果を得るために、印刷前にプリンタの校正を完了するようにします。校正前に実行した印刷ジョブは、最高の品質にはならない場合があります。

[トラブルの解決] メニュー

管理 > トラブルシューティング

注記： [トラブルシューティング] メニューの下にあるメニュー項目の多くは、高度なトラブルシューティングを目的としています。

表 2-17 トラブルシューティング メニュー

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
イベント ログ			印刷	このログは、コントロール パネル ディスプレイのイベント コードと対応するエンジン サイクルを示します。
スキャナの校正			校正	この機能を使用して、ADF およびフラットベッド スキャン用のスキャナ イメージ システム (キャリッジ ヘッド) のオフセットを補正します。 スキャナがスキャン対象文書の目的の部分を正しくキャプチャしない場合には、スキャナの校正が必要になることがあります。
印刷品質のトラブルの解決			印刷	印刷品質の問題の解決に役立つさまざまな診断ページを印刷します。
ファックス T.30 トレース	T.30 レポートの印刷			ファックス T.30 トレース レポートを印刷または設定します。T.30 は、ファックス機間のハンドシェイク、プロトコル、およびエラー修正を規定する規格です。
	レポート印刷時間		自動印刷しない (デフォルト) ファックス ジョブ後に印刷 ファックス送信ジョブ後に印刷 ファックス エラー後に印刷 送信エラー後にのみ印刷 受信エラー後にのみ印刷	
ファックス送信信号損失			値は 0 ～ 30 です。デフォルト値は 0 です。	電話回線信号の損失に対して補正する損失レベルを設定します。ファックスが操作不能になる場合があるため、HP のサービス担当者から要求された場合以外は、この設定を変更しないでください。
ファックス V.34			標準 (デフォルト) オフ	複数のファックス エラーが発生したり、電話回線の条件で必要な場合は、V.34 モードを無効にします。
ファックス スピーカ モード			標準 (デフォルト) 診断	この機能は、技術者がファックス変調音を聞いてファックスの問題を検討および診断するのに使用します。
診断ページ			印刷	色見本および EP パラメータ表を含む診断ページを印刷します。
カートリッジのチェックを無効にする				この項目を使用して、カートリッジ (またはカートリッジとドラムのカラー ペア) を取り

表 2-17 トラブルシューティング メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
				外して、問題の原因となっている特定の色を判断できるモードに入ります。このモードでは、消耗品関連のエラーはすべて無視されます。
用紙経路センター				用紙経路センサのテストを開始します。
用紙経路テスト	テスト ページ		印刷	用紙処理機能をテストするテスト ページを作成します。特定の用紙経路をテストするために、テストに使用する用紙経路を定義します。
	ソース		すべてのトレイ トレイ 1 トレイ 2 (適用できる場合、追加のトレイが表示されます。)	テスト ページをすべてのトレイから印刷するか、特定のトレイから印刷するかを指定します。
	排紙先		すべての排紙ビン	テスト ページの排紙オプションを選択します。すべての排紙ビンにテスト ページを送信するか、特定のビンにテスト ページを送信します。
	両面印刷		オフ (デフォルト) オン	両面印刷ユニットをテストに含めるかどうかを選択します。
	部数		範囲： 1 ～ 500、デフォルトは 1。	テストの一部として、指定したソースから印刷するページ数を選択します。

表 2-17 トラブルシューティング メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
用紙経路のテストを終了中	ステイプル	仕上げオプション	利用可能なオプションのリストから選択します。	フィニッシャの用紙処理機能をテストします。 テストするオプションを選択します。
		排紙ビン		
		メディア サイズ	レター A4	テストで使用する用紙サイズを選択します。
		用紙の種類	タイプのリストから選択します。	テストで使用する用紙タイプを選択します。
		部数	範囲:2-30、デフォルト =2	テストで使用するコピー部数を選択します。
		両面印刷	オフ オン	両面印刷ユニットをテストで使用するかどうかを選択します。
		テスト ページ	印刷	テストで使用するテスト ページを印刷します。
	積み重ね	排紙ビン	ビンのリストから選択します。	スタッカのテストで使用するオプションを選択します。
		メディア サイズ	レター リーガル A4 エグゼクティブ (JIS) 8.5 x 13	
		用紙の種類	ビンのリストから選択します。	[用紙経路のテストを終了中] で使用するメディア タイプを選択します。
		部数	1 10 50 100 500	[用紙経路のテストを終了中] で使用するコピー部数を選択します。
		両面印刷	オフ オン	[用紙経路のテストを終了中] で両面印刷ユニットを使用するかどうかを選択します。
		テスト ページ	印刷	テストで使用するテスト ページを印刷します。

表 2-17 トラブルシューティング メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
	ブックレット メーカー	メディア サイズ	レター リーガル A4 エグゼクティブ (JIS) 8.5 x 13	ブックレット メーカーのテストで使用するオプションを選択します。
		用紙の種類	ビンのリストから選択します。	[用紙経路のテストを終了中] で使用するメディア タイプを選択します。
		部数	1 10 50 100 500	[用紙経路のテストを終了中] で使用するコピー部数を選択します。
		両面印刷	オフ オン	[用紙経路のテストを終了中] で両面印刷ユニットを使用するかどうかを選択します。
		テスト ページ	印刷	テストで使用するテスト ページを印刷します。
手動センサー テスト				この項目は、用紙経路センサーが正常に動作しているかどうかを判定するためのテストを実行します。
コンポーネント テスト			トランスファー モーター ベルトのみ イメージ ドラム モーター 黒レーザ スキャナ シアン レーザ スキャナ マゼンタ レーザ スキャナ イエロー レーザ スキャナ フューザ モーター フューザ圧力解放モーター 黒エイリエネーション モーター シアン エイリエネーション モーター	各コンポーネントでテストを実行して、騒音や漏洩電流などの問題を特定します。 テストを開始するには、いずれかのコンポーネントを選択します。テストは、[繰り返し] オプションで指定された回数だけ繰り返し実行されます。テスト中にデバイスからコンポーネントを取り外すように求められる場合があります。テストを中断するには、[停止] ボタンを押します。

表 2-17 トラブルシューティング メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
			マゼンタ エイリエネーション モーター イエロー エイリエネーション モーター ITB 接触/エイリエネーション トレイ 2 ピックアップ モーター トレイ 2 ピックアップ ソレノイド トレイ 3 ピックアップ モーター トレイ 3 ピックアップ ソレノイド トレイ 4 ピックアップ モーター トレイ 4 ピックアップ ソレノイド トレイ 5 ピックアップ モーター トレイ 5 ピックアップ ソレノイド 両面印刷ユニット リバース モーター 両面印刷ユニット フィード モーター 両面印刷ユニット再給紙モーター 用紙転送モーター	
	繰り返し		1 回 (デフォルト) 連続	テストを実行する回数を決めます。
印刷/停止テスト			0 ～ 60,000 ミリ秒の値を指定します。デフォルトは 0 です。	印刷サイクル中にデバイスを停止させて、プロセスのどの部分で画質が低下するかを確認して問題を特定します。テストを実行するには、停止時間を指定します。デバイスに送信される次のジョブは、プロセスで指定されている時間に停止されます。
カラー バンド テスト	テスト ページ		印刷	高電圧電源のアーク放電を判定するのに役立つページを印刷します。
	部数		1 ～ 30 の連続する値。 デフォルト： 1	カラー バンド テスト用に印刷するコピー部数を指定します。

表 2-17 トラブルシューティング メニュー (続き)

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値	説明
スキャナ テスト	下部ランプ			サービス技術者が、このメニュー項目を使用してデバイス スキャナの潜在的問題を診断できます。
	センサー			
	ADF 給紙モーター			
	ADF 給紙リバース			
	スキャナ モーター			
	ADF 読み取りモーター			
	ADF 読み取りモーター リバース			
	ADF 両面印刷ソレノイド			
	ADF LED インジケータ			
コントロール パネル	LED			コントロール パネルのコンポーネントが正常に機能していることを確認します。
	ディスプレイ			
	ボタン			
	タッチスクリーン			
フィニッシャ テスト	手動センサー テスト			
	コンポーネント テスト			

[リセット] メニュー

管理 > リセット

表 2-18 [リセット] メニュー

メニュー項目	値	説明
ローカルのアドレス帳をクリア	クリア	この機能を使用して、プリンタに保存されたアドレス帳からすべてのアドレスを消去します。
ファックス使用状況ログをクリア	はい いいえ (デフォルト)	この機能を使用して、ファックス使用状況ログからすべてのイベントを消去します。
出荷時の通信設定に戻す	復元	このオプションを使用して、伝送信号の損失、V34、最大ボー レート、スピーカー モードなどの設定を出荷時のデフォルト設定に復元します。
出荷時の設定に戻す	復元	この機能を使用して、すべてのデバイス設定を出荷時のデフォルトに戻します。
サプライ品のリセット	新規文書フィーダ キット (はい/いいえ)	新しい文書フィーダ キットを取り付けたことをデバイスに通知します。

サービス メニュー

管理 > サービス

サービス メニューはロックされており、アクセスするには PIN を入力する必要があります。このメニューは、正規サービス担当者が使用することを前提にしています。

3 Windows 用ソフトウェア

対応オペレーティング システム (Windows)

本製品は、次の Windows オペレーティング システムに対応します。

- Windows XP (32 ビットおよび 64 ビット)
- Windows Server 2003 (32 ビットおよび 64 ビット)
- Windows 2000
- Windows Vista (32 ビットおよび 64 ビット)

対応プリンタ ドライバ (Windows)

- HP PCL 6
- HP PostScript エミュレーション プリンタ ドライバ (HP UPD PS)
- HP PCL 5 UPD ユニバーサル プリンタ ドライバ (HP UPD PCL 5)

プリンタ ドライバには、一般的な印刷タスクの操作手順と、プリンタ ドライバ内のボタン、チェックボックス、およびドロップダウン リストに関するオンライン ヘルプが含まれています。

注記： UPD についての詳細は、www.hp.com/go/upd を参照してください。

HP ユニバーサル プリンタ ドライバ (UPD)

Windows 用 HP ユニバーサル プリンタ ドライバ (UPD) は、任意の場所から事実上すべての HP LaserJet 製品にすぐにアクセスできる単一のドライバです。製品ごとに別個のドライバをダウンロードする必要はありません。実証された HP プリンタ ドライバ テクノロジを基礎とし、徹底的にテストされ、多くのソフトウェア プログラムで使用されています。長期にわたり、一貫して動作する強力なソリューションです。

HP UPD は、各 HP 製品と直接通信し、設定情報を収集してから、その製品に固有の機能を表示するようにユーザー インタフェースをカスタマイズします。両面印刷やステイプル留めなど、その製品に使用可能な機能が自動的に有効になるので、手動で有効にする必要がありません。

注記： UPD についての詳細は、www.hp.com/go/upd を参照してください。

UPD インストール モード

トラディショナル モード	● CD から 1 台のコンピュータにドライバをインストールする場合は、このモードを使用します。 ● このモードでインストールした場合、UPD は従来のプリンタ ドライバのように動作します。 ● このモードを使用する場合、コンピュータごとに UPD を別個にインストールする必要があります。
ダイナミック モード	● モバイル コンピュータにドライバをインストールする場合は、このモードを使用すると、任意の場所にある HP 製品を検出してその製品で印刷できます。 ● ワークグループ用に UPD をインストールする場合は、このモードを使用します。 ● このモードを使用するには、インターネットから UPD をダウンロードします。詳細は、www.hp.com/go/upd を参照してください。

適切なプリンタ ドライバの選択 (Windows)

プリンタ ドライバから製品の機能にアクセスできます。また、ドライバによってコンピュータと製品間の通信が可能になります (プリンタ言語を使用)。追加のソフトウェアと言語についての詳細は、デバイス CD に収録されているインストール ノートと readme ファイルを参照してください。

HP PCL 6 ドライバの説明

- すべての Windows 環境での印刷に推奨
- ほとんどのユーザーにとって、速度、印刷品質、製品機能のサポートが最高
- Windows グラフィック デバイス インタフェース (GDI) を使用することで Windows 環境で最高の速度を実現
- PCL 5 ベースのサードパーティまたはカスタム ソフトウェア プログラムと完全な互換性がない場合がある

HP PostScript レベル 3 エミュレーション ドライバの説明

- Adobe® のソフトウェア プログラムや、その他のグラフィックス処理ソフトウェア プログラムからの印刷に推奨
- PostScript レベル 3 エミュレーションからの印刷、または PostScript フラッシュ フォントをサポート
- Adobe のソフトウェア プログラムを使用したときに、パフォーマンスが PCL 6 ドライバよりもやや高速

HP PCL 5 ユニバーサル プリンタ ドライバの説明

- Windows 環境での一般的なオフィス印刷に推奨
- PCL の旧バージョンと古い HP LaserJet 製品と互換性がある
- サードパーティまたはカスタム ソフトウェア プログラムからの印刷に最適な選択
- 異機種混在環境で使用する場合の最適な選択 (UNIX、Linux、メインフレーム)。この場合、製品を PCL 5 に設定する必要があります
- 企業の Windows 環境で、この単一のドライバを複数のプリンタ モデルに使用可能
- モバイル Windows コンピュータから複数のプリンタ モデルで印刷する場合に推奨

印刷設定の優先度

印刷設定の変更は、変更が行われた場所によって優先度が決まります。

注記： コマンドおよびダイアログ ボックスの名前は、ソフトウェア プログラムによって異なる場合があります。

- **[ページ設定] ダイアログ ボックス**： ご使用のプログラムの **[ファイル]** メニューで **[ページ設定]** またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。このダイアログ ボックスで変更された設定は、他のどの場所で変更された設定よりも優先されます。
- **[印刷] ダイアログ ボックス**： ご使用のプログラムの **[ファイル]** メニューで **[印刷]**、**[ページ設定]**、またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。**[印刷]** ダイアログ ボックスで変更された設定は優先度が低いため、**[ページ設定]** ダイアログ ボックスで変更した設定より*優先されることはありません*。
- **[プリンタのプロパティ] ダイアログ ボックス (プリンタ ドライバ)**： **[印刷]** ダイアログ ボックスの **[プロパティ]** をクリックすると、プリンタ ドライバが開きます。**[プリンタのプロパティ]** ダイアログ ボックスで変更された設定は、印刷を行うソフトウェアの他の場所で変更された設定に置き換えられます。
- **プリンタ ドライバのデフォルト設定**： プリンタ ドライバのデフォルト設定は、**[ページ設定]**、**[印刷]**、または **[プリンタのプロパティ]** ダイアログ ボックスで設定が*変更されない限り*、すべての印刷ジョブで使用されます。
- **プリンタのコントロール パネルの設定**： プリンタのコントロール パネルで変更した設定は、他の場所で行った変更よりも優先度が低くなります。

プリンタ ドライバ設定の変更 (Windows)

すべての印刷ジョブの設定を変更する (ソフトウェア プログラムが終了するまで有効)	すべての印刷ジョブのデフォルト設定を変更する	製品の設定を変更する
1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。 2. ドライバを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。 手順は変わることがあり、共通ではありません。	1. **Windows XP と Windows Server 2003 (標準の [スタート] メニューの場合)**: **[スタート]**、**[プリンタと FAX]** の順にクリックします。 **または** **Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003 (クラシック [スタート] メニューの場合)**: **[スタート]**、**[設定]**、**[プリンタ]** の順にクリックします。 **または** **Windows Vista**: **[スタート]**、**[コントロール パネル]** の順にクリックし、**[ハードウェアとサウンド]** カテゴリで **[プリンタ]** をクリックします。 2. ドライバ アイコンを右クリックし、**[印刷設定]** を選択します。	1. **Windows XP と Windows Server 2003 (標準の [スタート] メニューの場合)**: **[スタート]**、**[プリンタと FAX]** の順にクリックします。 **または** **Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003 (クラシック [スタート] メニューの場合)**: **[スタート]**、**[設定]**、**[プリンタ]** の順にクリックします。 **または** **Windows Vista**: **[スタート]**、**[コントロール パネル]** の順にクリックし、**[ハードウェアとサウンド]** カテゴリで **[プリンタ]** をクリックします。 2. ドライバ アイコンを右クリックし、**[プロパティ]**を選択します。 3. **[デバイスの設定]** タブをクリックします。

ソフトウェアの削除 (Windows)

1. **[スタート]、[すべてのプログラム]** の順にクリックします。
2. **[HP、][HP Color LaserJet CM6030 または]**HP Color LaserJet CM6040MFP の順にクリックします。
3. **[HP Color LaserJet CM6030 または HP Color LaserJet CM6040 MFP のアンインストール]** をクリックし、画面に表示される指示に従って、ソフトウェアを削除します。

サポートされているユーティリティ (Windows)

HP Web Jetadmin

HP Web Jetadmin は、イントラネット内の HP Jetdirect 接続プリンタ用のブラウザ ベースの管理ツールで、ネットワーク管理者のコンピュータにのみインストールされます。

最新版の HP Web Jetadmin をダウンロードしたり、対応ホストシステムの最新のリストを参照したりするには、www.hp.com/go/webjetadmin にアクセスしてください。

ホスト サーバにインストールされると、Windows クライアントはサポートされている Web ブラウザ (Microsoft® Internet Explorer 4.x または Netscape Navigator 4.x 以降など) を使用し、HP Web Jetadmin ホストに移動して、HP Web Jetadmin にアクセスできます。

内蔵 Web サーバ

デバイスには、デバイスおよびネットワークのアクティビティに関する情報にアクセスできる内蔵 Web サーバが装備されています。この情報は、Microsoft Internet Explorer、Netscape Navigator、Apple Safari、Firefox などの Web ブラウザで表示されます。

内蔵 Web サーバはデバイスに組み込まれています。ネットワーク サーバにはロードされません。

内蔵 Web サーバが提供するインタフェースは、ネットワークに接続されている任意のコンピュータから標準の Web ブラウザを使用してそれにアクセスできます。特別なソフトウェアがインストールまたは設定されることはありませんが、サポートされている Web ブラウザがコンピュータにインストールされている必要があります。内蔵 Web サーバにアクセスするには、ブラウザのアドレス行にデバイスの IP アドレスを入力します (IP アドレスを確認するには、設定ページを印刷します。設定ページの印刷方法については、188 ページの 「情報ページ」を参照してください)。

内蔵 Web サーバの機能の詳しい説明については、193 ページの 「内蔵 Web サーバ」を参照してください。

HP Easy Printer Care

HP Easy Printer Care ソフトウェアは、以下の作業に使用できるプログラムです。

- 製品のステータスを確認する
- サプライ品のステータスを確認し、HP SureSupply を使用してサプライ品をオンラインで購入する
- 警告を設定する
- 製品の使用状況レポートを表示する
- 製品マニュアルを表示する
- トラブルシューティングおよび保守ツールにアクセスする
- HP Proactive Support を使用して印刷システムを定期的にスキャンし、問題を防ぐ。HP Proactive Support を使用すると、ソフトウェア、ファームウェア、および HP プリンタ ドライバを更新できます。

HP Easy Printer Care ソフトウェアは、製品が直接コンピュータに接続されている場合、またはネットワークに接続されている場合に表示できます。

対応オペレーティング システム	● Microsoft® Windows 2000 ● Microsoft Windows XP Service Pack 2 (Home および Professional) ● Microsoft Windows Server 2003 ● Microsoft Windows Vista™
対応ブラウザ	● Microsoft Internet Explorer 6.0 または 7.0

HP Easy Printer Care ソフトウェアをダウンロードするには、www.hp.com/go/easyprintercare にアクセスしてください。この Web サイトには、対応ブラウザと、HP Easy Printer Care ソフトウェアに対応している HP 製品のリストに関する最新情報もあります。

HP Easy Printer Care ソフトウェアの詳しい使用方法については、190 ページの 「HP Easy Printer Care」 を参照してください。

その他のオペレーティング システムに対応したソフトウェア

OS	ソフトウェア
UNIX	HP-UX および Solaris ネットワークの場合は、UNIX 用の HP Jetdirect プリンタ インストーラを www.hp.com/support/go/jetdirectunix_software からダウンロードします。 最新機種のスクリプトについては、www.hp.com/go/unixmodelscripts を参照してください。
Linux	詳細については、www.hp.com/go/linuxprinting を参照してください。

4 Macintosh でのプリンタの使用

Macintosh 用ソフトウェア

対応オペレーティング システム (Macintosh)

このデバイスは、次の Macintosh オペレーティング システムに対応しています。

- Mac OS X V10.2.8、V10.3、V10.4、V10.5 およびそれ以上

注記： Mac OS X V10.4 およびそれ以上については、PPC および Intel Core プロセッサ Mac がサポートされています。

対応プリンタ ドライバ (Macintosh)

HP インストーラでは、PostScript® プリンタ記述 (PPD) ファイル、プリンタ ダイアログ機能拡張 (PDE)、および Macintosh コンピュータで使用する HP Printer ユーティリティが利用できます。

PPD は Apple PostScript プリンタ ドライバと組み合わせることで、デバイス機能にアクセスできます。コンピュータに付属の Apple PostScript プリンタ ドライバを使用してください。

Macintosh オペレーティング システムからのソフトウェアの削除

Macintosh コンピュータからソフトウェアを削除するには、PPD ファイルをゴミ箱にドラッグします。

印刷設定の優先度 (Macintosh)

印刷設定の変更は、変更が行われた場所によって優先度が決まります。

注記： コマンドおよびダイアログ ボックスの名前は、ソフトウェア プログラムによって異なる場合があります。

- **[ページ設定] ダイアログ ボックス**： ご使用のプログラムの **[ファイル]** メニューで **[ページ設定]** またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。ここで変更した設定内容が、他の場所で変更した設定内容に優先します。
- **[印刷] ダイアログ ボックス**： ご使用のプログラムの **[ファイル]** メニューで **[印刷]**、**[ページ設定]**、またはそれと同様のコマンドをクリックすると、このダイアログ ボックスが開きます。**[印刷]** ダイアログ ボックスで変更された設定は優先度が低いため、**[ページ設定]** ダイアログ ボックスで変更した設定より*優先されることはありません*。
- **プリンタ ドライバのデフォルト設定**： プリンタ ドライバのデフォルト設定は、**[ページ設定]**、**[印刷]**、または **[プリンタのプロパティ]** ダイアログ ボックスで設定が*変更されない限り*、すべての印刷ジョブで使用されます。
- **プリンタのコントロール パネルの設定**： プリンタのコントロール パネルで変更した設定は、他の場所で行った変更よりも優先度が低くなります。

プリンタ ドライバ設定の変更 (Macintoss)

すべての印刷ジョブの設定を変更する (ソフトウェア プログラムが終了するまで有効)	すべての印刷ジョブのデフォルト設定を変更する	製品の設定を変更する
1. **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。 2. さまざまなメニューで設定を変更します。	1. **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。 2. さまざまなメニューで設定を変更します。 3. **[プリセット]** メニューで **[別名で保存]** をクリックし、プリセットの名前を入力します。 これらの設定が **[プリセット]** メニューに追加されます。新しい設定を使用するには、プログラムを起動して印刷するたびに、保存したプリセット オプションを選択する必要があります。	**Mac OS X V10.2.8 の場合** 1. Finder の **[移動]** メニューで、**[アプリケーション]** をクリックします。 2. **[ユーティリティ]** を開き、**[プリント センター]** を開きます。 3. 印刷キューをクリックします。 4. **[プリンタ]** メニューで **[設定]** をクリックします。 5. **[インストール可能なオプション]** メニューをクリックします。 注記： Classic モードでは構成設定を変更できない場合があります。 **Mac OS X V10.3 または Mac OS X V10.4 の場合** 1. Apple メニューで、**[システム環境設定]**、**[プリントとファクス]** の順にクリックします。 2. **[プリンタ設定]** をクリックします。 3. **[インストール可能なオプション]** メニューをクリックします。 **Mac OS X V10.5 の場合** 1. Apple メニューで、**[システム環境設定]**、**[プリントとファクス]** の順にクリックします。 2. **[オプションとサプライ品]** (オプションとサプライ品) をクリックします。 3. **[ドライバ]** メニューをクリックします。 4. リストからドライバを選択して、オプションを設定します。

Macintosh コンピュータ用ソフトウェア

HP Printer ユーティリティ

HP プリンタ ユーティリティを使用して、プリンタ ドライバでは使用できない製品機能を設定します。

HP プリンタ ユーティリティは、製品でユニバーサル シリアル バス (USB) ケーブルを使用している場合、または製品が TCP/IP ベースのネットワークに接続されている場合に使用できます。

HP Printer ユーティリティを開く

Mac OS X バージョン 10.2.8 で HP Printer ユーティリティを開く

1. Finder を開いて **[アプリケーション]** をクリックします。
2. **[ライブラリ]** をクリックし、**[プリンタ]** をクリックします。
3. **[hp]** をクリックし、**[ユーティリティ]** をクリックします。
4. **[HP Printer Selector]** をダブルクリックして、HP Printer Selector を開きます。
5. 選択する製品を選択して、**[ユーティリティ]** をクリックします。

Mac OS X V10.3 および V10.4 で HP Printer ユーティリティを開く

1. Finder を開き、**[アプリケーション]**、**[ユーティリティ]** の順にクリックし、**[プリンタ設定ユーティリティ]** をダブルクリックします。
2. 選択する製品を選択して、**[ユーティリティ]** をクリックします。

Mac OS X V10.5 で HP Printer ユーティリティを開く

▲ **[プリンタ]** メニューで **[プリンタ ユーティリティ]** をクリックします。

または

[プリンタ キュー] で **[ユーティリティ]** アイコンをクリックします。

HP Printer ユーティリティ機能

HP Printer ユーティリティは、**[構成設定]** リストでクリックして開くページで構成されています。以下の表では、これらのページで実行できるタスクを説明します。

項目	説明
[設定ページ]	設定ページを印刷します。
[サプライ品のステータス]	デバイスのサプライ品のステータスを表示します。そこからサプライ品のオンライン注文リンクにアクセスできます。
[HP サポート]	技術的なサポート、サプライ品のオンライン注文、オンライン登録、リサイクルと返品についての情報にアクセスできます。
[ファイルのアップロード]	コンピュータからデバイスにファイルを転送します。
[フォントのアップロード]	コンピュータからデバイスにフォントを転送します。
[ファームウェアのアップデート]	コンピュータからデバイスにアップデートされたファームウェアを転送します。
[両面印刷モード]	自動両面印刷モードをオンにします。
[Economode とトナー密度]	[EconoMode] 設定をオンにしてプリンタのトナーを節約したり、トナー濃度を調節します。
[解像度]	REt 設定などの解像度設定を変更します。
[リソースのロック]	ハード ディスクなどの記憶装置をロックまたはロック解除します。
[保存ジョブ]	デバイスのハードディスクに保存されている印刷ジョブを管理します。
[トレイの設定]	デフォルトのトレイ設定を変更します。

項目	説明
[IP 設定]	デバイスのネットワーク設定を変更し、内蔵 Web サーバにアクセスできるようにします。
[Bonjour 設定]	Bonjour サポートのオンとオフの切り替え、またはネットワーク上にリストされたデバイス サービス名の変更ができます。
[その他の設定]	内蔵 Web サーバにアクセスできるようにします。
[電子メール警告]	デバイスを設定して、特定のイベントに対して電子メール通知を送信します。

サポートされているユーティリティ (Macintosh)

内蔵 Web サーバ

デバイスには、デバイスおよびネットワークのアクティビティに関する情報にアクセスできる内蔵 Web サーバが装備されています。詳細については、194 ページの 「内蔵 Web サーバのセクション」を参照してください。

Macintosh プリンタ ドライバでの機能の使用

印刷

印刷機能のプリセットの作成および使用 (Macintosh)

印刷機能のプリセットを使用して現在のプリンタ ドライバの設定を保存すると、同じ設定を再利用できます。

印刷機能のプリセットの作成

1. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
2. ドライバを選択します。
3. 印刷設定を選択します。
4. **[プリセット]** ボックスで **[別名で保存...]** をクリックし、プリセットの名前を入力します。
5. **[OK]** をクリックします。

印刷機能のプリセットの使用

1. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
2. ドライバを選択します。
3. **[プリセット]** ボックスで、使用する印刷機能のプリセットを選択します。

注記： プリンタ ドライバのデフォルト設定を使用するには、**[標準]** を選択します。

文書のサイズ変更またはカスタム用紙サイズへの印刷

さまざまなサイズの用紙に合うように文書を拡大縮小できます。

1. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
2. **[用紙処理]** メニューを開きます。
3. **[出力用紙のサイズ]** のエリアで **[Scale to fit paper size]** を選択し、ドロップダウン リストからサイズを選択します。
4. 文書よりも小さな用紙だけを使用する場合は、**[縮小のみ]** を選択します。

表紙の印刷

「社外秘」などのメッセージを表紙に印刷できます。

1. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
2. ドライバを選択します。
3. **[表紙ページ]** メニューを開き、表紙ページを **[書類の前]** または **[書類の後]** のどちらに印刷するかを選択します。
4. **[表紙の種類]** メニューで、表紙に印刷するメッセージを選択します。

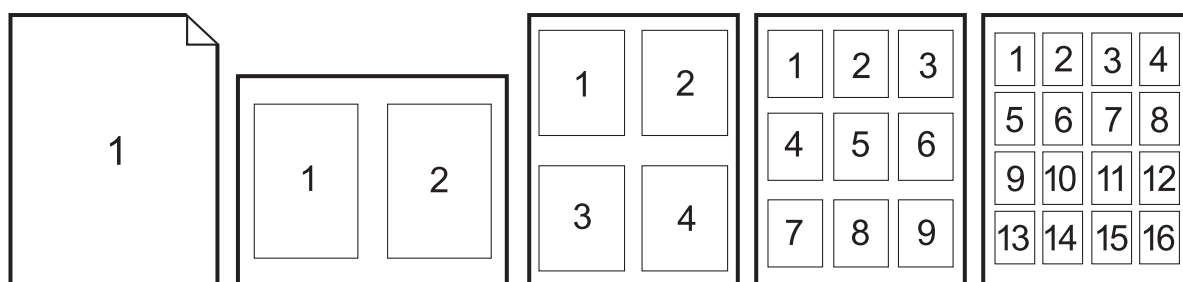
   注記： 空白の表紙を印刷するには、**[表紙の種類]** で **[標準]** を選択します。

透かしの使用

透かしとは、文書の各ページの背景に「社外秘」などのように印刷される情報です。

1. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
2. **[透かし]** メニューを開きます。
3. **[モード]** の横で、使用する透かしの種類を選択します。半透明のメッセージを印刷するには、**[透かし]** を選択します。透明でないメッセージを印刷するには、**[オーバーレイ]** を選択します。
4. **[ページ]** の横で、全ページに透かしを印刷するか、最初のページだけに透かしを印刷するかを選択します。
5. **[テキスト]** の横で、いずれかの標準メッセージを選択するか、あるいは **[カスタム]** を選択して、ボックスに新しいメッセージを入力します。
6. 残りの設定のオプションを選択します。

1 枚の用紙への複数ページの印刷 (Macintosh)

1 枚の用紙に複数のページを印刷できます。この機能は、ドラフト ページを印刷する際のコスト削減に役立ちます。

1. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
2. ドライバを選択します。
3. **[レイアウト]** メニューを開きます。
4. **[ページ数/枚]** の横で、1 枚の用紙に印刷するページ数 (1、2、4、6、9、または 16) を選択します。
5. **[レイアウト方向]** の横で、用紙に印刷するページの順序と位置を選択します。
6. **[境界線]** の横で、用紙の各ページの周囲に印刷する境界線の種類を選択します。

両面印刷

自動両面印刷の使用

1. 印刷ジョブに対応するいずれかのトレイに、十分な枚数の用紙をセットします。レターヘッド用紙などの特殊な用紙をセットする場合は、次のいずれかの方法に従います。
   - トレイ 1 の場合は、レターヘッド用紙の表を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。
   - それ以外のトレイの場合は、レターヘッド用紙の表を下向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。
2. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
3. **[レイアウト]** メニューを開きます。
4. **[両面]** の隣にある **[ロング エッジ綴じ込み]** または **[ショート エッジ綴じ込み]** のどちらかを選択します。
5. **[印刷]** をクリックします。

手動両面印刷

1. 印刷ジョブに対応するいずれかのトレイに、十分な枚数の用紙をセットします。レターヘッド用紙などの特殊な用紙をセットする場合は、次のいずれかの方法に従います。
   - トレイ 1 の場合は、レターヘッド用紙の表を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。
   - それ以外のトレイの場合は、レターヘッド用紙の表を下向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。

△ **注意：** 紙詰まりを防止するには、105g/m^2 (28 ポンドのボンド紙) より厚手の用紙はセットしないでください。

2. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
3. **[レイアウト]** メニューで、**[手差し両面印刷]** を選択します。
4. **[印刷]** をクリックします。印刷された用紙をトレイ 1 にセットし直して裏面を印刷する前に、画面上のポップアップ ウィンドウに表示される指示に従います。
5. プリンタの設置場所に移動して、トレイ 1 から、印刷されていない用紙をすべて取り除きます。
6. トレイ 1 で、印刷されたほうの面を上向きにし、用紙の下端から先に給紙されるようにセットします。裏面はトレイ 1 から印刷する*必要が*あります。
7. 指示が表示される場合、適切なコントロール パネル ボタンを押して処理を続行します。

ステイプル留めオプションの設定

ステイプラを備えた仕上げデバイスが設置されている場合は、文書のステイプル留めが可能です。

1. **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. **[レイアウト]** メニューを開きます。
3. **[ステイプル留めオプション]** ドロップダウン リストで、使用するステイプル留めオプションを選択します。

ジョブの保存

製品にジョブを保存すると、いつでも印刷できます。保存したジョブは、他のユーザと共有するか、プライベートに設定できます。

1. **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. **[ジョブ保存]** メニューを開きます。
3. **[ジョブ保存]** ドロップダウン リストで、保存するジョブの種類を選択します。
4. 保存ジョブの **[保存ジョブ]**、**[プライベート ジョブ]**、**[プライベート保存ジョブ]** の各タイプについて、保存ジョブの名前を **[ジョブ名]** の横のボックスに入力します。

   別の保存ジョブが同じ名前の場合に使用するオプションを選択します。

   - **[ジョブ名と 1 ～ 99 までの数値を使用する]** を選択すると、ジョブ名の末尾に固有の番号が付加されます。
   - **[既存のファイルを置換]** を選択すると、既存の保存ジョブに新しいジョブが上書きされます。
5. 手順 3 で **[保存ジョブ]** または **[プライベート ジョブ]** を選択した場合は、**[印刷用暗証番号 (0000 - 9999)]** の横のボックスに 4 桁の数値を入力します。他のユーザがこのジョブを印刷しようとすると、この PIN 番号の入力を求められます。

カラー オプションの設定

[カラー オプション] ポップアップ メニューで、ソフトウェア プログラムでのカラーの解析および印刷方法をコントロールします。

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. ドライバを選択します。
3. **[カラー オプション]** ポップアップ メニューを開きます。
4. **[詳細オプションの表示]** をクリックします。
5. テキスト、グラフィックス、写真の設定を個別に調整します。

[サービス] メニューの使用

製品がネットワークに接続されている場合は、**[サービス]** メニューを使用して、製品およびサプライ品のステータス情報を取得します。

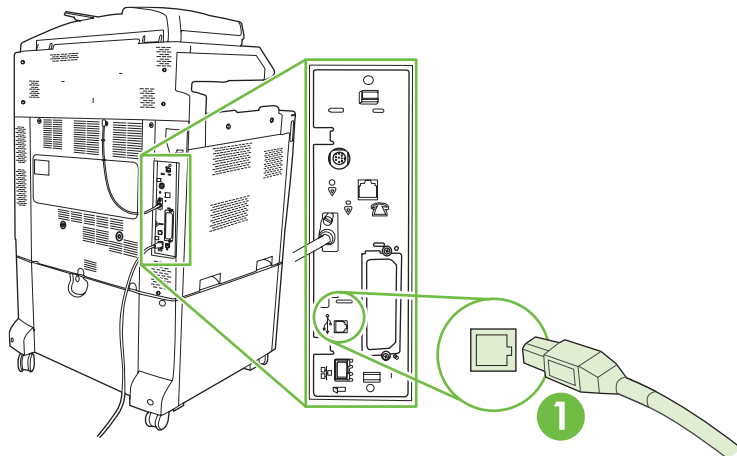
1. **[ファイル]** メニューで、**[プリント]** をクリックします。
2. **[サービス]** メニューを開きます。
3. 内蔵 Web サーバーを開いて保守作業を行うには、次の操作を行います。
    a. **[プリンタのメンテナンス]** を選択します。
    b. ドロップダウン リストから作業を選択します。
    c. **[開始]** をクリックします。
4. このデバイスのさまざまなサポート Web サイトに進むには、次の操作を行います。
    a. **[インターネット上のサービス]** を選択します。
    b. **[インターネット サービス]** を選択し、ドロップダウン リストからオプションを選択します。
    c. **[Go!]** をクリックします。

5 接続

- USB 接続
- ネットワーク接続

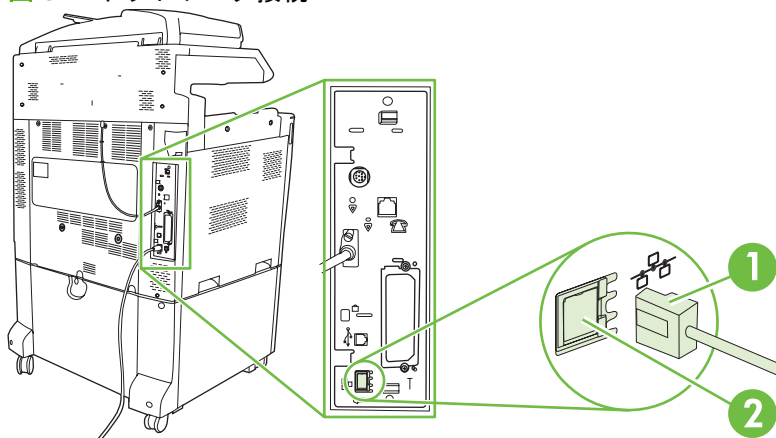
USB 接続

この製品は、USB 2.0 デバイス接続 1 つをサポートしています。USB ポートは、プリンタの背面にあります。長さが 2m (6.56 フィート) 以内の A to B タイプの USB ケーブルを使用してください。USB 2.0 ポートを使用して、プリンタに直接接続し、ファームウェアをアップグレードできます。

図 5-1 USB 接続

1	USB 2.0 ポート

ネットワーク接続

すべての機種に HP Jetdirect プリント サーバが内蔵されています。このサーバは、製品の背面にあるローカル エリア ネットワーク (LAN) コネクタ (RJ-45) を使用してネットワークに接続します。ネットワークに接続するプリンタの設定方法については、89 ページの 「ネットワークの設定」を参照してください。

図 5-2 ネットワーク接続

1	ネットワーク ケーブル
2	ネットワーク ポート

6 ネットワークの設定

ネットワーク接続の利点

プリンタをネットワークに接続すると、次のような点で便利です。

- すべてのネットワーク ユーザーが同じプリンタを共有できます。
- 内蔵 Web サーバ (EWS) を使用して、ネットワークのどのコンピュータからでも、プリンタをリモートで管理できます。
- HP Easy Printer Care Software を使用して、ネットワークに接続されているすべての HP 製品のサプライ品の使用状況を表示できます。これにより、交換用カートリッジやその他のサプライ品の注文を簡単に一括管理できます。
- 大規模な組織では、プリンタのリモート管理に HP Web Jetadmin を使用すると便利です。

サポートされているネットワーク プロトコル

このプリンタは、TCP/IP プロトコルに対応しています。TCP/IP は、最も広く使用されている標準のネットワーク プロトコルです。多数のネットワーク サービスがこのプロトコルを利用しています。詳しくは、92 ページの 「TCP/IP」を参照してください。次の表はサポートされているネットワーク サービスとプロトコルを示しています。

表 6-1 印刷時

サービス名	説明
ポート 9100 (ダイレクト モード)	印刷サービス
LPD (Line printer daemon)	印刷サービス

表 6-2 ネットワーク デバイス検出

サービス名	説明
SLP (Service Location Protocol)	ネットワーク デバイスの検出と設定に役立つデバイス検出プロトコル。主に Microsoft ベースのプログラムに使用されます。
Bonjour	ネットワーク デバイスの検出と設定に役立つデバイス検出プロトコル。主に Apple Macintosh ベースのプログラムに使用されます。

表 6-3 メッセージングと管理

サービス名	説明
HTTP (Hyper Text Transfer Protocol)	Web ブラウザで内蔵 Web サーバとの通信を可能にします。
EWS (内蔵 Web サーバ)	ユーザーが Web ブラウザでプリンタを管理できます。
SNMP (Simple Network Management Protocol)	ネットワーク アプリケーションで、プリンタを管理するために使用します。SNMP v1 および標準 MIB-II (Management Information Base) オブジェクトがサポートされています。

表 6-4 IP アドレス指定

サービス名	説明
DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)	IP アドレスの自動割り当てに使用されます。DHCP サーバがプリンタに IP アドレスを割り当てます。通常、DHCP サーバから IP アドレスを取得するために、ユーザーが操作する必要はありません。
BOOTP (Bootstrap Protocol)	IP アドレスの自動割り当てに使用されます。BOOTP サーバがプリンタに IP アドレスを割り当てます。プリンタがサーバから IP アドレスを取得するために、管理者が BOOTP サーバ上でプリンタの MAC ハードウェア アドレスを入力する必要があります。
Auto IP	IP アドレスの自動割り当てに使用されます。DHCP サーバも BOOTP サーバもない場合に、プリンタがこのサービスを使用して、固有の IP アドレスを生成します。

ネットワークの設定

プリンタでネットワーク パラメータを設定しなければならない場合があります。これらのパラメータは、インストール ソフトウェア、コントロール パネル、内蔵 Web サーバ、または管理ソフトウェア (HP Web Jetadmin など) で設定できます。

サポートされているネットワークおよびネットワーク設定ツールについては、*『HP Jetdirect プリント サーバ管理者ガイド』*を参照してください。このガイドは、HP Jetdirect プリント サーバがインストールされたプリンタに同梱されています。

TCP/IP

TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol) は、人が互いにコミュニケーションを交わすために使用する共通の言語と同じように、コンピュータとデバイスがネットワーク経由で相互に通信する方法を定めるように設計された一連のプロトコルです。

IP (インターネット プロトコル)

情報がネットワーク経由で送信される場合、データは小さなパケットに分割されます。それぞれのパケットは独立して、送信されます。それぞれのパケットは、送信者と受信者の IP アドレスなどの IP 情報でコード化されています。IP パケットはルーターおよびゲートウェイ (ネットワークを他のネットワークと接続するデバイス) 経由で配信されます。

IP 通信には接続は不要です。IP パケットが送信されるときに、パケットが正しいシーケンスで宛先に届かない場合があります。しかし、高次のプロトコルとプログラムがパケットを正しいシーケンスに置くため、IP 通信は効率的です。

ネットワーク上で通信するノードまたはデバイスごとに IP アドレスが必要です。

TCP (Transmission Control Protocol)

TCP はデータをパケットに分割し、ネットワーク上の別のノードへのコネクション型の信頼できる、保証された配信サービスを提供することにより、受信端でデータを再結合します。データ パケットが宛先で受信されると、TCP は各パケットのチェックサムを計算して、データが壊れていないことを確認します。パケット内のデータが伝送中に壊れている場合、TCP はそのパケットを破棄して、パケットの再送信を要求します。

IP アドレス

IP ネットワーク上のすべてのホスト (ワークステーションまたはノード) に各ネットワーク インタフェース向けの固有の IP アドレスが必要です。このアドレスは、そのネットワーク上にあるネットワークと特定のホストの両方を識別するために使用されます。ホストは、プリンタの起動時 (DHCP および BOOTP を使用するなど) にサーバに IP アドレスを問い合わせます。

IP アドレスには 4 バイトの情報が含まれ、それぞれ 1 バイトを含むセクションに分かれています。IP アドレスには、以下のフォーマットがあります。

xxx.xxx.xxx.xxx

△ **注意：** IP アドレスを割り当てる場合は、必ず IP アドレス管理者に相談してください。誤ったアドレスを設定すると、ネットワーク上で動作する他の装置が動作しなくなったり、通信が妨げられたりする場合があります。

IP パラメータの設定

TCP/IP 設定パラメータは手動で設定でき、またプリンタの電源を入れるたびに DHCP または BOOTP を使用して、自動的にダウンロードできます。

電源を入れたときに、ネットワークから有効な IP アドレスを取得できない新しいプリンタには、自動的にデフォルトの IP アドレスが割り当てられます。プリンタの IP アドレスは、プリンタの設定ページとネットワーク レポートに載っています。188 ページの 「情報ページ」 を参照してください。

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

DHCP により、デバイスのグループで DHCP サーバにより維持される IP アドレスのセットを使用できます。プリンタがサーバに要求を送信し、IP アドレスを使用できる場合は、サーバはその IP アドレスをプリンタに割り当てます。

BOOTP

BOOTP は、ネットワーク サーバから設定パラメータとホスト情報をダウンロードするために使われるブートストラップ プロトコルです。

クライアントは、プリンタのハードウェア アドレスを含むブート要求パケットを送信します。サーバは、プリンタが設定に必要とするブート応答パケットを送り返します。

サブネット

特定のネットワーク クラスの IP ネットワーク アドレスがある組織に割り当てられている場合、その場所には複数のネットワークは装備されていません。ローカルのネットワーク管理者は、サブネットを使用して、ネットワークを複数の異なるサブネットワークにパーティション分割します。ネットワークをサブネットに分割すると、パフォーマンスが向上し、限られたネットワーク アドレス空間をより有効に使用できる場合があります。

サブネット マスク

サブネット マスクは、1 つの IP ネットワークを複数の異なるサブネットワークに分割するために使用されるメカニズムです。特定のネットワーク クラスでは、IP アドレスの通常はノードの識別に使われる部分がサブネットワークの識別に使われます。各 IP アドレスにサブネットワークに使われる部分とノードの識別に使われる部分を指定するサブネット マスクが適用されます。

ゲートウェイ

ゲートウェイ (ルーター) はネットワーク同士を接続するために使われます。ゲートウェイとは、同じ通信プロトコル、データ フォーマット、構造、言語、アーキテクチャを使用しないシステム間の変換機の役割を果たすデバイスのことです。ゲートウェイはデータ パケットを再パッケージして、宛先のシステムに合うように構文を変更します。ネットワークがサブネットに分割される場合、ゲートウェイは 1 つのサブネットを別のサブネットに接続する必要があります。

デフォルト ゲートウェイ

デフォルト ゲートウェイとは、ネットワーク間でパケットを移動させるゲートウェイまたはルーターの IP アドレスのことです。

複数のゲートウェイまたはルーターが存在する場合、デフォルトのゲートウェイは通常 1 番目、または最も近いゲートウェイまたはルーターのアドレスです。ゲートウェイまたはルーターが存在しない場合は、デフォルトのゲートウェイは、通常、ネットワーク ノード (ワークステーションやプリンタなど) の IP アドレスになります。

TCP/IPv4 パラメータの設定

ネットワークで DHCP、BOOTP、RARP などによる自動 IP アドレス指定が行われない場合は、ネットワーク経由で印刷するために、次のパラメータを手動で入力しなければならない場合があります。

- IP アドレス (4 バイト)
- サブネット マスク (4 バイト)
- デフォルト ゲートウェイ (4 バイト)

IP アドレスの入力または変更

デバイスの現在の IP アドレスを確認するには、コントロール パネルのホーム画面で [ネットワーク アドレス] を選択します。

次の手順で IP アドレスを手動で変更します。

1. スクロールして [管理] を選択します。
2. スクロールして [初期セットアップ] を選択します。
3. [ネットワークおよび I/O] を選択します。
4. [内蔵 Jetdirect] を選択します。
5. [TCP/IP] を選択します。
6. [IPV4 設定] を選択します。
7. [設定方法] を選択します。
8. [手動] を選択します。
9. [保存] を選択します。
10. [手動設定] を選択します。
11. [IP アドレス] を選択します。
12. [IP アドレス] テキスト ボックスを選択します。
13. タッチスクリーンのキーパッドを使用して、IP アドレスを入力します。
14. [OK] を選択します。
15. [保存] を選択します。

サブネット マスクの設定

1. スクロールして [管理] を選択します。
2. スクロールして [初期セットアップ] を選択します。
3. [ネットワークおよび I/O] を選択します。
4. [内蔵 Jetdirect] を選択します。
5. [TCP/IP] を選択します。

6. [IPV4 設定] を選択します。
7. [設定方法] を選択します。
8. [手動] を選択します。
9. [保存] を選択します。
10. [手動設定] を選択します。
11. [サブネット マスク] を選択します。
12. [サブネット マスク] テキスト ボックスを選択します。
13. タッチスクリーンのキーパッドを使用して、サブネット マスクを入力します。
14. [OK] を選択します。
15. [保存] を選択します。

デフォルト ゲートウェイの設定

1. スクロールして [管理] を選択します。
2. スクロールして [初期セットアップ] を選択します。
3. [ネットワークおよび I/O] を選択します。
4. [内蔵 Jetdirect] を選択します。
5. [TCP/IP] を選択します。
6. [IPV4 設定] を選択します。
7. [設定方法] を選択します。
8. [手動] を選択します。
9. [保存] を選択します。
10. [手動設定] を選択します。
11. [デフォルト ゲートウェイ] を選択します。
12. [デフォルト ゲートウェイ] テキスト ボックスを選択します。
13. タッチスクリーンのキーパッドを使用して、デフォルト ゲートウェイを入力します。
14. [OK] を選択します。
15. [保存] を選択します。

TCP/IPv6 パラメータの設定

TCP/IPv6 ネットワーク用にデバイスを設定する方法については、『*HP Jetdirect プリント サーバ管理者ガイド*』を参照してください。

ネットワーク ユーティリティ

ネットワークに接続したプリンタを簡単に監視・管理できるユーティリティが付属しています。

- HP Web Jetadmin： 71 ページの 「HP Web Jetadmin」を参照してください。
- 内蔵 Web サーバ： 71 ページの 「内蔵 Web サーバ」を参照してください。
- HP Easy Printer Care Software (HP 簡易プリンタ管理ソフトウェア)： 71 ページの 「HP Easy Printer Care」を参照してください。

その他のコンポーネントおよびユーティリティ

Windows	Macintosh OS
● ソフトウェア インストーラ - 印刷システムのインストールを自動化します。 ● オンライン Web 登録	● HP Printer ユーティリティ：デバイス設定の変更、ステータスの表示、Mac からのプリンタのイベント通知のセットアップなどを行います。このユーティリティは、Mac OS X V10.2 以降に対応しています。

7 用紙と印刷メディア

用紙および印刷メディアの使用について

本製品は、本ユーザー ガイドのガイドラインに従う場合に限り、さまざまな用紙や印刷メディアをサポートしています。本ガイドラインに従って用紙または印刷メディアを使用しないと、次のような問題が発生する場合があります。

- 印刷画質が低い
- 紙詰まりの回数が増える
- 耐用期間が経過する前に製品が損耗し、修理が必要になる

最良の印刷結果が得られるよう、レーザージェットまたマルチユース用に製造された HP ブランドの用紙および印刷メディアのみを使用してください。インクジェット プリンタ用に製造された用紙または印刷メディアは使用しないでください。HP では、他のブランドのメディアの画質を制御できないため、使用を推奨できません。

用紙が本ユーザ ガイドの全ガイドラインに適合していたとしても、十分な印刷結果が得られない場合があります。これは、不適切な操作、耐用温度または湿度レベル外での使用など、HP が管理できない環境下で使用したことが原因であると考えられます。

△ **注意：** HP の規格に適合しない用紙または印刷メディアを使用した場合、本製品に問題が発生し、修理が必要になる場合があります。このような条件下で発生した修理は、HP の保証またはサービス契約の適用外となります。

サポートされている用紙および印刷メディアのサイズ

注記： 最良の印刷結果を得るために、印刷前に、適切な用紙のサイズとタイプをプリント ドライバで選択します。

表 7-1 サポートされる用紙と印刷メディアのサイズ

サイズ	寸法	トレイ 1	トレイ 2	トレイ 3、4、5
レター	216 x 279mm	✓	✓[1]	✓[1]
レター (回転)	279 x 216mm	✓	✓[1]	✓[1]
リーガル	216 x 356mm	✓	✓[1]	✓[1]
A4	210 x 297mm	✓	✓[1]	✓[1]
A4 (回転)	297 x 210mm	✓	✓[1]	✓[1]
エグゼクティブ	184 x 267mm	✓	✓[1]	✓[1]
ステートメント	139.7 x 215.9mm	✓		
8.5 x 13	216 x 330mm	✓	✓	✓
A3	297 x 420mm	✓	✓[1]	✓[1]
A5	148 x 210mm	✓	✓[1]	✓[1]
A6	105 x 148mm	✓		
11 x 17	279 x 432mm	✓	✓[1]	✓[1]
12 x 18	305 x 457mm	✓		✓
B4 (JIS)	257 x 364mm	✓	✓[1]	✓[1]
RA3	305 x 430mm	✓		✓
SRA3	320 x 450mm	✓		✓
B5 (JIS)	182 x 257mm	✓	✓[1]	✓[1]
8k	270 x 390mm	✓	✓	✓
16k	195 x 270mm	✓	✓	✓
ユーザー定義	98.55 x 139.70mm ～ 320 x 457.2mm[3]	✓		
ユーザー定義	148 x 210mm ～ 297 x 432mm[2]		✓	
ユーザー定義	148 x 210mm ～ 320 x 457.2mm			✓

[1] トレイにセットされた用紙サイズは自動的に検出されます。

[2] トレイ 2 のカスタム範囲内の標準サイズ： 8.5 x 13、RA4、SRA4、8K (270 x 390)、16K (195 x 270)

[3] トレイ 3、4、および 5 のカスタム範囲内の標準サイズ： 8.5 x 13、RA4、SRA4、8K (270 x 390)、16K (195 x 270)、RA3、SRA3、および 12 x 18

表 7-2 サポートされる封筒およびはがき

サイズ	寸法	トレイ 1	トレイ 2、3、4、5
封筒 #9	98 x 225mm	✓	

表 7-2 サポートされる封筒およびはがき (続き)

サイズ	寸法	トレイ 1	トレイ 2、3、4、5
封筒 #10	105 x 241mm	✓	
封筒 DL	110 x 220mm	✓	
封筒 C5	162 x 229mm	✓	
封筒 B5	176 x 250mm	✓	
C6 封筒	162 x 114mm	✓	
封筒 Monarch	98 x 191mm	✓	
倍サイズはがき	148 x 200mm	✓	
インデックスカード (US)	102 x 152mm および 127 x 203mm	✓	

[1] 重さが 160g/m² を超えると正常に動作しなくなる可能性がありますが、プリンタが損傷することはありません。

オプションの HP 3 ビン ステイプラ/スタッカと HP ブックレット メーカー/フィニッシャの各アクセサリでは、次の用紙サイズを使用できます。

表 7-3 オプションの HP 3 ビン ステイプラ/スタッカと HP ブックレット メーカー/フィニッシャ で使用可能な用紙と印刷メディアのサイズ

サイズ	寸法	スタッキング [2]	斜めにステイプル (左上)	斜めにステイプル (右上)	2 箇所をステイプル (上端または脇)	折り畳み	中綴じ
レター	216 x 279mm	✓	✓	✓	✓		
レター (回転)	279 x 216mm	✓	✓	✓		✓[1]	✓[1]
リーガル	216 x 356mm	✓	✓	✓		✓[1]	✓[1]
A4	210 x 297mm	✓	✓	✓	✓		
A4 (回転)	297 x 210mm	✓	✓	✓		✓[1]	✓[1]
エグゼクティブ	184 x 267mm	✓					
8.5 x 13	216 x 330mm	✓					
A3	297 x 420mm	✓	✓	✓	✓	✓[1]	✓[1]
A5	148 x 210mm	✓					
A6	105 x 148mm	✓					
ステートメント	140 x 216mm	✓					
11 x 17 (タブロイド版)	279 x 432mm	✓	✓	✓	✓	✓[1]	✓[1]
12 x 18	305 x 457mm	✓					
B4 (JIS)	257 x 364mm	✓	✓	✓	✓	✓[1]	✓[1]
RA3	305 x 430mm	✓					
SRA3	320 x 450mm	✓					
JIS B5	257 x 182mm	✓					
B6 (JIS)	128 x 182mm	✓					

表 7-3 オプションの HP 3 ビン ステイプラ/スタッカと HP ブックレット メーカー/フィニッシャ で使用可能な用紙と印刷メディアのサイズ (続き)

サイズ	寸法	スタッキング[2]	斜めにステイプル (左上)	斜めにステイプル (右上)	2 箇所をステイプル (上端または脇)	折り畳み	中綴じ
8K	270 x 390mm	✓					
16K	195 x 270mm	✓					
封筒 #9	98.4 x 225.4mm	✓					
封筒 #10	104.77 x 241.3mm	✓					
DL 封筒	110 x 220mm	✓					
C5 封筒	162 x 229mm	✓					
B5 封筒	176 x 250mm	✓					
C6 封筒	114 x 162mm	✓					
Monarch 封筒	98.42 x 190.5mm	✓					
倍サイズはがき	148 x 200mm	✓					
4 x 6 インデックスカード	102 x 152mm	✓					
5 x 8 インデックスカード	127 x 203mm	✓					
カスタム サイズ	98.55 x 139.70mm ~ 320 x 457.2mm						

[1] ブックレット メーカーのみ

[2] 積み重ねでは、ステイプラ/スタッカのビン 1、2、3 またはブックレット メーカーのビン 1、2 を使用します。

サポート対象の用紙タイプ

表 7-4 トレイ 1 で使用可能な用紙

種類	仕様	枚数	ドライバ設定	用紙の向き
用紙と厚紙 (標準サイズ)	範囲： 60g/m² ボンド紙～220g/m² ボンド紙	積み重ね可能な高さ：10mm 75g/m² ボンド紙 100 枚に相当	普通紙または指定なし	プレプリント紙または穴あき用紙の場合、印刷面を下向きにし、用紙の上端をトレイの奥側に向けるかまたはプリンタの背面に向けてセット
封筒	60g/m² ボンド～ 90g/m² ボンド未満	最大 10 枚	封筒	短辺を先に、フラップをプリンタの正面に向けて、印刷面を上向きにセット
ラベル紙	厚さ 0.23mm 以下	積み重ね可能な高さ：10mm	ラベル紙	印刷面を下向きにセット
OHP フィルム	厚さ 0.13mm 以上	積み重ね可能な高さ：10mm	OHP フィルム	印刷面を下向きにセット
厚手	厚さ 0.13mm	積み重ね可能な高さ：10mm	薄手光沢紙、光沢紙、厚手光沢紙	印刷面を下向きにセット
光沢紙	範囲： 75g/m² ボンド紙～220g/m² ボンド紙	積み重ね可能な高さ：10mm	薄手光沢紙、光沢紙、厚手光沢紙	印刷面を下向きにセット
フォト用紙	60g/m² ボンド紙～220g/m² ボンド紙	積み重ね可能な高さ：10mm		印刷面を下向きにセット
カット紙	60g/m² ボンド紙～220g/m² ボンド紙	積み重ね可能な高さ：10mm		印刷面を下向きにセット
耐久紙	60g/m² ボンド紙～220g/m² ボンド紙	積み重ね可能な高さ：10mm		印刷面を下向きにセット

表 7-5 トレイ 2、3、4、5 で使用可能な用紙

種類	仕様	枚数	設定	用紙の向き
用紙と厚紙 (標準サイズ)	範囲： 60g/m² ボンド紙～220g/m² ボンド紙	75g/m² ボンド紙 500 枚	普通紙または指定なし	印刷済み用紙または穴あき用紙の場合、印刷面を上向きにし、用紙の上端をトレイの手前側または右側に向けてセット
ラベル紙	厚さ 0.13mm 以下	積み重ね可能な高さ：54mm	ラベル紙	印刷面を上向きにセット
OHP フィルム	厚さ 0.13mm 以上	積み重ね可能な高さ：54mm	OHP フィルム	印刷面を上向きにセット
厚手	厚さ 0.13mm	積み重ね可能な高さ：54mm	薄手光沢紙、光沢紙、厚手光沢紙	印刷面を上向きにセット
光沢紙	75g/m² ボンド紙～220g/m² ボンド紙	積み重ね可能な高さ：54mm	薄手光沢紙、光沢紙、厚手光沢紙	印刷面を上向きにセット

表 7-5 トレイ 2、3、4、5 で使用可能な用紙 (続き)

種類	仕様	枚数	設定	用紙の向き
フォト用紙	60g/m^2 ボンド紙～ 220g/m^2 ボンド紙	積み重ね可能な高さ： 54mm	薄手光沢紙、光沢紙、厚手光沢紙	印刷面を上向きにセット
カット紙	60g/m^2 ボンド紙～ 220g/m^2 ボンド紙	積み重ね可能な高さ： 54mm	普通紙または指定なし	印刷面を上向きにセット
耐久紙	60g/m^2 ボンド紙～ 220g/m^2 ボンド紙	積み重ね可能な高さ： 54mm	HP 耐久紙	印刷面を上向きにセット

トレイ 2、3、4、5 の容量： 総容量は、高さ 54mm 以下または用紙 500 枚以下のいずれか少ない方とします。サポートされているメディア タイプは、カット紙、ラベル紙、OHT、光沢紙、光沢フィルム、フォト用紙、および耐久紙です。基本重量は、60 ～ 220g/m^2 です。

両面印刷： このプリンタでは、自動両面印刷することができます。自動両面印刷が可能な用紙サイズは、175 ～ 320mm x 210 ～ 457mm、 重量は 60 ～ 220g/m^2 です。

注記： HP カラー レーザー プレゼンテーション用紙 (光沢) (Q2546A) は、このプリンタではサポートされていません。このタイプの用紙を使用すると、フューザの紙詰まりが起き、フューザを取り替えなければならなくなる可能性があります。代わりに、HP カラー レーザージェット プレゼンテーション用紙 (ソフト光沢) (Q6541A) または HP カラー レーザージェット ブローシャ用紙 (光沢) (Q6611A、Q6610A) をご利用ください。

注記： このプリンタで使用できる HP ブランド用紙の一覧は、www.hp.com/sbso/product/supplies に掲載されています。

特殊な用紙または印刷メディアに関するガイドライン

本製品は特殊なメディアでの印刷をサポートしています。十分な印刷結果が得られるよう、次のガイドラインに従ってください。特殊な用紙または印刷メディアを使用する場合は、最良の印刷結果が得られるよう、必ずプリンタ ドライバでその種類とサイズを指定するようにしてください。

△ **注意：** HP LaserJet では、乾燥したトナーの粒子をきわめて正確な点として用紙に付着させるためにフューザを使用します。HP レーザー用紙は、このような高温状態に耐えられるように製造されています。この技術の使用を目的として製造されていないインクジェット用紙を使用すると、プリンタに障害が発生する場合があります。

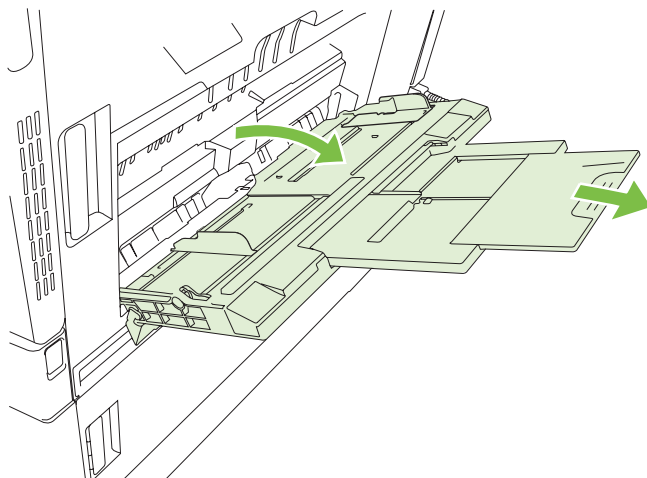
メディアの種類	推奨	禁止
封筒	● 封筒を平らな状態で保管。 ● 開口部が端まである封筒を使用。 ● レーザー プリンタでの使用が保証されている接着シールを使用。	● しわ、きざみ、接着部分、または損傷がある封筒を使用。 ● 留め金、スナップ、窓、またはコーティング加工済みの内張りがある封筒を使用。 ● 離型紙剥離タイプの接着剤などの合成素材を使用。
ラベル	● 裏張りが露出していないラベルのみを使用。 ● 平らになるラベルを使用。 ● ラベルのシート全体のみを使用。	● しわ、気泡、または損傷のあるラベルを使用。 ● ラベルのシートの一部を使用。
OHP フィルム	● レーザー プリンタでの使用が保証されている透明紙のみを使用。 ● 透明紙を製品から除去した後、平面上に置く。	● レーザー プリンタでの使用が保証されていない透明印刷メディアを使用。
レターヘッドまたは事前印刷用紙	● レーザー プリンタでの使用が保証されているレターヘッドまたは用紙のみを使用。	● 浮き彫りまたは金属加工が施されたレターヘッドを使用。
厚紙	● レーザー プリンタでの使用が保証され、本製品の重量規格に適合する厚紙のみを使用。	● 本製品での使用が許可されている HP レーザー紙を使用せず、本製品の推奨メディア規格より重い用紙を使用。
光沢紙またはコート紙	● レーザー プリンタでの使用が保証されている光沢紙またはコート紙のみを使用。	● インクジェット製品での使用を目的として製造された光沢紙またはコート紙を使用。

用紙および印刷メディアをセットする

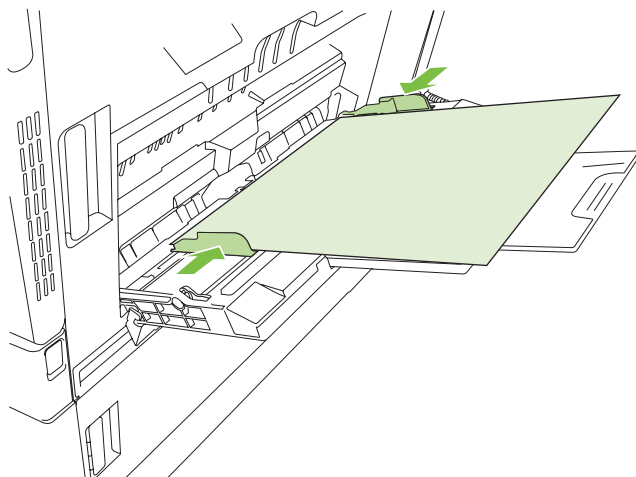
複数のトレイに異なるメディアをセットしておき、コントロール パネルを使用して、これらのメディアをサイズ別またはタイプ別に指定して使用できます。

トレイ 1 にセットする

△ **注意：** 紙詰まりを避けるために、印刷中はトレイ 1 に用紙を追加したり、トレイ 1 から用紙を取り除いたりしないでください。

1. トレイ 1 を開きます。

2. 両側のガイドを用紙サイズに合わせ、トレイ拡張部を引き出します。
3. 印刷面を下向きにし、用紙の上端 (封筒の場合は切手を貼る位置の反対側) をプリンタの背面に向けて、トレイにセットします。

注記： レター (回転) または A4 (回転) の用紙を使用する場合は、印刷面を下向きにし、用紙の下端をプリンタに向けてセットします。

4. 用紙がガイドのタブの下部に収まり、用紙レベル インジケータを越えていないことを確認します。
5. 両側のガイドを調整して、用紙がたわまない程度に軽く用紙に触れるようにします。

封筒に印刷する

使用するソフトウェアが封筒を自動的に設定しない場合は、ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバで印刷の向きを **[横]** に指定します。以下のガイドラインを使用して、市販の #10 または DL 封筒の差出人と宛先アドレスのマージンを設定します。

住所のタイプ	左マージン	上部マージン
差出人	15mm	15mm
排紙先	102mm	51mm

他のサイズの封筒を使用する場合は、封筒のサイズに合わせてマージンの設定を調整します。

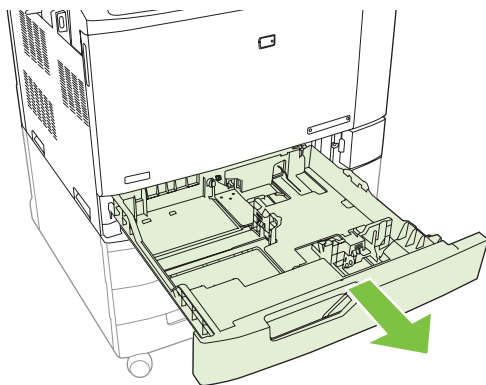
トレイ 2、3、4、5 にセットする

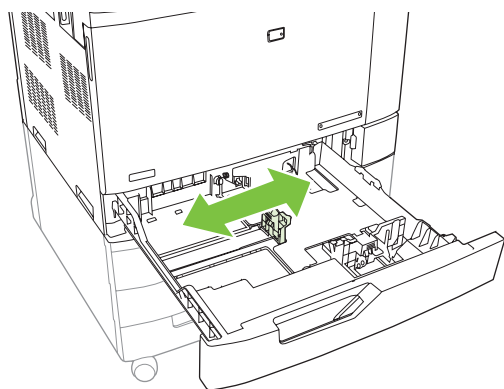
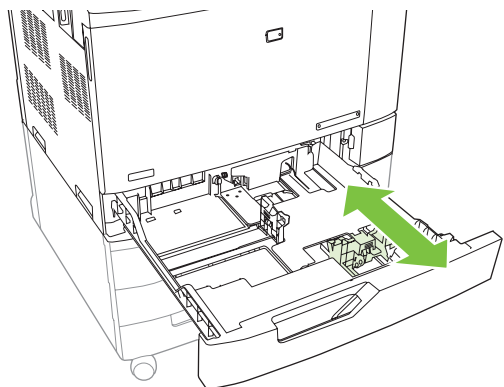
トレイ 2、3、4、5 には、標準的な用紙を最大 500 枚までセットできます。ラベル紙やその他の厚手の用紙は、高さ 54mm までセットできます。

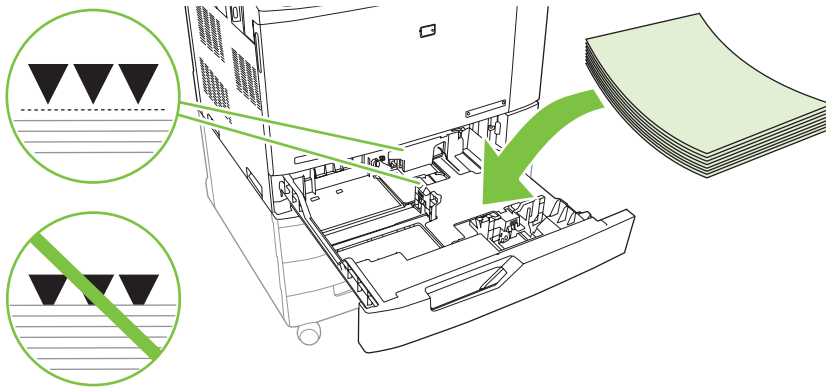
標準サイズのメディアをトレイ 2、3、4、5 にセットする

500 枚給紙トレイ内の標準サイズのメディアは自動的に検出されます。自動検出される用紙は、レター、レター (回転)、リーガル、エグゼクティブ、11x17、A3、A4、A4 (回転)、A5、B4 (JIS)、B5 (JIS) です。

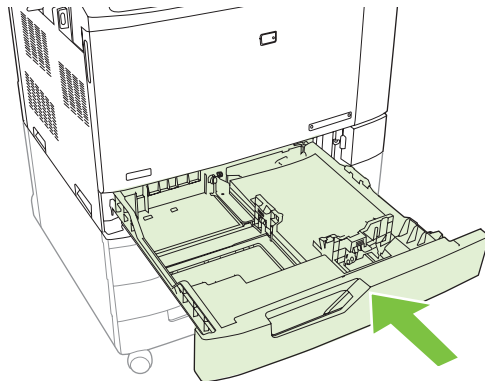
△ **注意：** 500 枚給紙トレイから、封筒やサポートされていないサイズの用紙を印刷しないでください。これらのタイプの用紙を印刷するには、トレイ 1 を使用してください。

1. プリンタからトレイを引き出します。

注記： プリンタの使用中に給紙トレイを開かないでください。紙詰まりを起こす可能性があります。

2. 横方向用紙ガイドの調整ラッチを摘まんでスライドさせて、使用する用紙のサイズに合わせます。

3. 縦方向用紙ガイドの調整ラッチを摘まんでスライドさせて、使用する用紙のサイズに合わせます。

4. 用紙を上向きにしてトレイにセットします。ガイドを調整して、用紙がたわまない程度に軽く用紙に触れるようにします。

注記： 給紙トレイに用紙を入れすぎないでください。紙詰まりの原因となります。用紙束の高さがトレイの上限線を超えないようにしてください。

注記： 最良の印刷を行うために、用紙束を分割しないで全部をトレイに給紙してください。用紙束を分割するとマルチフィードの問題を引き起こす可能性があります。用紙トレイに収容できる枚数は変わります。たとえば、75g/m^2 用紙を使用する場合、トレイは 500 枚の用紙束を完全にセットできます。メディアが厚手の場合、トレイに用紙束の全部をセットできない場合があります。トレイに用紙を入れすぎないでください。

注記： トレイが正しく調整されていない場合、エラー メッセージが表示されるか、メディアが紙詰まりする場合があります。

5. トレイを製品に押し込みます。コントロール パネルに、トレイにセットされたメディアのタイプとサイズが表示されます。設定が正しくない場合は、コントロール パネルの 変更 にタッチして、正しい設定を選択します。設定が正しい場合は、OK にタッチします。

検出できない標準サイズのメディアをトレイ 2、3、4、 5 にセットする

以下の検出できない標準サイズのメディアは、500 枚給紙トレイでサポートされます。

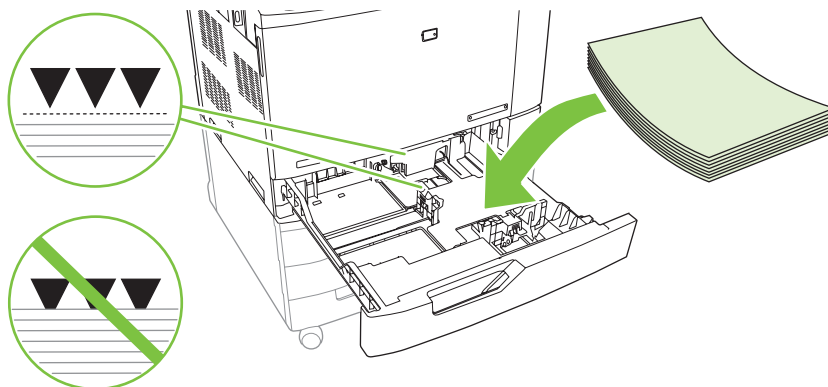
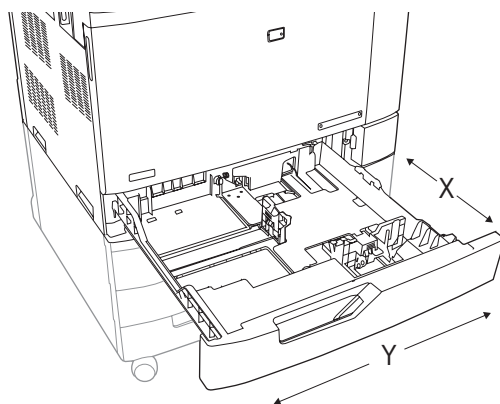
- エグゼクティブ (JIS) (8.5 x 13)
- 12 x 18 (トレイ 3、4、5 のみ)
- B4 (ISO)
- RA3 (トレイ 3、4、5 のみ)

- SRA3 (トレイ 3、4、5 のみ)
- B5 (ISO)

△ **注意：** 500 枚給紙トレイから、封筒やサポートされていないサイズの用紙を印刷しないでください。これらのタイプの用紙を印刷するには、トレイ 1 を使用してください。給紙トレイに用紙を入れすぎたり、使用中に開いたりしないでください。プリンタが紙詰まりを起こす可能性があります。

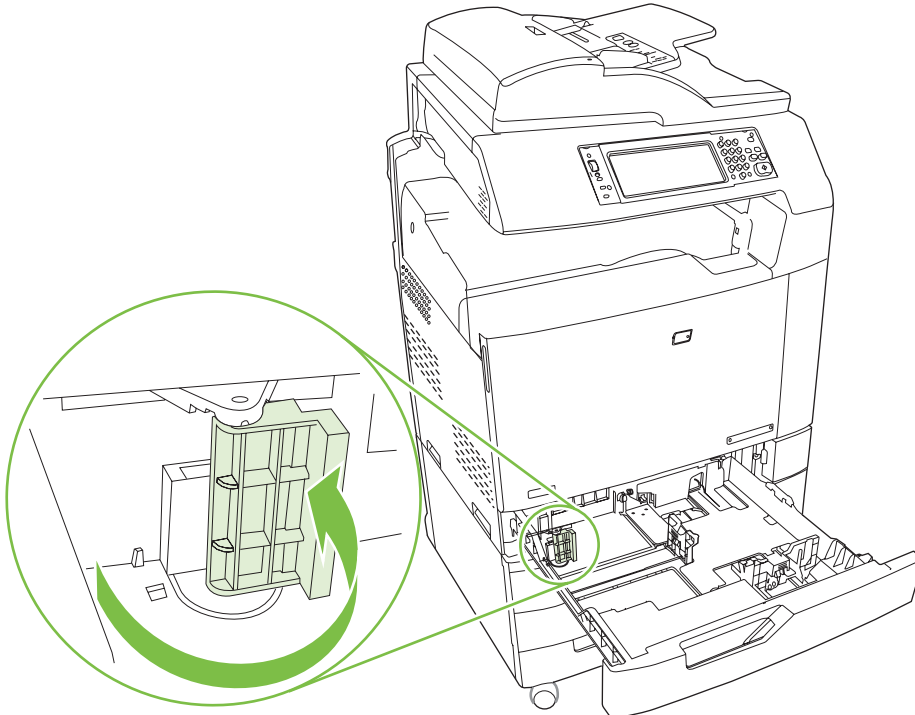
カスタム サイズのメディアをトレイ 2、3、4、5 にセットする

カスタム メディアを使用する場合は、コントロール パネルのサイズ設定を カスタム に変更して、計測単位、X の寸法、および Y の寸法を設定します。詳しくは、116 ページの 「印刷ジョブの設定に適合するようにトレイを設定する」 を参照してください。

1. トレイをプリンタから引き出します。
2. 「標準サイズの用紙をトレイ 2、3、4、5 にセットする」セクションの手順 2 ～ 4 の説明に従って、印刷メディアをセットします。次に、このセクションの手順 3 に進みます。

3. トレイを製品に押し込みます。コントロール パネルに、トレイにセットされた用紙のタイプとサイズが表示されます。特定のカスタム寸法を指定したり、タイプが正しくない場合は、コントロール パネルでサイズまたはタイプの変更を求めるプロンプトが表示されたときに 変更 にタッチします。

4. カスタム を選択し、カスタム用紙サイズの 計測単位、X の寸法 および Y の寸法 を選択します。
5. 用紙タイプを選択して、保存 にタッチします。
6. 設定が正しい場合は、保存 にタッチします。

大きいサイズの用紙をトレイ 3、4、5 にセットする

11x17、RA3、SRA3、12x18 の各サイズの用紙をトレイ 3、4、または 5 にセットする場合は、以下の手順に従います。

1. トレイ 3、4、または 5 を引き出します。
2. 横方向用紙ガイドの調整ラッチを摘まんでスライドさせて、使用する用紙のサイズに合わせます。
3. トレイに用紙をセットします。
4. 用紙のストップ レバーを、セットした用紙に適切な位置まで動かします。

   - SRA3 サイズの用紙の場合は、レバーを左いっぱいに回します。
   - A3 または 11x17 の各用紙の場合は、レバーを中央の位置まで回します。
   - RA3 または 12x18 の各用紙の場合は、レバーを右いっぱいに回します。

5. トレイを製品に押し込みます。コントロール パネルに、トレイにセットされた用紙のタイプとサイズが表示されます。設定が正しくない場合は、変更 にタッチして、トレイを正しいタイプとサイズに設定します。設定が正しい場合は、OK にタッチします。

レターヘッド、プレプリント紙、穴あき用紙をセットする

レターヘッド、プレプリント紙、穴あき用紙に正しく印刷またはコピーするには、用紙をトレイに正しくセットしていることを確認します。また、プリンタのコントロール パネルで イメージの回転 設定を調整する必要があります。イメージの回転 設定は、左から右 (デフォルト) または右から左へ読む言語用に調整するために使用します。

この機能の詳細については、プリンタに同梱のユーザー CD 『クイック リファレンス ジョブ エイド』を参照するか、www.hp.com/support/cljcm6030mfp/manuals または www.hp.com/support/cljcm6040mfp/manuals を参照してください。

イメージの回転設定の変更

1. コントロール パネルの [ホーム] 画面を下にスクロールして、管理 にタッチします。
2. 下にスクロールして、デバイス動作 にタッチします。
3. 下にスクロールして、トレイの設定 にタッチします。
4. 下にスクロールして、イメージの回転 にタッチします。
5. 正しい [イメージの回転] オプションにタッチします。デフォルト設定は、左から右 です。
6. OK にタッチします。

レターヘッド、プレプリント紙、穴あき用紙の正しい印刷の向きを選択する

下の表をレターヘッド、プレプリント紙、穴あき用紙のガイドとして使用してください。1 番目の表は、イメージの回転 が 左から右 (言語が左から右に読まれることを示す) に設定されている場合に用紙をセットする向きを示しています。2 番目の表は、イメージの回転 が 右から左 (言語が右から左に読まれることを示す) に設定されている場合に用紙をセットする向きを示しています。この表には、次の情報も示されています。

- 用紙タイプ : レターヘッド、プレプリント紙、穴あき用紙。
- 用紙トレイ : トレイ 1 または トレイ 2 ～ 5。
- イメージの回転 : 縦 (1) または横 (2)。

- 片面または両面印刷。

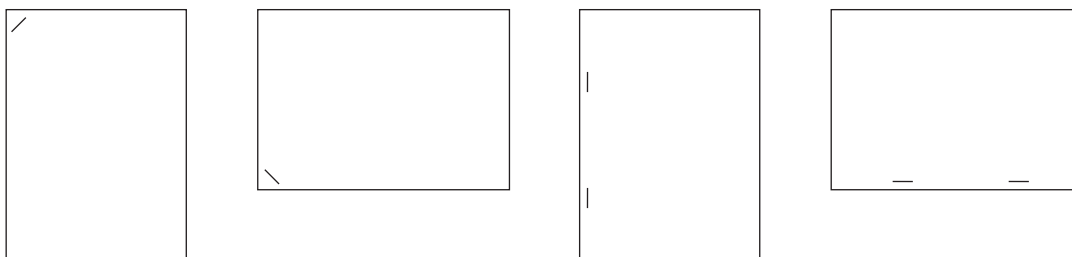
- ステイプル留め：印刷またはコピー ジョブをステイプル留めするには、オプションのステイプラ/スタッカまたはブックレット メーカー排紙アクセサリを取り付けておく必要があります。ステイプル位置は、左に 1 箇所 (左上隅に斜めに 1 箇所ステイプル留め)、または左に 2 箇所 (左の長辺に 2 箇所ステイプル留め) が可能です。ステイプル留めについて詳しくは、128 ページの「ステイプラの使用」を参照してください。

- 用紙の絵の矢印は、用紙をプリンタに給紙する方向を示しています。用紙の絵は、用紙を用紙トレイにセットする向きを示しています。デフォルトでは、用紙は横向きに給紙されるようにセットします。この場合に、最も効率よく印刷およびコピーができます。

表 7-6 レターヘッド、プレプリント紙、穴あき用紙のセット – イメージの回転 = 左から右

用紙の種類およびトレイ	印刷の向き	両面印刷モード	ステイプル位置オプション	横向きに給紙する場合のセットの仕方	縦向きに給紙する場合のセットの仕方
レターヘッドまたはプレプリント紙 - トレイ 1	縦	片面	左に 1 箇所、左に 2 箇所		
レターヘッドまたはプレプリント紙 - トレイ 1	縦	両面	左に 1 箇所、左に 2 箇所		
レターヘッドまたはプレプリント紙 - トレイ 1	横	片面	左に 1 箇所、左に 2 箇所		
レターヘッドまたはプレプリント紙 - トレイ 1	横	両面	左に 1 箇所、左に 2 箇所		
レターヘッドまたはプレプリント紙 - トレイ 2 ～ 5	縦	片面	左に 1 箇所、左に 2 箇所		

表 7-6 レターヘッド、プレプリント紙、穴あき用紙のセット – イメージの回転 = 左から右 (続き)

用紙の種類およびトレイ	印刷の向き	両面印刷モード	ステイプル位置オプション	横向きに給紙する場合のセットの仕方	縦向きに給紙する場合のセットの仕方
レターヘッドまたはプレプリント紙 - トレイ 2 ～ 5	縦	両面	左に 1 箇所、左に 2 箇所	HP Las	HP Las
レターヘッドまたはプレプリント紙 - トレイ 2 ～ 5	横	片面	左に 1 箇所、左に 2 箇所	HP Laserjet	HP Laserjet
レターヘッドまたはプレプリント紙 - トレイ 2 ～ 5	横	両面	左に 1 箇所、左に 2 箇所	HP La	HP La
穴あき用紙 - トレイ 1	縦	片面または両面	左に 1 箇所、左に 2 箇所		
穴あき用紙 - トレイ 1	横	片面または両面	左に 1 箇所、左に 2 箇所		
穴あき用紙 - トレイ 2 ～ 5	縦	片面または両面	左に 1 箇所、左に 2 箇所		
穴あき用紙 - トレイ 2 ～ 5	横	片面または両面	左に 1 箇所、左に 2 箇所		

表 7-7 レターヘッド、プレプリント紙、穴あき用紙のセット − イメージの回転 = 右から左

用紙タイプおよびトレイ	印刷の向き	両面印刷モード	ステイプル位置オプション	横向きに給紙する場合のセットの仕方	縦向きに給紙する場合のセットの仕方
レターヘッドまたはプレプリント紙 - トレイ 1	縦	片面	右に 1 箇所、右に 2 箇所	HP Las	HP Las
レターヘッドまたはプレプリント紙 - トレイ 1	横	両面	右に 1 箇所、右に 2 箇所	HP Laserjet	HP Laserjet
レターヘッドまたはプレプリント紙 - トレイ 2 ～ 5	縦	両面	右に 1 箇所、右に 2 箇所	HP Las	HP Las
レターヘッドまたはプレプリント紙 - トレイ 2 ～ 5	横	片面	右に 1 箇所、右に 2 箇所	HP Laserjet	HP Laserjet
穴あき用紙 - トレイ 1	縦	片面または両面	右に 1 箇所、右に 2 箇所		
穴あき用紙 - トレイ 1	横	片面または両面	右に 1 箇所、右に 2 箇所		
穴あき用紙 - トレイ 2 ～ 5	縦	片面または両面	右に 1 箇所、右に 2 箇所		
穴あき用紙 - トレイ 2 ～ 5	横	片面または両面	右に 1 箇所、右に 2 箇所		

注記： この機能の詳細については、プリンタに同梱のユーザー CD 『ジョブ エイド』を参照するか、www.hp.com/support/cljcm6030mfp/manuals または www.hp.com/support/cljcm6040mfp/manuals を参照してください。

トレイを設定する

以下の場合は、トレイの用紙タイプとサイズの設定を求めるメッセージが自動的に表示されます。

- トレイに用紙をセットしたとき
- プリンタ ドライバまたはソフトウェア プログラムを使用して、印刷ジョブのために特定のトレイまたはメディア タイプを指定した場合で、そのトレイの設定が印刷ジョブの設定に適合していない場合

コントロール パネルに、**トレイ <x> [タイプ] [サイズ]。サイズまたはタイプを変更するには [変更] にタッチしてください。受け入れるには [OK] にタッチしてください。** というメッセージが表示されます。

注記： **任意カスタム** または **任意のタイプ** に設定したトレイ 1 から印刷する場合は、このメッセージは表示されません。

注記： これまでの HP LaserJet プリンタには、トレイ 1 を **[最初]** または **[カセット]** のいずれかのモードに設定できるモデルがありました。HP Color LaserJet CM6040 シリーズでは、トレイ 1 のサイズを 任意カスタム に設定することが、**最初** モードに相当します。トレイ 1 を **任意カスタム** 以外に設定することは、**[カセット]** モードに相当します。

用紙をセットするときにトレイを設定する

1. トレイに用紙をセットします。トレイ 2、3、4、または 5 を使用している場合は、トレイを閉めます。
2. トレイ設定メッセージが表示されます。
3. OK にタッチして検出されたサイズおよびタイプを受け入れるか、変更 にタッチして、別のサイズまたはタイプを選択します。
4. 正しいサイズとタイプを選択して、OK にタッチします。

注記： トレイ 2、3、4、5 にセットされた用紙サイズは、通常、自動的に検出されます。

印刷ジョブの設定に適合するようにトレイを設定する

1. ソフトウェア プログラムで、ソース トレイ、用紙サイズ、および用紙タイプを指定します。
2. プリンタに印刷ジョブを送信します。

   トレイを設定する必要がある場合は、**トレイ x に <タイプ> <サイズ> をセット** というメッセージが表示されます。
3. 指定されたタイプとサイズの用紙をトレイにセットし、トレイを閉めます。

   カスタム サイズを指定するには、変更 にタッチします。
4. **トレイ <x> サイズ=<サイズ>** メッセージが表示されたら、OK にタッチして、サイズを確認します。
5. **トレイ<x> タイプ=<タイプ>** メッセージが表示されたら、OK にタッチしてタイプを確認し、ジョブを続行します。

自動メディア タイプ感知 (自動感知モード)

自動メディア タイプ感知センサーは、トレイが 任意のタイプ または普通紙に設定されている場合にのみ機能します。トレイをボンド紙や光沢紙などの別の種類用に設定すると、トレイのメディア センサーが無効になります。

HP Color LaserJet CM6030/CM6040 MFP シリーズ では、用紙タイプが次のいずれかのカテゴリに自動的に分類されます。

- 標準
- OHP フィルム
- 光沢紙
- 超厚手光沢
- 光沢フィルム
- 厚手

印刷ジョブまたはトレイで用紙タイプを詳細設定することもできます。

自動感知設定

フル感知 (トレイ 1 のデフォルト)

- 薄手の用紙、普通紙、厚手の用紙、光沢紙、耐久紙、および OHP フィルムが認識されます。
- 印刷ジョブを開始するたびに、最初のページで停止してタイプを感知します。
- これは最も低速のモードです。

拡張感知 (トレイ 2、3、4、および 5 のデフォルト)

- 印刷ジョブを開始するたびに、最初のページで停止してタイプを感知します。
- 2 ページ以降には最初のページと同じメディア タイプが使用されているものと見なされます。
- これは 2 番目に高速のモードであり、同じメディア タイプの用紙を使用する場合に適しています。

OHP フィルムのみ

- メディアが OHP フィルム (OHP フィルム モード) と紙 (通常モード) のどちらであるかが識別されます。この識別のために、印刷処理がいったん停止することはありません。
- これは、最高速モードであり、標準モードで大量印刷する場合に適しています。

これらのオプションの設定方法については、50 ページの 「[印刷品質] メニュー」を参照してください。

ソース、タイプ、またはサイズ別に用紙を選択する

Microsoft Windows オペレーティング システムでは、3 種類の設定が、印刷ジョブの送信時にプリンタ ドライバがメディアを引き出す方法に影響します。大部分のソフトウェア プログラムで、*ソース*、*タイプ*、および *サイズ* の設定が **[ページ設定]**、**[印刷]**、または **[印刷のプロパティ]** ダイアログ

ボックスに表示されます。これらの設定を変更しない限り、デフォルト設定に基づいて自動的にトレイが選択されます。

ソース

*ソース*を指定すると、特定のトレイから印刷されます。指定したトレイにセットされている用紙のタイプやサイズが印刷ジョブに適していない場合は、そのジョブに適したタイプまたはサイズの用紙をセットするようにメッセージが表示されます。トレイに適切な用紙をセットすると、自動的に印刷が開始します。

タイプおよびサイズ

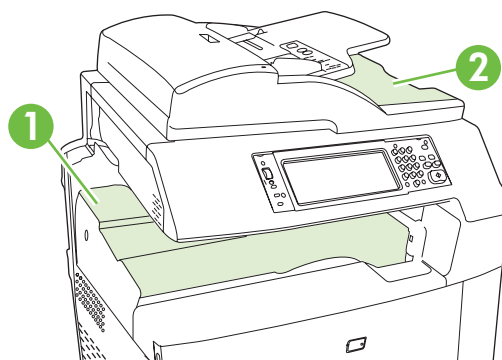
*タイプ*または*サイズ*を指定して印刷すると、指定したタイプやサイズのメディアがセットされているトレイから印刷が行われます。ソースを選択する代わりにタイプを指定してメディアを選択することはトレイをロックしてしまうようなものなので、これにより特殊用紙が誤って使用されてしまうことを防げます。たとえば、普通紙を選択した場合、レターヘッドがセットされているトレイからは印刷されず、 普通紙がセット・設定されたトレイから印刷されます。タイプとサイズ別にメディアを選択すると、厚手の用紙、光沢紙、および OHP フィルムの印刷品質が大幅に向上します。間違った設定を使用すると、満足な印刷品質が得られないことがあります。ラベル紙や OHP フィルムルなどの特殊な印刷メディアの場合は、必ず タイプ を指定して印刷してください。封筒はサイズ別に印刷してください (可能な場合)。

- タイプまたはサイズ別に印刷するには、**[ページ設定]** ダイアログ ボックス、**[印刷]** ダイアログ ボックス、または **[印刷のプロパティ]** ダイアログ ボックスからタイプまたはサイズを選択します (どのダイアログ ボックスを使用するかは、ソフトウェア プログラムにより異なる場合があります)。

- 特定のタイプまたはサイズのメディアで頻繁に印刷する場合は、適当なトレイをそのタイプまたはサイズに設定しておきます。そうすれば、印刷時にそのタイプまたはサイズを選択すると、自動的に該当トレイから印刷されます。

排紙先の選択

標準排紙ビン

このプリンタには、ADF 排紙ビンと標準排紙ビンが装備されています。

1	標準排紙ビン
2	ADF 排紙ビン (コピー原稿用)

ADF を使用して文書をスキャンまたはコピーする場合は、原稿が自動的に ADF 排紙ビンに送られます。スキャナのガラスからコピーする場合は、標準排紙ビン、ステイプラ/スタッカの排紙ビン、または 3 ビン メールボックスに送られます。

印刷ジョブをコンピュータからプリンタに送る場合、ジョブは標準排紙ビンまたはステイプラ/スタッカまたは 3 ビン メールボックス上の排紙ビンに出力されます。

オプションの排紙アクセサリ

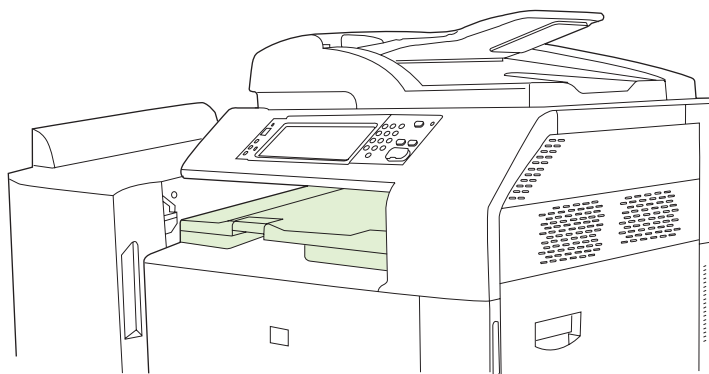
オプションの 3 ビン ステイプラ/スタッカまたはブックレット メーカー フィニッシャ アクセサリをこのプリンタに取り付けることができます。オプションの排紙ビンを取り付ける場合は、その排紙ビンに排紙するために、排紙アクセサリ ブリッジもプリンタの上部に取り付けます。

3 ビン ステイプラ/スタッカの機能

表 7-8 3 ビン ステイプラ/スタッカの機能

ジョブのオフセット	複数部数を印刷したときに、排紙ビン内で各部がずらされて配置されます。(サポート対象の用紙サイズ： A3、A4、A4 (回転)、A5、B4、B5、タブロイド版、リーガル、レター、レター (回転)、ステートメント)
3 種類の動作モード	メールボックス モードでは、各ビンがユーザーまたはユーザー グループに割り当てられます。スタッカ モードでは、3 つの排紙ビンすべてに排紙されます (1 つの排紙ビンがいっぱいになったら、次のビンに排紙されます)。ファンクション セパレータ モードでは、コピーはビン 1、ファックスはビン 2、印刷ジョブはビン 3 に排紙されます。
ステイプラ	内蔵のステイプラでは、サポート対象サイズの用紙を最大 50 枚ステイプル留めできます。また最大 30 部まで、ステイプル留めした束を作成できます。前方/後方を 1 箇所留めるか、脇/上端を 2 箇所留めることができます。
大容量排紙ビン	スタッカには、 100 枚、500 枚、および 1000 枚用の 3 種類のビンが備わっています。

ブックレット メーカー/フィニッシャの機能

表 7-9 ブックレット メーカー/フィニッシャの機能

ブックレットの作成	2 ～ 15 ページの印刷ジョブをステイプル留めして折り畳み、ブックレットを作成します。
折り畳み	1 ページの印刷ジョブは、自動的にページの中央で折り畳まれます。
ジョブのオフセット	複数部数を印刷したときに、排紙ビン内で各部がずらされて配置されます。(サポート対象の用紙サイズ： A3、A4、A4 (回転)、A5、B4、B5、タブロイド版、リーガル、レター、レター (回転)、ステートメント)
2 つの動作モード	メールボックス モードでは、各ビンがユーザーまたはユーザー グループに割り当てられます。スタッカ モードでは、両方の排紙ビンに排紙されます (上部の排紙ビンがいっぱいになったら、次のビンに排紙されます)。
ステイプラ	内蔵のステイプラでは、サポート対象サイズの用紙を最大 50 枚ステイプル留めできます。また最大 30 部まで、ステイプル留めした束を作成できます。前方/後方を 1 箇所留めるか、脇/上端を 2 箇所留めることができます。
大容量排紙ビン	スタッカには、 1000 枚用ビンが 2 つと、中綴じブックレットを最大 25 部収容できるビンが 1 つ備わっています。

アクセサリの各部の名称

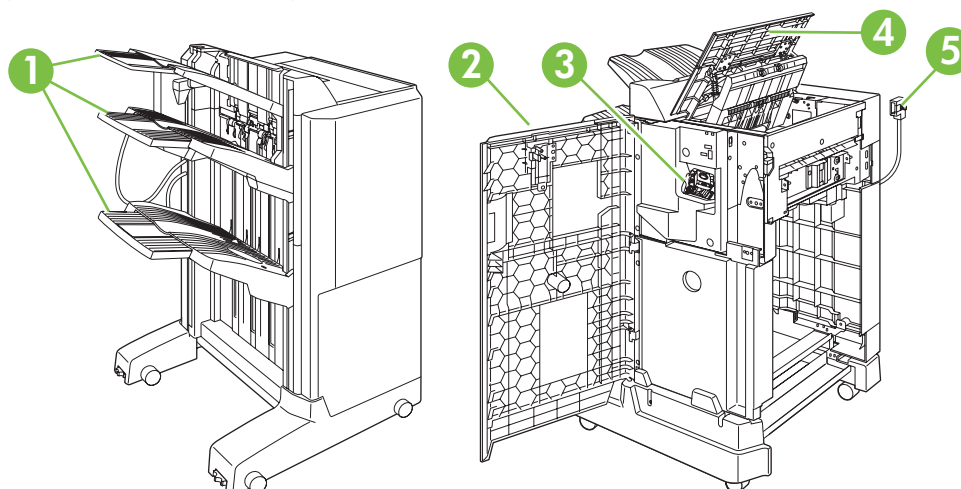
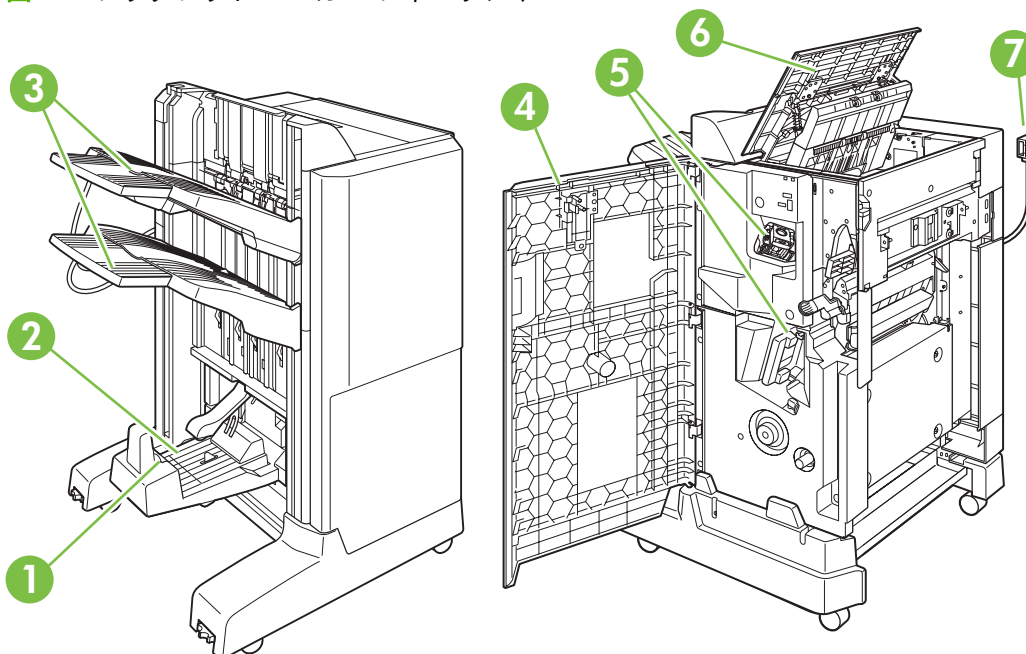
図 7-1 3 ビン ステイプラ/スタッカ

1	排紙ビン
2	正面ドア
3	ステイプラ ユニット
4	上部カバー
5	接続ケーブル

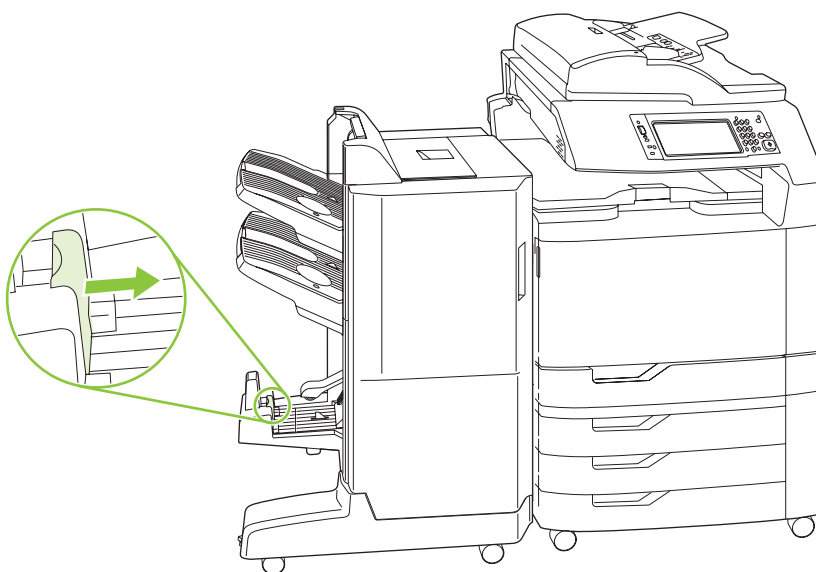
図 7-2 ブックレット メーカー/フィニッシャ

1	ブックレット ビン ガイド
2	ブックレット排紙ビン

3	積み重ね用排紙ビン
4	正面ドア
5	ステイプラ ユニット
6	上部カバー
7	接続ケーブル

ブックレット作成機能を使用する

プリント ドライバから、または元の文書をコピーすることによって、ブックレットを作成できます。

ブックレットを作成する前に、ブックレット ビン ガイドを使用する用紙のサイズ用に設定します。

- クローズ： 11x17、リーガル、A3、または B4
- オープン： レター (回転)、A4 (回転)

プリント ドライバからブックレットを作成する

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. HP Color LaserJet CM6030 または CM6040 MFP を選択します。
3. **[プロパティ]** をクリックして、**[ブックレット印刷]** をクリックします。
4. **[給紙方法]**、**[用紙サイズ]**、**[用紙タイプ]**、**[印刷の向き]**、**[ブックレット レイアウト]**、**[文書を印刷する用紙]**、および **[ステイプル]** 設定を設定して、**[OK]** をクリックします。
5. **[OK]** をクリックして、印刷します。

コピーからブックレットを作成する

自動文書フィーダ (ADF) からコピーするか、文書をスキャナのガラス板に置いて、文書をコピーすることができます。

1. コントロール パネルから コピー にタッチします。
2. スクロールして、ブックレット形式 にタッチします。
3. ブックレット オン にタッチします。
4. 片面原稿/両面原稿 で 片面 または 両面 にタッチします。
5. OK にタッチして、スタート にタッチします。

アクセサリの動作モードを設定する

コントロール パネルで動作モードを選択する

ステイプラ/スタッカまたはブックレット メーカーの動作モードをコントロール パネルで設定できます。

1. コントロール パネルで、管理 にタッチして、次に デバイス動作 にタッチします。
2. MBM 3 ビン ステイプラ または マルチファンクションフィニッシャ にタッチします。
3. 動作モード にタッチし、使用する動作モードを選択します。
   - メールボックス モードでは、各ビンがユーザーまたはユーザー グループに割り当てられま-す。印刷ジョブを送信すると、そのユーザーに割り当てられたビンに排紙されます。
   - スタッカ モードでは、オプションの 3 ビン ステイプラ/スタッカが取り付けられている場合は、3 つのビンが 1 つのビンのように動作します。1 つのビンがいっぱいになると、ジョブが自動的に次のビンに排紙されます。ブックレット メーカー フィニッシャが取り付けられている場合は、2 つの上部ビンが 1 つのビンのように動作し、3 つ目のビンがブックレット処理に使用されます。
   - ファンクション セパレータ (3 ビン ステイプラ/スタッカのみ) モードでは、各ビンが特定の種類のジョブに割り当てられます。通常、この排紙先はビン 1 がコピー、ビン 2 がファックス、ビン 3 が印刷用となります。この設定は、コピー、ファックス、および印刷の [デフォルト ジョブ オプション] メニューで変更できます。

注記： 排紙ビンをユーザーまたはユーザー グループに割り当てるには、内蔵 Web サーバを使用してください。詳しくは、193 ページの 「内蔵 Web サーバ」 を参照してください。

プリンタ ドライバで動作モードを選択する

1. **[スタート]** ボタンをクリックし、**[設定]** をポイントとして、**[プリンタ]** (Windows 2000 の場合) または **[プリンタと FAX]** (Windows XP の場合) をクリックします。

   Vista コンピュータから **[スタート]** をクリックし、**[コントロール パネル]** をクリックし、次に **[ハードウェアおよびサウンド]** のカテゴリで **[プリンタ]** をクリックします。
2. HP 製品のアイコンを右クリックし、**[プロパティ]** または **[印刷設定]** をクリックします。
3. **[デバイスの設定]** タブをクリックします。
4. 以下の操作のいずれかを実行します。

自動設定の場合、**[インストール可能オプション]** で、**[自動設定]** リスト内の **[今すぐ更新]** をクリックします。

または

手動設定の場合、**[インストール可能オプション]** で、**[アクセサリ排紙ビン]** リスト内の該当する動作モードを選択します。

5. **[適用]** をクリックして設定を保存します。

プリンタ ドライバ (Mac OS X) の動作モードを選択する

1. **[Apple]** メニューで、**[システム環境設定]** をクリックします。
2. **[システム環境設定]** ボックスで、**[プリントとファックス]** をクリックします。
3. **[プリンタの設定]** をクリックします。**[プリンタリスト]** が表示されます。
4. HP 製品を選択し、**[プリンタ]** メニューから **[情報を見る]** をクリックします。
5. **[インストール可能オプション]** パネルを選択します。
6. **[アクセサリ排紙ビン]** リストから、アクセサリを選択します。
7. **[メールボックス モード]** リストで、該当する動作モードを選択し、**[変更の適用]** をクリックします。

8　製品機能の使用

エコノミー設定

スリープとスリープ復帰

スリープ遅延の設定

スリープ遅延機能を使用して、プリンタが使用されずにスリープ モードに入るまでの時間を選択します。デフォルトは 1 時間です。

1. スクロールして [管理] を選択します。
2. [時刻/スケジューリング] を選択します。
3. [スリープ遅延] を選択します。
4. 設定するスリープ遅延設定にタッチして、保存 にタッチします。

スリープ復帰時刻を設定します。

毎日設定した時間にプリンタをスリープから復帰させるには、スリープ復帰時刻機能を使用します。

1. スクロールして [管理] を選択します。
2. [時刻/スケジューリング] を選択します。
3. [スリープ復帰時刻] を選択します。
4. スリープ復帰時刻を指定する曜日を選択します。
5. [カスタム] を選択します。
6. [保存] を選択します。
7. 該当するオプションを選択して、適切な時、分、および午前/午後の設定を指定します。
8. 毎日同じ時刻にプリンタをスリープから復帰させる場合は、**すべての日に適用** 画面で はい にタッチします。各曜日ごとに時刻を設定する場合は、いいえ にタッチして、それぞれの曜日で手順を繰り返します。

スリープ時刻を設定する

スリープ時刻機能を使用して、毎日設定した時刻にスリープ モードに入るようにプリンタをプログラムします。

1. スクロールして、管理 にタッチします。
2. 時刻/スケジューリング にタッチします。
3. スリープ時刻 にタッチします。
4. スリープ時刻を設定する曜日にタッチします。
5. カスタム にタッチします。
6. 保存 にタッチします。

7. 該当するオプションにタッチして、正しい時間、分、および午前/午後を設定します。

8. 毎日同じ時刻にプリンタがスリープ モードに入るようにする場合は、**すべての日に適用** 画面で はい にタッチします。各曜日ごとに時刻を設定する場合は、いいえ にタッチして、それぞれの曜日で手順を繰り返します。

EWS を使用してエコノミー モードの設定を行う

1. Web ブラウザから EWS を開きます。193 ページの 「内蔵 Web サーバ」を参照してください。

2. **[設定]**、**[スリープ復帰時刻]** の順に選択します。

3. スリープ モードから復帰する時間を曜日ごとに設定します。

4. プリンタのスリープ モードを有効にします。

5. **[適用]** をクリックします。

ステイプラの使用

自動的にステイプル留めするには、HP 3 ビン ステイプラ/スタッカ (CC517A) または HP ブックレット メーカー/フィニッシャ (CC516A) のいずれかのオプション アクセサリが必要です。

左上または右上を斜めに留めるか、上端を 2 箇所留めるか、左右いずれかの脇を 2 箇所留めることができます。

- 60 ～ 220g/m^2 (16 ～ 148 ポンド) の重量の用紙をサポートしています。厚手の用紙の場合、ステイプル留めできる枚数が 50 枚以下になることがあります。
- オプションのステイプラ/スタッカでは、75g/m^2 (20 ポンド) の用紙を最大 50 枚ステイプル留めできます。積み重ね可能な最大枚数は、用紙 1000 枚、またはステイプル留めした束 30 部です。
- オプションのブックレット メーカーでは、75g/m^2 (20 ポンド) の用紙を最大 50 枚ステイプル留めできます。最大 15 枚をステイプル留めして折り畳み、ブックレットを作成することもできます。積み重ね可能な最大枚数は、用紙 1000 枚、ステイプル留めした束 30 部、または中綴じブックレット 25 部です。
- 印刷ジョブが 1 枚に収まる場合、または 50 枚を超える場合は、ビンに排紙されますが、ステイプル留めされません。
- ステイプラは、用紙のみをサポートしています。封筒、OHP フィルム、ラベル紙など、その他のタイプの印刷メディアをステイプル留めしないでください。

注記： レターヘッド、プレプリント紙、および穴あき用紙のセット方法について詳しくは、110 ページの 「レターヘッド、プレプリント紙、穴あき用紙をセットする」を参照してください。

文書をステイプル留めするか折り畳む場合は、ソフトウェアで適切なオプションを選択します。通常、ステイプラはプログラムまたはプリンタ ドライバで選択できますが、オプションによってはプリンタ ドライバでしか選択できないものもあります。選択する場所と方法は、使用しているプログラムまたはプリンタ ドライバによって異なります。

プログラムまたはプリンタ ドライバでステイプラやブックレット メーカー フィニッシャを選択できない場合は、プリンタのコントロール パネルで選択します。

ステイプラは、ステイプラの針が入っていない場合も印刷ジョブを受け付けますが、ページをステイプル留めしません。ステイプラ カートリッジが空になったら印刷を停止するようにプリンタを設定することができます。

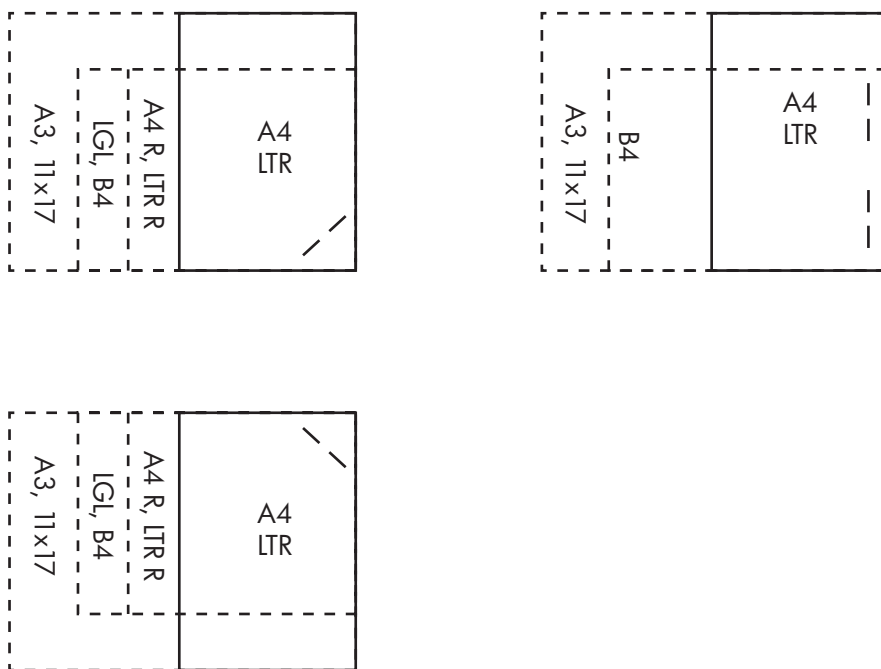
ステイプル留め可能な用紙サイズ

用紙をステイプル留めするために、サポートされているサイズの用紙を正しい向きにセットしてください。

用紙の角のステイプル留めがサポートされているのは、A4、A4 (回転)、レター、レター (回転)、リーガル、A3、11x17、B4 (JIS) です。

上端または両脇の 2 箇所のステイプル留めがサポートされているのは、A4、レター、A3、11x17、B4 (JIS) です。

中綴じブックレットがサポートされているのは、A4 (回転)、レター (回転)、リーガル、A3、11x17、B4 (JIS) です。

また、下の図に示すように、用紙は正しい向きで用紙トレイにセットする必要があります。

用紙サイズや方向が不適切な場合は、印刷は実行されますが、ステイプル留めされません。

注記： レターヘッド、プレプリント紙、および穴あき用紙への印刷またはコピー ジョブのセットおよびステイプル留めについて詳しくは、120 ページの 「3 ビン ステイプラ/スタッカの機能」を参照してください。

ステイプル留め

注記： ステイプル留めできるジョブ数の上限については、120 ページの 「3 ビン ステイプラ/スタッカの機能」を参照してください。

コントロール パネルでの印刷ジョブのステイプラの選択

1. 管理 にタッチし、デバイス動作 にタッチします。
2. MBM 3 ビン ステイプラ または マルチファンクションフィニッシャ にタッチします。
3. ステイプル にタッチします。
4. 使用するオプションにタッチします (左に 1 箇所、斜め、右に 1 箇所、斜め、左に 2 箇所、右に 2 箇所、および 上に 2 箇所)。

注記： プリンタのコントロール パネルでステイプラを選択すると、デフォルトの設定が変わります。すべての印刷ジョブをステイプル留めできますが、プリンタ ドライバで変更した設定は、コントロール パネルで変更された設定よりも優先されます。

プリンタ ドライバでの印刷ジョブのステイプラの選択 (Windows)

注記： 以下の手順を実行すると、すべての印刷ジョブのステイプル留めのデフォルト設定が変更されます。

1. プリンタ ドライバを開きます。69 ページの 「プリンタ ドライバ設定の変更 (Windows)」を参照してください。
2. **[排紙]** タブで、**[ステイプル]** の下のドロップダウン リストをクリックして、ステイプル オプションを選択します。

プリンタ ドライバでの印刷ジョブのステイプラの選択 (Mac)

プリンタ ドライバで新しいプリセットを作成してステイプラを選択します。

1. プリンタ ドライバを開きます。77 ページの 「プリンタ ドライバ設定の変更 (Macintoss)」を参照してください。
2. 新しいプリセットを作成します。

ステイプル カートリッジが空の場合にデバイスを停止または続行するかどうかの設定

ステイプル カートリッジが空の場合に、印刷を停止するか、ステイプル留めせずに印刷を継続するかを指定できます。

1. 管理 にタッチし、デバイス動作 にタッチします。
2. MBM 3 ビン ステイプラ または マルチファンクションフィニッシャ にタッチします。
3. ステイプラの針なし にタッチします。
4. 使用するオプションにタッチします。
   - ステイプル カートリッジが交換されるまですべての印刷を停止する場合は、停止 を選択します。
   - ステイプル留めせずに印刷ジョブを継続する場合は、継続 を選択します。

印刷ジョブのジョブ保存機能

ジョブを印刷せずにプリンタのハード ディスクに保存しておくことができます。その後、コントロール パネルからいつでもジョブを印刷できます。印刷ジョブで次のジョブ保存機能を使用できます。

- **試し刷り後のジョブ保留**。すばやく簡単にジョブを 1 部試し刷りし、その後で必要な部数を印刷できます。
- **パーソナル ジョブ**：デバイスにプライベート ジョブを送信した場合、PIN を入力するまでジョブは印刷されません。
- **クイック コピー ジョブ**。ジョブを必要な部数だけ印刷して、ジョブのコピーをプリンタのハード ディスクに保存できます。ジョブを保存すれば、後で追加の部数を印刷できます。
- **保存ジョブ**。人員記録ファイル、タイム シート、カレンダーなどのジョブをプリンタに保存すれば、他の人がいつでも印刷できます。保存ジョブを PIN で保護することもできます。

コンピュータからジョブ保存機能を使用するには、このセクションの手順に従ってください。作成するジョブ タイプに該当するセクションを参照してください。

△ 注意： プリンタの電源を切ると、クイック コピー、試し刷り後の保留ジョブ、およびパーソナル ジョブのすべてが削除されます。

ジョブ保存機能にアクセスする

Windows の場合

1. **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. **[プロパティ]** をクリックし、**[ジョブ保存]** タブをクリックします。
3. 使用するジョブ保存モードを選択します。

Macintosh の場合

新しいドライバの場合、 **[印刷]** ダイアログ ボックスのプルダウン メニューで **[ジョブ保存]** を選択します。古いドライバの場合、**[プリンタ固有のオプション]** を選択します。

試し刷り後の保留機能の使用

試し刷り後の保留機能を使用して、すばやく簡単にジョブを 1 部試し刷りして、その後で必要な部数を印刷できます。

ジョブを永久に保存し、空き容量が必要になった場合でも削除されないようにするには、ドライバで **[保存ジョブ]** オプションを選択します。

試し刷り後に保留ジョブの作成

△ 注意： 新しい試し刷り後に保留ジョブを保存する容量がデバイスに足りない場合、一番古い試し刷り後に保留ジョブから削除されます。ジョブを永久的に保存して、容量が足りなくなったときに削除されないようにするには、ドライバで **[試し刷り後に保留]** オプションではなく **[保存ジョブ]** オプションを選択します。

ドライバの **[試し刷り後に保留]** オプションを選択し、ユーザー名とジョブ名を入力します。

試し刷りとしてジョブが 1 部印刷されます。

試し刷り後に保留ジョブの残りの部数を印刷する

ハード ディスクに保存されているジョブの残りの部数を印刷するには、デバイスのコントロール パネルで以下の手順で操作します。

1. ホーム画面の ジョブ保存 にタッチします。
2. 取得 タブにタッチします。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 印刷するジョブまでスクロールしてタッチします。
5. 数字キーパッドで、印刷する部数を設定します。
6. 保存ジョブの取得 にタッチして、文書を印刷します。

試し刷り後に保留ジョブの削除

試し刷り後に保留ジョブを送信すると、古い試し刷り後に保留ジョブは自動的に削除されます。

1. ホーム画面の ジョブ保存 にタッチします。
2. 取得 タブにタッチします。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 削除するジョブまでスクロールしてタッチします。
5. 削除 にタッチします。
6. はい にタッチします。

パーソナル ジョブ機能の使用

個人ジョブ機能を使用すると、プリンタからの印刷を保留することができます。ジョブはいったんプリンタに保存され、プリンタのコントロール パネルから印刷を実行するまで印刷されません。印刷が終わったジョブは、プリンタから自動的に削除されます。個人ジョブは、4 桁の個人識別番号 (PIN) を付けて保存することも、付けないで保存することもできますが、 他のユーザーが印刷できないようにするには、PIN を使用してください。

パーソナル ジョブの印刷

ジョブをプリンタに送った後に、コントロール パネルで個人ジョブを印刷できます。

1. ホーム画面の [ジョブ保存] にタッチします。
2. [取得] タブにタッチします。
3. パーソナル ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 印刷するパーソナル ジョブまでスクロールしてタッチします。
5. PIN が必要な場合は、PIN フィールドにタッチします。
6. 数値キーパッドを使用して、PIN を入力し、次に OK にタッチします。
7. 印刷する部数を変更するには、数字キーパッドで部数を入力してください。
8. 保存ジョブの取得 にタッチして、文書を印刷します。

パーソナル ジョブの削除

パーソナル ジョブの印刷が完了すると、デバイスのハード ディスクから自動的に削除されます。プライベート ジョブを印刷しないで削除するには、次の手順で操作します。

1. ホーム画面の [ジョブ保存] にタッチします。
2. [取得] タブにタッチします。
3. パーソナル ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 削除するパーソナル ジョブまでスクロールしてタッチします。

注記： 個人ジョブは、横に鍵の記号 が付いています。

5. [PIN] フィールドにタッチします。
6. 数字キーパッドで PIN を入力し、[OK] にタッチします。
7. [削除] にタッチします。
8. はい にタッチします。

クイック コピー機能の使用

クイック コピー機能を使用して、ジョブを必要な部数だけ印刷して、コピーをプリンタのハード ディスクに保存できます。後でジョブの追加の部数を印刷することができます。この機能はプリンタ ドライバで無効にできます。

デフォルトでは、異なるクイック コピー ジョブを 32 までプリンタに保存できます。コントロール パネルでデフォルト値を変更できます。17 ページの 「[管理] メニューの操作」を参照してください。

クイック コピー ジョブの作成

△ **注意：** 新しいクイック コピー ジョブを保存する容量がデバイスに足りない場合、一番古いクイック コピー ジョブから削除されます。ジョブを永久的に保存して、容量が足りなくなったときに削除されないようにするには、ドライバで **[クイック コピー]** オプションではなく **[ジョブ保存]** オプションを選択します。

ドライバの **[クイック コピー]** オプションを選択し、ユーザー名とジョブ名を入力します。

印刷するジョブをデバイスに送信すると、ドライバに設定した部数が印刷されます。デバイスのコントロール パネルで多数のクイック コピーを印刷する方法については、134 ページの 「クイック コピー ジョブの部数を追加して印刷する」を参照してください。

クイック コピー ジョブの部数を追加して印刷する

この手順では、コントロール パネルで、デバイスのハード ディスクに保存されたジョブの追加の部数を印刷する方法を説明します。

1. ホーム画面の ジョブ保存 にタッチします。
2. 取得 タブにタッチします。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 印刷するジョブまでスクロールしてタッチします。
5. 印刷する部数を変更するには、数字キーパッドで部数を入力してください。
6. 保存ジョブの取得 にタッチして、文書を印刷します。

クイック コピー ジョブの削除

不要なクイック コピー ジョブはデバイスのコントロール パネルで削除します。新しいクイック コピー ジョブを保存する容量がデバイスに足りない場合、一番古いクイック コピー ジョブから自動的に削除されます。

注記： 保存されたクイック コピー ジョブは、コントロール パネルまたは HP Web Jetadmin で削除できます。

1. ホーム画面の ジョブ保存 にタッチします。
2. 取得タブにタッチします。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 削除するジョブまでスクロールしてタッチします。

5. 削除 にタッチします。
6. はい にタッチします。

コピー ジョブにジョブ保存機能を使用する

コントロール パネルで、保存したコピー ジョブを作成して、後で印刷することもできます。

コピー ジョブの保存

1. 文書を下向きにしてスキャナのガラス面にセットするか、上向きにして ADF にセットします。
2. [ホーム] 画面の ジョブ保存 にタッチします。
3. 作成 にタッチします。
4. ジョブ名を作成するには、新規ジョブ ボタンにタッチしてキーボードを開きます。
5. タッチ スクリーンのキーボードを使用してフォルダ名を入力します。
6. ドロップダウン メニューから、ジョブ名 を選択します。
7. タッチ スクリーンのキーボードを使用してジョブ名を入力します。
8. プライベート ジョブを保存する場合は、印刷用 PIN を選択します。ポップアップ ボックスに PIN を入力します。
9. OK にタッチします。
10. すべてのオプションを設定したら、スタート をタッチします。文書がスキャンされ、ファイルが保存されます。

ジョブの印刷方法については、136 ページの 「保存したジョブの印刷」を参照してください。

保存したジョブの印刷

コントロール パネルで、デバイスのハード ディスクに保存されているジョブを印刷できます。

1. [ホーム] 画面の ジョブ保存 をタッチします。
2. 取得 タブにタッチします。
3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。
4. 印刷する保存ジョブまでスクロールしてタッチします。
5. 保存ジョブの取得 にタッチして、文書を印刷します。
6. 印刷する部数を変更するには、数字キーパッドで部数を入力してください。
7. 保存ジョブの取得 にタッチして、文書を印刷します。

ファイルの横に鍵の記号 が付いている場合、それは個人ジョブなので PIN が必要です。133 ページの 「パーソナル ジョブ機能の使用」を参照してください。

保存ジョブの削除

デバイスのハード ディスクに保存したジョブは、コントロール パネルで削除できます。

1. ホーム画面の ジョブ保存 にタッチします。
2. 取得 タブにタッチします。

3. ジョブが保存されているジョブ保存フォルダまでスクロールしてタッチします。

4. 削除する保存ジョブまでスクロールしてタッチします。

5. 削除 にタッチします。

6. はい にタッチします。

ファイルの横に鍵の記号 🔒 が付いている場合、削除するには PIN が必要です。133 ページの 「パーソナル ジョブ機能の使用」を参照してください。

写真やマーケティング資料を印刷する

HP Color LaserJet CM6030 または HP Color LaserJet CM6040 を使用して、高品質のカラー写真やマーケティング資料、その他のカラー文書を光沢紙に印刷できます。最高の品質を得るためには、次の点に注意してください。

- 適切な用紙を選択する。
- 用紙トレイを正しく設定する。
- プリンタ ドライバを正しく設定する。

使用可能な光沢紙

HP 製の光沢紙	コード	サイズ	コントロール パネルとプリンタ ドライバの設定
HP カラー レーザー プレゼンテーション用紙 (ソフト光沢)	Q6541A	レター	**HP ソフト光沢紙 120g**
HP カラー レーザー プロフェッショナル用紙 (ソフト光沢)	Q6542A	A4	**HP ソフト光沢紙 120g**
HP カラー レーザー ブローシャ用紙 (光沢)	Q6611A、Q6610A	レター	**HP 光沢紙 160g**
HP カラー レーザー ハイグレード用紙 (光沢)	Q6616A	A4	**HP 光沢紙 160g**
HP カラーレーザーフォト用紙 (光沢)	Q6607A、Q6608A	レター	**HP 光沢紙 220g**
HP カラーレーザーフォト用紙 (光沢)	Q6614A	A4	**HP 光沢紙 220g**
HP カラー レーザー フォト用紙 (光沢、4x6)	Q8842A	101.6 x 152.4mm	**HP 光沢紙 220g**
HP カラー レーザー フォト用紙 (光沢、10 x 15cm)	Q8843A	101.6 x 152.4mm	**HP 光沢紙 220g**

△ **注意：** HP カラー レーザー プレゼンテーション用紙 (光沢) (Q2546A) は、このプリンタではサポートされていません。このタイプの用紙を使用すると、フューザの紙詰まりが起き、フューザを取り替えなければならなくなる可能性があります。代わりに、HP カラー レーザージェット プレゼンテーション用紙 (ソフト光沢) (Q6541A) または HP カラー レーザージェット ブローシャ用紙 (光沢) (Q6611A、Q6610A) をご利用ください。

用紙トレイを設定する

用紙トレイを適切な用紙タイプに設定します。

1. 用紙をトレイ 2、3、4、または 5 にセットします。
2. トレイを閉めると、用紙サイズとタイプの設定を促すメッセージがコントロール パネルに表示されます。
3. 適切なタイプとサイズが表示されたら、OK にタッチして検出されたサイズとタイプを受け入れるか、変更 にタッチして、別の用紙サイズとタイプを選択します。

4. 用紙サイズのプロンプトが表示されたら、適切なサイズにタッチして、次に 保存 にタッチします。

5. 用紙タイプのプロンプトが表示されたら、適切なタイプにタッチします。上記の表を参照して、適切な用紙タイプを選択してください。

ドライバを設定する

グラフィックス ソフトウェア プログラムから光沢紙に印刷するには、次の手順に従います。

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューから **[印刷]** を選択します。

2. HP Color LaserJet CM6030 または HP Color LaserJet CM6040 を選択し、**[プロパティ]** または **[印刷設定]** をクリックします。

3. 用紙タイプ ドロップダウン リストから、プリンタのコントロール パネルで設定したのと同じ用紙タイプを選択します。

4. **[OK]** をクリックして設定を保存し、**[OK]** をクリックして印刷します。印刷ジョブは、光沢紙用に設定されたトレイから自動的に印刷され、このタイプに最適な印刷品質が選択されます。

耐候性のある地図や屋外広告を印刷する

HP Color LaserJet CM6030 または HP Color LaserJet CM6040 で HP 耐久紙を使用すると、耐水性や耐候性を備えた地図や広告、レストランメニューなどを印刷できます。HP 耐久紙は、耐候性を備えた、にじまないサテン仕上げの用紙です。過酷な環境や天候にさらされても、豊かで鮮やかなカラーと鮮明度を保てます。これによって、普通紙に必要なラミネートにコストや手間をかけずに済みます。最高の品質を得るためには、次の点に注意してください。

- 適切な用紙を選択する。
- 用紙トレイを正しく設定する。
- プリンタ ドライバを正しく設定する。

使用可能な耐久紙

HP 用紙名	コード	サイズ	コントロール パネルとプリンタ ドライバの設定
HP レーザージェット耐久紙	Q1298A	レター	HP 耐久紙
HP レーザージェット耐久紙	Q1298B	A4	HP 耐久紙

用紙トレイを設定する

用紙トレイを適切な用紙タイプに設定します。

1. 用紙をトレイ 2、3、4、または 5 にセットします。
2. トレイを閉めると、用紙サイズとタイプの設定を促すメッセージがコントロール パネルに表示されます。
3. 適切なサイズが表示されたら、OK にタッチして検出されたサイズを受け入れるか、変更 にタッチして、別の用紙サイズとタイプを選択します。
4. 用紙サイズのプロンプトが表示されたら、適切なサイズにタッチして、次に 保存 にタッチします。用紙タイプのプロンプトが表示されたら、適切なタイプにタッチします。上記の表を参照して、適切な用紙タイプを選択してください。

ドライバを設定する

グラフィックス ソフトウェア プログラムから耐久紙に印刷するには、次の手順に従います。

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューから **[印刷]** を選択します。
2. HP Color LaserJet CM6030/CM6040 MFP シリーズ を選択し、**[プロパティ]** または **[印刷設定]** をクリックします。
3. **[用紙タイプ]** ドロップダウン リストから、プリンタのコントロール パネルで設定したのと同じ用紙タイプを選択します。
4. **[OK]** をクリックして設定を保存し、**[OK]** をクリックして印刷します。耐久紙用に設定したトレイから自動的に印刷されます。

両面印刷の位置合わせを設定する

パンフレットなど、両面印刷する場合は、印刷位置を揃えるために、印刷前にトレイの位置合わせを行います。

1. コントロール パネルから 管理 にタッチして、印刷品質 にタッチします。
2. 登録の設定 にタッチして、調整するトレイにタッチします。
3. テスト ページ にタッチして、印刷 にタッチします。
4. 印刷されるページ上の手順に従います。

9 印刷タスク

印刷ジョブのキャンセル

コントロール パネルまたはソフトウェア プログラムを使用して、印刷要求を停止できます。ネットワーク上のコンピュータから印刷要求を停止する方法については、特定のネットワーク ソフトウェアのオンライン ヘルプを参照してください。

注記： 印刷ジョブをキャンセルしてからすべての印刷が解除されるまでにはしばらく時間がかかります。

コントロール パネルから現在の印刷ジョブを停止する

▲ コントロール パネルで 停止 を押します。

ソフトウェア プログラムから現在の印刷ジョブを停止する

しばらくの間、印刷ジョブをキャンセルするためのオプションがあるダイアログ ボックスが画面に表示されます。

複数の印刷要求がユーザー自身のソフトウェアからデバイスに送信されている場合、要求は印刷キュー (Windows プリント マネージャなど) 内で待機状態になります。コンピュータから印刷要求をキャンセルする手順については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

印刷ジョブがプリント キュー (コンピュータのメモリ) またはプリント スプーラ (Windows) で待機中の場合、そこで印刷ジョブを削除します。

[スタート] をクリックし、**[設定]** をポイントして、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。デバイス アイコンをダブルクリックして、プリント スプーラを開きます。キャンセルする印刷ジョブを選択して、削除 を押します。印刷ジョブがキャンセルされない場合、コンピュータのシャット ダウンと再起動が必要になることがあります。ジョブがプリント スプーラにない場合は、コントロール パネルから [ジョブ ステータス] メニューを使用して、ジョブをキャンセルします。

Windows プリンタ ドライバでの機能の使用

プリンタ ドライバを開く

操作	手順
プリンタ ドライバを開く	ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。プリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。
印刷オプションの説明を表示する	プリンタ ドライバの右上にある **[?]** 記号をクリックしてから、プリンタ ドライバの任意の項目をクリックします。その項目に関する説明を示すポップアップ メッセージが表示されます。また、**[ヘルプ]** をクリックすると、オンライン ヘルプが開きます。

印刷機能のショートカットの使用

次の操作を行うには、プリンタ ドライバを開き、**[印刷機能のショートカット]** タブをクリックします。

注記： 旧バージョンの HP プリンタ ドライバでは、この機能は **[クイック設定]** と呼ばれていました。

操作	手順
印刷機能のショートカットを使用する	ショートカットを 1 つ選択し、**[OK]** をクリックして、事前定義されている設定でジョブを印刷します。
ユーザー定義の印刷機能のショートカットを作成する	a) 既存のショートカットを基準として選択します。b) 新しいショートカットの印刷オプションを選択します。c) **[別名で保存]** をクリックし、ショートカット名を入力し、**[OK]** をクリックします。

用紙と品質オプションを設定する

次の操作を行うには、プリンタ ドライバを開き、**[用紙/品質]** タブをクリックします。

操作	手順
用紙サイズを選択する	**[用紙サイズ]** ドロップダウン リストからサイズを選択します。
ユーザー定義の用紙サイズを選択する	a) **[ユーザー定義]** をクリックします。**[ユーザー定義用紙サイズ]** ダイアログ ボックスが開きます。b) ユーザー定義サイズの名前を入力し、寸法を指定し、**[OK]** をクリックします。
給紙方法を選択する	**[給紙方法]** ドロップダウン リストからトレイを選択します。
用紙の種類を選択する	**[用紙の種類]** ドロップダウン リストから種類を選択します。
異なる用紙に表紙を印刷する 最初または最後のページを異なる用紙に印刷します。	a) **[特殊ページ]** 領域で、**[表紙]** または **[異なる用紙にページを印刷]** をクリックし、**[設定]** をクリックします。b) オプションを選択し、白紙または印刷済みの表紙または裏表紙、あるいはその両方を印刷することを指定します。または、最初または最後のページを異なる用紙に印刷することを指定するオプションを選択します。c) **[給紙方法]** と **[用紙の種類]** の各

操作	手順
	ドロップダウン リストからオプションを選択し、**[追加]** をクリックします。d) **[OK]** をクリックします。
印刷する画像の解像度を調整する	**[印刷品質]** 領域で、最初のドロップダウン リストからオプションを選択します。各オプションについての詳細は、プリンタ ドライバのオンライン ヘルプを参照してください。

文書の効果の設定

次の操作を行うには、プリンタ ドライバを開き、**[効果]** タブをクリックします。

操作	手順
選択した用紙サイズに収まるようにページを拡大縮小する	**[文書を印刷する用紙(&D)]** をクリックし、ドロップダウン リストからサイズを選択します。
実際のサイズに対する割合を指定してページを拡大縮小する	**[% (元のサイズに対する比率)]** をクリックし、パーセントを入力するか、スライダ バーを調整します。
透かしを印刷する	a) **[透かし]** ドロップダウン リストから透かしを選択します。b) 透かしを最初のページだけに印刷するには、**[最初のページのみ]** をクリックします。このオプションを選択しなかった場合、透かしはすべてのページに印刷されます。
透かしを追加または編集する 注記： この機能を使用するには、プリンタ ドライバがコンピュータにインストールされている必要があります。	a) **[透かし]** 領域で **[編集]** をクリックします。**[透かしの詳細]** ダイアログ ボックスが開きます。b) 透かしの設定を指定し、**[OK]** をクリックします。

文書の仕上げオプションの設定

次の操作を行うには、プリンタ ドライバを開き、**[レイアウト]** タブをクリックします。

操作	手順
両面印刷を行う	**[両面印刷]** をクリックします。文書を上で綴じる場合は、**[上綴じ]** をクリックします。
ブックレットを印刷する	a) **[両面印刷]** をクリックします。b) **[ブックレット レイアウト]** ドロップダウン リストで、**[左綴じ]** または **[右綴じ]** をクリックします。**[1 枚の用紙に印刷するページ数]** オプションが自動的に **[2 ページ/1 枚]** に変わります。
1 枚の用紙に複数ページを印刷する	a) **[1 枚の用紙に印刷するページ数]** ドロップダウン リストから、用紙 1 枚あたりのページ数を選択します。b) **[ページ境界線]**、**[ページの順序]**、**[印刷の向き]** に適切なオプションを選択します。
ページの印刷の向きを選択する	a) **[印刷の向き]** 領域で、**[縦]** または **[横]** をクリックします。b) ページのイメージを上下逆に印刷するには、**[180° 回転]** をクリックします。

製品の排紙オプションの設定

次の操作を行うには、プリンタ ドライバを開き、**[排紙]** タブをクリックします。

注記： このタブで使用できるオプションは、使用している仕上げデバイスによって異なります。

操作	手順
ステイプル オプションを選択する	**[ステイプル]** ドロップダウン リストからステイプル オプションを選択します。
排紙ビンを選択する	**[ビン]** ドロップダウン リストから排紙ビンを選択します。

ジョブ保存オプションの設定

次の操作を行うには、プリンタ ドライバを開き、**[ジョブ保存]** タブをクリックします。

操作	手順
全部数を印刷する前に 1 部だけ試し刷りする	**[ジョブ保存モード]** 領域で、**[試し刷り後に保留]** をクリックします。1 部だけ印刷された後、 コントロールパネルに、残りの部数を印刷するかどうかを確認するメッセージが表示されます。
プライベート ジョブを製品内に一時的に保存して後で印刷する	a) **[ジョブ保存モード]** エリアで、**[個人ジョブ]** をクリックします。b) **[ジョブをプライベートに設定]** エリアで、4 桁の個人識別番号 (PIN) (オプション) を入力します。
ジョブを製品内に一時的に保存する 注記： 製品の電源を切ると、これらのジョブは削除されます。	**[ジョブ保存モード]** 領域で、**[クイックコピー]** をクリックします。ジョブが 1 部すぐに印刷され、その後コントロール パネルから追加の部数を印刷できます。
ジョブを製品内に永久的に保存する	**[ジョブ保存モード]** 領域で、**[保存ジョブ]** をクリックします。
永久的に保存したジョブをプライベートに設定して、印刷するには PIN が必要になるように設定する	a) **[ジョブ保存モード]** 領域で、**[保存ジョブ]** をクリックします。b) **[ジョブをプライベートに設定]** 領域で、**[印刷の PIN]** をクリックして 4 桁の個人識別番号 (PIN) を入力します。
ユーザーが保存ジョブを印刷したときに通知を受信する	**[ジョブ通知オプション]** 領域で、**[印刷時にジョブ ID を表示]** をクリックします。
保存ジョブにユーザー名を設定する	Windows のデフォルトのユーザー名を使用する場合は、**[ユーザー名]** 領域で **[ユーザー名]** をクリックします。別のユーザー名を設定する場合は、**[ユーザー定義]** をクリックして名前を入力します。
保存ジョブの名前を指定する	a) デフォルトのジョブ名を使用する場合は、**[ジョブ名]** 領域で **[自動]** をクリックします。ジョブ名を指定する場合は、**[ユーザー定義]** をクリックして名前を入力します。b) **[ジョブ名が存在する場合]** ドロップダウン リストからオプションを選択します。既存の名前に数字を追加する場合は、**[ジョブ名と 1 ～ 99 までの数値を使用する]** を選択します。同じ名前のジョブを上書きする場合は、**[既存のファイルを置換]** を選択します。

カラー オプションの設定

次の操作を行うには、プリンタ ドライバを開き、**[カラー]** タブをクリックします。

操作	手順
カラーの設定を手動で調整する	a) **[カラー オプション]** 領域で、**[手動]** をクリックし、**[設定]** をクリックします。b) エッジ コントロールの全般的な設定、またテキスト、グラフィックス、および写真の設定を調整できます。各オプションについての詳細は、ドライバのオンライン ヘルプを参照してください。
カラー印刷をオフにし、グレーの濃淡だけを使用する	**[カラー オプション]** 領域で、**[グレースケール]** をクリックします。
色のレンダリング方法を変更する	**[色域]** 領域で、ドロップダウン リストからオプションを選択します。各オプションについての詳細は、ドライバのオンライン ヘルプを参照してください。

サポートと製品のステータス情報の確認

次の操作を行うには、プリンタ ドライバを開き、**[サービス]** タブをクリックします。

操作	手順
製品に関するサポート情報を確認し、サプライ品をオンラインで注文する	**[インターネット サービス]** ドロップダウン リストでサポート オプションを選択し、**[Go!]** をクリックします。
サプライ品の残量を含む製品のステータスを確認する	**[デバイスおよびサプライ品のステータス]** アイコンをクリックします。HP 内蔵 Web サーバの **[デバイスのステータス]** ページが開きます。

詳細な印刷オプションの設定

次の操作を行うには、プリンタ ドライバを開き、**[詳細設定]** タブをクリックします。

操作	手順
詳細な印刷オプションを選択する	任意のセクションで現在の設定をクリックしてドロップダウン リストを表示し、設定を変更します。
印刷部数を変更する 注記： 使用しているソフトウェア プログラムに、部数を指定する機能がない場合は、ドライバで部数を変更できます。 この設定を変更すると、すべての印刷ジョブの部数が変更されます。ジョブの印刷が完了したら、この設定を元の値に戻してください。	**[用紙/排紙]** セクションを開き、印刷する部数を入力します。2 部以上を選択した場合は、ページの丁合いを行うオプションを選択できます。
カラー テキストをグレーの濃淡ではなく黒で印刷する	a) **[文書オプション]** セクションを開き、**[プリンタの機能]** セクションを開きます。b) **[テキスト全部を黒で印刷]** ドロップダウン リストで **[有効]** を選択します。
片面印刷か両面印刷かに関係なくすべてのジョブで同じようにレターヘッド用紙または印刷済み用紙をセットする	a) **[文書オプション]** セクションを開き、**[プリンタの機能]** セクションを開きます。b) **[代替レターヘッド モード]** ドロップダウン リストで **[オン]** を選択します。c) 製品で、両面印刷の場合と同じように用紙をセットします。
ページを印刷する順序を変更する	a) **[文書オプション]** セクションを開き、**[レイアウト オプション]** セクションを開きます。b) **[ページの順序]** ドロップダウン リストで、ページを文書と同じ順序で印刷するには **[前から後ろへ]** を、ページを逆の順序で印刷するには **[後ろから前へ]** を選択します。

10 カラーの使用

カラー管理

通常、カラー オプションを [自動] に設定すると、最も一般的な条件で印字品質が一番よくなります。ただし、ドキュメントによっては、カラー オプションを手動で設定した方が、より高い品質が得られる場合もあります。たとえば、多数の画像の入ったパンフレットやプリンタ ドライバのリストにない用紙で印刷する場合などがこれに相当します。

カラー設定を調整するには、プリンタ ドライバを使用します。詳しくは、Windows の場合は147 ページの 「カラー オプションの設定」を、Macintosh の場合は83 ページの 「カラー オプションの設定」を参照してください。

色の自動または手動の調整

[自動] カラー調整オプションは、文書の各エレメントに適用されるニュートラルなグレー処理、ハーフトーン、およびエッジ強調を最適化します。

注記： [自動] はデフォルト設定です。この設定は、ほとんどのカラー ドキュメントの印刷にお勧めします。

[手動] カラー調整では、テキスト、グラフィックス、写真に適用されるニュートラルなグレー処理、ハーフトーン、およびエッジ強調を調整できます。

手動カラー オプション

エッジ コントロール、ハーフトーン、およびグレー中間色のカラー オプションを手動で調整できます。

エッジ コントロール

[エッジ コントロール] 設定は、エッジのレンダリング方法を指定します。エッジ コントロールには、適合ハーフトーン設定、レゾリューション エンハンスメント テクノロジ (REt)、およびトラッピングという 3 つのコンポーネントがあります。適合ハーフトーン設定はエッジの鮮明度を上げます。トラッピングとは、隣接するオブジェクトのエッジをわずかに重ね合わせることによって、見当ずれを抑えることです。カラー REt オプションは、エッジを滑らかにします。

注記： オブジェクト間に空白がある、またはエッジにシアン、マゼンタ、イエローのわずかな影がある場合は、トラッピング レベルを上げるエッジ コントロール設定を選択します。

エッジ コントロールには次の 4 つのレベルがあります。

- **[最大]** は、最も強力なトラッピング設定です。適合ハーフトーン設定とカラー REt 設定はオンです。
- **[標準]** は、デフォルトのトラッピング設定です。トラッピングは中程度です。適合ハーフトーン設定とカラー REt 設定はオンです。
- **[薄め]** では最低レベルのトラッピングが設定されます。適合ハーフトーン設定とカラー REt 設定はオンです。
- **[オフ]** は、トラッピング、適合ハーフトーン設定、カラー REt をオフにします。

ハーフトーン オプション

ハーフトーン オプションは、カラー出力の解像度と鮮明度を制御します。テキスト、グラフィックス、写真のハーフトーン設定は個別に選択できます。ハーフトーン オプションには、**[スムーズ]** および **[詳細]** の 2 つがあります。

- **[スムーズ]** オプションは、塗りつぶされた領域が広範囲にわたっている場合に適しています。また、細かいカラー グラデーションを平滑化することによって写真の品質も高くなります。均一で滑らかな結果を優先する場合は、このオプションを選択してください。
- **[詳細]** オプションは、線や色を厳密に区別しなければならないテキストやグラフィックス、パターンが入った画像や細密な画像に適しています。鮮明なエッジおよび細部を優先する場合は、このオプションを選択してください。

注記： 一部のソフトウェア プログラムでは、テキストやグラフィックスをビットマップ イメージに変換します。このような場合に、写真用のカラー オプションを設定すると、テキストやグラフィックスにまで影響します。

グレー中間色

[グレー中間色] 設定は、テキスト、グラフィックス、および写真で使用するグレー中間色を生成するための方法を指定します。

[グレー中間色] 設定には 次の 2 つの値があります。

- **[黒のみ]** は、黒いトナーだけを使用して無彩色 (グレーと黒) を印刷します。これによって、カラー印刷でなく白黒印刷されます。
- **[4 色]** は、全色のトナーを組み合わせることによって無彩色 (グレーと黒) を生成します。この方法では、有彩色への変化がよりスムーズで、深みのある黒が生成されます。

グレースケールで印刷

[グレースケールでの印刷] を選択するか、プリンタ ドライバから **[グレースケールで印刷]** オプションを選択して、文書を白黒で印刷します。

カラーの使用制限

このプリンタには カラー制限 設定があります。ネットワーク管理者は、カラー トナーを節約するために、この設定を使用して、ユーザーのカラー印刷を制限することができます。カラー印刷ができない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

コントロール パネルからカラー印刷とカラー コピーを制限する

1. スクロールして、管理 にタッチし、次に 管理 にタッチします。
2. カラーの使用制限 にタッチします。
3. カラー印刷アクセス またはカラー コピー アクセス にタッチします。

4. 以下のオプションから 1 つ選択してください。
   - **カラー有効** (デフォルト)。すべてのユーザーに対してカラー印刷機能の使用を許可します。
   - **権限がある場合はカラーを使用**： ネットワーク管理者が、カラー印刷を許可するユーザーやアプリケーションを選択します。このためには、内蔵 Web サーバを使用します (カラー印刷アクセス のみ)。
   - **カラーを無効にする**： どのユーザーもカラー印刷機能を使えないようにします。
5. 保存 にタッチします。

カラーの使用の制限とレポート作成については、www.hp.com/go/coloraccess を参照してください。

RGB カラー (色域)

プリンタ ドライバから **[RGB カラー]** 設定を変更することができます。プリンタ ドライバへのアクセスについて詳しくは、147 ページの 「カラー オプションの設定」 (Windows) または83 ページの 「カラー オプションの設定」 (Macintosh) を参照してください。

[RGB カラー] 設定には、次の 5 つの値があります。

- ほとんどの印刷の用途で **[デフォルト (sRGB)]** を選択します。この設定では、プリンタは RGB カラーを sRGB として読み取ります。sRGB は Microsoft および World Wide Web Consortium (W3C) 認定の規格です。
- **[イメージの最適化 (sRGB)]** を選択すると、.GIF または .JPEG ファイルなどのビットマップ イメージを多く含む文書の印刷品質が向上します。この設定では、sRGB のビットマップ イメージのレンダリング用に最適のカラー マッチングが使用されます。この設定は、テキストやベクトル ベースのグラフィックスには影響しません。光沢紙でこの設定を使用すると、最良の結果が得られます。
- sRGB ではなく、*AdobeRGB* カラー スペースを使用する文書を印刷する場合は、**[AdobeRGB]** を選択します。たとえば、デジタルカメラの中には、AdobeRBG モードで撮影できるものがあります。また、Adobe PhotoShop で作成した文書は、AdobeRGB カラー スペースを使用します。AdobeRGB を使用するプロフェッショナル向けのソフトウェア プログラムから印刷する場合は、ソフトウェア プログラムでカラー マネージメントをオフにして、プリンタのソフトウェアでカラー スペースを管理できるようにします。
- 中間色の彩度を上げるには、**[ユーザー定義プロファイル]** を選択します。あまりカラフルでないものがよりカラフルに表示されます。ユーザー定義プロファイルは www.hp.com/go/cljcm6030mfp_software または www.hp.com/go/cljcm6040mfp_software からダウンロードできます。

カラーのマッチング

プリンタとコンピュータのモニタはカラー生成方法が違うので、プリンタで印刷される色とコンピュータの画面の色を合わせるプロセスはかなり複雑です。モニタは、RGB (赤、緑、青) カラー処理を利用して光ピクセルで色を*表示*し、プリンタは、CMYK (シアン、マゼンタ、イエロー、黒) 処理で色を*印刷*します。

印刷物の色をモニタに表示される色と一致させる機能は、いくつかの要因の影響を受けます。これらの要因には次のものがあります。

- 用紙
- プリンタの着色剤 (インクやトナーなど)
- 印刷プロセス (インクジェット、プレス、またはレーザー方式など)
- 天井の照明
- 色を認識する個人の特性
- ソフトウェア プログラム
- プリンタ ドライバ
- コンピュータのオペレーティング システム
- モニタとその設定
- ビデオ カードとドライバ
- 動作環境 (湿度など)

画面に表示される色が印刷物の色と完全に一致しない場合は、上記の要因が考えられます。

通常、画面の色とプリンタで出力される色を一致させる一番よい方法は、sRGB カラーで印刷することです。

色見本のカラー マッチング

色見本および標準のカラー基準にプリンタの出力を一致させるプロセスは複雑です。一般的に、色見本の作成にシアン、マゼンタ、イエロー、および黒のインクが使用されている場合は、正確なカラー マッチングを得ることができます。通常、これらはプロセス色見本と呼ばれます。

色見本の中にはスポット カラーから作成されるものもあります。スポット カラーは特別に作成された色です。これらのスポット カラーの多くはプリンタの範囲外です。ほとんどのスポット色見本には、スポット カラーに CMYK 近似を提供するプロセス色見本が付属しています。

ほとんどのプロセス色見本では、色見本の印刷に使用されたプロセス標準が指定されます。通常は SWOP、EURO、または DIC です。プロセス色見本に最もよく合うようにするには、プリンタのメニューで対応するインク エミュレーションを選択します。プロセス標準がわからない場合は、SWOP インク エミュレーションを使用します。

カラー サンプルの印刷

カラー サンプルを使用するには、目的の色に最もよく一致するカラー サンプルを選択します。ソフトウェア プログラムでサンプルのカラー値を使用して、マッチさせるオブジェクトを指定します。カラーは、用紙のタイプと使用するソフトウェア プログラムにより異なります。カラー サンプルの使

用方法については www.hp.com/go/cljcm6030mfp_software または www.hp.com/go/cljcm6040mfp_software をご覧ください。

コントロール パネルを使用してカラー サンプルを印刷するには、次の手順に従います。

1. 管理 にタッチし、情報 にタッチします。
2. サンプル ページ/フォント にタッチし、CMYK サンプル または RGB サンプル にタッチして、サンプルを印刷します。

PANTONE® カラー マッチング

PANTONE には、複数のカラー マッチング システムがあります。PANTONE MATCHING SYSTEM® は普及度の高いカラー マッチング システムで、ソリッド インクを使用してさまざまな色調と色合いを生成します。このプリンタで PANTONE カラーを使用する方法については www.hp.com/go/cljcm6030mfp_software または www.hp.com/go/cljcm6040mfp_software を参照してください。

注記： 生成された PANTONE カラーが、PANTONE の標準色と一致しない場合があります。正確な色については PANTONE の最新の出版物で確認してください。

高度なカラーの使用

HP ImageREt 4800

HP ImageREt 4800 プリント テクノロジは、優れた印字品質を得るために HP が独占開発した革新的なテクノロジです。HP ImageREt システムは、進化したテクノロジを統合し印刷システムの各要素を最適化することにより、業界から一線を画したものになっています。HP ImageREt の一部のカテゴリは、ユーザーのさまざまなニーズに対応するために開発されました。

このシステムでは、イメージ拡張、便利なサプライ品、高解像度イメージングを含む基幹的なカラー レーザー テクノロジを採用し、一般のオフィス文書や販促資料向けに卓越したイメージを提供します。HP カラー レーザー高光沢紙での印刷に最適な HP Image REt 4800 は、さまざまな環境条件に対応しており、サポートしているすべての用紙で優れた印刷品質を実現します。

用紙の選択

最高のカラーと画像の品質を得るには、プリンタのメニューまたはフロント パネルから適切な種類の用紙を選択することが重要です。

sRGB

sRGB (Standard red-green-blue) は、モニタ、入力デバイス (スキャナ、デジタル カメラ)、出力デバイス (製品、プリンタ、プロッタ) のための共通のカラー言語として、HP と Microsoft が独自に開発した国際的な色規格です。sRGB は、HP 製品、Microsoft オペレーティング システム、Web、および現在市販されているほとんどのオフィス用ソフトウェアで採用されている標準的なカラースペースです。また、現在の代表的な Windows コンピュータ モニタで使用されており、ハイビジョン テレビのコンバージェンスの規格にもなっています。

注記： お使いのモニタのタイプや部屋の照明といった要素が、画面上の色の表示に影響することがあります。

最新版の Adobe PhotoShop、CorelDRAW™、Microsoft Office など多くのソフトウェア プログラムでは、色を伝達するために sRGB を採用しています。また、Microsoft オペレーティング システムの標準カラースペースである sRGB は、一般ユーザーでも色彩をより正確に一致させることのできる一般的な精細度を利用してソフトウェア プログラムとデバイス間の色彩情報をやり取りする方法として、広く採用されるようになりました。sRGB を採用することによって、色彩の専門知識がなくても、プリンタ、コンピュータ モニタ、および他の入力デバイス (スキャナ、デジタル カメラ) 間で色を自動的に一致させることができます。

4 色での印刷 (CMYK)

シアン、マゼンタ、イエロー、および黒 (CMYK) は印刷プレスで使用されるインクです。そのプロセスは、4 色印刷とも呼ばれます。CMYK データ ファイルは通常、グラフィック アート (印刷および出版) 環境で使用され、その環境に由来します。プリンタは、PS プリンタ ドライバから CMYK カラーを受け入れます。プリンタの CMYK カラー レンダリングは、テキストやグラフィックスに豊かな色彩を再現するように設計されています。

CMYK インク セット エミュレーション (HP PostScript レベル 3 エミュレーション)

プリンタの CMYK カラー レンダリングを行うことで、標準的なオフセット プレスのインク セットをエミュレートできます。状況によっては、イメージやドキュメント内の CMYK カラー値がプリンタに適合しないことがあります。たとえば、ドキュメントが別のプリンタ用に最適化されている場合などです。最良の結果を得るには、CMYK 値を HP Color LaserJet CM6030 または HP Color LaserJet

CM6040 に適合させる必要があります。プリンタ ドライバから適切なカラー入力プロファイルを選択してください。

- **[デフォルト CMYK+]**： HP の CMYK+ テクノロジにより、大半の印刷ジョブで最適な印刷結果を得ることができます。
- **[Specification for Web Offset Publications (SWOP)]**。米国およびその他の国/地域の共通インク規格。
- **[ユーロスケール]**。ヨーロッパおよびその他の国/地域で一般的なインクです。
- **[Dainippon Ink and Chemical (DIC)]**。日本およびその他の国/地域で一般的なインクです。
- **[ユーザー定義プロファイル]**。別の HP Color LaserJet プリンタをエミュレートする場合など、ユーザー定義の入力プロファイルを使用してカラー出力を正確に管理するには、このオプションを選択します。カラー プロファイルをダウンロードするには、www.hp.com にアクセスして、「CM6030 mfp color profile」または「CM6040 mfp color profile」を検索します。

11 コピー

コピー画面の使用

[ホーム] 画面から コピー にタッチして、[コピー] 画面を表示します。最初の 6 つのコピー機能だけがすぐに表示されます。その他のコピー機能を表示するには、その他のオプション にタッチします。

デフォルトのコピー オプションの設定

管理メニューを使用して、すべてのコピー ジョブに適用されるデフォルトの設定を確定できます。必要であれば、個々のジョブでほとんどの設定を上書きできます。ジョブが完了したら、製品はデフォルト設定に戻ります。

1. ホーム画面で、スクロールして 管理 を選択します。
2. デフォルト ジョブ オプション を選択してから、デフォルト コピー オプション を選択します。
3. 複数のオプションを使用できます。すべてのオプションについて、または一部のオプションのみについて、デフォルト設定を変更することができます。

   各オプションについては、162 ページの 「コピー設定の調整」を参照してください。内蔵ヘルプ システムでも各オプションについて説明しています。画面の右上隅の ヘルプ ボタン にタッチします。
4. [管理] メニューを終了するには、画面の左上隅の ホーム ボタン にタッチします。

スキャナのガラス板からコピーする

スキャナ ガラスを使用して、小さく薄いメディア (60 g/m^2 未満または 7.25kg 未満) または厚いメディア (105 g/m^2 以上または 12.7kg 以上) のコピーを 999 部までとることができます。たとえば、領収証、新聞の切り抜き、写真、古い文書、すりきれた文書、書物などのメディアです。

印刷面を下にしてガラスの上に置いてください。原稿の端をガラスの左上隅に合わせます。

デフォルトのコピー オプションを使用してコピーする場合は、コントロール パネルの数字キーパッドを使用してコピーの部数を選択し、スタート を押します。カスタマイズ設定を使用する場合は、コピー を選択します。設定を指定して、スタート を押します。カスタマイズ設定の使用方法の詳細については、162 ページの 「コピー設定の調整」を参照してください。

文書フィーダからコピーする

文書フィーダを使用して最大 50 ページまでの文書のコピーを 999 部までとることができます (ページの厚さによって異なります)。印刷表を上にして文書を文書フィーダにセットします。

デフォルトのコピー オプションを使用してコピーする場合は、コントロール パネルの数字キーパッドを使用してコピーの部数を選択し、スタート を押します。カスタマイズ設定を使用する場合は、コピー を選択します。設定を指定して、スタート を押します。カスタマイズ設定の使用方法の詳細については、162 ページの 「コピー設定の調整」を参照してください。

別のコピー ジョブを開始する前に、文書フィーダの給紙トレイの下にある文書フィーダ排紙ビンから原稿を取り除いて、適切な排紙ビンからコピーを取り除いてください。

コピー設定の調整

このプリンタには、コピー出力を最適化するいくつかの機能があります。これらの機能はすべて コピー 画面で利用できます。

[コピー] 画面はいくつかのページで構成されています。第 1 ページで、[その他のオプション] を選択して次のページに進みます。次に、下矢印または上矢印ボタンを選択して、他のページにスクロールします。

オプションの使い方の詳細については、オプションにタッチし、画面の右上隅のヘルプ ? ボタンにタッチします。次の表は、コピー オプションの一覧を示しています。

注記： システム管理者によるプリンタの設定によっては、これらのオプションの一部は表示されない場合があります。この表のオプションは、表示される順に並べられています。

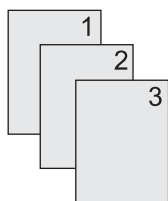
オプション名	説明
面	原稿の片面を印刷するか両面を印刷するか、およびコピーを片面コピーするか両面コピーするかを指定します。
縮小/拡大	ページのコピー イメージを縮小または拡大できます。
カラー/黒	黒印刷とカラー印刷のどちらにするかを選択します。
ステイプル/ソート または ソート	オプションの HP ステイプラ/スタッカ/セパレータを取り付けた場合に、[ステイプル/ソート] オプションを使用できます。この機能では、コピーの複数のページをステイプラで留めて組み合わせる際のオプションを設定します。 オプションの HP ステイプラ/スタッカ/セパレータを取り付けていない場合は、[ソート] オプションを使用できます。この機能では、コピーしたページの各セットを原稿と同じ順序で組み合わせることができます。
用紙の選択	使用するサイズとタイプの用紙をセットするトレイを選択します。
イメージ調整	コピーの全体的な品質が向上します。たとえば、濃さと鮮明度を調整し、[背景のクリーンアップ] 設定を使用して背景から不鮮明な画像を取り除いたり、明るい背景色を取り除くことができます。
印刷の向き	原稿の内容を配置する方向 (縦または横) を指定します。
排紙ビン	コピーの排紙ビンを選択します。
テキスト/画像の最適化	特定の種類の内容の出力を最適化します。テキストや印刷された画像の出力を最適化したり、手動で値を調整することができます。
用紙あたりのページ数	複数のページを 1 枚の用紙にコピーできます。
原稿のサイズ	原稿の用紙サイズを指定します。
ブック コピー	本からページをスキャンして、印刷します。
ブックレット形式	2 枚以上のページを 1 枚の用紙にコピーして、用紙を中央で折って小冊子を作ることができます。
最小マージン	原稿がページの端近くに印刷されている場合に、コピーの縁にシャドウが発生することを防止します。この機能を [縮小/拡大] 機能と併用すれば、ページ全体を確実にコピーできます。
ジョブ作成	複数のセットの原稿を 1 つのコピー ジョブにまとめます。文書フィーダーに一度にセットできる枚数よりコピーする原稿のページ数が多い場合にも、この機能を使用します。

両面文書のコピー

両面文書を手動または自動でコピーできます。

両面文書を手動でコピーする

手動の場合にはコピーが片面に出力されるため、手動で組み合わせる必要があります。

1. コピーする文書を文書フィーダの給紙トレイにセットします。最初のページの表面を上にして、ページの上部から文書フィーダに給紙されるようにします。
2. [コピー開始] を選択します。奇数ページがコピーされ出力されます。
3. 文書フィーダの排紙トレイから用紙を取って、それを再度セットします。最後のページの表面を上に向けて、ページの上部から文書フィーダに給紙されるようにします。
4. [コピー開始] を選択します。偶数ページがコピーされ出力されます。
5. コピーされた奇数ページと偶数ページを組み合わせます。

両面文書を自動的にコピーする

デフォルトのコピー設定は片面から片面です。次の手順で設定を変更して、両面文書から、または両面文書へのコピーができるようにしてください。

片面文書から両面コピーを作成する

1. コピーする文書を文書フィーダの給紙トレイにセットします。最初のページの表面を上にして、ページの上部から給紙されるようにします。
2. コントロール パネルで [コピー] を選択します。
3. [面] を選択します。
4. 片面の文書を両面コピー にタッチします。
5. [OK] を選択します。
6. [コピー開始] を選択します。

両面文書から両面コピーを作成する

1. コピーする文書を文書フィーダの給紙トレイにセットします。最初のページの表面を上にして、ページの上部から給紙されるようにします。
2. コントロール パネルで [コピー] を選択します。
3. [面] を選択します。

4. 両面の文書を両面コピー にタッチします。
5. [OK] を選択します。
6. [コピー開始] を選択します。

両面文書から片面コピーを作成する

1. コピーする文書を文書フィーダの給紙トレイにセットします。最初のページの表面を上にして、ページの上部から給紙されるようにします。
2. コントロール パネルで [コピー] を選択します。
3. [面] を選択します。
4. 両面の文書を片面コピー にタッチします。
5. [OK] を選択します。
6. [コピー開始] を選択します。

混合サイズの原稿のコピー

用紙の 1 辺の長さが同じであるならば、異なるサイズの用紙に印刷された原稿をコピーすることができます。たとえば、レター サイズとリーガル サイズを組み合わせたり、A4 と A5 サイズを組み合わせたりすることができます。

1. 幅がすべて同じになるように原稿をそろえます。
2. 印刷面を上にして文書フィーダにセットし、両方の用紙ガイドを原稿に合わせて調整します。
3. ホーム画面で [コピー] を選択します。
4. [原稿のサイズ] を選択します。

   注記： 最初の画面にこのオプションが表示されない場合は、オプションが表示されるまで [その他のオプション] を選択します。

5. [レター/リーガル混合] を選択し、[OK] を選択します。
6. [コピー開始] を選択します。

コピーのソート設定の変更

複数のコピーを自動的にセットにまとめるようにデバイスを設定できます。たとえば、3 ページの原稿のコピーを 2 部作成する場合、自動ソートが有効になっているとページが 1、2、3、1、2、3 の順に出力されます。自動ソートが無効の場合は、ページが 1、1、2、2、3、3 の順に出力されます。

自動ソートを使用するには、原稿のサイズがメモリの容量内である必要があります。そうでない場合はコピーが 1 部しか作成されず、変更を通知するメッセージが表示されます。その場合は、次のいずれかの方法でジョブを完了してください。

- ジョブを少ないページで構成される小さいジョブに分割する。
- 一度に 1 部ずつコピーをとる。
- 自動ソートを無効にする。

選択したソートの設定は、設定を変えるまですべてのコピーに適用されます。デフォルトの設定では、コピーの自動ソートは [オン] になっています。

1. コントロール パネルで コピー を選択します。
2. [ステイプル/ソート] または [ソート] を選択します。
3. [オフ] を選択します。
4. [OK] を選択します。

写真や本のコピー

写真をコピーする

注記： 写真は文書フィーダではなくフラットベッド スキャナでコピーしてください。

1. カバーを持ち上げてフラットベッド スキャナの上に写真を置きます。絵がある面を下にして、写真の左上隅をガラスの左上隅に合わせます。
2. 静かにカバーを閉じます。
3. コピー にタッチします。
4. テキスト/画像の最適化 にタッチし、写真 を選択します。
5. [コピー開始] を選択します。

本をコピーする

1. 本の印刷面を下にしてガラスに置き、本の上端をガラスの後部に合わせます。本の背をガラスの上端に沿って、本のアイコン に合わせます。
2. コピー にタッチします。
3. スクロールして、ブック コピー にタッチします。
4. ブック コピー オン にタッチして、OK にタッチします。
5. コピー部数を選択し、必要に応じて、その他の設定を調整します。
6. コピー開始 にタッチするか、コントロール パネルの [スタート] ボタンを押します。
7. 以下の 3 つのオプション機能を利用するには、コピー開始 にタッチします。
   - 両面コピー を選択すると、背の左右両側のイメージがコピーされます。
   - 左側のページをスキップ を選択すると、背の右側のイメージだけがコピーされます。
   - 右側のページをスキップ を選択すると、背の左側のイメージだけがコピーされます。
8. スキャン にタッチします。
9. 最後のページがスキャンされたら、終了 にタッチします。

ジョブ作成を使用したコピー ジョブの結合

この機能を使用して、原稿の複数のセットを 1 つのコピー ジョブにまとめます。また、この機能を使用して、文書フィーダに一度に入るページ数を超える原稿をコピーできます。

1. [コピー] を選択します。
2. スクロールして [ジョブ作成] を選択します。
3. [ジョブ作成オン] を選択します。
4. [OK] を選択します。
5. 必要に応じて、コピー オプションを選択します。
6. [コピー開始] を選択します。ページをスキャンするたびに、ページをセットするように求めるメッセージがコントロール パネルに表示されます。
7. ジョブに複数のページがある場合、次のページをセットして、スキャン にタッチします。

   プリンタには、一時的にスキャンしたページがすべて保存されます。コピーを印刷するのに十分な情報が保存されると、印刷が開始されます。**[終了]** にタッチして、コピーの印刷を終了します。

注記： ジョブ作成では、文書フィーダを使用して文書の最初のページをスキャンした場合は、その文書のすべてのページを文書フィーダを使用してスキャンする必要があります。文書の最初のページをスキャナ ガラスを使用してスキャンした場合は、その文書のすべてのページをスキャナ ガラスを使用してスキャンする必要があります。

コピー ジョブのキャンセル

1. コントロール パネルで 停止 ボタンにタッチし、次にリストからジョブにタッチします。
2. ジョブをキャンセル にタッチして、OK にタッチします。

注記： コピー ジョブをキャンセルしたら、フラットベッド スキャナまたは自動文書フィーダから文書を取り除いてください。

12 スキャンして電子メールに送信

電子メールの設定

このプリンタには、カラー スキャンおよびデジタル送信機能が装備されています。コントロール パネルを使用して、白黒およびカラーの文書をスキャンして、電子メールの添付ファイルとして電子メール アドレスに送信できます。デジタル送信を使用するには、プリンタが LAN に接続されている必要があります。

注記： 電子メールが設定されていない場合、コントロール パネルに電子メール アイコンが表示されません。

文書を電子メールで送信する前に、プリンタを設定する必要があります。

注記： 以下の手順は、コントロール パネルでプリンタを設定するための手順です。内蔵 Web サーバを使用して、これらの手順を実行することもできます。詳しくは、193 ページの 「内蔵 Web サーバ」を参照してください。

対応プロトコル

HP Color LaserJet CM6030 および HP Color LaserJet CM6040 MFP モデルは、SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) と LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) に対応しています。

SMTP

- SMTP とは、電子メールを送受信するプログラム間のやり取りを定める規則のセットを指します。デバイスが文書を電子メールに送信するには、そのデバイスが SMTP に対応した電子メール サーバにアクセス権を持つ LAN に接続されている必要があります。SMTP サーバにはインターネットへのアクセス権も必要です。
- LAN 接続を使用している場合、システム管理者に問い合わせて、SMTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入手してください。DSL またはケーブル接続を使用している場合、インターネット サービス プロバイダ (ISP) に問い合わせて、SMTP サーバーの IP アドレスを入手してください。

LDAP

- LDAP は、情報のデータベースにアクセスするために使用されます。デバイスが LDAP を使用している場合、そのデバイスは電子メール アドレスのグローバル リストを検索します。電子メール アドレスを入力し始めると、LDAP は、入力された文字に合致する電子メール アドレスのリストを提供するオートコンプリート機能を使用します。さらに文字を入力するにつれて、合致する電子メール アドレスのリストが小さくなります。
- デバイスは LDAP に対応していますが、電子メールの送信には LDAP への接続は必要ありません。

  注記： LDAP 設定を変更する必要がある場合、内蔵 Web サーバを使用して変更する必要があります。詳しくは、193 ページの 「内蔵 Web サーバ」を参照するか、Administrator CD に収録されている『*内蔵 Web サーバ ユーザーズ ガイド*』を参照してください。

電子メール サーバーの設定

SMTP ゲートウェイの検索

1. [ホーム] 画面から、管理 にタッチします。
2. 初期セットアップ にタッチします。

3. 電子メール セットアップ にタッチして、次に 送信ゲートウェイの検出 にタッチします。

4. 検索 にタッチします。

SMTP ゲートウェイ アドレスの設定

1. [ホーム] 画面の [管理] にタッチします。

2. 初期セットアップ にタッチします。

3. 電子メール セットアップ にタッチして、次に SMTP ゲートウェイ にタッチします。

4. SMTP ゲートウェイ アドレスを、IP アドレス、あるいは正式に認定されているドメイン名で入力します。IP アドレスまたはドメイン名が不明の場合は、ネットワーク管理者にご確認ください。

5. 保存 にタッチします。

SMTP 設定のテスト

1. [ホーム] 画面の [管理] にタッチします。

2. 初期セットアップ にタッチします。

3. 電子メール セットアップ にタッチして、次に テスト にタッチします。

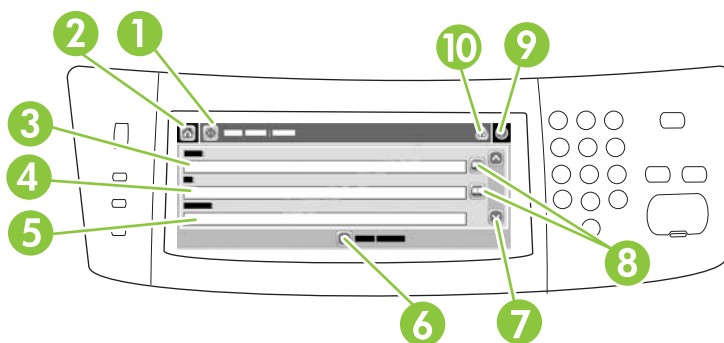
   設定が正しい場合は、コントロール パネルに **ゲートウェイは正常です** と表示されます。

最初のテストで成功したら、デジタル送信機能を使用して自分自身に電子メールを送信します。電子メールを受信できれば、デジタル送信機能が正しく設定されています。

電子メールを受信できない場合は、以下の手順でデジタル送信ソフトウェアの問題を解決してください。

- SMTP およびアドレスを正しく入力したか確認します。
- 構成ページを印刷します。SMTP ゲートウェイ アドレスが正しいことを確認します。
- ネットワークが正しく動作していることを確認します。コンピュータから自分自身に電子メールを送信します。電子メールを受信できれば、ネットワークが正しく動作しています。電子メールを受信できない場合は、ネットワーク管理者またはインターネット サービス プロバイダ (ISP) にお問い合わせください。

[電子メール送信] 画面の使用

タッチスクリーンを使用して、[電子メール送信] 画面のオプションを移動できます。

1	電子メール送信 ボタン	このボタンにタッチすると、文書がスキャンされ、電子メール ファイルが指定して電子メール アドレスに送信されます。
2	[ホーム] ボタン	このボタンにタッチすると、[ホーム] 画面が開きます。
3	送信元： フィールド	このフィールドにタッチすると、キーボードが開きます。自分の電子メール アドレスを入力します。システム管理者の設定によっては、ここにデフォルトのアドレスが自動的に入力される場合もあります。
4	宛先： フィールド	このフィールドにタッチすると、キーボードが開きます。スキャンした文書を送信する相手の電子メール アドレスを入力します。
5	件名： フィールド	このフィールドにタッチすると、キーボードが開きます。件名を入力します。
6	その他のオプション ボタン	このボタンにタッチすると、現在のスキャン ジョブの電子メール設定を変更できます。
7	スクロール バー	スクロール バーを使用して、CC:、BCC:、メッセージ、ファイル名 の各フィールドを表示し、設定します。どのフィールドをタッチしていもキーボードが表示されるので、必要な情報を入力します。
8	アドレス帳のボタン	これらのボタンを押すと、アドレス帳を使用して、宛先：、CC:、BCC: の各フィールドを作成できます。詳細については、「177 ページの 「ローカルのアドレス帳を使用する」」を参照してください。
9	[ヘルプ] ボタン	コントロール パネルの説明については、このボタンにタッチします。詳細については、「14 ページの 「コントロール パネルの使用」」を参照してください。
10	[エラー警告] ボタン	ステータス行領域にエラーまたは警告がときにのみ、このボタンが表示されます。タッチするとポップアップ画面にエラーや警告を解決するときに役立つ情報が表示されます。

基本的な電子メール機能の使用

プリンタの電子メール機能には、次のような利点があります。

- 文書を複数の電子メールアドレスに送信して、送付の時間と経費を節約できます。
- ファイルを白黒またはカラーで送信できます。受信者が操作できるように、ファイルを別のファイル形式で送信できます。

電子メール機能を使用して、文書をプリンタのメモリにスキャンし、電子メールの添付ファイルとして、1 つまたは複数の電子メール アドレスに送信できます。デジタル文書を .TFF や .JPG などの複数のグラフィックス形式で送信できるため、受信者が個別のニーズに合わせて、さまざまなプログラムで文書ファイルを操作できます。文書は、オリジナルに近い品質で到着し、印刷、保存、または転送できます。

電子メール機能を使用するには、プリンタがインターネット アクセスを含めて有効な SMTP ローカル エリア ネットワークに接続している必要があります。

文書のセット

ガラス面または ADF を使用して文書をスキャンできます。ガラス面と ADF は、レター、エグゼクティブ、A4、A5 の各サイズの原稿に対応しています。また、ADF はリーガル サイズの原稿にも対応します。それよりも小さな原稿、レシート、変則的な形の文書、破損した文書、ステイプル留めされた文書、折り曲げた跡がある文書、写真をスキャンする場合は、ガラス面を使用してください。ADF を使用すると、複数ページの文書を簡単にスキャンできます。

文書の送信

プリンタは、白黒原稿とカラー原稿の両方をスキャンします。デフォルト設定を使用するか、またはスキャン設定とファイル形式を変更できます。デフォルト設定は次のとおりです。

- カラー
- PDF (受信者が電子メールの添付ファイルを表示するために Adobe Acrobat ビューアを持っている必要があります)

現在のジョブの設定を変更する詳細については、179 ページの 「現在のジョブの電子メール設定を変更」を参照してください。

文書の送信

1. ドキュメントは、スキャナ ガラス上には表を下に、ADF では表を上にして置きます。
2. [ホーム] 画面から、電子メール にタッチします。
3. プロンプトが表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。
4. 差出人：、宛先：、および 件名： フィールドに情報を入力します。下にスクロールし、必要に応じて CC: および BCC: のフィールドにも入力します。ユーザー名またはその他のデフォルト情報は、差出人： フィールドに表示されます。フィールドに表示された情報は変更できません。
5. (オプション) 送信するドキュメントの設定 (例：元のサイズ) を変更するには、その他のオプション にタッチします。両面文書を送信する場合は、[面] を選択して両面原稿のオプションを選択する必要があります。

6. スタート を押して送信を開始します。

7. 終了したら、スキャナ ガラスまたは ADF から原稿を取り除きます。

自動入力機能の使用

[電子メールの送信] 画面で 宛先 : 、CC:、または 送信元 : の各フィールドに文字を入力すると、自動入力機能がアクティブになります。キーボード画面で必要なアドレスや名前を入力すると、自動的にアドレス帳リストが検索され、最初に一致したアドレスまたは名前が自動入力されます。Enter にタッチすると名前の入力が終了します。または、自動入力で目的の項目が見つかるまで、名前の入力を続けます。文字を入力してもリストに一致する入力がない場合、自動入力テキストは表示されません。これは、アドレス帳にないアドレスを入力していることを示します。

アドレス帳の使用

プリンタのアドレス帳機能を使用して、受信者のリストに電子メールを送信できます。アドレス リストの設定方法については、システム管理者にお問い合わせください。

注記： 内蔵 Web サーバ (EWS) を使用して、電子メールのアドレス帳を作成して管理することもできます。EWS の電子メール アドレス帳は、単一の電子メール アドレスまたは電子メール配信リストの追加、編集、削除に使用できます。詳しくは、193 ページの 「内蔵 Web サーバ」 を参照してください。

受信者リストの作成

1. ホーム画面の 電子メール にタッチします。
2. 以下のいずれかの手順を実行します。
   - 宛先： にタッチしてキーボード画面を開き、受信者の電子メール アドレスを入力します。複数の電子メールを入力する場合はセミコロンで区切るか、タッチスクリーンの Enter にタッチします。
   - アドレス帳を使用します。
     a. [電子メールへの送信] 画面で、アドレス帳ボタンに にタッチして、アドレス帳を開きます。
     b. スクロール バーを使用してアドレス帳の使用するエントリに移動します。矢印を押し続けると、リストのスクロール速度が速くなります。
     c. 名前をハイライト表示して、受信者を選択し、矢印ボタン ➡ にタッチします。

        画面上のドロップダウン リストにタッチし、次に すべて にタッチするか、またはドロップダウン リストで ローカル にタッチして、ローカル リストから受信者を追加します。該当する名前をハイライト表示し、矢印ボタン ➡ にタッチして、受信者の名前を追加します。

        受信者をスクロールしてハイライト表示し、画面中央の削除ボタン にタッチして、受信者を削除できます。
3. 受信者リストの名前はキーボード画面のテキスト行に表示されます。必要に応じて、キーボードで電子メール アドレスを入力してアドレス帳にない受信者を追加できます。受信者リストの設定が終わったら、OK にタッチします。
4. OK にタッチします。
5. 必要に応じて、電子メール送信画面の CC: フィールドと 件名： フィールドに入力します。宛先： テキスト行の下矢印にタッチすると、受信者リストを確認できます。
6. スタート を押します。

ローカルのアドレス帳を使用する

ローカルのアドレス帳によく使用する電子メール アドレスを保存できます。HP デジタル送信ソフトウェアにアクセスする同じサーバを使用するデバイスであれば、ローカルのアドレス帳を共有できます。

送信元、宛先：、CC:、BCC: の各フィールドを入力するときにアドレス帳を使用できます。アドレス帳のアドレスは追加または削除することができます。

アドレス帳を開くには、アドレス帳ボタン にタッチします。

ローカルのアドレス帳に電子メール アドレスを追加する

1. ローカル にタッチします。
2. 追加ボタン にタッチします。
3. (オプション) 名前 フィールドにタッチし、表示されるキーボードで新しいエントリの名前を入力します。OK にタッチします。

   この名前は電子メール アドレスの別名です。別名を入力しないと、電子メール アドレスが別名として表示されます。
4. アドレス フィールドにタッチし、表示されるキーボードで新しいエントリの電子メール アドレスを入力します。OK にタッチします。

ローカルのアドレス帳から、電子メール アドレスを削除する

不要な電子メール アドレスは削除できます。

注記： 電子メール アドレスを*変更*するには、ローカルのアドレス帳からそのアドレスを削除してから、新規のアドレスとして修正したアドレスを追加します。

1. ローカル にタッチします。
2. 削除する電子メール アドレスにタッチします。
3. 右下隅の削除ボタン にタッチします。

   以下の確認メッセージが表示されます。**選択したアドレスを削除してよろしいですか？**
4. 電子メール アドレスを削除する場合は はい にタッチし、アドレス帳画面に戻るには いいえ にタッチします。

現在のジョブの電子メール設定を変更

現在の印刷ジョブについて、次の電子メール設定を変更するには、その他のオプション ボタンを使用します。

ボタン	説明
文書ファイル タイプ	文書のスキャン後に作成されたファイルのタイプを変更するには、このボタンにタッチします。
出力品質	スキャンするファイルの印刷品質を上下するには、このボタンにタッチします。印刷品質を高くすると、ファイル サイズも大きくなります。
解像度	スキャン解像度を変更するには、このボタンにタッチします。解像度を高くすると、ファイル サイズも大きくなります。
カラー/黒	文書をカラーとモノクロのどちらでスキャンするかを指定するには、このボタンにタッチします。
原稿の面数	原稿が片面か両面かを指定するには、このボタンにタッチします。
内容の向き	原稿の向きを縦または横に指定するには、このボタンにタッチします。
原稿のサイズ	このボタンにタッチして、文書のサイズをレター、A4、リーガル、またはレター/リーガル混合から選択します。
テキスト/画像の最適化	スキャンしている文書のタイプによって、スキャン手順を変更するには、このボタンにタッチします。
ジョブ作成	[ジョブ作成] モードを有効または無効にするには、このボタンにタッチします。有効にすると、小さいサイズのスキャン ジョブを複数スキャンして、1 つのファイルで送信できます。
イメージ調整	濃さと鮮明度の設定を変更するとき、または原稿にある背景のごみをクリーニングするには、このボタンにタッチします。

フォルダにスキャン

システム管理者がこの機能を有効にしている場合、ファイルをスキャンしてネットワーク上のフォルダに送信できます。送信先フォルダの対応オペレーティング システムには、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003 があります。

注記： このオプションを使用するときや、特定のフォルダに送信するときに、ユーザー名とパスワードの入力を求められることもあります。詳細についてはシステム管理者に問い合わせてください。

1. 文書を下向きにしてガラスに上にセットするか、上向きにして ADF にセットします。
2. [ホーム] 画面の **[ネットワーク フォルダ]** をタッチします。
3. [クイック アクセス フォルダ] で文書を保存するフォルダを選択します。
4. **[ファイル名]** フィールドにタッチすると、キーボードのポップアップ画面が表示されます。この画面でファイル名を入力します。
5. **[ネットワーク フォルダに送信]** にタッチします。

ワークフローの排紙先にスキャン

注記： このデバイス機能は、オプションの Digital Sending Software を使うことにより利用できます。

システム管理者がワークフロー機能を有効にしている場合、文書をスキャンして、カスタムのワークフローの排紙先に送信できます。ワークフローの排紙先を使用すると、指定したネットワークまたはファイル転送プロトコル (FTP) にスキャンした文書と共に追加情報を送信できます。追加情報の入力を求めるメッセージがコントロール パネルのディスプレイに表示されます。システム管理者もワークフローの排紙先にプリンタを指定することができます。この場合、ユーザーが文書をスキャンして、ネットワーク プリンタに直接送信して印刷できます。

1. 文書を下向きにしてガラスに上にセットするか、上向きにして ADF にセットします。
2. [ホーム] 画面の **[ワークフロー]** をタッチします。
3. スキャンの排紙先を選択します。
4. テキスト フィールドにファイルに追加するデータを入力し、**[送信ワークフロー]** にタッチします。

13 ファックス

アナログ ファックス

アナログ ファックス アクセサリが取り付けられている場合、プリンタは独立したファックス機として機能します。

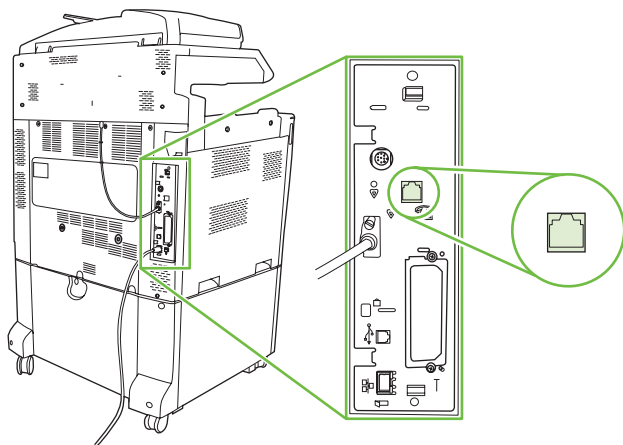
HP Color LaserJet CM6030f MFP または HP Color LaserJet CM6040f MFP モデルには、モデルには、ファックス アクセサリが既に取り付けられています。HP Color LaserJet CM6030 MFP または HP Color LaserJet CM6040 MFP モデル (ベース モデル) の場合、このアクセサリをオプションとして注文できます。アナログ ファックス アクセサリの注文については、295 ページの 「製品番号」を参照してください。アナログ ファックス アクセサリの仕様については、*『HP LaserJet Analog Fax Accessory 300 ユーザーズ ガイド』*に記載されています。このガイドの電子版は、プリンタに同梱のユーザー CD に収録されています。また、*『アナログ ファックス アクセサリ 300 ユーザー ガイド』*および*『アナログ ファックス アクセサリ 300 ファックス送信ドライバ ガイド』*もプリンタのユーザー CD または www.hp.com/go/mfpfaxaccessory300 で参照できます。

ファックス アクセサリを電話線に接続する

ファックス アクセサリを電話回線に接続するときはファックス アクセサリ専用にし、他の機器とは併用しないでください。また、この電話回線はアナログ ラインを使用してください。デジタル PBX システムに接続されると、正しく機能しません。電話回線がアナログかデジタルか不明な場合は、電話会社にお問い合わせください。

注記： アクセサリが正しく機能するように、HP では、ファックス アクセサリに付属の電話コードを使用することをお勧めします。

次の手順に従って、ファックス アクセサリを電話ジャックに接続します。

1. ファックス アクセサリ キットに付属している電話コードを探します。電話コードの一方の端をフォーマッタ上にあるファックス アクセサリの電話ジャックに接続します。カチッと音がするまで押し込みます。

注意： フォーマッタの中央にあるファックス アクセサリ ポートに電話回線が接続されていることを確認します。フォーマッタの下部にある HP Jetdirect ポートには、電話回線を接続しないでください。

2. 電話コードのもう一方の端を壁面の電話差し込み口に接続します。カチッと音がするか、適切に設置されるまで、コネクタを差し込みます。国/地域によってコネクタのタイプは異なるため、コネクタを差し込んでもカチッと音がしないことがあります。

ファックス機能を設定および使用する

ファックス機能を使用する前に、コントロール パネルでこの機能を設定する必要があります。ファックス アクセサリの設定と使用およびファックス アクセサリに関する問題のトラブルシューティングについて詳しくは、*『HP LaserJet Analog Fax Accessory 300 ユーザーズ ガイド』*を参照してください。このガイドはファックス アクセサリに同梱されており、またプリンタのユーザー CD にも収録されています。

ファックス送信ドライバを使用して、プリンタのコントロール パネルに進まずに、コンピュータからファックスを送信します。詳しくは、*『HP LaserJet MFP アナログ ファックス アクセサリ 300 ファックス送信ドライバ ガイド』*を参照してください。

*『HP LaserJet Analog Fax Accessory 300 ユーザーズ ガイド』*および*『HP LaserJet MFP アナログ ファックス アクセサリ 300 ファックス送信ドライバ ガイド』*はどちらもプリンタのユーザー CD に収録されています。

デジタル ファックス

オプションの HP Digital Sending Software をインストールすれば、デジタル ファックスも使用できます。このソフトウェアの注文について詳しくは、www.hp.com/go/digitalsending を参照してください。

デジタル ファックス機能を使用すれば、プリンタを直接電話回線に接続する必要はありません。その代わりに、次の 3 つの方法のいずれかでファックスを送信できます。

- **LAN ファックス**は、サードパーティのファックス プロバイダを通じてファックスを送信します。
- **Microsoft Windows 2000 ファックス**は、コンピュータ上のファックス モデムおよびデジタル送信モジュールで、ターンキー ゲートウェイ ファックスとして機能します。
- **インターネット ファックス**は、インターネット ファックス プロバイダを通じてファックスを処理します。ファックスは、通常のファックス機器またはユーザーの電子メールに送信されます。

デジタル ファックスの使用方法の詳細については、HP Digital Sending Software に付属している説明書を参照してください。

14 プリンタの管理とメンテナンス

情報ページ

情報ページでは、デバイスとその現在の設定についての詳細が提供されます。情報ページを印刷する手順は以下の表のとおりです。

ページの説明	プリンタのコントロール パネルからページを印刷する方法
メニュー マップ コントロール パネルのメニューと利用可能な設定を表示します。	1. [ホーム] 画面から、[管理] にタッチします。 2. [情報] にタッチします。 3. [設定/ステータス ページ] を選択します。 4. [管理メニュー マップ] にタッチします。 5. [印刷] にタッチします。 メニュー マップの内容は、現在デバイスにインストールされているオプションによって異なります。 コントロール パネルのメニューおよび可能な値の完全なリストは、14 ページの「コントロール パネルの使用」を参照してください。
設定ページ デバイスの設定と取り付けられているアクセサリを表示します。	1. [ホーム] 画面から、[管理] にタッチします。 2. [情報] にタッチします。 3. 設定/ステータス ページ にタッチします。 4. 設定ページ にタッチします。 5. [印刷] にタッチします。 注記： デバイスに HP Jetdirect プリント サーバやオプションのハード ディスク ドライブが装着されている場合は、それらのデバイスに関する追加の設定ページが印刷されます。
サプライ品ステータス ページ プリント カートリッジのトナー残量を表示します。	1. [ホーム] 画面から、[管理] にタッチします。 2. [情報] にタッチします。 3. [設定/ステータス ページ] を選択します。 4. [サプライ品ステータス ページ] にタッチします。 5. [印刷] にタッチします。 注記： HP 以外のサプライ品を使用している場合は、サプライ品のステータス ページにそれらのサプライ品の残りの寿命が表示されません。
使用状況ページ 用紙サイズごとの印刷ページ数、片面印刷または両面印刷したページ数、および印刷範囲の平均パーセンテージが表示されます。	1. [ホーム] 画面から、[管理] にタッチします。 2. [情報] にタッチします。 3. [設定/ステータス ページ] を選択します。 4. [使用状況ページ] にタッチします。 5. [印刷] にタッチします。
カラー使用状況ジョブ ログ	1. [ホーム] 画面から、管理 にタッチします。 2. 情報 にタッチします。 3. 設定/ステータス ページ にタッチします。

ページの説明	プリンタのコントロール パネルからページを印刷する方法
	4. カラー使用状況ジョブ ログ にタッチします。 5. 印刷 にタッチします。
ファイル ディレクトリ デバイスにインストールされているフラッシュ ドライブ、メモリ カード、ハード ディスクなど、大容量ストレージ デバイスの情報を説明します。	1. [ホーム] 画面から、[管理] にタッチします。 2. [情報] にタッチします。 3. [設定/ステータス ページ] を選択します。 4. [ファイル ディレクトリ] にタッチします。 5. [印刷] にタッチします。
ファックス レポート 5 つのレポートには、ファックス動作、ファックス コール、請求書コード、ブロックされたファックス番号、指定してた短縮ダイアル番号が記載されます。 注記： ファックス レポートは、ファックス機能を持つデバイス モデルの場合のみ使用できます。	1. [ホーム] 画面から、[管理] にタッチします。 2. [情報] にタッチします。 3. [ファックス レポート] にタッチします。 4. 対応するレポートを印刷するには、次のボタンをのいずれかをタッチします。 ◦ [ファックス使用状況ログ] ◦ [ファックス コール レポート] ◦ [請求書コード レポート] ◦ [ブロックされた ファックス リスト] ◦ [短縮ダイアル リスト] 5. [印刷] にタッチします。 詳細については、デバイスに付属のファックス ガイドを参照してください。
フォント リスト デバイスに現在インストールされているフォントを表示します。	1. [ホーム] 画面から、[管理] にタッチします。 2. [情報] にタッチします。 3. [サンプル ページ/フォント] にタッチします。 4. 下のボタンから、印刷するレポートに対応するボタンをタッチします。 ◦ デモンストレーション ページ ◦ RGB サンプル ◦ CMYK サンプル ◦ PCL フォント リスト ◦ PS フォント リスト 5. [印刷] にタッチします。 注記： フォント リストには、ハード ディスク アクセサリやフラッシュ DIMM に存在するフォントも表示されます。

HP Easy Printer Care

HP Easy Printer Care ソフトウェアの起動

次のいずれかの方法で HP Easy Printer Care ソフトウェアを起動します。

- **[スタート]** メニューで **[プログラム]**、**[Hewlett-Packard]**、**[HP Easy Printer Care]** の順に選択し、**[HP Easy Printer Care の起動]** をクリックします。
- Windows のシステム トレイ (デスクトップの右下隅) にある HP Easy Printer Care アイコンをダブルクリックします。
- デスクトップ アイコンをダブルクリックします。

HP Easy Printer Care ソフトウェアのセクション

HP Easy Printer Care ソフトウェアでは、ネットワークに接続されている複数の HP 製品や、コンピュータに直接接続されている製品に関する情報が表示されます。一部の製品では、次の表に示す一部の項目が表示されない場合があります。

各ページの右上にあるヘルプ ボタン (**[?]**) をクリックすると、そのページにあるオプションに関する詳細情報が表示されます。

セクション	オプション
[デバイス一覧] タブ ソフトウェアを起動したときに最初に表示されるページです。 注記： 別のタブからこのページに戻るには、ウィンドウの左側で **[マイ HP プリンタ]** をクリックします。	● **[デバイス]** リスト： 選択可能な製品を表示します。 注記： 製品情報は、リスト形式またはアイコンとして表示されます。表示形式は、**[表示方法]** オプションで決まります。 ● このタブには、製品の現在のアラートに関する情報も表示されます。 ● リスト内の製品をクリックすると、HP Easy Printer Care を介して、選択した製品の **[概要]** タブが表示されます。
[互換性のあるプリンタ]	HP Easy Printer Care ソフトウェアをサポートするすべての HP 製品のリストが表示されます。
[他のプリンタを検索] ウィンドウ **[マイ HP プリンタ]** リストに製品を追加できます。	**[デバイス]** リストにある **[他のプリンタを検索]** リンクをクリックすると、**[他のプリンタを検索]** ウィンドウが開きます。**[他のプリンタを検索]** ウィンドウには、その他のネットワーク プリンタを検出する機能があり、検出したプリンタを **[マイ HP プリンタ]** リストに追加してリスト内の製品をコンピュータから監視することができます。
[概要] タブ デバイスの基本的なステータス情報を表示します。	● **[デバイス ステータス]** セクション： このセクションには、製品の識別情報と製品のステータスが表示されます。プリント カートリッジが空になったなど、製品のアラート状態が表示されます。製品側で問題を解決したら、ウィンドウの右上にある更新ボタン をクリックすると、ステータスが更新されます。 ● **[サプライ品 ステータス]** セクション： プリント カートリッジのトナー残量のパーセンテージや各トレイにセットされている用紙のステータスなど、サプライ品の詳細なステータスを表示します。 ● **[サプライ品詳細]** リンク： 製品のサプライ品、注文情報、リサイクル情報に関する詳細を表示するサプライ品ステータス ページを開きます。

セクション	オプション
[サポート] タブ サポート情報へのリンクが表示されます。	● **[デバイス ステータス]** セクション： このセクションには、製品の識別情報と製品のステータスが表示されます。プリント カートリッジが空になったなど、製品のアラート状態が表示されます。製品側で問題を解決したら、ウィンドウの右上にある更新ボタン をクリックすると、ステータスが更新されます。 ● **[デバイス管理]** セクション： HP Easy Printer Care に関する情報、詳細な製品の設定、および製品の使用状況レポートへのリンクが表示されます。 ● **[トラブルシューティングおよびヘルプ]**： 問題解決に使用できるツール、オンラインの製品サポート情報、およびオンラインの HP 専門家へのリンクが表示されます。
[設定] タブ 製品の設定を行い、印刷品質の設定を調整し、特定の製品機能に関する情報を収集できます。 注記： 一部の製品では、このタブは使用できません。	● **[バージョン情報]**： このタブに関する一般情報が表示されます。 ● **[一般]**： 製品に関する、たとえばモデル番号、シリアル番号などの情報や日付の設定が表示されます。 ● **[情報ページ]**： 製品の情報ページを印刷するためのリンクが表示されます。 ● **[機能]**： 製品の機能、たとえば両面印刷、使用可能なメモリ、および使用可能な印刷パーソナリティに関する情報が表示されます。設定を調整するには、**[変更]** をクリックします。 ● **[印刷品質]**： 印刷品質の設定に関する情報が表示されます。設定を調整するには、**[変更]** をクリックします。 ● **[トレイ/用紙]**： トレイとその構成に関する情報が表示されます。設定を調整するには、**[変更]** をクリックします。 ● **[デフォルト設定の復元]**： 製品の設定を初期設定に戻すことができます。**[復元]** をクリックすると、設定が初期設定に戻ります。
[HP Proactive Support] 注記： この項目は、**[概要]** タブと **[サポート]** タブにあります。	有効にすると、HP Proactive Support によって印刷システムが定期的にスキャンされ、潜在的な問題が特定されます。スキャンの頻度を設定するには、**[詳細情報]** のリンクをクリックします。このページには、製品のソフトウェア、ファームウェア、および HP プリンタ ドライバのアップデートに関する情報も表示されます。推奨されるアップデートは適用するかどうかを選択できます。
[サプライ品の注文] ボタン 任意のタブで **[サプライ品の注文]** ボタンをクリックすると、**[サプライ品の注文]** ウィンドウが開き、オンラインでサプライ品を注文できます。 注記： この項目は、**[概要]** タブと **[サポート]** タブにあります。	● [注文] リスト： 製品ごとに注文可能なサプライ品を表示します。特定のサプライ品を注文するには、サプライ品のリストで必要なサプライ品の **[注文]** チェック ボックスをオンにします。リストは、製品名順、または注文を急ぐサプライ品名順に並べ替えることができます。リストには、**[マイ HP プリンタ]** リスト内のすべての製品のサプライ品情報が含まれます。 ● **[サプライ品のオンライン ショップ]** ボタン： 新しいブラウザ ウィンドウに HP SureSupply Web サイトを開きます。**[注文]** チェックボックスがオンのサプライ品がある場合は、それらのサプライ品に関する情報が Web サイトに転送され、選択したサプライ品を購入するためのオプションに関する情報が Web サイトに表示されます。 ● **[買い物リストを印刷]** ボタン： **[注文]** チェック ボックスをオンにしたサプライ品の情報を印刷します。

セクション	オプション
[アラート設定] リンク 注記： この項目は、**[概要]** タブと **[サポート]** タブにあります。	**[アラート設定]** をクリックすると、[アラート設定] ウィンドウが開き、各製品のアラートを設定できます。 ● アラートはオンまたはオフです。警告機能を有効または無効にします。 ● **[プリンタ アラート]**： このオプションを選択すると、重大なエラーのみ、またはすべてのエラーに関するアラートを受け取ります。 ● **[ジョブ アラート]**： この機能がサポートされている製品で、特定の印刷ジョブに関するアラートを受け取ることができます。
[カラー制御] 注記： この項目は、カラー アクセス制御をサポートする HP カラー製品だけに使用できます。 注記： この項目は、**[概要]** タブと **[サポート]** タブにあります。	この機能を使用すると、カラー印刷を許可または制限できます。

内蔵 Web サーバ

内蔵 Web サーバを使用すると、プリンタのコントロール パネルの代わりにコンピュータを使って、プリンタおよびネットワークのステータスの確認、印刷機能の管理を行えます。内蔵 Web サーバを使用して実行できる機能の例を次に示します。

注記： プリンタがコンピュータに直接接続されている場合は、HP Easy Printer Care を使用してプリンタのステータスを表示できます。

- プリンタのステータス情報の表示
- 各トレイにセットされているメディアのタイプ設定
- サプライ品すべての寿命の確認と新しいサプライ品の注文
- トレイ設定の表示と変更
- プリンタのコントロール パネルのメニューの表示と変更
- 内部ページの表示と印刷
- プリンタとサプライ品に関する通知の受信
- ネットワーク設定の表示と変更

内蔵 Web サーバを使用するには、Microsoft Internet Explorer 5.01 以降、または Windows、Mac OS、および Linux (Netscape のみ) 向けの Netscape 6.2 以降をインストールする必要があります。HP-UX 10 と HP-UX 11 では、Netscape Navigator 4.7 が必要です。内蔵 Web サーバは、プリンタが IP ベースのネットワークに接続されている場合に機能します。IPX ベースの接続では機能しません。内蔵 Web サーバを起動して使用する場合は、インターネットに接続する必要はありません。

プリンタをネットワークに接続すると、自動的に内蔵 Web サーバが使えるようになります。

注記： 内蔵 Web サーバの使用方法については、プリンタの Administrator CD に収録されている *『内蔵 Web サーバ ユーザーズ ガイド』* を参照してください。

ネットワーク接続を使用して内蔵 Web サーバを開く

1. コンピュータ上の対応 Web ブラウザで、アドレスまたは URL フィールドにデバイスの IP アドレスまたはホスト名を入力します。IP アドレスまたはホスト名を確認するには、設定ページを印刷します。188 ページの 「情報ページ」を参照してください。

   注記： URL を開いたら、いつでもすぐに表示できるようにお気に入り (ブックマーク) に追加することができます。

2. 内蔵 Web サーバには、デバイスに関する設定や情報を確認するための **[情報]** タブ、**[設定]** タブ、**[ネットワーク]** タブ、および **[デジタル送信]** タブの 4 つのタブがあります。表示するタブをクリックしてください。

   各タブの詳細については、「194 ページの 「内蔵 Web サーバのセクション」」を参照してください。

内蔵 Web サーバのセクション

タブまたはセクション	オプション
[情報] タブ デバイス、ステータス、および設定に関する情報を表示します。	● **[デバイスのステータス]**： デバイスのステータスと HP サプライ品の寿命を表示します。寿命が 0% のときはサプライ品が空になっている状態を示します。各トレイにセットされている印刷用紙のタイプとサイズも表示されます。デフォルトの設定を変更する場合は、**[設定の変更]**をクリックします。 ● **[設定ページ]**： 設定ページの情報を表示します。 ● **[サプライ品のステータス]**： HP サプライ品の寿命を表示します。寿命が 0% のときはサプライ品が空になっている状態を示します。このページには、サプライ品の製品番号も表示されます。新しいサプライ品を注文するには、ウィンドウの左側の **[その他のリンク]** にある **[サプライ品の購入]** をクリックします。 ● **[イベント ログ]**： すべてのデバイス イベントとエラーの一覧を表示します。 ● **[使用状況ページ]**： 用紙のサイズとタイプ別にデバイスの印刷ページ数の概要を表示します。 ● **[デバイス情報]**： デバイスのネットワーク名、アドレス、およびモデル情報を表示します。これらのエントリを変更する場合は、**[設定]** タブの **[デバイス情報]** をクリックします。 ● **[コントロール パネル]**： **[印字可]**、**[スリープ モード オン]** など、デバイスのコントロール パネルからのメッセージを表示します。 ● **[印刷]**： 印刷ジョブをデバイスに送信することができます。
[設定] タブ コンピュータからデバイスを設定できます。	● **[デバイスの設定]**： デバイスを設定できます。このページでは、コントロール パネルを使用して、デバイスの従来型のメニューを表示します。 ● **[電子メール サーバ]**： ネットワーク プリンタ専用です。**[警告]** ページと合わせて使用し、受信および送信メールの設定の他に電子メール警告の設定も行います。 ● **[警報]**： ネットワーク プリンタ専用です。さまざまなデバイスおよびサプライ品のイベントの電子メール警告を受信するように設定できます。 ● **[自動送信]**： デバイスの設定およびサプライ品に関する自動電子メールを特定の電子メール アドレスに送信するようにデバイスを設定できます。 ● **[セキュリティ]**： **[設定]** および **[ネットワーキング]** タブにアクセスするためのパスワードを設定します。内蔵 Web サーバの任意の機能を有効または無効にします。 ● **[認証マネージャ]**： ユーザーが使用するためにログイン情報の入力が必要なデバイス機能を決めることができます。 ● **[LDAP 認証]**： デバイスへのアクセスを特定のユーザーに制限するように LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) サーバを設定できます。LDAP サーバによって、デバイスにアクセスするためのログイン情報の入力が要求されます。 ● **[その他のリンクの編集]**： 別の Web サイトへのリンクを追加またはカスタマイズできます。このリンクは、内蔵 Web サーバのすべてのページの **[その他のリンク]** 領域に表示されます。 ● **[デバイス情報]**： デバイスに名前を付け、アセット番号を割り当てることができます。デバイスに関する情報を受信する主要な連絡先の名前と電子メールアドレスを入力できます。 ● **[言語]**： 内蔵 Web サーバの情報を表示する言語を指定します。 ● **[日付と時刻]**： ネットワーク タイム サーバと時間の同期をとります。 ● **[スリープ復帰時刻]**： デバイスのスリープ復帰時刻を設定または編集できます。

タブまたはセクション	オプション
	注記： **[設定]** タブはパスワードで保護できます。デバイスがネットワークに接続されている場合は、このタブで設定を変更する前に必ずデバイスの管理者に相談してください。
[デジタル送信] タブ	**[デジタル送信]** タブのページを使用して、デジタル送信機能を設定します。 注記： オプションの HP Digital Sending Softwar を使用してプリンタを設定した場合、これらのタブのオプションは使用できません。その代わりに、すべてのデジタル送信設定は、 HP Digital Sending Software を使用して行われます。 ● **一般**。システム管理者の連絡先情報を設定します。 ● **電子メールへの送信**。電子メールの設定をデジタル送信用に設定します。SMTP サーバ、デフォルトの「送信元」アドレスおよびデフォルトの件名を指定できます。添付ファイルの最大許容サイズも設定できます。 ● **電子メール アドレス帳**。電子メール アドレス帳ページを使用して、電子メール アドレスを一度に 1 つずつプリンタに追加し、またプリンタに保存された電子メール アドレスを編集できます。また、[インポート/エクスポート] タブを使用すれば、頻繁に使用する電子メール アドレスの大きなリストを、一度に 1 つずつではなく一括でロードすることができます。 ● **インポート/エクスポート**。このタブを使用して、電子メール アドレス、ファックス番号、ユーザー レコードなどを含む .CSV ファイルをインポートまたはエクスポートして、プリンタからアクセスできるようにすることができます。また、電子メール、ファックス、またはユーザー レコードをプリンタからコンピュータ上のファイルにエクスポートすることもできます。このファイルをデータのバックアップとして使用したり、このファイルを使用して、別の HP デバイスにレコードをインポートすることができます。 ● **ログ**。プリンタのデジタル送信アクティビティ ログを表示します。このログには、発生したエラーを含めたデジタル送信ジョブの情報が含まれます。 ● **ユーザー設定**。デジタル送信のデフォルト設定 (デフォルトのページ サイズおよびデフォルトの設定リセット遅延など) を設定します。これらの設定は、プリンタのコントロール パネルのメニューを使用しても設定できます。
[ファックス] タブ	**[ファックス]** タブには、プリンタのファックス機能を設定し、使用するためのオプションがあります。ファックス機能について詳しくは、『Fax User Guide』を参照してください。 ● **[ファックス設定]** 画面を使用して、プリンタのファックスへの送信機能を設定します。 ● **[ファックス アドレス帳]** ページを使用して、ファックス番号を一度に 1 つずつプリンタに追加し、またプリンタに保存されたファックス番号を編集できます。また、**[デジタル送信]** タブの [インポート/エクスポート] 機能を使用すれば、頻繁に使用するファックス番号の大きなリストを、一度に 1 つずつではなく一括でロードすることができます。 ● **[ファックス短縮ダイヤル]** 画面を使用して、プリンタで (またはプリンタから) ファックス短縮ダイヤル番号エントリを追加、編集、または削除します。ファックス短縮ダイヤルを使用して、頻繁に使用するファックス番号または 100 個までのファックス番号のリストを保存できます。100 個までの短縮ダイヤル エントリを設定できます。

タブまたはセクション	オプション
[ネットワーキング] タブ コンピュータからネットワーク設定を変更できます。	ネットワーク管理者は、このタブを使用して、デバイスが IP ベースのネットワークに接続されているときにデバイスのネットワーク関連の設定を制御することができます。デバイスが直接コンピュータに接続されている場合、またはデバイスが HP Jetdirect プリント サーバ以外を使用してネットワークに接続されている場合、このタブは表示されません。 注記： **[ネットワーキング]** タブはパスワードで保護できます。
[その他のリンク] インターネットに接続するさまざまなリンクが表示されます。	● **[HP Instant Support™]**： トラブルの解決方法を参照するために HP の Web サイトに接続します。このサービスは、デバイスのエラー ログと設定情報を分析して、そのデバイスに合った診断とサポート情報を提供するものです。 ● **[サプライ品の購入]**： HP SureSupply Web サイトに接続し、プリント カートリッジや用紙などの HP 純正サプライ品の購入オプションに関する情報を表示できます。 ● **[製品サポート]**： デバイスのサポート サイトに接続し、一般的なトピックに関するヘルプを検索することができます。 注記： これらのリンクを使用するには、インターネットにアクセスできる環境が必要です。ダイヤルアップ接続を使用しており、内蔵 Web サーバを最初に起動したときにインターネットに接続しなかった場合は、これらの Web サイトにアクセスする前にインターネットに接続する必要があります。インターネットに接続する場合は、内蔵 Web サーバをいったん閉じて再起動しなければならない場合があります。

HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用

HP Web Jetadmin は、ネットワークに接続された周辺装置のインストール、監視、およびトラブルの解決をリモートで実現する Web ベースのソフトウェア ソリューションです。分かりやすいブラウザ インタフェースによって、HP 製プリンタと HP 製以外のデバイスを含む幅広いデバイスのクロスプラットフォーム管理が容易になります。問題が発生する前に事前に管理できるので、ネットワーク管理者はユーザーに影響が及ぶ前に問題を解決することができます。この無料の拡張管理ソフトウェアは、www.hp.com/go/webjetadmin_software からダウンロードしてください。

HP Web Jetadmin 用のプラグインを入手するには、**[プラグイン]** をクリックした後、必要なプラグインの名前の横にある **[ダウンロード]** リンクをクリックします。新しいプラグインが使用可能になると、HP Web Jetadmin ソフトウェアから自動的に通知されます。**[製品の更新]** ページの指示に従うと、HP Web サイトに自動的に接続されます。

HP Web Jetadmin をホスト サーバーにインストールすると、Windows 用の Microsoft Internet Explorer 6.0 や Linux 用の Netscape Navigator 7.1 など、対応している Web ブラウザを通じて任意のクライアントから使用することができます。HP Web Jetadmin ホストにアクセスしてください。

注記： ブラウザは Java 対応である必要があります。Apple PC からのアクセスには対応していません。

セキュリティ機能

内蔵 Web サーバのセキュリティ保護

内蔵 Web サーバにアクセスするためのパスワードを割り当てて、権限のないユーザーがプリンタの設定を変更できないようにします。

1. 内蔵 Web サーバーを開きます。193 ページの 「内蔵 Web サーバ」 を参照してください。
2. **[設定]** タブをクリックします。
3. ウィンドウの左側にある **[セキュリティ]** をクリックします。
4. **[新規パスワード]** の横にパスワードを入力し、**[パスワードの確認]** の横にもう一度パスワードを入力します。
5. **[適用]** をクリックします。パスワードをメモして、安全な場所に保管してください。

Foreign Interface Harness (FIH)

外部インタフェース ハーネス (FIH) はプリンタ上にポータルを提供します。FIH および他社製の装置を使用して、プリンタ上で作成されたコピーに関する情報を追跡できます。

要件

- Windows 2000 または Windows XP
- Equitrac デバイスや Copitrack デバイスなどのサードパーティ製課金ハードウェア ソリューションへのアクセス

FIH の使用

FIH を使用するには、FIH ソフトウェアをダウンロードしてインストールする必要があります。このソフトウェアは www.hp.com/go/cljcm6030mfp_software および www.hp.com/go/cljcm6040mfp_software から入手できます。このソフトウェアを使用して、FIH ポータルを有効または無効にします。このソフトウェアを使用して、管理者の個人識別番号 (PIN) を設定および変更できます。

管理者は PIN オプションを使用して FIH を設定し、権限のない変更を防ぐことができます。変更は、PIN が正しく認証された場合にのみ実行できます。

注記： FIH 管理ソフトウェアに割り当てられている PIN を記憶しておくことが重要です。PIN は、FIH を変更する場合に必ず必要になります。

FIH ポータルの有効化

1. FIH.EXE ファイルをダブルクリックします。**[Foreign Interface Harness]** ダイアログ ボックスが表示されます。
2. **[OK]** をクリックします。
3. **[Enable]** をクリックします。
4. PIN を以前に入力していない場合は、**[No]** をクリックします。PIN を以前に入力した場合は、**[Yes]** をクリックします。**[No]** をクリックした場合は、PIN を入力して確認し、**[OK]** をクリックします。**[Yes]** をクリックした場合は、PIN を入力し、**[OK]** をクリックします。

📝 注記： PIN には数値を入力する必要があります。

5. 接続のタイプの該当するボタン (**[ダイレクト]** または **[ネットワーク]**) をクリックします。**[ダイレクト]** を選択した場合は、プリンタのポートを入力します。**[ネットワーク]** を選択した場合は、プリンタの IP アドレスとポートを入力します。

📝 注記： プリンタの IP アドレスは、設定ページにあります。

間違った IP アドレスを入力すると、エラー メッセージが表示されます。アドレスが正しい場合は、ポータルが有効になります。

FIH ポータルの無効化

1. FIH.EXE ファイルをダブルクリックします。**[Foreign Interface Harness]** ダイアログ ボックスが表示されます。
2. **[OK]** をクリックします。
3. **[Disable]** をクリックします。
4. PIN を入力し、**[OK]** をクリックします。
5. 接続のタイプの該当するボタン (**[ダイレクト]** または **[ネットワーク]**) をクリックします。**[ダイレクト]** を選択した場合は、プリンタのポートを入力して、**[OK]** をクリックします。**[ネットワーク]** を選択した場合は、プリンタの IP アドレスとポートを入力して、**[OK]** をクリックします。ポータルが無効になります。

📝 注記： PIN 番号を紛失し、ポータルを無効にする必要がある場合は、無効にするように表示されたデフォルトの PIN を使用してみてください。サポートが必要な場合は、内蔵 Web サーバまたは www.hp.com/go/instantsupport で使用できる HP Instant Support サービスを利用してください。193 ページの 「内蔵 Web サーバ」を参照してください。

セキュア ディスク消去

削除したデータをプリンタのハードディスクへの権限のないアクセスから保護するには、セキュアディスク消去機能を使用してください。この機能を使用すると、印刷およびコピー ジョブをハード ドライブから安全に消去することができます。

セキュア ディスク消去機能には、次のレベルのディスク セキュリティが用意されています。

- **安全でない高速消去**。これは、単純なファイル テーブル消去機能です。ファイルへのアクセスは削除されますが、実際のデータはその後のデータ保存操作によって上書きされるまでディスクに残ります。これは最も高速なモードです。安全でない高速消去はデフォルトの消去モードです。
- **安全な高速消去**。ファイルへのアクセスが削除され、固定の同一文字パターンでデータが上書きされます。これは安全でない高速消去よりも低速ですが、すべてのデータが上書きされます。安全な高速消去は、米国国防総省 5220-22.M ディスク メディア消去に関する要件を満たしています。
- **安全なクリーニング消去**。このレベルは安全な高速消去モードと似ています。ただし、データが永続的に残留することを防ぐアルゴリズムを使用して、データが繰り返し上書きされます。このモードではパフォーマンスが低下します。安全なクリーニング消去は、米国国防総省 5220-22.M ディスク メディア クリーニングに関する要件を満たしています。

影響を受けるデータ

セキュア ディスク消去機能の影響を受ける (対象となる) データには、印刷およびコピー処理中に作成される一時ファイル、保存ジョブ、試し刷り後に保留ジョブ、ディスクベースのフォント、ディスクベースのマクロ (フォーム)、保存されたファックス ファイル、アドレス帳、HP およびサードパーティ製アプリケーションが含まれます。

注記： 保存したジョブは、適切な消去モードを設定した後で、プリンタの **ジョブの取得** メニューで削除した場合だけ安全に上書きされます。

この機能は、デフォルト設定、ページ数などのデータを保存するのに使用されるフラッシュベースの非揮発性 RAM (NVRAM) に保存されているデータには影響を与えません。この機能は、システム RAM ディスク (使用している場合) に保存されているデータには影響を与えません。この機能は、フラッシュベースのシステム ブート RAM に保存されているデータには影響を与えません。

セキュアディスク消去モードを変更しても、変更前からあったデータが上書きされることはなく、ディスク全体が直ちにクリーニングされることもありません。消去モードの変更後に、プリンタがジョブの一時データを消去する方法が変わるだけです。

セキュア ディスク消去へのアクセス

HP Web Jetadmin を使用してセキュア ディスク消去機能にアクセスし、この機能を設定します。

補足情報

HP セキュア ディスク消去機能について詳しくは、HP サポート パンフレットか、www.hp.com/go/webjetadmin/ を参照してください。

DSS 認証

本製品用のオプションの Digital Sending Software (DSS) を別途ご購入いただけます。このソフトウェアは、認証プロセスを含む高度な送信プログラムを提供します。このプロセスには、ユーザーが認証の必要な DSS 機能を使用する前に、ユーザー ID とパスワードを入力する必要があります。

コントロール パネル メニューのロック

プリンタの設定が変更されるのを防ぐには、コントロール パネルのメニューをロックします。これによって、権限のないユーザーは SMTP サーバなどの設定を変更できなくなります。次に、HP Web Jetadmin ソフトウェアを使用して、コントロール パネルのメニューへのアクセスを制限する方法について説明します。(197 ページの 「HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用」 を参照)。

1. HP Web Jetadmin プログラムを開きます。
2. **[Navigation]** パネルのドロップダウン リストにある **[DEVICE MANAGEMENT]** フォルダを開きます。**[DEVICE LISTS]** フォルダに移動します。
3. プリンタを選択します。
4. **[DEVICE TOOLS]** ドロップダウン リストで、**[Configure]** を選択します。
5. **[Configuration Categories]** リストから **[Security]** を選択します。
6. **[Device Password]** に入力を行います。
7. **[Control Panel Access]** セクションで、**[Maximum Lock]** を選択します。これによって、権限のないユーザーは構成にアクセスできなくなります。

リアルタイム クロックの設定

日付と時刻を設定するには、リアルタイム クロック機能を使用します。保存された印刷、ファックス、およびデジタル送信ジョブには日付と時刻情報が添付されているため、保存された印刷ジョブの最新のバージョンを識別できます。

日付形式の設定

1. コントロール パネルで、スクロールして [管理] を選択します。
2. [時刻/スケジューリング] を選択します。
3. [日付/時刻] を選択します。
4. [日付形式] を選択します。
5. 使用する形式を選択します。
6. [保存] を選択します。

日付の設定

1. コントロール パネルで、スクロールして [管理] を選択します。
2. [時刻/スケジューリング] を選択します。
3. [日付/時刻] を選択します。
4. [日付] を選択します。
5. 該当するオプションを選択して、正確な年月日を設定します。
6. [保存] を選択します。

時刻形式の設定

1. コントロール パネルで、スクロールして [管理] を選択します。
2. [時刻/スケジューリング] を選択します。
3. [日付/時刻] を選択します。
4. [時刻形式] を選択します。
5. 使用する形式を選択します。
6. [保存] を選択します。

時刻の設定

1. コントロール パネルで、スクロールして [管理] を選択します。
2. [時刻/スケジューリング] を選択します。
3. [日付/時刻] を選択します。
4. [時刻] を選択します。

5. 該当するオプションを選択して、正確な時、分、および午前/午後の設定を行います。

6. [保存] を選択します。

サプライ品の管理

最高の印刷結果を得るためには、HP 純正プリント カートリッジを使用してください。

プリント カートリッジの保管

使用するまでは、プリント カートリッジをパッケージから出さないでください。

△ 注意： 損傷を防ぐために、プリント カートリッジを長時間 (2、3 分以上) 光に当てないでください。

HP 製以外のプリント カートリッジに関する規定

新品または再生品のどちらについても、HP 製以外のプリント カートリッジの使用はお勧めできません。

△ 注意： HP 製以外のプリント カートリッジが原因で故障が発生した場合、HP の保証やサービス契約は適用されません。

新しい HP 製プリント カートリッジを取り付けるには、205 ページの 「プリント カートリッジの交換」を参照してください。使用済みカートリッジをリサイクルするには、新しいカートリッジに付属している以下の手順に従ってください。

HP の不正品ホットラインと Web サイト

HP 製プリント カートリッジを取り付けたときに、HP 製ではないことを示すメッセージがコントロール パネルに表示された場合は、HP 不正品ホットラインに連絡するか (北米の場合はフリーダイヤル 1-877-219-3183)、www.hp.com/go/anticounterfeit にアクセスしてください。弊社はそのカートリッジが純正品かどうかを調べ、問題を解決するための措置をとるお手伝いをします。

以下の点にお気付きの場合は、お使いのプリント カートリッジが HP 純正プリント カートリッジではない可能性があります。

- プリント カートリッジに問題が多発している。
- カートリッジの外観が通常の外観と異なる (たとえば、オレンジ色のプル タブがない、パッケージが HP 製のパッケージと異なるなど)。

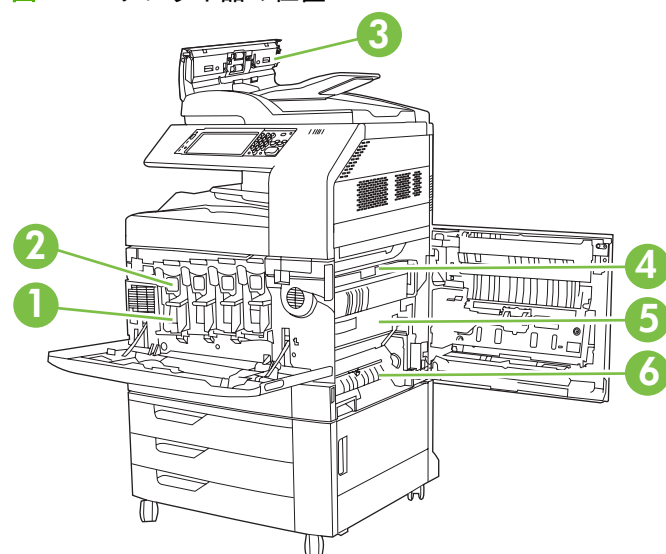
サプライ品交換

HP 純正サプライ品を使用している場合は、サプライ品の寿命が近づくと自動的に通知されます。サプライ品の注文が通知されても、サプライ品を交換する必要が生じるまでには十分時間があります。サプライ品の注文方法について詳しくは、293 ページの 「サプライ品とアクセサリ」を参照してください。

サプライ品の確認

サプライ品はラベルと青いプラスチックのハンドルによって識別されます。

次の図は、各サプライ品の位置を示しています。

図 14-1 サプライ品の位置

1	イメージ ドラム
2	プリント カートリッジ
3	文書フィーダ キット
4	フューザ
5	トランスファー ユニット
6	トランスファー ローラー

サプライ品交換のガイドライン

サプライ品を簡単に交換できるように、プリンタのセットアップ時に次のガイドラインに従ってください。

- プリンタの正面と右側に、サプライ品を取り外すための十分なスペースを確保します。
- プリンタを平らでしっかりした場所に置きます。

サプライ品の取り付け手順については、各サプライ品に付属のインストール ガイドを参照してください。詳しくは、www.hp.com/go/cljcm6030mfp_software または www.hp.com/go/

cljcm6040mfp_software にアクセスしてください。アクセスした後、**[問題の解決]** を選択してください。

△ 注意： Hewlett-Packard の純正サプライ品を使用することをお勧めします。HP 以外の製品を使用すると、Hewlett-Packard の保証期間延長またはサービス契約の対象外のサービスを必要とする問題が発生する場合があります。

サプライ品の交換間隔の目安

次の表はサプライ品の推定交換間隔と各品目の交換を求めるコントロール パネルのメッセージを示しています。使用状況や印刷のパターンによって、結果は異なる場合があります。

品目	プリンタのメッセージ	ページ数	推定使用期間
プリント カートリッジ	**<カラー> のカートリッジを交換してください**	17,000 ページ [1](カラーの場合) 20,000 ページ (黒の場合)	4 か月 (カラーの場合) 5 か月 (黒の場合)
イメージ ドラム	**<カラー> ドラムを交換してください**	35,000 ページ [1]	
イメージ トランスファー キット	**トランスファー キットを交換してください**	150,000 ページ [2]	37 か月
イメージ フューザ キット	**フューザ キットを交換してください**	100,000 ページ	25 か月
ローラー キット	**ローラー キットを交換してください**	100,000 ページ	25 か月
ステイプラ カートリッジ	**ステイプル カートリッジを交換してください**	5000 回	
ブックレット メーカーのステイプル カートリッジ	**ステイプル カートリッジ 2 と 3 を交換してください**	ブックレット 2,000 部	
文書フィーダ キット	**文書フィーダ キットを交換してください**	60,000 ページ	50 か月

[1] 各カラーが 5% の印字率で A4 またはレター サイズの 2 ページのジョブを トレイ 2 から印刷した場合の概算

[2] 月あたり 4,000 ページとしての、おおよその寿命

プリント カートリッジの交換

プリント カートリッジの寿命が終わりに近づくと、コントロール パネルに交換の準備を勧めるメッセージが表示されます。コントロール パネルにカートリッジの交換を指示するメッセージが表示されるまでは、プリンタは現在のプリント カートリッジを使用して印刷を続けることができます。

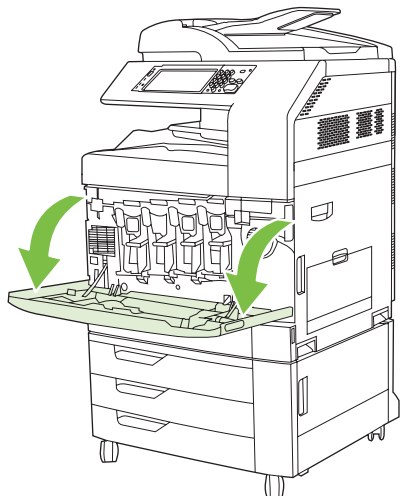
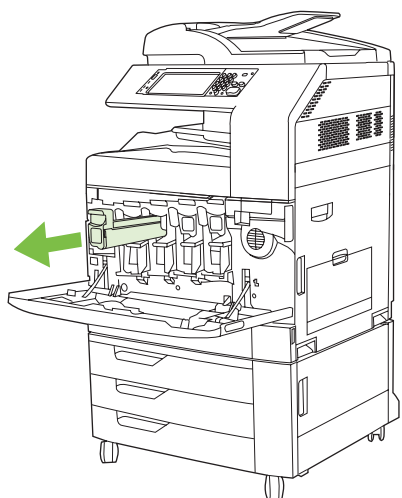
プリンタは 4 色を使用し、色ごとにプリント カートリッジがあります。黒 (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、およびイエロー (Y) です。

コントロール パネルに「**<カラー> のカートリッジを交換してください**」というメッセージが表示されたら、プリント カートリッジを交換します。このメッセージには、交換が必要な色も示されます (HP の純正カートリッジを取り付けている場合)。プリント カートリッジの箱にも、交換手順の説明が付属しています。

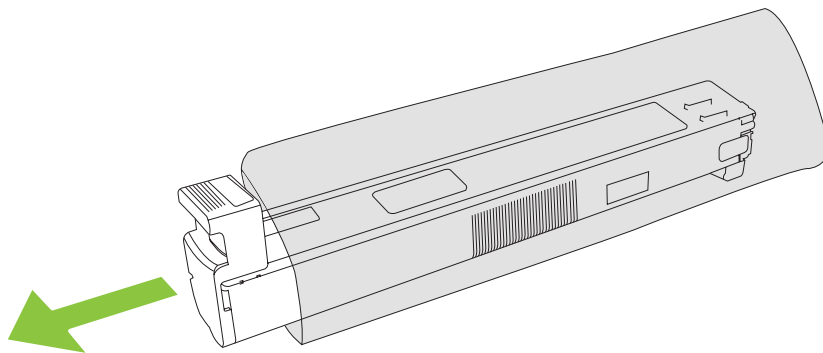
△ 注意： トナーが衣服に付いた場合は、乾いた布で拭き取り、冷水で洗濯してください。お湯を使うと、トナーが布に染み着きます。

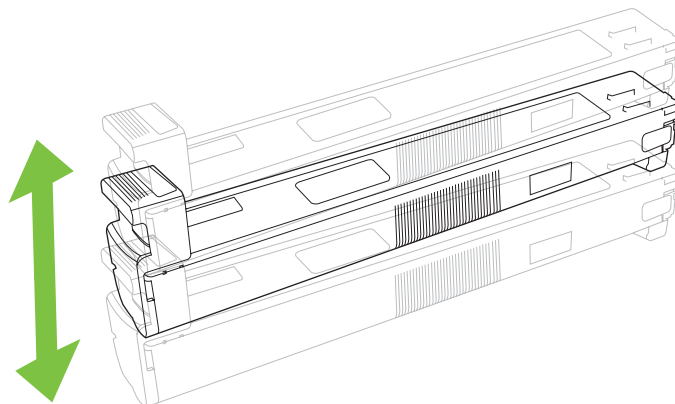
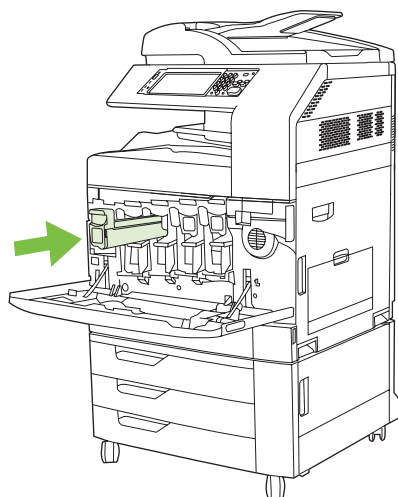
注記： 使用済みプリント カートリッジのリサイクルの詳細は、プリント カートリッジの箱に記載されています。

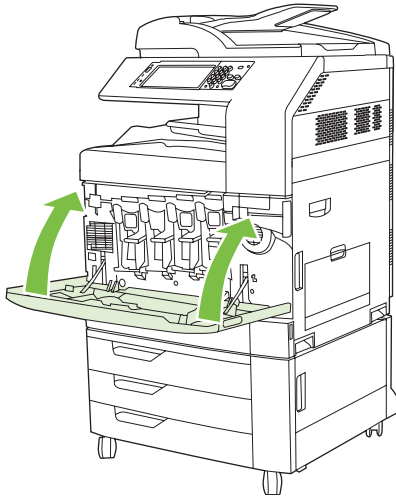
プリント カートリッジの交換

1. 正面ドアの両側にある持ち手をつかんで下ろし、正面ドアを開きます。

2. 使用済みプリント カートリッジのハンドルをつかんで引き出します。

3. 使用済みプリント カートリッジを、保護用の袋に入れて保管します。使用済みプリント カートリッジのリサイクルの詳細は、プリント カートリッジの箱に記載されています。

4. 同様に、他のプリント カートリッジも取り出します。

5. 保護用の袋から新しいプリント カートリッジを取り出します。

注記： 保護用の袋は、後で使用するときのために安全な場所に保管しておいてください。

6. プリント カートリッジの両側を持ち、5 ～ 6 回上下に振ります。

7. プリント カートリッジをスロットに合わせて、カチッと音がするまで押し込みます。

8. 同様に、他のプリント カートリッジも挿入します。

9. 正面ドアの両側にある持ち手をつかみ、正面ドアを上げて閉じます。

使用済みプリント カートリッジのリサイクルについては、新しいプリント カートリッジに付属している指示書に従ってください。

イメージ ドラムの交換

イメージ ドラムの寿命が近づくと、コントロール パネルに交換品の注文を促すメッセージが表示されます。コントロール パネルにイメージ ドラムの交換を指示するメッセージが表示されるまでは、プリンタは現在のイメージ ドラムを使用して印刷を続けることができます。

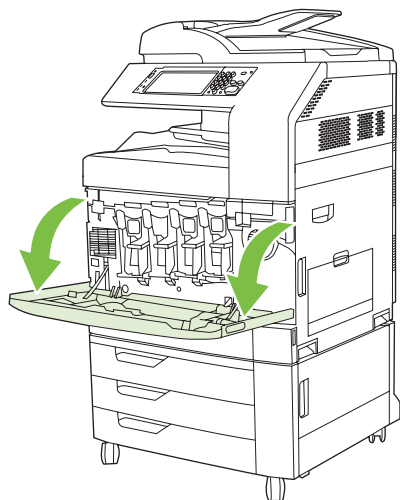
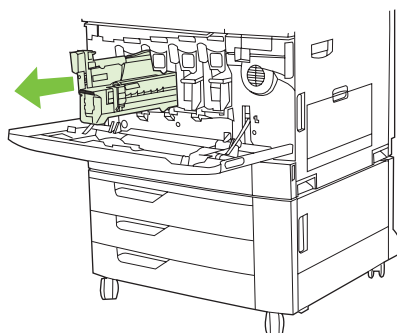
プリンタは 4 色を使用し、色ごとにイメージ ドラムがあります。黒 (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、およびイエロー (Y) です。

コントロール パネルに「**<カラー> ドラムを交換してください**」というメッセージが表示されたら、イメージ ドラムを交換します。このメッセージには、交換が必要な色も示されます (HP 社の純正のカートリッジが取り付けてられている場合)。交換用の指示書がイメージ ドラムに同梱されています。

△ **注意：** トナーが洋服に付いた場合は、乾いた布で拭き取り、冷水で洗ってください。温水を使用するとトナーが布に染み込みます。

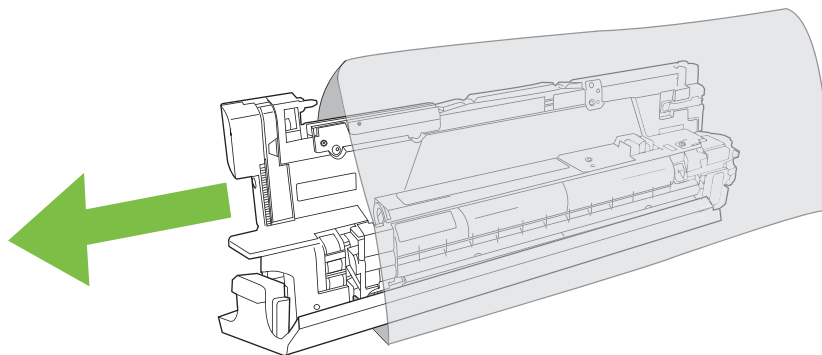
注記： 使用済みイメージ ドラムのリサイクルについては、イメージ ドラムの箱に記載されています。

イメージ ドラムの交換

1. 正面ドアの両側にある持ち手をつかんで下ろし、正面ドアを開きます。

2. 片方の手で使用済みイメージ ドラムを持ち上げ、もう片方の手を添えて、プリンタからゆっくりと引き出します。

△ **注意：** イメージ ドラムを再使用する場合は、ドラムの下部にある緑色のシリンダには手を触れないでください。ドラムが損傷することがあります。

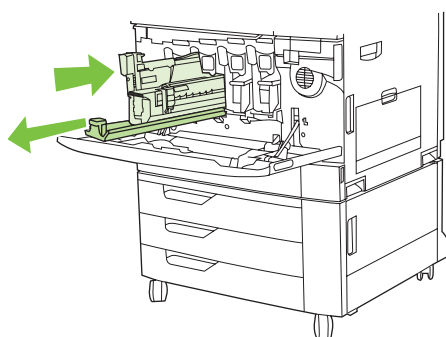
3. 使用済みイメージ ドラムを、保護用の袋に入れて保管します。使用済みイメージ ドラムのリサイクルについては、イメージ ドラムの箱に記載されています。

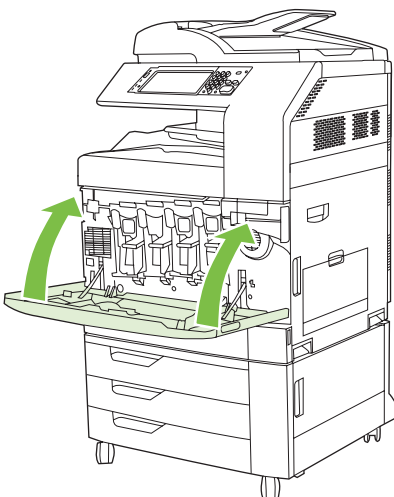
4. 同様に、他のイメージ ドラムも取り出します。

5. 保護用の袋から新しいイメージ ドラムを取り出します。

注記： 保護用の袋は、後で使用するときのために安全な場所に保管しておいてください。

注記： イメージ ドラムを振らないでください。

△ 注意： イメージ ドラムの下部にある緑色のシリンダには手を触れないでください。ドラムが損傷することがあります。

6. イメージ ドラムを正しいスロットに合わせて、イメージ ドラム ユニットをカチッと音がするまで押し込みます。イメージ ドラムを挿入するにつれて、ドラムの底のグレイの保護カバーがスライドして開き、ドラムが挿入されます。このカバーは廃棄してかまいません。

7. 同様に、他のイメージ ドラムも挿入します。

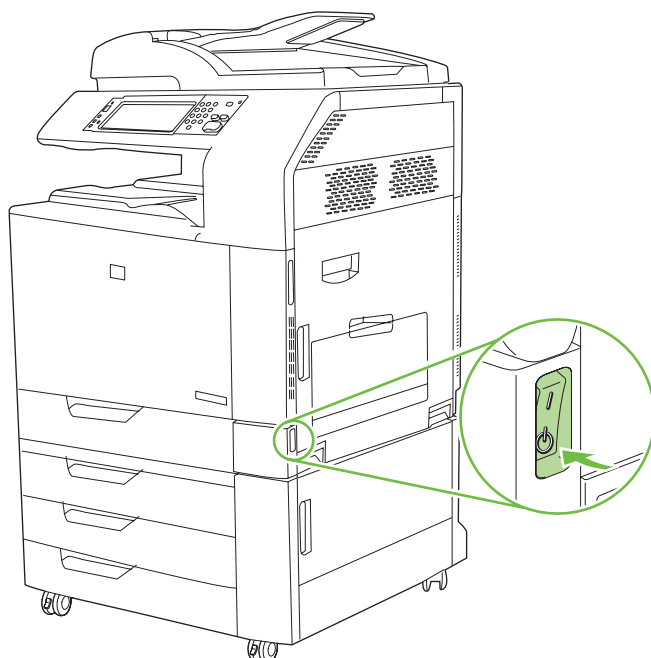
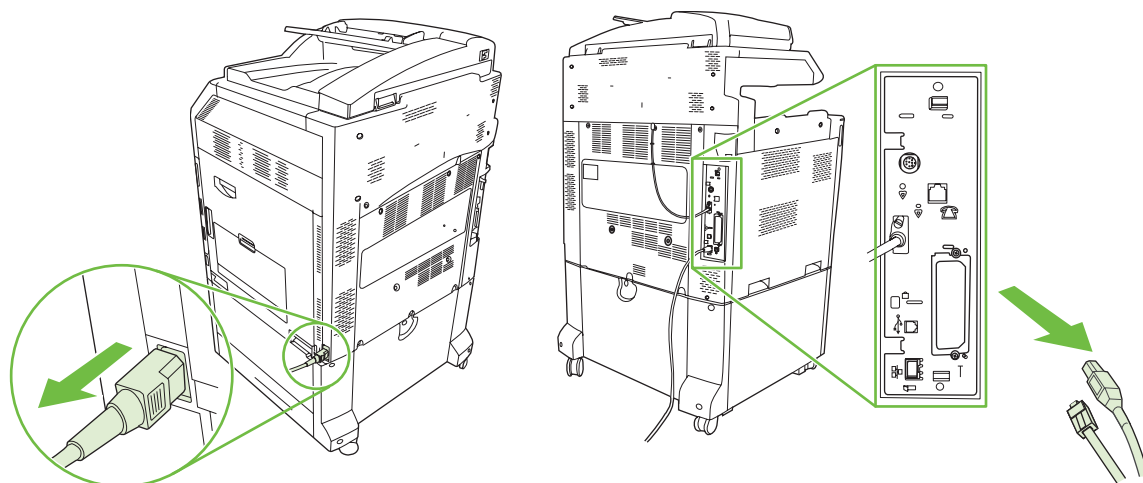
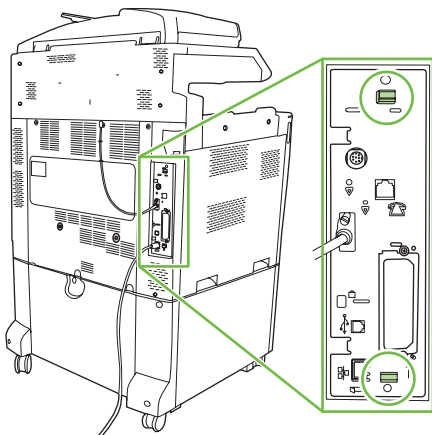
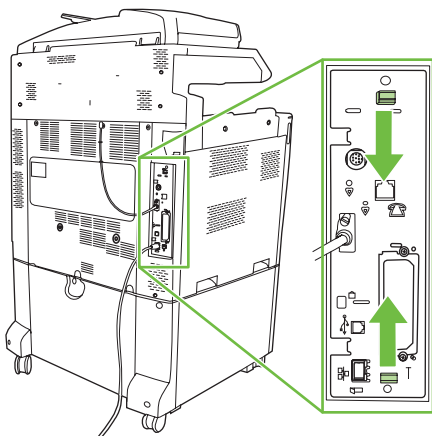
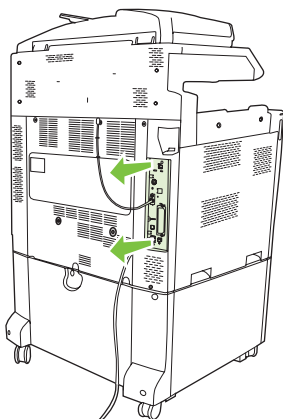
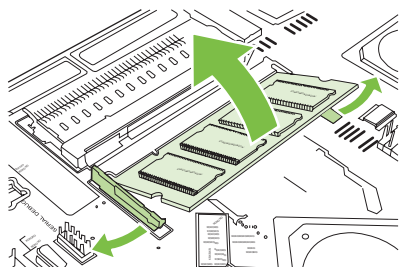
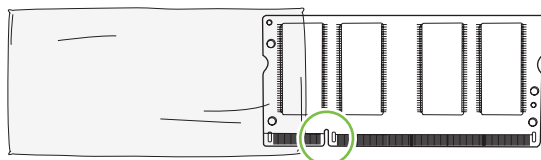
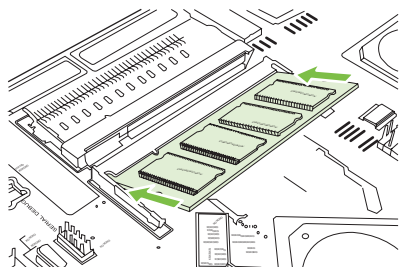
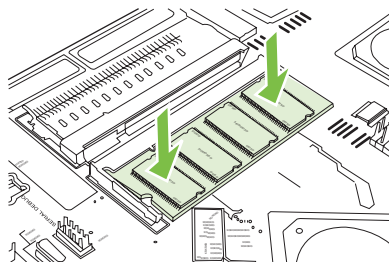
8. 正面ドアの両側にある持ち手をつかみ、正面ドアを上げて閉じます。

使用済みイメージ ドラムのリサイクルについては、新しいイメージ ドラムに付属している指示書に従ってください。

メモリの装着

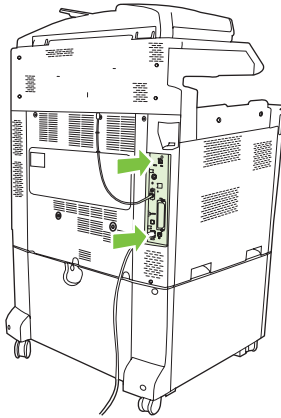
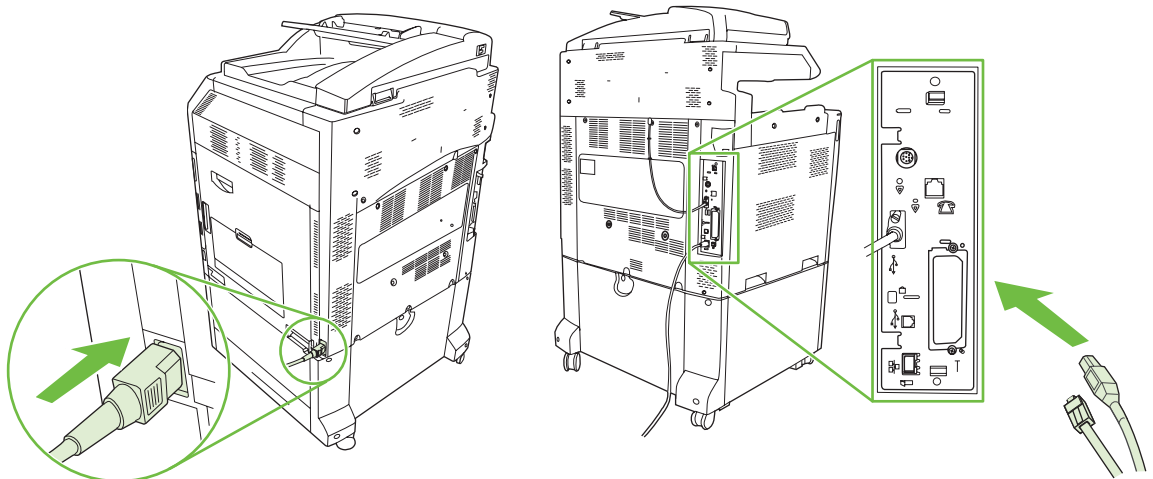
プリンタにメモリを追加できます。

△ **注意：** 静電気は DIMM に損傷を与えます。DIMM を取り扱うときは、静電気防止用リスト ストラップを着用するか、頻繁に DIMM の静電気防止パッケージの表面に触れてから、プリンタの露出した金属部に触れるようにしてください。

DDR メモリ DIMM の追加

1. プリンタの電源を切ります。

2. 電源ケーブルとインタフェース ケーブルをすべて取り外します。

3. プリンタの背面のフォーマッタ ボードにある黒のフォーマッタ圧力解放タブを見つけます。

4. 黒いタブが向き合うように軽く押します。

5. 黒いタブを軽く引き、フォーマッタ ボードをプリンタから引き出します。引き出したフォーマッタ ボードを清潔で平らな接地面に置きます。

6. 現在装着されている DIMM を交換するには、DIMM スロットの両側にあるラッチを開き、DIMM を少し傾けながら押し上げて取り外します。

7. 新しい DIMM を静電気防止パッケージから取り出します。DIMM の下端の位置合わせ用切り込みの位置を確認します。

8. DIMM の端を持って、DIMM 上の切り込みを DIMM スロットのバーに一定の角度で合わせ、DIMM を完全に固定されるまで、スロットに押し込みます。正しく取り付けると、金属の接点が見えなくなります。

9. 両側のラッチが DIMM にかかるまで、DIMM を押します。

注記：　DIMM をうまく挿入できない場合は、DIMM の下部の切り込みの位置がスロットのバーに合っていることを確認してください。それでも DIMM を挿入できない場合は、正しいタイプの DIMM を使用していることを確認してください。

10. スロットの下部の溝にフォーマッタ ボードを合わせ、ボードをプリンタ側へスライドします。

△ **注意：** フォーマッタ ボードの損傷を防ぐために、フォーマッタ ボードを確実にトラックに合わせてください。

11. 電源ケーブルとインタフェース ケーブルをつなぎ直し、プリンタの電源を入れます。

12. 新しいメモリを有効にするには、214 ページの 「メモリの有効化」 に進んでください。

メモリの有効化

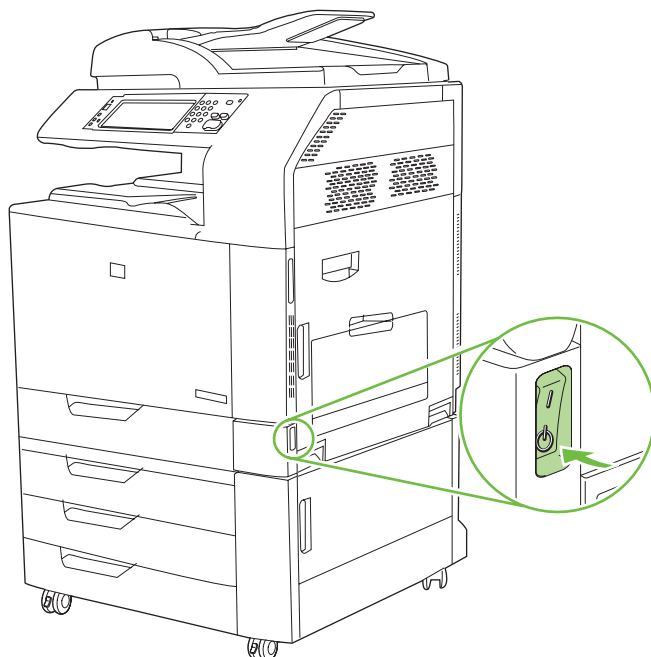
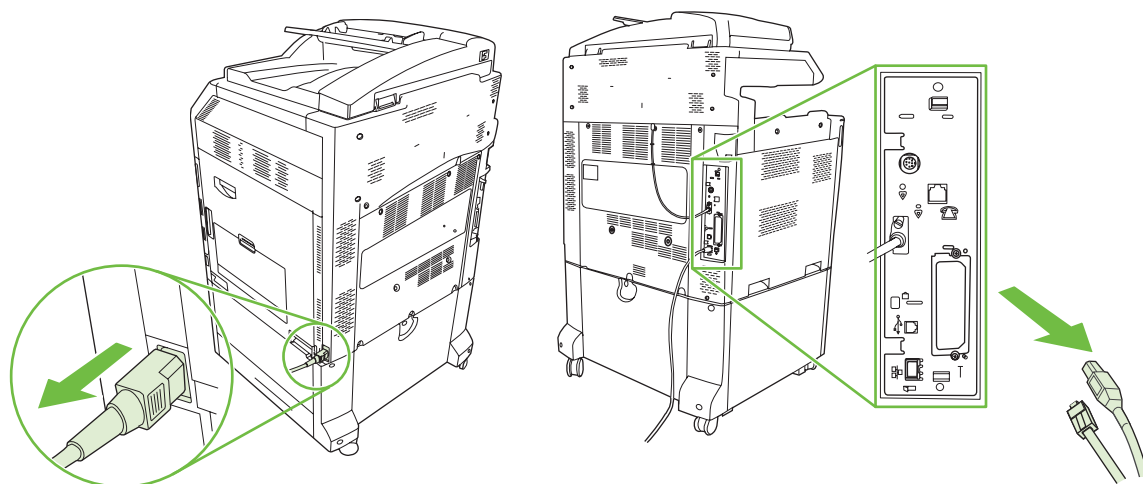
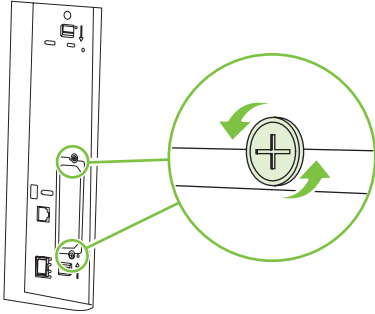
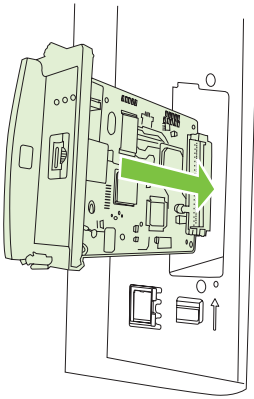
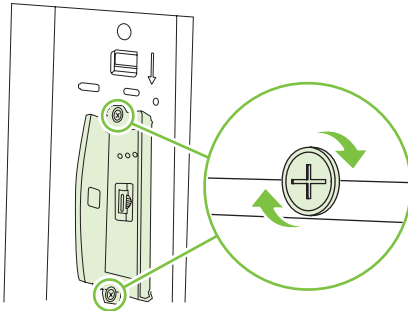
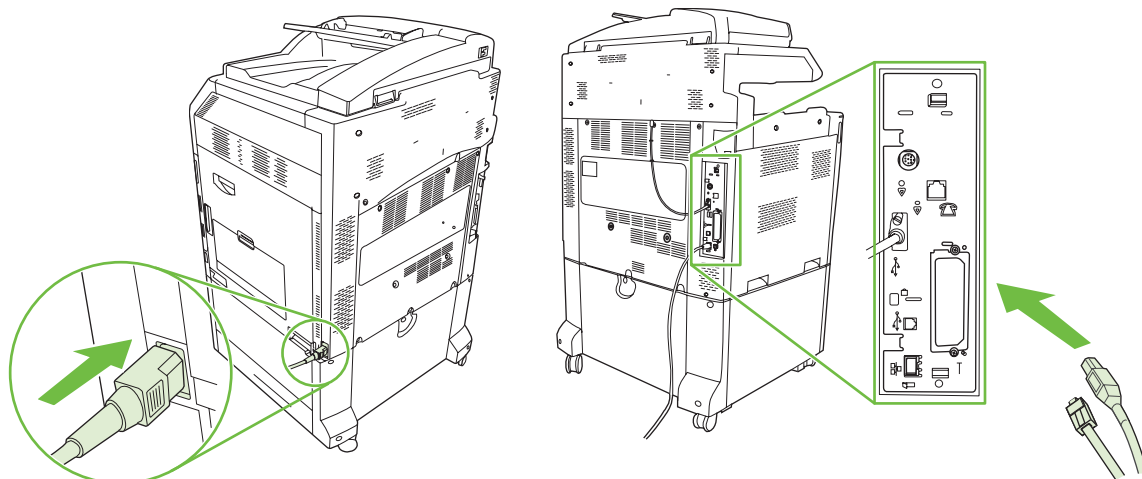
新しい DIMM を取り付けたら、新しく追加した DIMM を認識するように製品のドライバを設定してください。

Windows 2000 および XP でメモリを有効にする

1. **[スタート]** メニューで、**[設定]** を選択し、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** を選択します。
2. プリンタを右クリックして、**[プロパティ]** を選択します。
3. **[デバイス設定]** タブで、**[プリンタ メモリ]** (**[インストール可能なオプション]** セクション) をクリックします。
4. インストールした合計メモリ容量を選択します。
5. **[OK]** をクリックします。

HP Jetdirect または EIO プリント サーバ カード、EIO ハード ディスクの取り付け

HP Color LaserJet CM6030/CM6040 MFP シリーズ には、内蔵プリント サーバ ポートが装備されています。必要であれば、追加の I/O カードを利用できる EIO スロットに取り付けます。

1. プリンタの電源を切ります。

2. 電源ケーブルとインタフェース ケーブルを取り外します。

3. EIO スロットを見つけて開きます。EIO スロットのカバーを固定する 2 つの固定ネジをゆるめて、取り外します。これらのネジとカバーは不要となり、再び使用することはありません。廃棄してかまいません。

4. HP Jetdirect プリント サーバ カードを EIO スロットにしっかりと挿入します。

5. プリント サーバ カードに付属の固定ネジを挿入して締めます。

6. 電源ケーブルと残りのインタフェース ケーブルをつなぎ直し、プリンタの電源を入れます。

7. 設定ページを印刷します。製品の設定ページに加えて、サプライ品のステータス ページおよびネットワーク設定やステータスの情報を含む HP Jetdirect 設定ページも印刷する必要があります。

   このページが印刷されない場合は、プリンタの電源を切り、プリント サーバ カードをいったん取り外してから、スロットにしっかりと差し込んでください。

8. 次の手順のいずれかを実行します。

   - 正しいポートを選択します。その手順についてはコンピュータまたはオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。
   - 今回はネットワーク インストールを選択して、ソフトウェアを再インストールします。

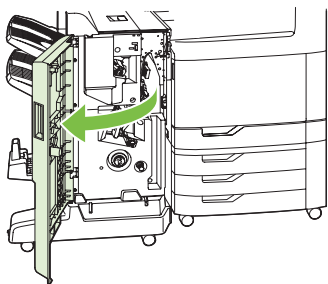
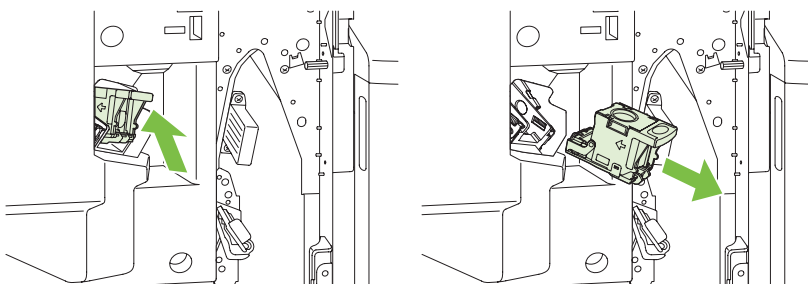
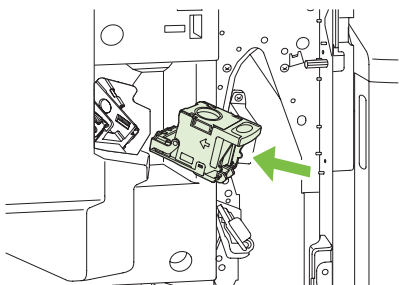
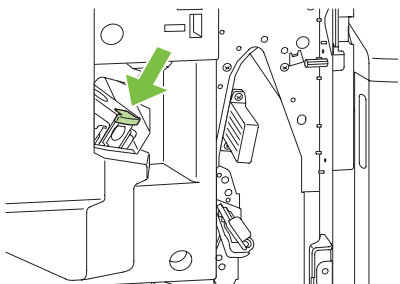
ステイプル カートリッジの交換

ステイプル留めの途中で、オプションの HP 3 ビン ステイプラ/スタッカ アクセサリまたは HP ブックレット メーカー/フィニッシャ アクセサリのステイプルがなくなった場合は、プリンタが自動的に停止します (停止するように設定している場合)。ステイプルがなくなっても印刷を続行するように設定している場合は、ステイプル留めを行わずに印刷が続けられます。

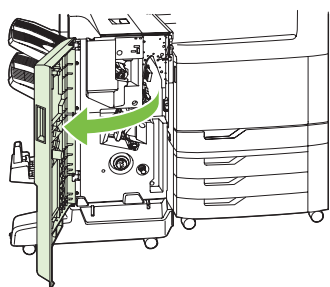
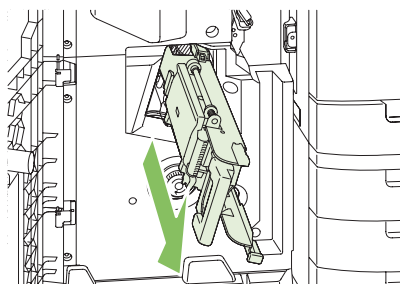
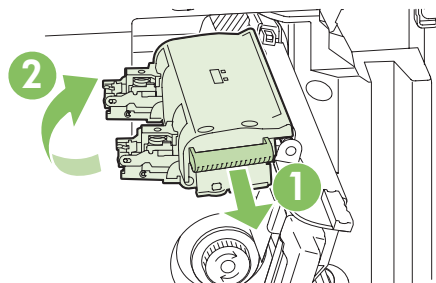
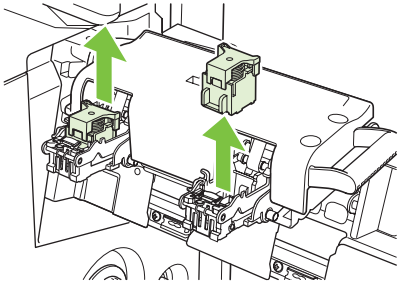
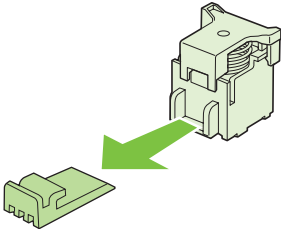
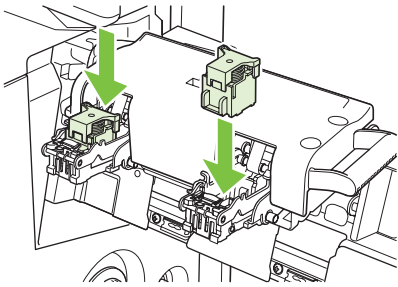
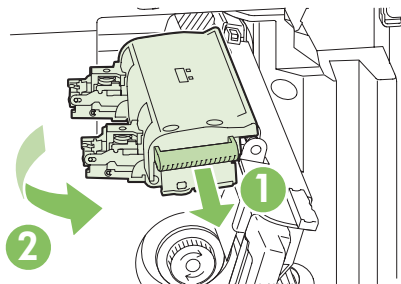
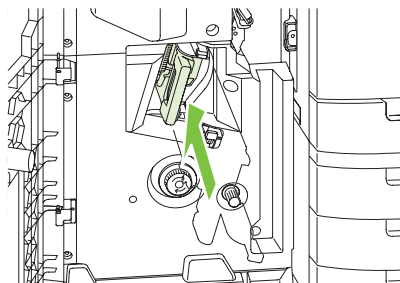
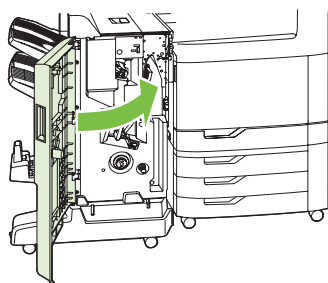
注記： ステイプラ/スタッカまたはブックレット メーカーのステイプルがなくなった場合のみ、ステイプル カートリッジ ユニットを交換してください。その他の場合にステイプル カートリッジを取り外すと、エラーが発生する可能性があります。

注記： ステイプラ/スタッカまたはブックレット メーカーのステイプルがなくなると、ステイプラ ユニットは自動的にデフォルトの位置に戻ります。

ステイプル カートリッジの交換

1. ブックレット メーカーまたはステイプラ/スタッカの正面ドアを開きます。

2. ステイプル カートリッジを押し上げて、ブックレット メーカーまたはステイプラ/スタッカから取り外します。

3. 交換用のステイプル カートリッジ ユニットをステイプラ ユニットに挿入します。

4. カチッと音がして所定の位置まで収まるまで、ステイプル カートリッジ ユニットをステイプラ ユニットに押し込みます。

5. 正面ドアを閉じます。

ブックレット メーカーの中綴じステイプル カートリッジの交換

1. ブックレット メーカーの正面ドアを開きます。

2. 青いハンドルをつかみ、ステイプル カートリッジをブックレット メーカーから引き出します。

3. ステイプル カートリッジ ユニットの小さな青色のハンドルをつかんで手前に引き出し、ステイプル カートリッジ ユニットを回転させて垂直に立てます。

4. 各ステイプル カートリッジの端をしっかりとつかんで引き上げ、ステイプル カートリッジをステイプル カートリッジ ユニットから取り外します。

5. 新しいカートリッジを取り出し、プラスチック製の梱包用キャップを取り外します。

6. カートリッジとステイプル カートリッジ ユニットの矢印が一致するように新しいカートリッジを持ち、ステイプル カートリッジ ユニットに挿入します。

7. ステイプル カートリッジ ユニットのハンドルを手前に引き出し、下に回転させて元の位置に戻します。ロックされる位置までハンドルを押します。

8. ステイプル カートリッジをブックレット メーカー/フィニッシャに押し込みます。

9. ブックレット メーカーの正面ドアを閉じます。

プリンタのクリーニング

印刷品質を維持するために、プリント カートリッジの交換後および印刷品質の問題が発生したら必ずプリンタのクリーニングを実行してください。

⚠ **警告！** プリンタをクリーニングするときに、フューザ部に手を触れないようにしてください。フューザ部は熱くなっている場合があります。

△ **注意：** プリント カートリッジへの恒久的な損傷を防ぐために、指示がある場合以外は、アンモニア ベースのクリーナーをプリンタおよびその周囲に使用しないでください。

製品の外側をクリーニングする

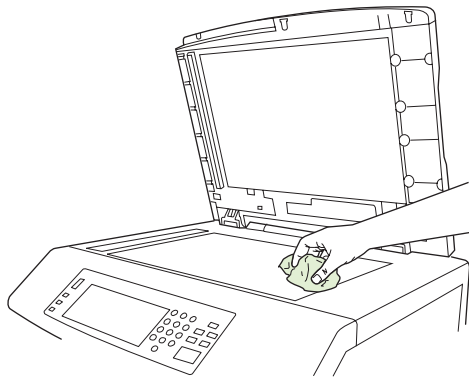
- 製品の外側が目に見えて汚れている場合は、外側をクリーニングしてください。
- 水、または水と中性洗剤で湿らせた柔らかい布を使用します。

タッチスクリーンのクリーニング

タッチスクリーンに付いた指紋やほこりを取り除く必要がある場合は、タッチスクリーンをクリーニングします。水で湿らせた、汚れや糸屑の付いていないきれいな布で、タッチスクリーンをそっと拭きます。

△ **注意：** 水のみを使用してください。溶剤やクリーナーを使用すると、タッチスクリーンに損傷を与える場合があります。タッチスクリーンに直接水をかけたり吹き付けたりしないでください。

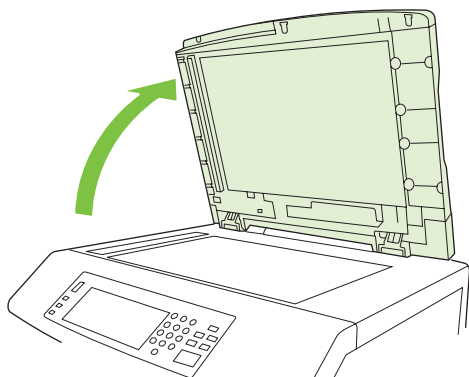
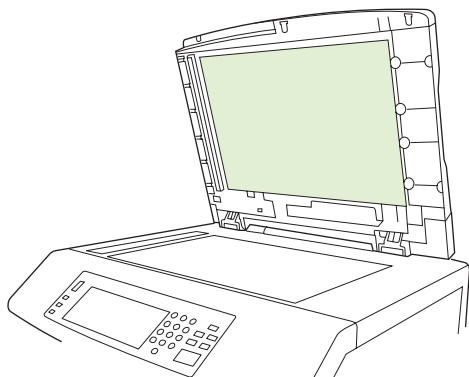
スキャナのガラス面のクリーニング

- 汚れが目立つ場合、または縞が入るなどのように、コピー品質が劣化している場合にだけ、スキャナのガラス板をクリーニングします。
- スキャナ ガラスは、少し湿らせた清潔な柔らかい布でそっと拭いてクリーニングします。アンモニアが含まれている界面活性クリーナーは、水で湿らせた布でスキャナ ガラスの汚れが落ちない場合にのみ使用します。

△ **注意：** スキャナ ガラスに直接液体をかけたり吹き付けたりしないでください。ガラス表面を強く押さないでください (ガラスが割れる場合があります)。

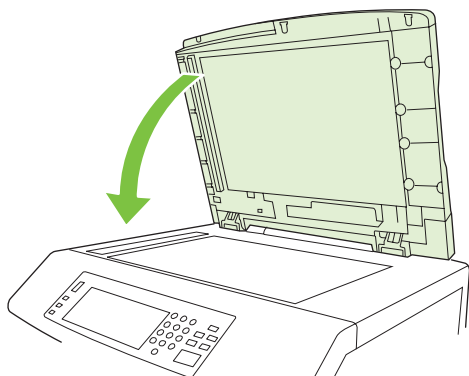
ADF 給紙システムのクリーニング

インクの跡や汚れが付着した場合、またはコピー品質が劣化している場合 (縞が入るなど) にだけ、ADF をクリーニングします。

ADF 送出システムのクリーニング

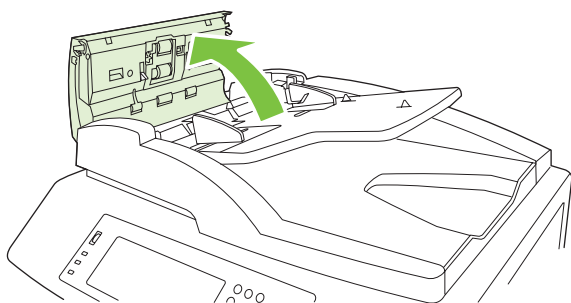
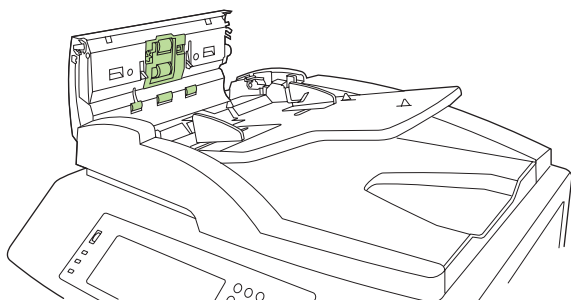
1. スキャナのカバーを開きます。

2. 白いビニールの ADF の裏張りを見つけます。

3. ADF の裏張りを湿らせた清潔な柔らかい布で拭いてクリーニングします。アンモニアが含まれている界面活性クリーナーは、水で湿らせた布で ADF のコンポーネントの汚れが落ちない場合にのみ使用します。

4. スキャナ ガラスは、少し湿らせた清潔な柔らかい布でそっと拭いてクリーニングします。アンモニアが含まれている界面活性クリーナーは、水で湿らせた布でスキャナ ガラスの汚れが落ちない場合にのみ使用します。

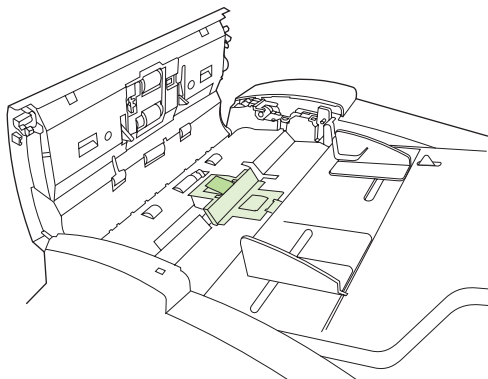
5. スキャナのカバーを閉じます。

ADF ローラーのクリーニング

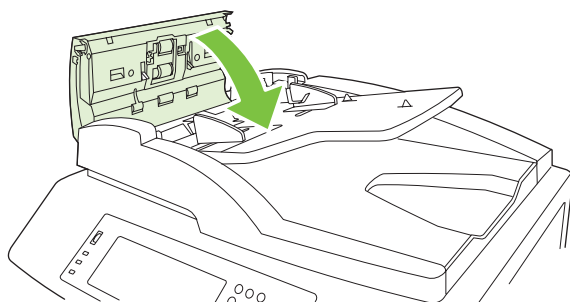
給紙エラーが起きたり、原稿が ADF を出るときに汚れがある場合は、ADF 内のローラーをクリーニングしてください。

△ **注意：** ローラーは、給紙に失敗したり、原稿に汚れが付いたり、ローラーにほこりがある場合にのみクリーニングしてください。ローラーを頻繁にクリーニングすると、デバイス内にほこりが入る場合があります。

1. 解除レバーを引いて ADF のカバーを開きます。

2. ローラーを見つけます。

3. ローラーは、水で湿らせた清潔な柔らかい布で拭きます。

   △ **注意：** ローラーに直接水をかけないでください。デバイスに損傷を与える場合があります。

4. 仕切りパッドを見つけます。

5. パッドは、水で湿らせた清潔な柔らかい布で拭きます。

6. ADF のカバーを閉めます。

自動文書フィーダ (ADF) 保守キット

ADF で 60,000 ページを給紙した後、コントロール パネルのディスプレイに**文書フィーダ キットを交換してください**というメッセージが表示されます。このメッセージは、キットの交換が必要になる約 1 か月前に表示されます。このメッセージが表示されたら、新しいキットを注文してください。新しい ADF メンテナンスキットの注文について詳しくは、295 ページの 「製品番号」を参照してください。

自動文書フィーダ (ADF) の保守キットには、以下が含まれています。

- ピックアップ ローラー アセンブリ 1 個
- 仕分けパッド 1 個
- 手順書

キットに付属のインストール手順に従ってインストールします。

キットを交換した後で、ADF 保守キットのカウントをリセットします。

ADF 保守キットのカウントのリセット

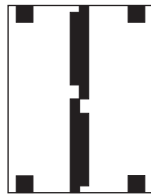
1. コントロール パネルで [管理] を選択します。
2. [リセット] を選択します。
3. [サプライ品のリセット] を選択します。
4. [ADF 保守キット] を選択します。
5. [はい] を選択します。
6. [保存] を選択します。

スキャナの校正

ADF およびフラットベッド スキャン用のスキャナ イメージング システム (キャリッジ ヘッド) のオフセット値を補正するためにスキャナを校正します。機械的な許容誤差のせいで、スキャナのキャリッジ ヘッドがイメージの位置を正確に読み取らない場合があります。校正手順の間、スキャナのオフセット値が計算されて保存されます。このオフセット値が次にスキャンを実行するときに使用されるため、文書の正しい部分が取り込まれます。

スキャナの校正は、スキャンしたイメージにオフセットの問題が発生した場合にのみ実行します。スキャナは工場から出荷する前に校正されています。再校正が必要な場合はまれです。

スキャナを校正する前に、校正対象を印刷します。

1. トレイ 1 にレター サイズまたは A4 サイズの用紙を置き、サイド ガイドを調節します。
2. コントロール パネルのホーム画面で [管理] を選択します。
3. [トラブルシューティング] を選択します。
4. [スキャナの校正] を選択します。
5. [校正] を選択して、校正対象の最初のスキャンを印刷します。
6. 校正対象の最初の経路を下向きにしてトレイ 1 に置き、矢印がプリンタの内側を向くようにします。
7. [スタート] を選択して、2 回目のスキャンを印刷します。最終的に、校正対象が次の図のようになるようにしてください。

△ **注意：** 校正対象がこの図のようにならない場合、校正処理が失敗し、スキャン品質の低下を招きます。*黒い領域がページの短辺まで完全に達している必要があります。黒い領域が端まで達していない場合には、黒マーカーを使用して黒い領域を広げてください。*用紙が適切にセットされていることを確認します。

8. 校正対象を表向きにして ADF にセットし、サイド ガイドを調節します。
9. 校正対象を ADF に 1 回通した後で、裏向きにして ADF にセットし、[スタート] を選択します。
10. 校正対象を裏向きにしてスキャナのガラス面に置き、[スタート] を選択してページをスキャンします。このスキャン後、校正が完了します。

ファームウェアのアップグレード

プリンタには、リモート ファームウェア アップデート (RFU) 機能があります。ここでは、プリンタのファームウェアをアップグレードする方法を説明します。

現在のファームウェア バージョンの確認

1. コントロール パネルのホーム画面で、スクロールして [管理] を選択します。
2. [情報] を選択します。
3. [設定/ステータス ページ] を選択します。
4. 設定ページ にタッチします。
5. [印刷] を選択します。

ファームウェアのデートコードは、設定ページの **[デバイス情報]** セクションに表示されます。ファームウェアのデートコードの形式は、YYYYMMDD XX.XXX.X です。数字の前半の数字列は日付で、YYYY が年、MM が月、DD が日を表します。たとえば、
20061125

で始まるファームウェアのデートコードは 2006 年 11 月 25 日を表します。

HP Web サイトからの新しいファームウェアのダウンロード

ファームウェアの最新バージョンがあるかどうかを調べるには、www.hp.com/go/cljcm6030mfp_firmware または www.hp.com/go/cljcm6040mfp_firmware にアクセスします。このページには、新しいファームウェア バージョンをダウンロードする手順が記載されています。

新しいファームウェアのプリンタへの転送

注記： プリンタが「印刷可」状態のときに、.RFU ファイルのアップデートを受け取ることができます。

アップデートに必要な時間は、I/O 転送時間とプリンタの再初期化にかかる時間によって異なります。I/O 転送時間は、ホスト コンピュータがアップデートを送信する速度など、いくつかの要素によって異なります。ファームウェアのダウンロードが終了する前 (コントロール パネルのディスプレイに**アップグレードを受信しています**と表示されている間) に、リモート ファームウェアのアップデートが中断した場合は、ファームウェア ファイルをもう一度送信する必要があります。フラッシュ DIMM のアップデート中 (コントロール パネルのディスプレイに**アップグレードを実行しています**と表示されている間) に電源が切れると、アップデートが中止され、コントロール パネルのディスプレイに**アップグレードを再送信しています**というメッセージ (英語のみ) が表示されます。この場合は、パラレル ポートを使用してアップグレードを送信する必要があります。また、キューで RFU ジョブより前にあるすべてのジョブは、アップデート処理の前に完了されます。

FTP を使用してブラウザからファームウェアをアップロードする

注記： ファームウェアのアップデートは、不揮発性ランダム アクセス メモリ (NVRAM) のフォーマットの変更を伴います。デフォルト設定から変更されているメニュー設定がデフォルト設定に戻る可能性があり、デフォルトと異なる設定にする場合はもう一度変更する必要があります。

1. 設定ページを印刷して、EIO Jetdirect ページの TCP/IP アドレスをメモします。
2. ブラウザ ウィンドウを開きます。

3. ブラウザのアドレス フィールドに、「
   ftp://<アドレス>

   」と入力します。この <アドレス> は、プリンタのアドレスです。たとえば、TCP/IP アドレスが 192.168.0.90 の場合は、「
   ftp://192.168.0.90

   」と入力します。
4. ダウンロードした .RFU ファイルの場所を確認します。
5. ブラウザ ウィンドウ内の **[PORT1]** アイコン上に .RFU ファイルをドラッグ アンド ドロップします。

注記： プリンタの電源が自動的に切れて、もう一度入り、アップデートが有効になります。アップデートが完了すると、コントロールパネルに **印刷可** と表示されます。

FTP を使用してネットワーク接続でファームウェアをアップグレードする

注記： ファームウェアのアップデートは、不揮発性ランダム アクセス メモリ (NVRAM) のフォーマットの変更を伴います。デフォルト設定から変更されているメニュー設定がデフォルト設定に戻る可能性があり、デフォルトと異なる設定にする場合はもう一度変更する必要があります。

1. HP Jetdirect ページの IP アドレスをメモします。HP Jetdirect ページは、設定ページを印刷したときに 2 ページ目に印刷されるページです。

   注記： ファームウェアをアップグレードする前に、プリンタがスリープ モードになっていないことを確認します。また、コントロール パネルのディスプレイですべてのエラーが修正されていることも確認します。
2. コンピュータで MS-DOS コマンド プロンプトを開きます。
3. 次の文字列を入力します。ftp TCP/IP ADDRESS> たとえば、TCP/IP アドレスが 192.168.0.90 の場合は、「ftp 192.168.0.90」と入力します。
4. ファームウェアが保存されているフォルダに移動します。
5. キーボードの Enter キーを押します。
6. ユーザー名の入力を求められたら、Enter キーを押します。
7. パスワードの入力を求められたら、Enter キーを押します。
8. コマンド プロンプトで「bin」と入力します。
9. Enter キーを押します。**[200 Types set to I, Using binary mode to transfer files]** というメッセージがコマンド ウィンドウに表示されます。
10. 「put」、次にファイル名を入力します (たとえば、ファイル名が CM6040mfp.efn の場合は、「put CM6040mfp.efn」と入力します)。
11. ダウンロードが開始され、プリンタのファームウェアが更新されます。これには約 5 分かかります。プリンタやコンピュータを操作せずに、処理が終わるまで待ちます。

    注記： アップグレードが完了したら、プリンタの電源が自動的に切れ、もう一度入ります。
12. コマンド プロンプトで「bye」と入力して、ftp コマンドを終了します。
13. コマンド プロンプトで「exit」と入力して、Windows インターフェイスに戻ります。

HP Web Jetadmin を使用してファームウェアをアップグレードする

この手順では、コンピュータに HP Web Jetadmin Version 7.0 以降をインストールしている必要があります。197 ページの 「HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用」を参照してください。HP の Web サイトから .RFU ファイルをダウンロードした後に、次の手順を実行し、HP Web Jetadmin を使用して 1 つのデバイスを更新します。

1. HP Web Jetadmin を起動します。
2. **[Navigation]** パネルのドロップダウン リストで **[Device Management]** フォルダを開きます。**[Device Lists]** フォルダに移動します。
3. **[Device Lists]** フォルダを展開して、**[All Devices]** を選択します。デバイスのリストで、アップデートするプリンタをクリックします。

   複数の HP Color LaserJet CM6030/CM6040 MFP シリーズ プリンタのファームウェアをアップグレードする場合は、Ctrl キーを押しながらプリンタの名前をクリックして、必要なプリンタをすべて選択します。
4. ウィンドウの右上隅にある **[Device Tools]** のドロップダウン ボックスを見つけます。アクション リストから **[Update Printer Firmware]** を選択します。
5. **[All Available Images]** ボックスに .RFU ファイルの名前が表示されていない場合は、**[Upload New Firmware Image]** ダイアログ ボックスの **[Browse]** をクリックし、この手順の開始時に Web サイトからダウンロードした .RFU ファイルの場所に移動します。ファイル名が表示されている場合は、ファイル名を選択します。
6. **[Upload]** をクリックして、.RFU ファイルをハード ドライブから HP Web Jetadmin サーバーに移動します。アップロードが完了したら、ブラウザ ウィンドウが更新されます。
7. **[Printer Firmware Update]** ドロップダウン メニューで .RFU ファイルを選択します。
8. **[Update Firmware]** をクリックします。選択した .RFU ファイルがプリンタに送信されます。コントロール パネルには、アップグレードの進行状況を示すメッセージが表示されます。アップグレード処理の最後に、コントロール パネルに **印刷可** というメッセージが表示されます。

MS-DOS コマンドを使用してファームウェアをアップグレードする

ネットワーク接続を使用してファームウェアを更新するには、次の手順を実行します。

1. コマンド プロンプト (MS-DOS ウィンドウ) で、「
   copy /B ファイル名> \\コンピュータ名>\共有名>

   」と入力します。ここで、<ファイル名> はパスを含む .RFU ファイルの名前、<コンピュータ名> はプリンタを共有しているコンピュータの名前、<共有名> はプリンタの共有名です。例：C:\>copy /b C:\9200fW.RFU \\YOUR_SERVER\YOUR_COMPUTER

   注記： ファイル名またはパスにスペースが含まれる場合は、ファイル名またはパスを引用符で囲む必要があります。たとえば、「
   C:\>copy /b "C:\MY DOCUMENTS\3500FW.RFU" \\YOUR_SERVER\YOUR_COMPUTER

   」と入力します。
2. キーボードの Enter キーを押します。コントロール パネルに、ファームウェアのアップグレードの進捗状況を表すメッセージが表示されます。アップグレード処理の最後に、コントロール パネルに **印刷可** というメッセージが表示されます。**1 ファイルがコピーされました** というメッセージが、コンピュータの画面に表示されます。

HP Jetdirect ファームウェアの使用

プリンタの HP Jetdirect ネットワーク インタフェースには、プリンタのファームウェアとは別にアップグレードするファームウェアがあります。この手順では、コンピュータに HP Web Jetadmin Version 7.0 以降をインストールしている必要があります。197 ページの 「HP Web Jetadmin ソフトウェアの使用」を参照してください。HP Web Jetadmin を使用して HP Jetdirect ファームウェアを更新するには、次の手順に従います。

1. HP Web Jetadmin プログラムを起動します。
2. **[Navigation]** パネルのドロップダウン リストで **[Device Management]** フォルダを開きます。**[Device Lists]** フォルダに移動します。
3. 更新するデバイスを選択します。
4. **[Device Tools]** ドロップダウン リストで、**[Jetdirect Firmware Update]** を選択します。
5. **[Jetdirect firmware version]** の下に HP Jetdirect のモデル番号および現在のファームウェア バージョンが表示されます。これらの情報を書き留めてください。
6. www.hp.com/go/wja_firmware にアクセスします。
7. HP Jetdirect のモデル番号の一覧にスクロールダウンし、書き留めたモデル番号を見つけます。
8. モデルの現在のファームウェア バージョンを見て、メモしたバージョンより新しいかどうかを調べます。新しい場合はファームウェアのリンクを右クリックし、Web ページに表示される手順に従って、新しいファームウェア ファイルをダウンロードします。ファイルの保存先は、HP Web Jetadmin ソフトウェアが実行されているコンピュータの [<drive>:\PROGRAM FILES\HP WEB JETADMIN\DOC\PLUGINS\HPWJA\FIRMWARE\JETDIRECT] フォルダである必要があります。
9. HP Web Jetadmin で、メイン デバイス リストに戻り、デジタル差出人を再度選択します。
10. **[Device Tools]** ドロップダウン リストで、**[Jetdirect Firmware Update]** を再度選択します。
11. HP Jetdirect ファームウェア ページで、ファームウェアの新しいバージョンが **[Jetdirect Firmware Available on HP Web Jetadmin]** の下に表示されます。**[Update Firmware Now]** ボタンをクリックして Jetdirect ファームウェアを更新します。

15 問題の解決

一般的な問題の解決

プリンタが正しく応答しない場合は、次のチェックリストに示す操作を順番どおり行ってください。手順の途中で、指示どおり操作できなくなった場合は、対応するトラブルの解決手順に従ってください。特定の手順を終了したところで問題が解決された場合は、チェックリストの後続の手順を実行する必要はなく、そこで作業を終了できます。

トラブルの解決のチェックリスト

1. プリンタの印字可ランプが点灯していることを確認します。ランプが点灯していない場合は、次の手順を実行します。
   a. 電源ケーブルの接続を確認します。
   b. 電源スイッチがオンになっていることを確認します。
   c. 電源電圧がプリンタの電源設定に適合していることを確認します。(電圧仕様については、プリンタ背面のラベルを参照してください)。テーブルタップの電圧が仕様に合っていない場合は、プリンタを壁のコンセントに直接差し込みます。既に壁のコンセントを使用している場合は、別のコンセントで試してみます。
   d. 同じ電気回路のコンセントを使用しているプリンタのコードはすべて抜きます。
   e. いずれの方法でも電源が回復しない場合は HP カスタマ・ケアまでご連絡ください。
2. ケーブル接続を確認します。
   a. プリンタとコンピュータまたはネットワーク ポートとの間のケーブル接続を調べ、 しっかり接続されていることを確認します。
   b. 可能な場合は別のケーブルを使用して、ケーブル自体に不具合がないかどうかを確認します。
   c. ネットワーク接続を確認します。287 ページの 「ネットワーク印刷に関するトラブルの解決」を参照してください。
3. プリンタのステータスが「印字可」になっている場合は、コントロール パネルのディスプレイに何かメッセージが表示されていないかどうかを確認します。エラー メッセージが表示されている場合は、238 ページの 「コントロール パネルのメッセージ」を参照してください。
4. 使用している印刷用紙が仕様を満たしていることを確認します。
5. 設定ページを印刷します (188 ページの 「情報ページ」を参照してください。HP Jetdirect ページも印刷されます)。
   a. 設定ページが印刷されない場合は、用紙がセットされているトレイが少なくとも 1 つあることを確認します。
   b. 紙詰まりがある場合は、239 ページの 「紙詰まり」を参照してください。
6. 設定ページが印刷された場合は、次の項目を確認します。
   a. 設定ページが正しく印刷される場合は、プリンタのハードウェアが正常に動作しています。問題は、ご使用のコンピュータ、プリンタ ドライバ、またはプログラムにあります。
   b. ページが正しく印刷されない場合は、プリンタのハードウェアに問題があります。HP カスタマ・ケアに問い合わせてください。
7. 以下のオプションから 1 つ選択してください。

Windows: **[スタート]** をクリックし、**[設定]** をポイントして、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。**[HP Color LaserJet CM6030 または HP Color LaserJet CM6040]** をダブルクリックします。

または

Mac OS X の場合： **[プリント センター]** (Mac OS X v. 10.3 の場合は **[プリンタ設定ユーティリティ]**) を開き、**[HP Color LaserJet CM6030]** または **[HP Color LaserJet CM6040]** の行をダブルクリックします。

8. HP Color LaserJet CM6030 または HP Color LaserJet CM6040 シリーズのプリンタ ドライバがインストールされていることを確認します。プログラムを確認して、HP Color LaserJet CM6030 または HP Color LaserJet CM6040 シリーズのプリンタ ドライバが使用されていることを確認します。

9. 過去に正しく機能していた別のプログラムを使用して、簡単なドキュメントを印刷します。これで問題が解決される場合は、問題はご使用のプログラムにあります。これで問題が解決されない (ドキュメントが印刷されない) 場合は、次の手順を実行してください。

   a. プリンタ ソフトウェアがインストールされている別のコンピュータから印刷してみます。

   b. プリンタをネットワークに接続している場合は、USB ケーブルを使用して、プリンタをコンピュータに直接接続します。プリンタを正しいポートに付け替えるか、ソフトウェアを再インストールして新しい接続方法を選択します。

出荷時の設定に戻す

プリンタを出荷時の設定に戻すには、**リセット** メニューを使用します。

1. スクロールして、管理 にタッチし、次に リセット にタッチします。

2. 出荷時の設定に戻す にタッチして、復元 にタッチします。

詳しくは、60 ページの 「[リセット] メニュー」を参照してください。

プリンタの性能に影響を与える要因

印刷の所要時間は、次のような要因に影響されます。

- 1 分あたりのページ数 (ppm) で測定されるプリンタの最高速度
- 特殊な用紙の使用 (OHP フィルム、厚手の用紙、カスタム サイズの用紙など)
- プリンタの処理時間とダウンロード時間
- グラフィックスの複雑さおよびサイズ
- 使用しているコンピュータの速度
- USB 接続
- プリンタの I/O 設定
- 搭載しているプリンタ メモリの容量
- ネットワーク オペレーティング システムおよび構成 (使用可能な場合)
- プリンタのパーソナリティ (HP JetReady、PCL、または PS)

注記： プリンタ メモリを増設すると、メモリの問題が解決したり、複雑なグラフィックスの処理が向上したり、ダウンロード時間が短縮されたりしますが、最高印刷速度 (ppm) は変わりません。

コントロール パネルのメッセージのタイプ

コントロール パネルに表示される 4 種類のメッセージによって、デバイスのステータスや問題が示されます。

メッセージの種類	説明
ステータス メッセージ	ステータス メッセージはデバイスの現在のステータスを表します。デバイスが正常に動作していて、メッセージをクリアする操作が必要ないことを示しています。デバイスの状態が変化すると、メッセージも変化します。デバイスの準備が整い、ビジー状態でなく、保留中の警告メッセージがない場合、デバイスがオンラインのときには常にステータス メッセージ **印刷可** が表示されます。
警告メッセージ	警告メッセージはデータ エラーと印刷エラーを示します。これらのメッセージは通常、**印刷可** またはステータス メッセージと交互に表示され、[OK] を選択するまで表示されたままになります。一部の警告メッセージはクリアすることができます。**クリア可能な警告** が **ジョブ** に設定されている (デバイスの [デバイス動作] メニュー) 場合は、次の印刷ジョブによってメッセージがクリアされます。
エラー メッセージ	エラー メッセージは、用紙の補給や紙詰まりの解消など、何らかの処置が必要なことを通知します。 一部のエラー メッセージの場合は自動続行可能です。メニューで **自動継続** が設定されている場合は、自動継続のエラー メッセージが 10 秒間に表示された後で、プリンタが通常の動作を続行します。 注記： 自動継続可能なエラー メッセージが 10 秒間表示されている間にいずれかのボタンを押すと、自動継続機能は無効になり、押したボタンの機能が優先されます。たとえば、[停止] ボタンを押すと印刷が停止し、ジョブをキャンセルするためのオプションが表示されます。
重大なエラー メッセージ	重大なエラー メッセージはデバイスのエラーを示します。一部の重大なエラー メッセージは、デバイスの電源を切って再度電源を入れることでクリアできます。これらのメッセージには、**自動継続** 設定は影響しません。重大なエラーが解決しない場合は、修理が必要です。

コントロール パネルのメッセージ

プリンタには、強固なコントロール パネル メッセージ機能が備わっています。コントロール パネルにメッセージが表示されたら、画面の指示に従って、問題を解決してください。プリンタに「エラー」もしくは「注意」のメッセージが表示され、問題解決のためのステップが提示されない場合には、プリンタの電源を切って、入れなおしてください。それでもプリンタの問題が解決しない場合は、HP サポートまでお問い合わせください。

ステータス行に表示される、その他の警告情報を確認するには、[警告] ボタンにタッチしてください ⚠。

その他のさまざまなトピックについては、ホーム画面の右上隅の [ヘルプ] ボタン ? にタッチします。

紙詰まり

紙詰まりの一般的な原因

プリンタで紙詰まりが発生している。

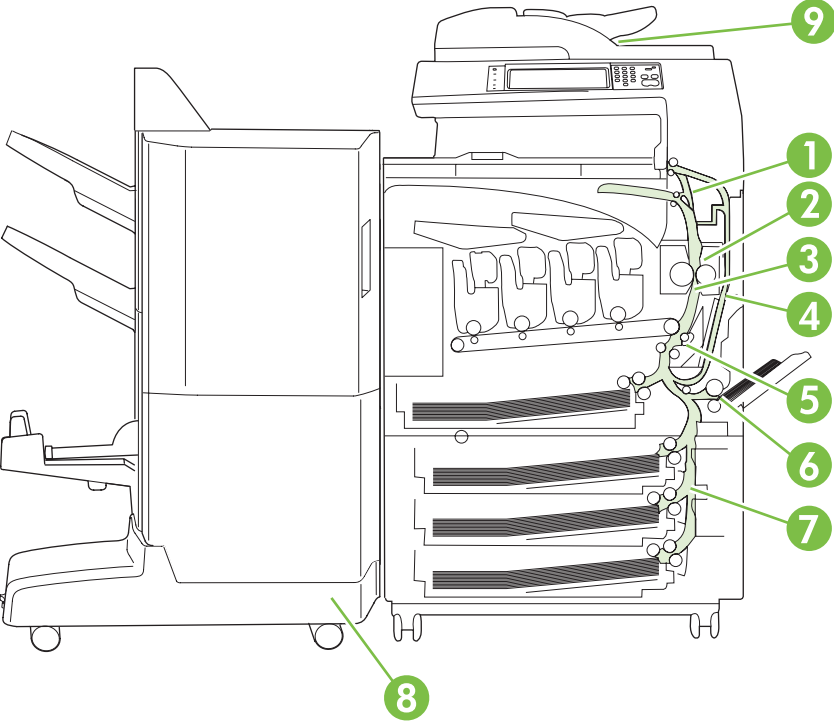
原因	解決方法
用紙が仕様を満たしていない	HP の仕様を満たす用紙のみを使用します。99 ページの 「サポートされている用紙および印刷メディアのサイズ」 を参照してください。
コンポーネントが正しく取り付けられていない	トランスファー ベルトとトランスファー ローラーが正しく取り付けられていることを確認します。
すでにプリンタやコピー機で一度使用された用紙を使用している	一度印刷またはコピーした用紙は使用しないでください。
給紙トレイが正しくセットされていない	給紙トレイから余分な用紙を取り出します。メディアの量がトレイの上限線を超えないようにしてください。105 ページの 「用紙および印刷メディアをセットする」 を参照してください。
用紙が歪む	給紙トレイのガイドが正しく調整されていません。メディアが曲がらない程度に、適切な位置にしっかりと固定されるようにガイドを調整します。
複数の用紙がくっついたり貼り付いたりしている	用紙を取り出して、曲げたり、180° 回転したり、裏返したりします。その後、用紙を給紙トレイにセットし直します。
薄手の用紙に印刷したり、トナー使用量の多い印刷を行っているときに、用紙がフューザに巻き付く。これにより、フューザの遅延やフューザへの紙の巻き込みなど、紙詰まりのメッセージが表示される	[印刷品質] メニューの **薄手メディア** 最適化モードを **オン** にします。
排紙ビンに入る前に用紙を取り出した	製品をリセットします。用紙を取り出さずに完全に排紙ビンに入るまで待ちます。
両面印刷の実行中、文書の裏面の印刷が終了する前に用紙を取り出した	製品をリセットし、文書を印刷し直します。用紙を取り出さずに完全に排紙ビンに入るまで待ちます。
用紙の状態がよくない	用紙を交換します。
内部トレイ ローラーが用紙を取り込まない	用紙が 220g/m^2 より厚い場合は、トレイから給紙されない場合があります。 ローラーが摩耗している。ローラーを交換してください。
用紙の端がギザギザになっている	用紙を交換します。
用紙にミシン目が付いている、または用紙がエンボス加工されている	ミシン目の付いた用紙やエンボス加工された用紙は分離しにくいため、 トレイ 1 から 1 枚ずつ挿入してください。
デバイスのサプライ品の耐用寿命が切れている	プリンタのコントロール パネルにサプライ品の交換を促すメッセージが表示されていないかをチェックするか、サプライ品ステータス ページを印刷してサプライ品の寿命を確認します。188 ページの 「情報ページ」 を参照してください。
用紙が正しく保管されていなかった	トレイにセットされている用紙を交換してください。用紙は、管理された環境で元のパッケージに入れて保管する必要があります。
プリンタの梱包材が完全に取り除かれていない	梱包用のテープ、ボール紙、プラスチック製の保護キャップをプリンタから取り除いたことを確認します。

プリンタの紙詰まりが解消されない場合は、HP カスタマ サポートまたは HP 認定のサービス代理店までお問い合わせください。

紙詰まりの場所

紙詰まりの場所を特定するには、以下の図を参照してください。このプリンタでは、用紙が詰まった場所と紙詰まりを取り除く方法は、コントロール パネルにも表示されます。

注記： このプリンタでは、開いて、紙詰まりを取り除く必要がある可能性のあるエリアにはすべて、緑色のハンドルが付いています。

図 15-1 紙詰まりの場所

1	エリア 1： 排紙ビン
2	エリア 2： フューザの周辺
3	エリア 3： トランスファー ユニットの周辺
4	エリア 4： 両面印刷ユニットの周辺
5	エリア 5： トレイ 2 ピックアップ ローラーの周辺
6	エリア 6： トレイ 1 の周辺
7	エリア 7： オプションのトレイ 3、4、5 の周辺
8	エリア 8： オプションの仕上げデバイスの周辺
9	エリア 9： ADF の周辺

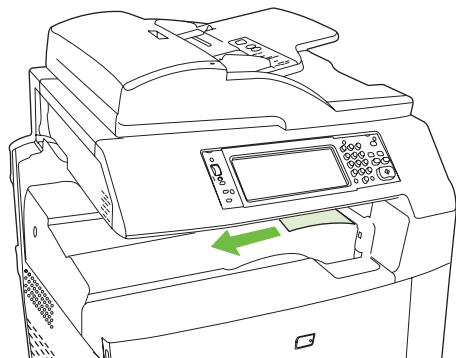
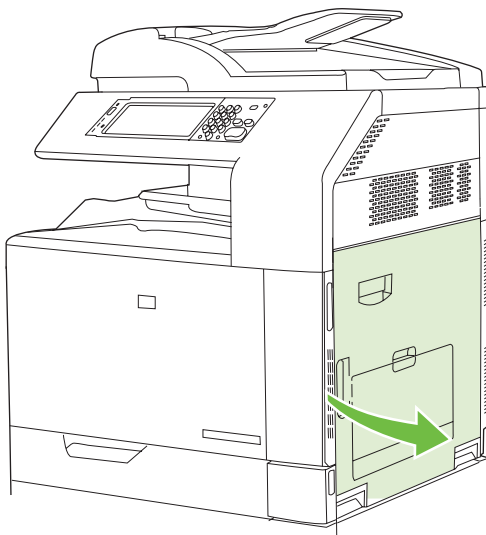
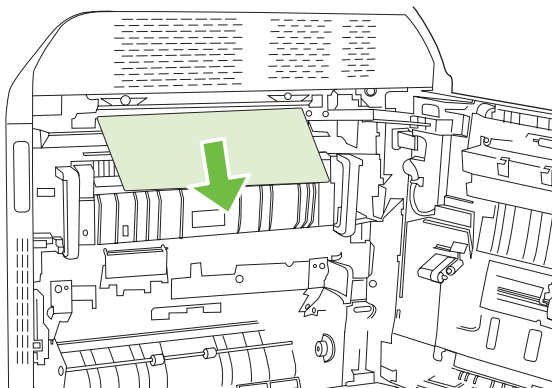
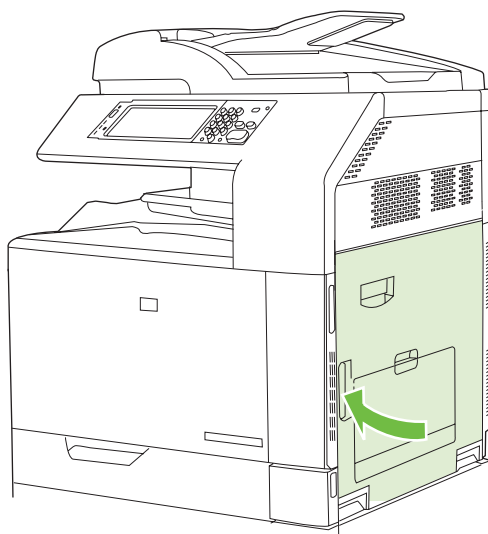
紙詰まりの解消

紙詰まりが発生した場合、コントロール パネルに紙詰まりの場所が表示されます。次の表に、コントロール パネルに表示されるメッセージと、紙詰まりを取り除く手順が記載されているセクションを示します。

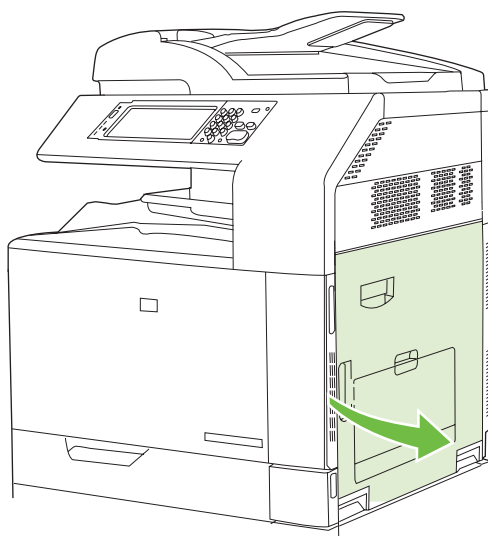
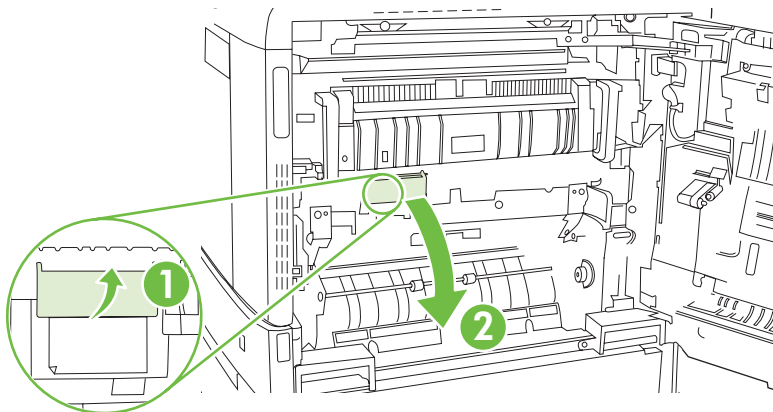
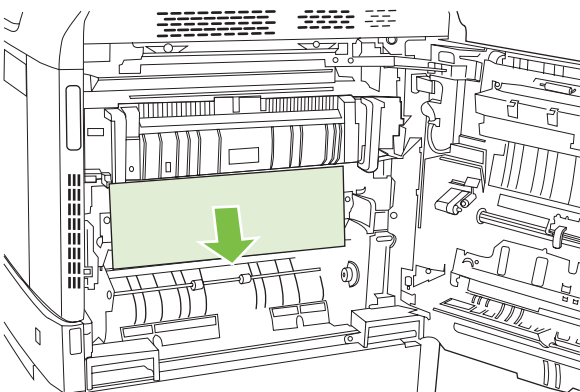
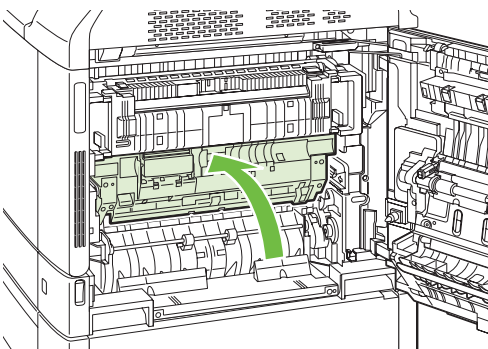
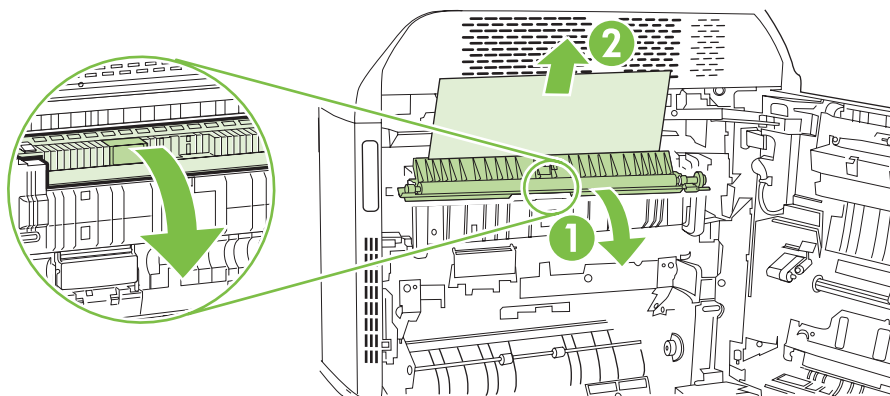
⚠ **警告！** プリンタ内の部品に触れる際には、感電を防止するため、ネックレスやブレスレットをはじめとする金属製品を外してください。

紙詰まりの種類	手順
13.JJ.NT コントロール パネルの下の紙詰まりです	242 ページの 「エリア 1: 排紙ビンの紙詰まりを取り除く」を参照してください。
13.JJ.NT フューザ部分での紙詰まりです **13.JJ.NT フューザ巻き込みによる紙詰まり** **13.JJ.NT トランスファーとフューザでの紙詰まり**	243 ページの 「エリア 2: フューザの紙詰まりを取り除く」を参照してください。
13.JJ.NT 右ドア内部での紙詰まり	248 ページの 「両面印刷ユニットの紙詰まりを取り除く」を参照してください。
13.JJ.NT トレイ 2 の紙詰まり **13.JJ.NT トランスファー部分での紙詰まり**	251 ページの 「エリア 5: トレイ 2 およびプリンタ内部の用紙経路の紙詰まりを取り除く」を参照してください。
13.JJ.NT トレイ 1 の紙詰まり	253 ページの 「エリア 6: トレイ 1 の紙詰まりを取り除く」を参照してください。
13.JJ.NT トレイ 3 の紙詰まり **13.JJ.NT トレイ 4 の紙詰まり** **13.JJ.NT トレイ 5 の紙詰まり** **13.JJ.NT 右下ドア内部での紙詰まり** **13.JJ.NT 給紙アクセサリ内での紙詰まりです**	256 ページの 「エリア 7: オプションのトレイ 3、4、5 の紙詰まりを取り除く」を参照してください。
13.JJ.NT 左アクセサリの紙詰まり	259 ページの 「エリア 8: オプションのフィニッシャの紙詰まりを取り除く」を参照してください。
文書フィーダ内の紙詰まり	263 ページの 「エリア 9： ADF の紙詰まりを取り除く」を参照してください。

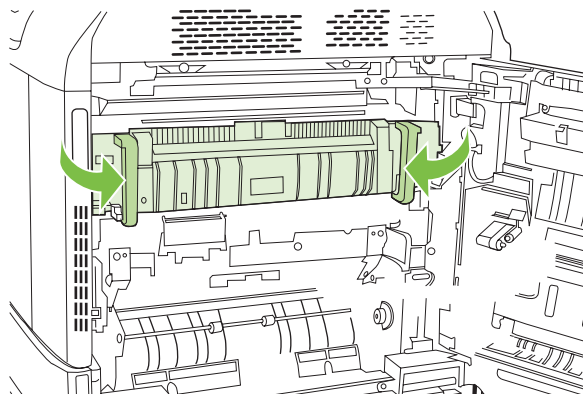
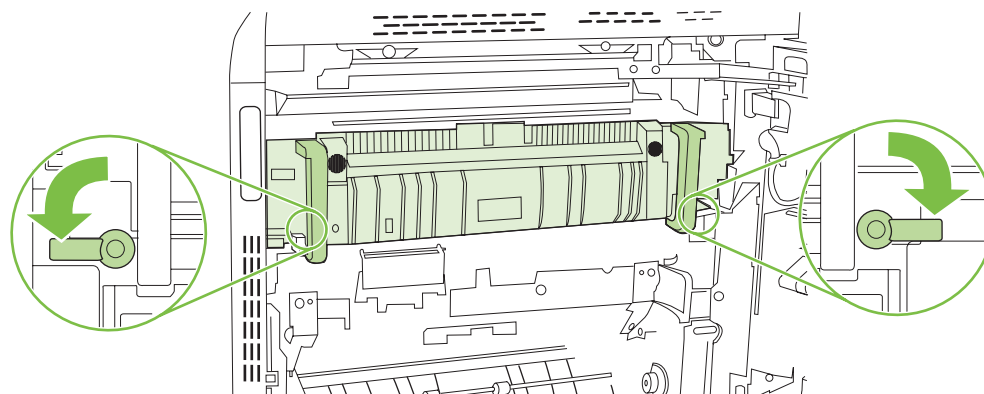
エリア 1: 排紙ビンの紙詰まりを取り除く

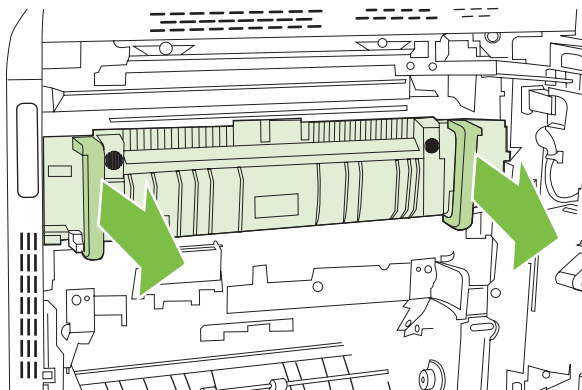
1. 排紙ビンに詰まっている用紙が見える場合は、ゆっくりと引いて取り除きます。

2. 右のドアを開きます。

3. 排紙ビンに入りかけた用紙がある場合は、ゆっくりと引いて取り除きます。

4. 右のドアを閉めます。

エリア 2: フューザの紙詰まりを取り除く

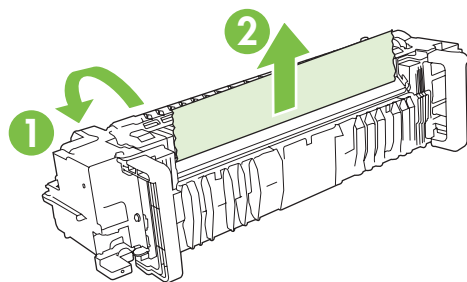
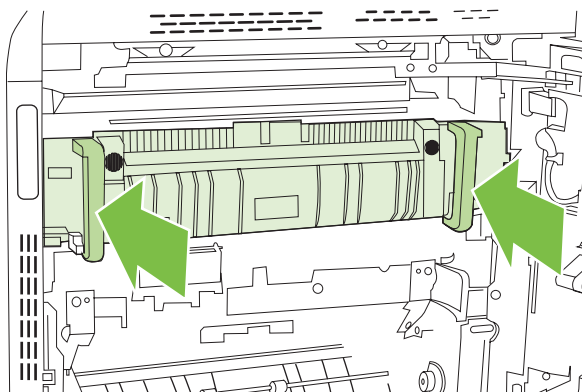
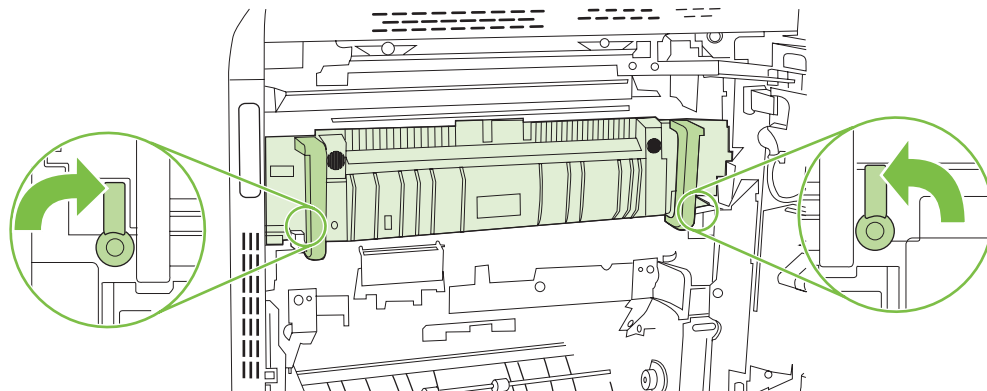
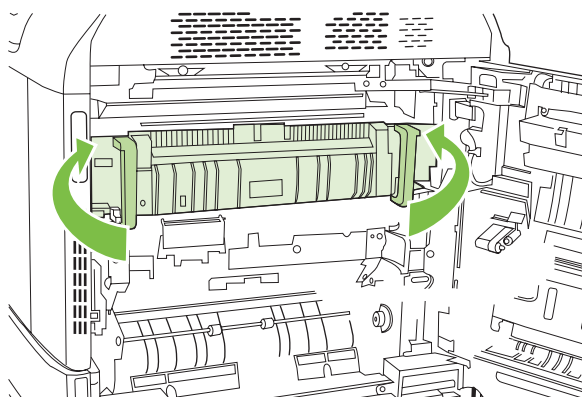
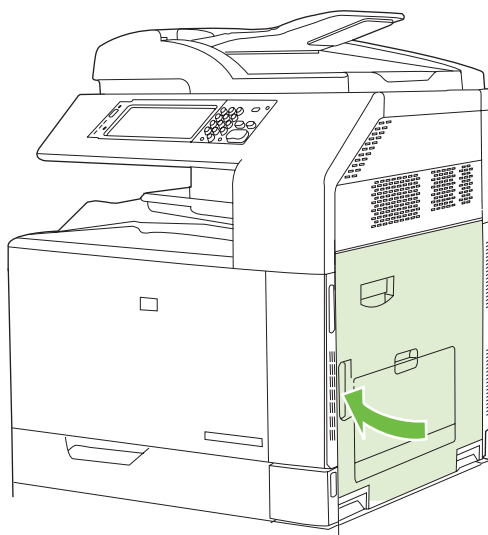
⚠ **警告！** プリンタの使用中はフューザが高温になっています。フューザが冷めるまで待ってから作業を行ってください。

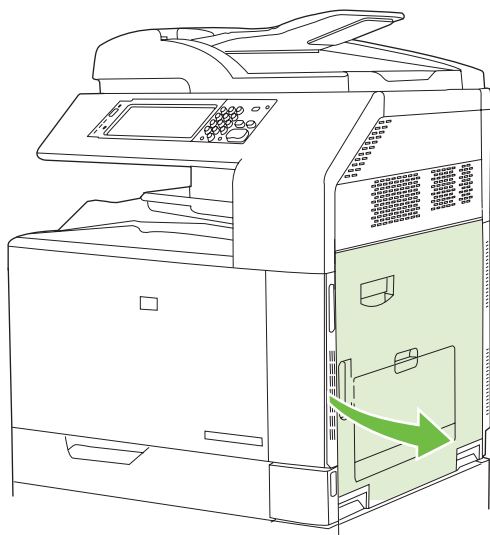
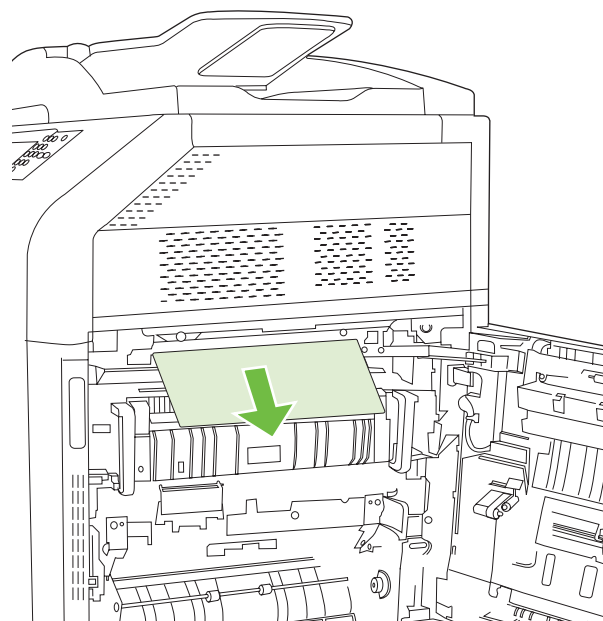
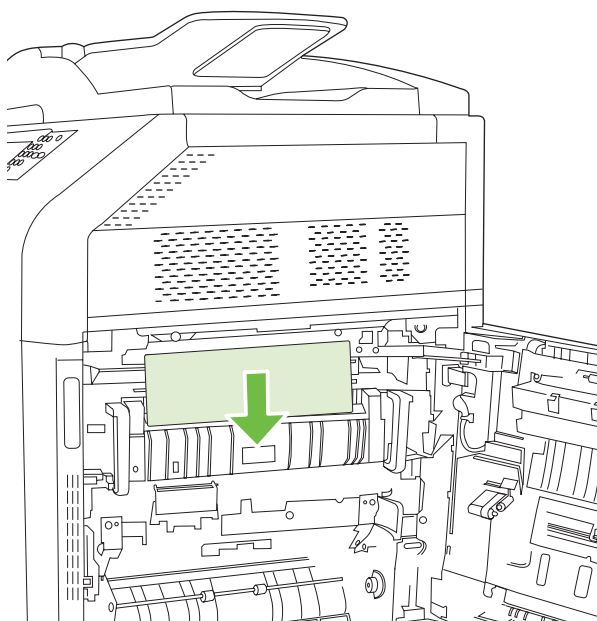
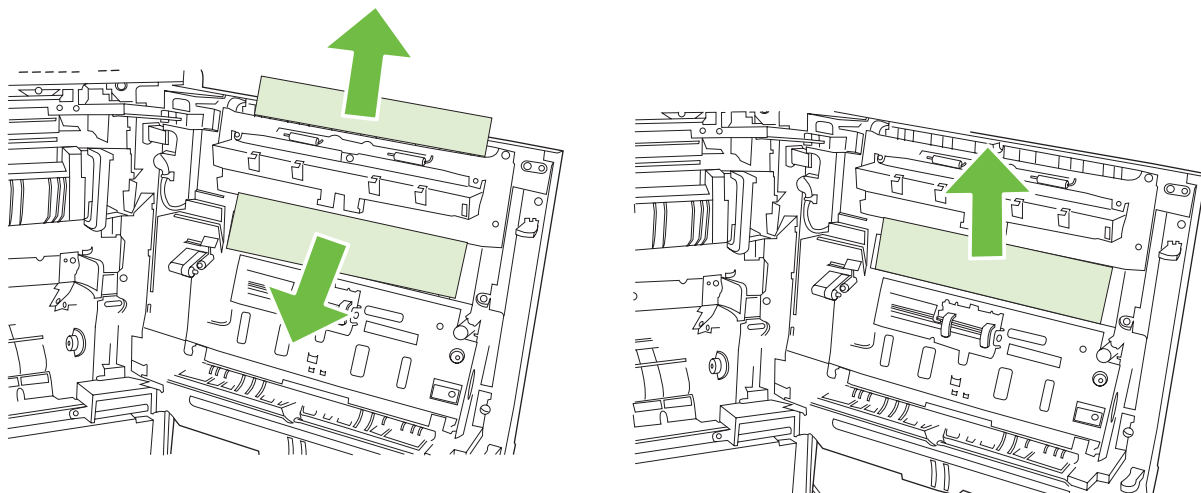
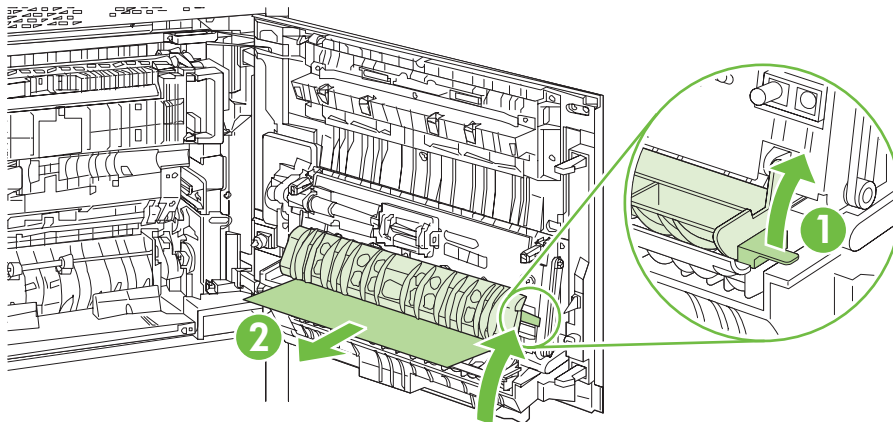
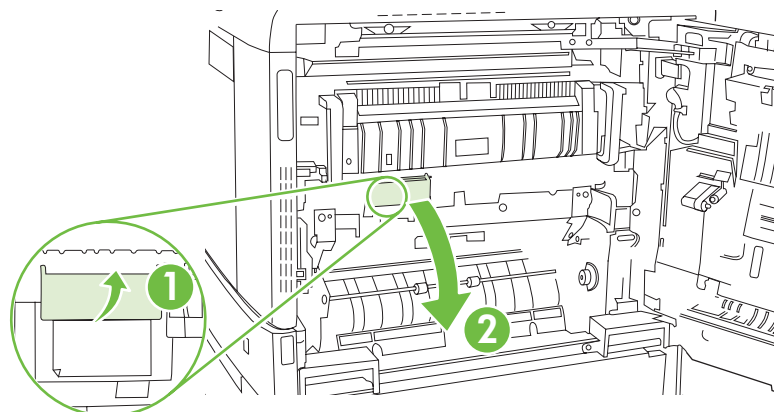
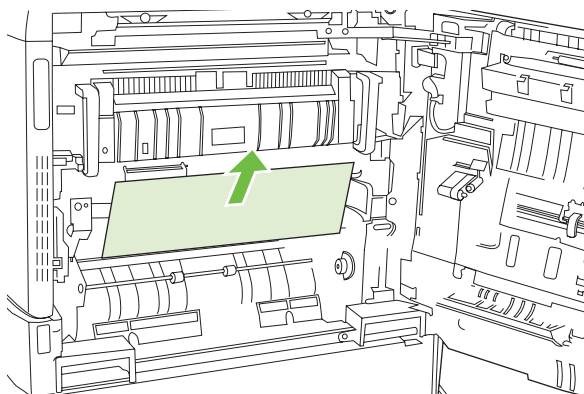
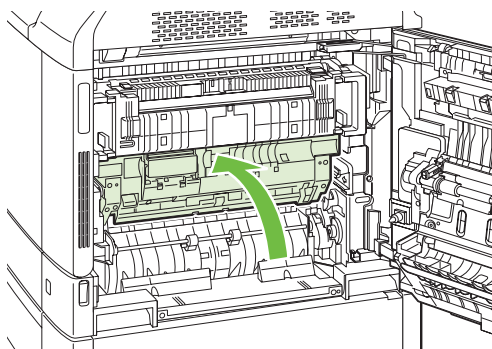
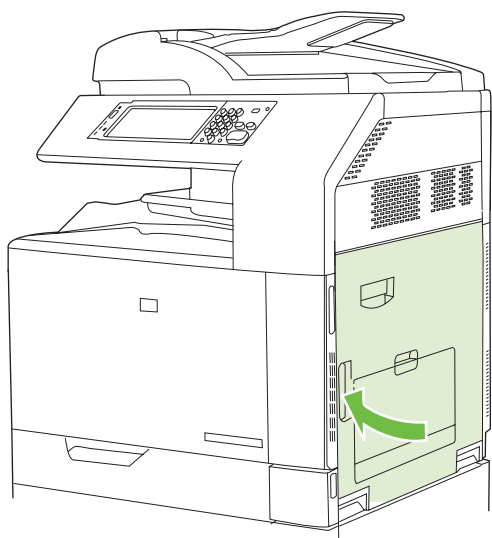
1. 右のドアを開きます。

2. トランスファー アクセス パネルの緑色のハンドルを上げて、パネルを開きます。

3. フューザの下部に詰まっている用紙が見える場合は、下方向にゆっくりと引いて取り除きます。

4. トランスファー アクセス パネルを閉めます。

5. フューザの上にあるフューザ紙詰まりアクセス ドアを開き、詰まっている用紙があれば取り除きます。その後、フューザ紙詰まりアクセス ドアを閉めます。

6. フューザ内部の見えないところにも用紙が詰まっている場合があります。フューザを取り外し、内部に詰まった用紙がないかどうかを確認します。

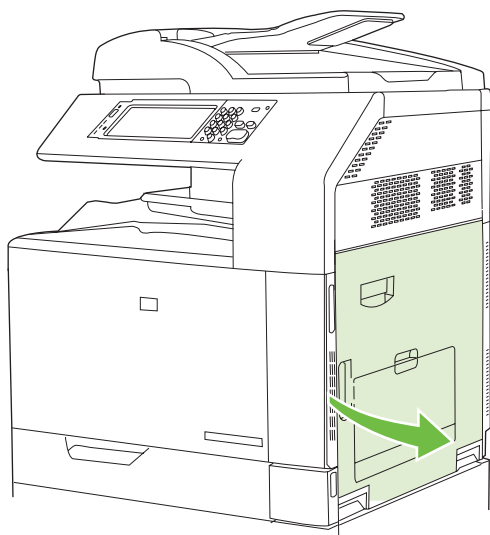
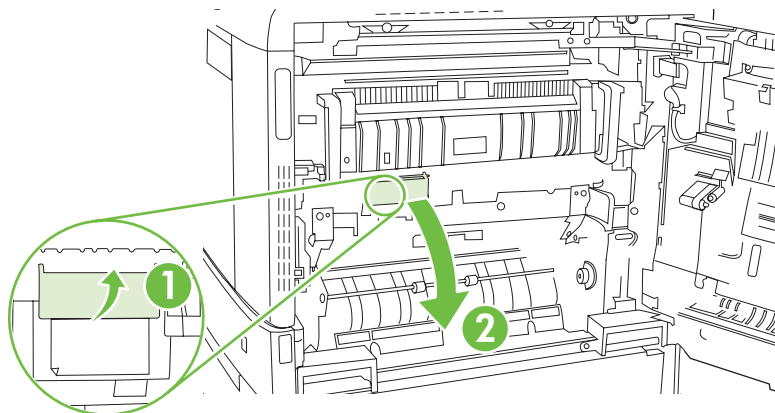
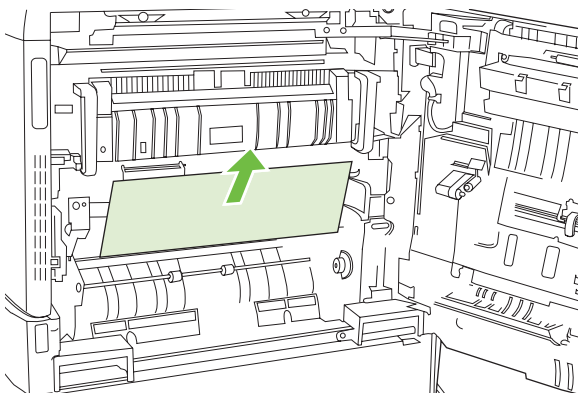
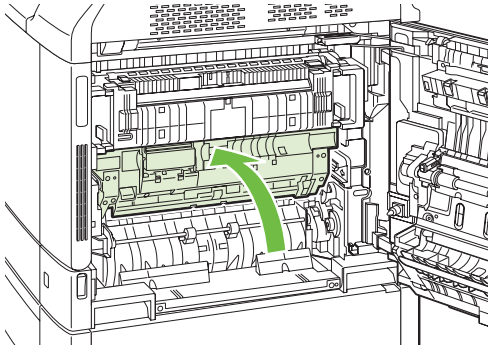
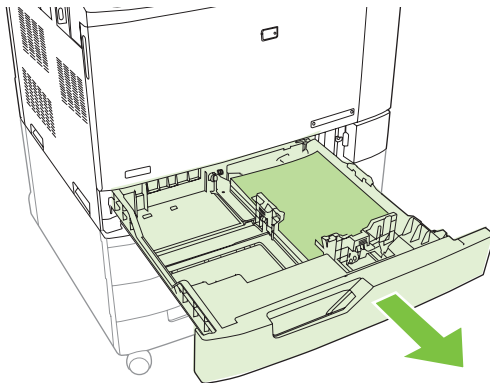
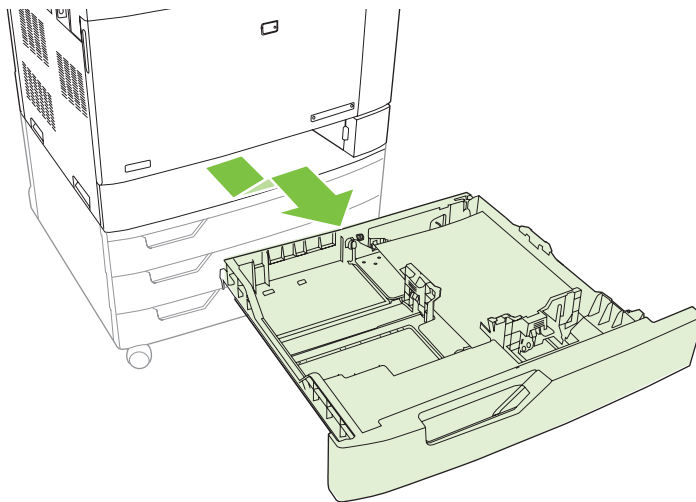
⚠ **警告！** プリンタの使用中はフューザが高温になっています。フューザが冷めるまで待ってから作業を行ってください。

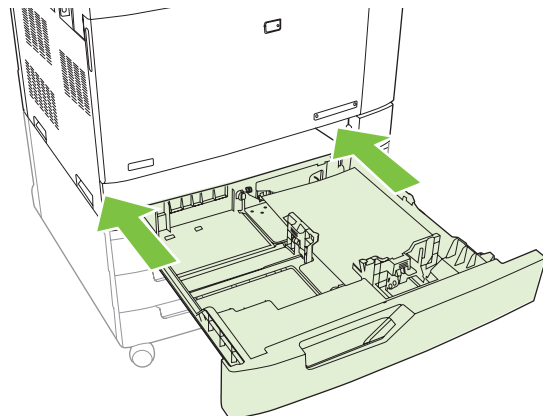
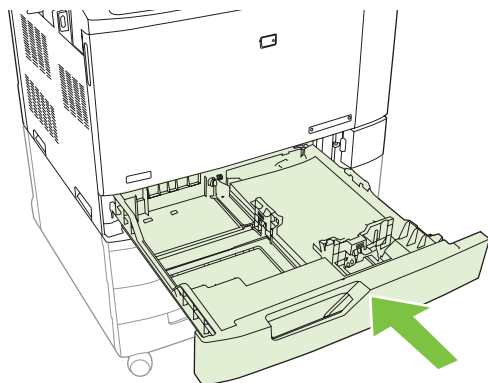
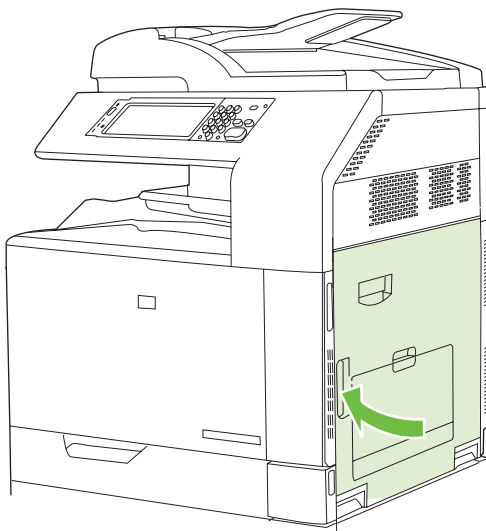
   a. 2 つの青色のフューザ ハンドルを手前に引きます。

   b. フューザ リリース レバーを下方向に回して開きます。

c. フューザ ハンドルをつかんでまっすぐに引き、フューザを取り外します。

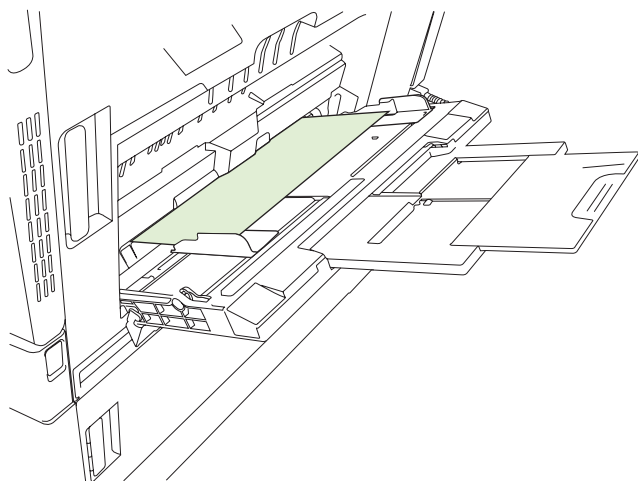
△ **注意：** フューザの重量は 5kg (11 ポンド) です。落とさないように注意してください。

d. フューザ紙詰まりアクセス用の後部ドアを後方に、正面ドアを前方に回転させて開きます。フューザ内部に用紙が詰まっている場合は、ゆっくりとまっすぐに引いて取り除きます。用紙が破れた場合は、紙片をすべて取り除いてください。

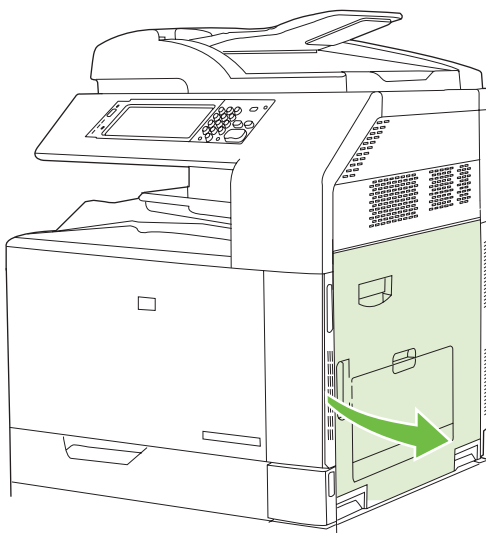
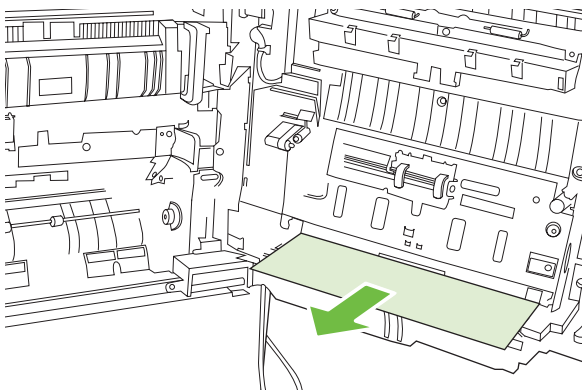
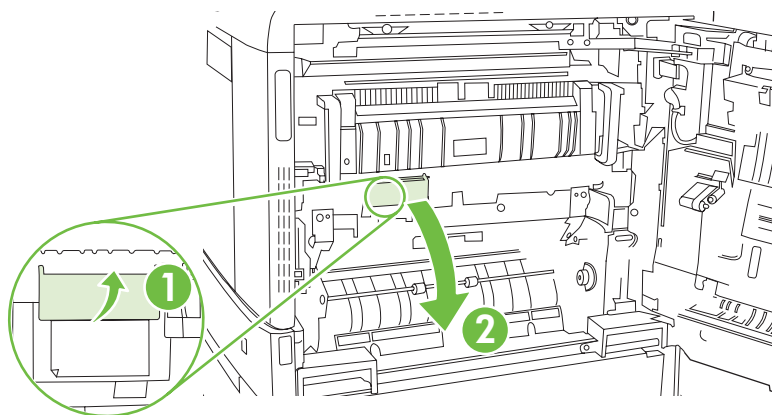
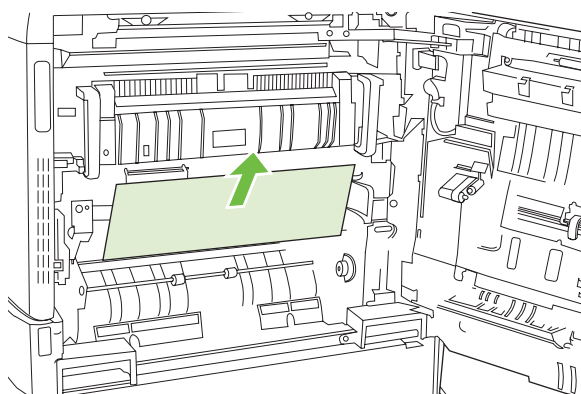
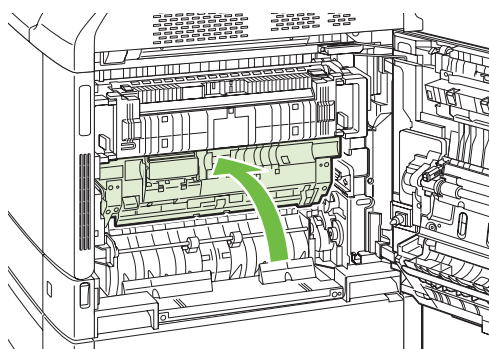
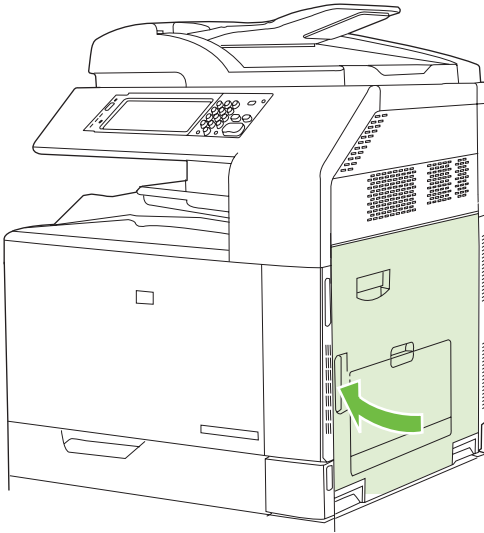
⚠ **警告！** フューザ本体が冷めていても、内部のローラーが高温の場合があります。フューザ ローラーが冷めるまで、触らないようにしてください。

e. フューザ紙詰まりアクセス ドアを両方とも閉め、プリンタに付いている矢印の向きにフューザを合わせます。フューザをプリンタ内に完全に押し込みます。

f. フューザ リリース レバーを上方向に回して、所定の位置でフューザをロックします。

g. フューザ ハンドルを後方に押して閉めます。

7. 右のドアを閉めます。

両面印刷ユニットの紙詰まりを取り除く

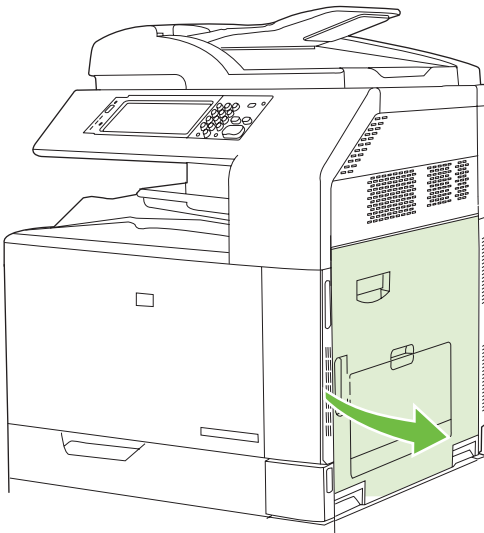
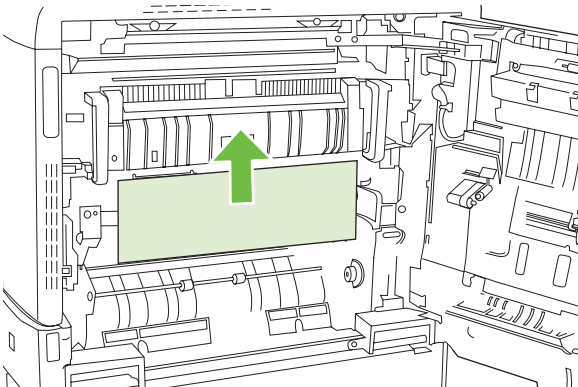
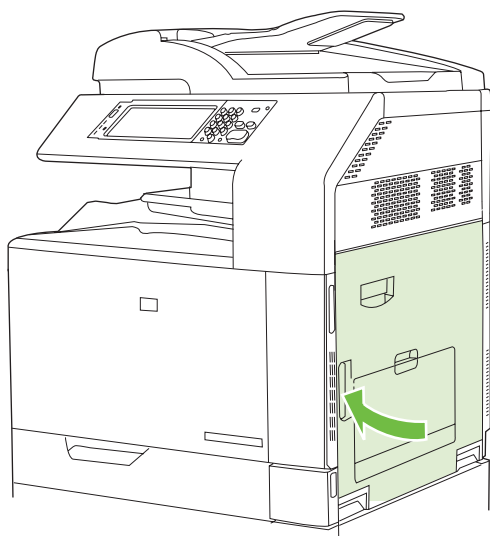
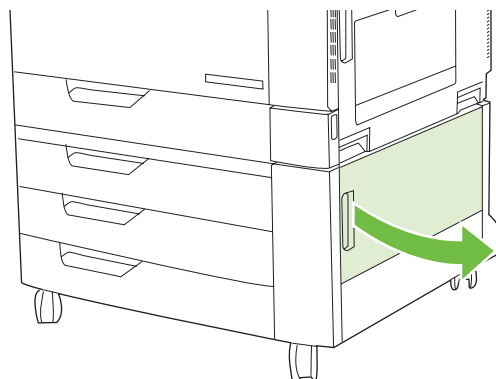
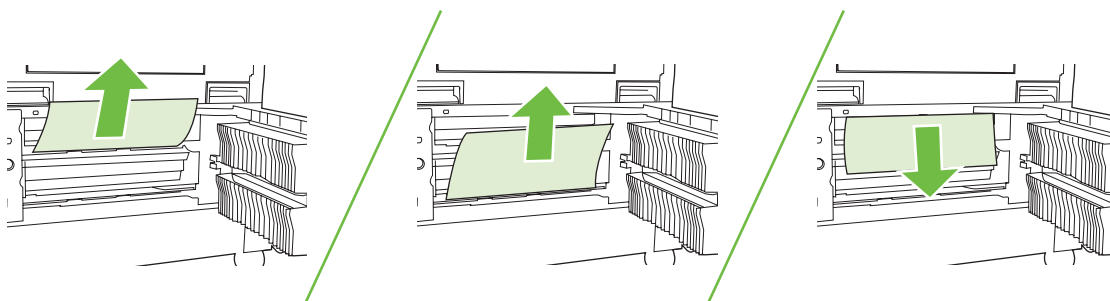
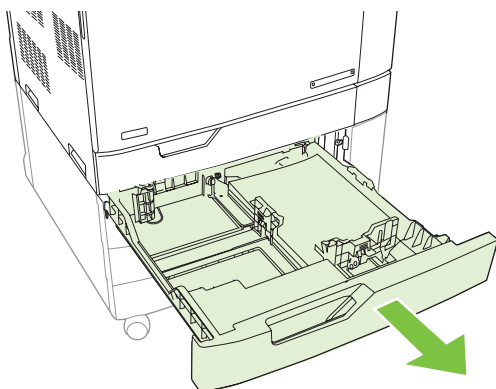
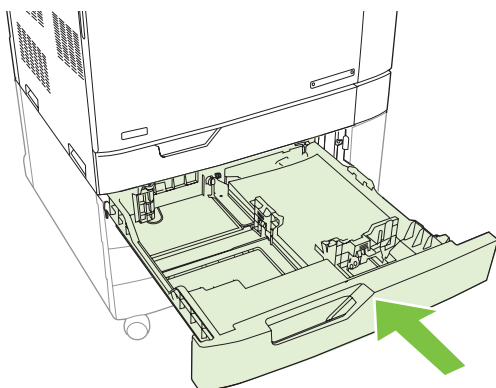
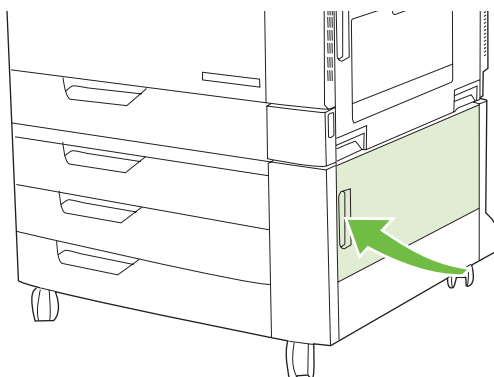
1. プリンタの内部に詰まった用紙がないか確認します。右のドアを開きます。

2. 両面印刷ユニットの下に用紙が詰まっている場合は、下方向にゆっくりと引いて取り除きます。

3. 右のドアの内側に用紙が詰まっている場合は、ゆっくりと引いて取り除きます。

4. 右のドアの内側にある用紙フィードのカバーを持ち上げます。用紙が詰まっている場合は、ゆっくりとまっすぐに引いて取り除きます。

5. トランスファー アセンブリの緑色のハンドルを上げて、パネルを開きます。

6. 用紙経路から用紙をゆっくりと引き出します。

7. トランスファー アクセス パネルを閉めます。

8. 右のドアを閉めます。

エリア 5: トレイ 2 およびプリンタ内部の用紙経路の紙詰まりを取り除く

1. 右のドアを開きます。

2. トランスファー アクセス パネルの緑色のハンドルを上げて、パネルを開きます。

3. 用紙経路から用紙をゆっくりと引き出します。

4. トランスファー アクセス パネルを閉めます。

5. トレイ 2 を開き、用紙が正しくセットされていることを確認します。

6. トレイを引き、軽く持ち上げてプリンタから取り外します。

7. プリンタ内部の給紙ローラーから用紙を取り除きます。

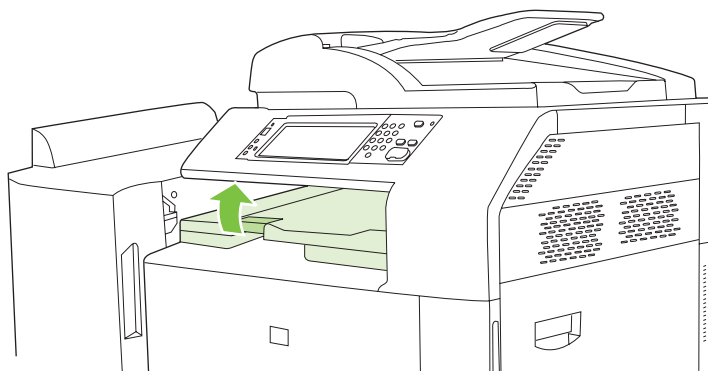
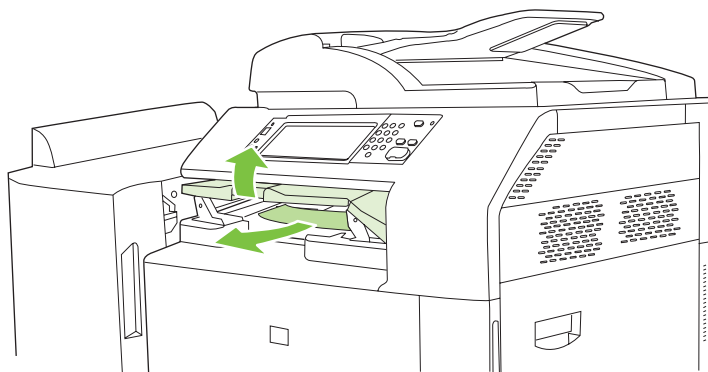
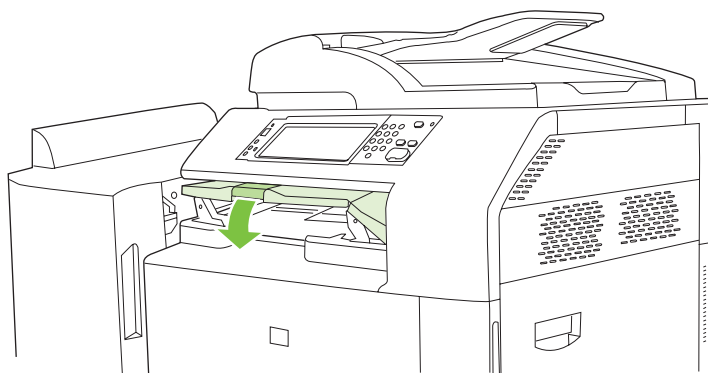
8. トレイ 2 の両側のローラーの位置を合わせて、プリンタに押し込みます。

9. トレイを閉めます。

10. 右のドアを閉めます。

エリア 6: トレイ 1 の紙詰まりを取り除く

注記： トレイ 1 に詰まっている用紙が見えている場合でも、右のドアを開けてプリンタの内部から用紙を取り除いてください。

1. 右のドアを開きます。

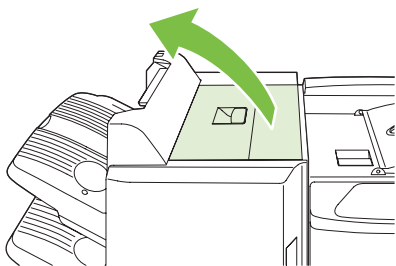
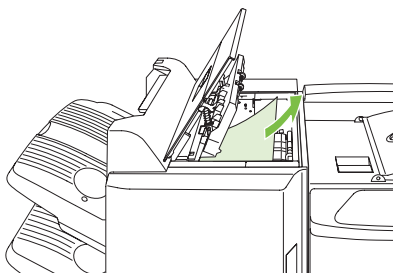
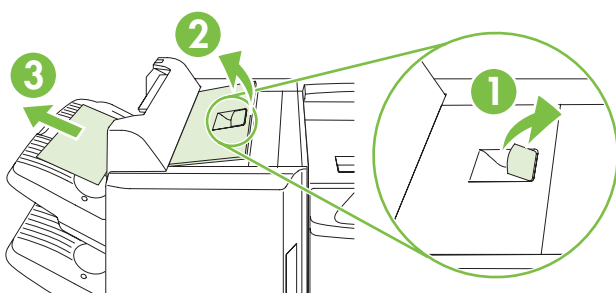
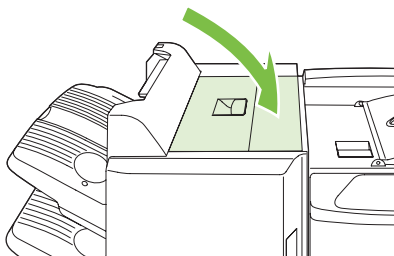
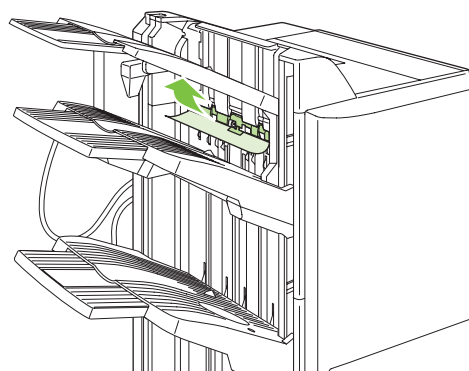
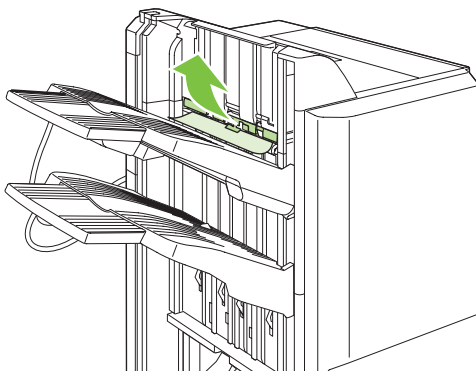
注記： 長い用紙 (11x17、12x18、および A3) の紙詰まりを取り除くには、右のドアを開く前に、詰まっている用紙を切り取るか、破っておきます。

2. 右のドアの内側に詰まっている用紙が見える場合は、下方向にゆっくりと引いて取り除きます。

3. 用紙が内部の用紙経路に詰まっている場合は、トランスファー アクセス パネルの緑色のハンドルを上げて、パネルを開きます。

4. 用紙経路から用紙をゆっくりと引き出します。

5. トランスファー アクセス パネルを閉めます。

6. 右のドアを閉めます。

エリア 7: オプションのトレイ 3、4、5 の紙詰まりを取り除く

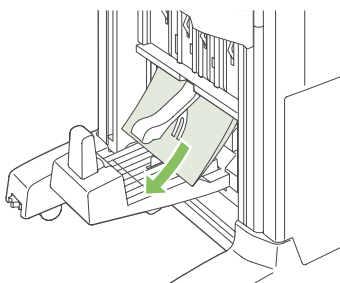
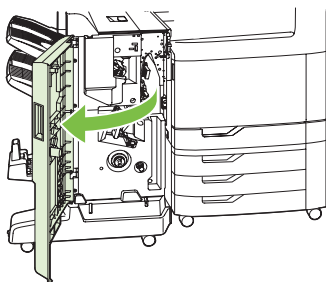
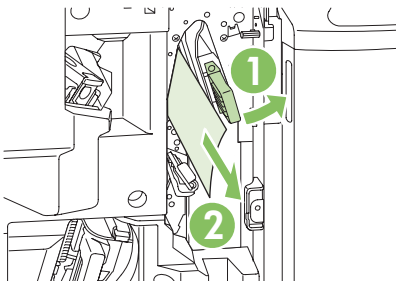
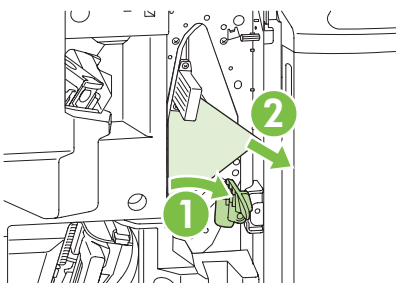
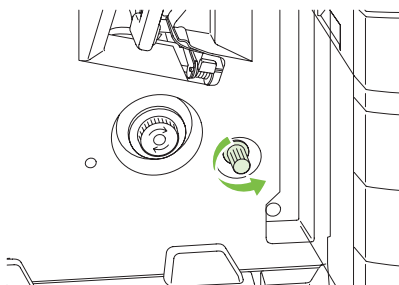
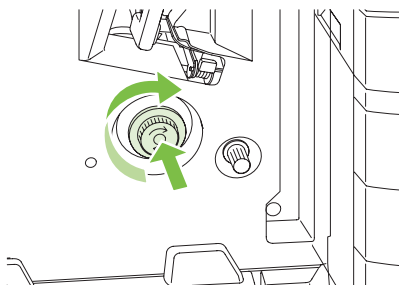
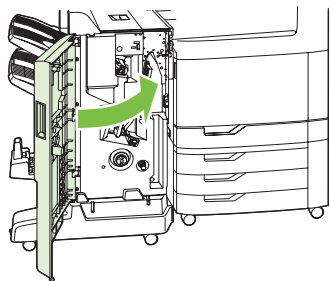
1. 右のドアを開きます。

2. 給紙エリアに詰まっている用紙が見える場合は、ゆっくりと引いて取り除きます。

3. 右のドアを閉めます。

4. 右下のドアを開きます。

5. 詰まっている用紙をゆっくりと引いて取り除きます。

6. コントロール パネルのメッセージで指示されたトレイを開き、用紙が正しくセットされていることを確認します。

7. トレイを閉めます。

8. 右下のドアを閉めます。

エリア 8: オプションのフィニッシャの紙詰まりを取り除く

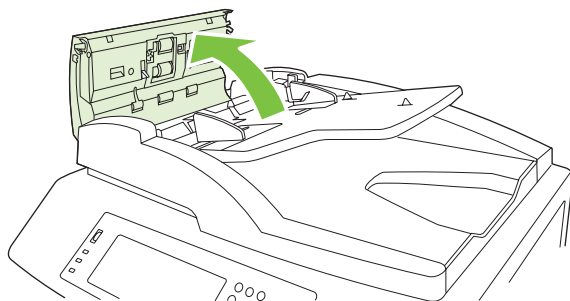
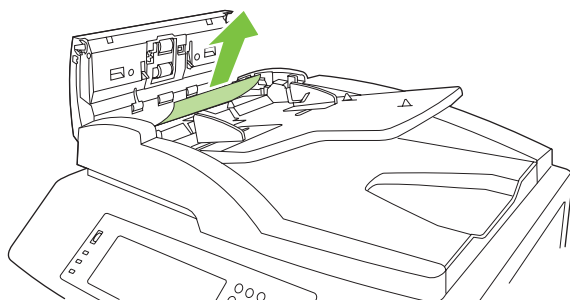
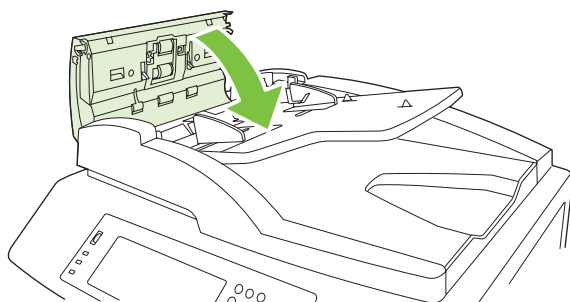
排紙アクセサリ ブリッジの紙詰まりを取り除く

1. 排紙アクセサリ ブリッジの上部カバーのラッチを上げ、上部カバーを開きます。

2. 詰まっている用紙をゆっくりと引いて取り除きます。

3. 排紙アクセサリ ブリッジの上部カバーを閉めます。

仕分けエリアの紙詰まりを取り除く

1. フィニッシャの上部カバーのラッチを上げ、上部カバーを開きます。

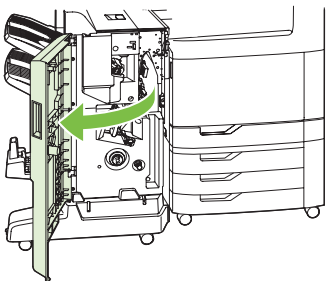
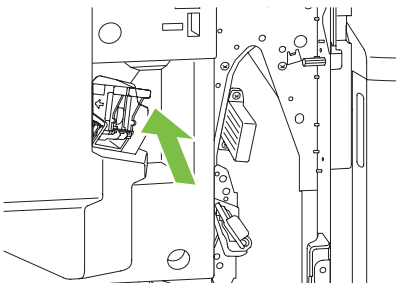
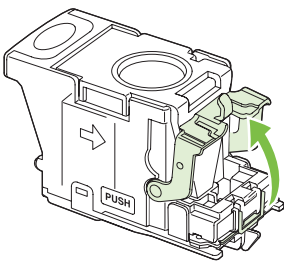
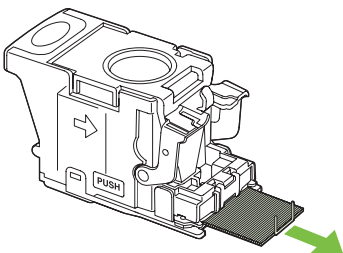
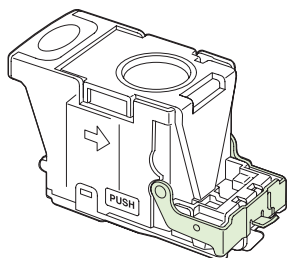
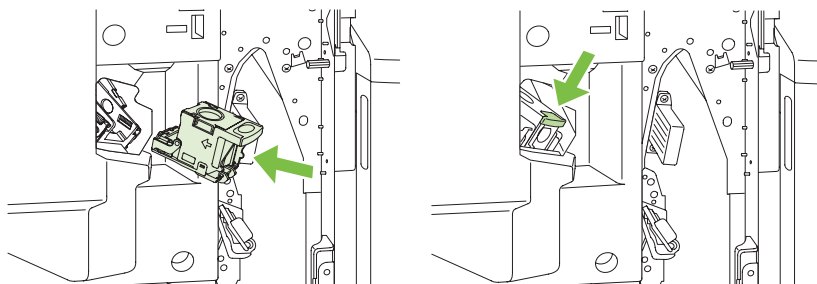
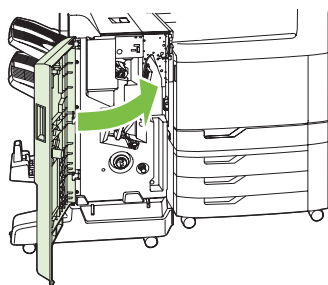
   注記： 上部カバーを開くと、排紙ビン ローラーへの圧力が解放されます。

2. 排紙ビンまたは仕上げデバイスの内部から、詰まっている用紙を取り除きます。

3. 仕上げデバイスの上部カバーを閉めます。

4. 排紙ビンのスイング ガイド パネルを持ち上げます。詰まっている紙が見える場合は、ゆっくりと引き出します。

ブックレット メーカーの紙詰まりを取り除く

1. ブックレット排紙ビンに詰まっている用紙が見える場合は、ゆっくりと引いて取り除きます。

2. ブックレット メーカーの正面ドアを開きます。

3. 上部の給紙ガイドを右側に押し、詰まっている用紙があれば取り除きます。

4. 下部の給紙ガイドを右側に押し、詰まっている用紙があれば取り除きます。

5. 2 つある緑色のダイアルのうち、右側の小さなほうが位置合わせノブです。この位置合わせノブを反時計回りに回します。

6. 2 つある緑色のダイアルのうち、左側の大きなほうが紙詰まり解除ノブです。この紙詰まり解除ノブを押し込み、時計回りに回すと、詰まっている紙が排紙ビンへ排紙されます。

7. ブックレット メーカーの正面ドアを閉めます。

エリア 9： ADF の紙詰まりを取り除く

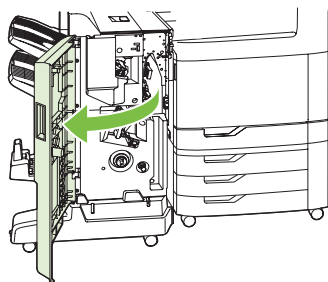
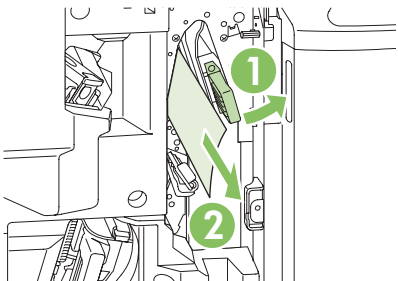
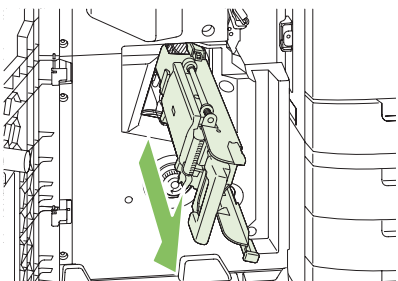
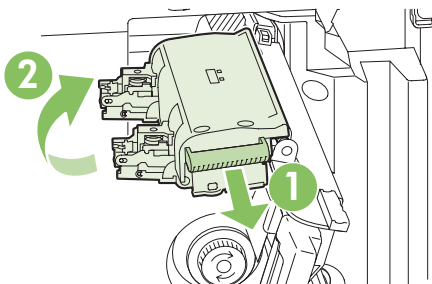
1. ADF カバーを開けます。

2. 詰まっているメディアをすべて取り除きます。

3. ADF カバーを閉めます。

ステイプルの詰まりを除去する

メイン ステイプラの詰まりを除去する

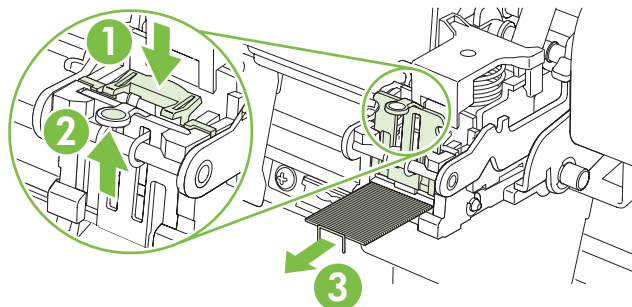
HP 3 ビン ステイプラ/スタッカ と HP ブックレット メーカー/フィニッシャのそれぞれの仕上げデバイスの上部には、メイン ステイプラが備わっています。

1. フィニッシャの正面ドアを開きます。

2. ステイプル カートリッジを取り外すには、緑色のハンドルを上方に引っ張って、カートリッジを引き出します。

3. ステイプル カートリッジの背後にある小さなレバーを引き上げます。

4. ステイプル カートリッジからはみ出ている破損したステイプルを取り除きます。破損したステイプルが含まれていた一連のステイプルをすべて取り除きます。

5. ステイプル カートリッジの背後にあるレバーを下げます。カチッという音がするまでレバーを下げてください。

6. ステイプル カートリッジをフィニッシャに戻し、カチッという音がするまで緑色のハンドルを押し下げます。

7. フィニッシャの正面カバーを閉めます。

ブックレット メーカーのステイプルの詰まりを除去する

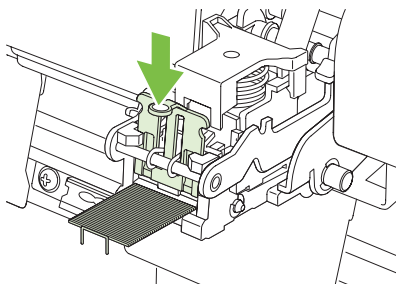
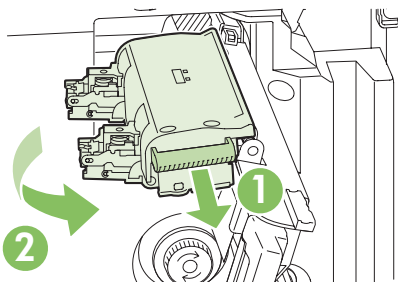
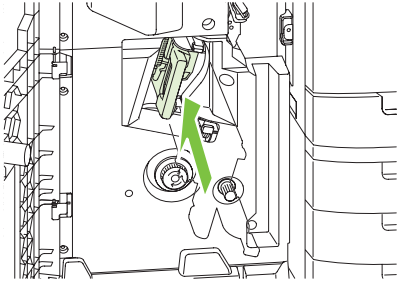
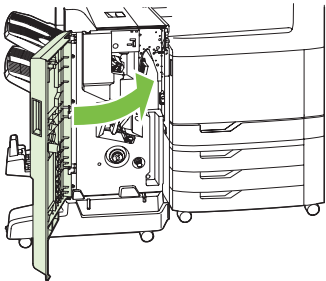
ブックレット メーカーには、メイン ステイプラの下に、中綴じ用ステイプラも備わっています。中綴じ用ステイプラには、2 つのステイプル カートリッジがあります。

1. ブックレット メーカーの正面ドアを開きます。

2. 上部の給紙ガイドを右側に押し、詰まっている用紙があれば取り除きます。

3. ステイプル カートリッジの青いハンドルをつかみ、まっすぐに引き出します。

4. ステイプル カートリッジの青いハンドルをつかんで手前に引き出してから、ステイプル カートリッジを回転させて垂直に立てます。

5. 各ステイプル カートリッジにステイプルが詰まっていないかどうかを確認します。

   a. 各ステイプル カートリッジの緑色のプラスチック タブを押して、詰まり除去プレートを持ち上げます。

   ⚠ **警告！** この作業を行う際は、指や手をステイプル カートリッジの下に置かないでください。

   b. 詰まっているステイプルをすべて取り除きます。破損したステイプルと、そのステイプルが含まれれいた一連のステイプルをすべて取り除きます。

   c. 詰まり除去プレートを下に押して閉めます。

   ⚠ **警告！** この作業を行う際は、指や手をステイプル カートリッジの下に置かないでください。

6. ステイプル カートリッジを手前に引き出し、回転させて元の位置に戻します。ハンドルを押して、所定の位置でロックします。

7. ステイプル カートリッジをブックレット メーカーに押し込みます。

8. ブックレット メーカーの正面ドアを閉めます。

紙詰まりの復旧

このプリンタには紙詰まり復旧機能が備わっており、詰まったページを再印刷することができます。以下のオプションを選択できます。

- **自動** – 十分なメモリがある場合に、紙詰まりしたページが再印刷されます。
- **オフ** – 紙詰まりしたページは再印刷されません。最後の数ページを保存するためにメモリを使用しないので、パフォーマンスは最適化されます。

注記： このオプションを選択した場合、用紙切れの状態で両面印刷を行うと、一部のページが抜けてしまうことがあります。

- **オン** – 紙詰まりしたページが常に再印刷されます。印刷した最後の数ページを保存するために余分なメモリが割り当てられます。このため、パフォーマンスが低下する場合があります。

紙詰まり復旧機能の設定

1. 管理 にタッチし、デバイス動作 にタッチします。
2. 警告/エラー動作 にタッチして、紙詰まり復旧 にタッチします。
3. オプションにタッチして、保存 にタッチします。

用紙処理に関する問題

『*HP LaserJet Printer Family Print Media Guide*』にある仕様を満たす用紙だけを使用してください。このガイドは、www.hp.com/support/ljpaperguide にあります。

プリンタが一度に複数の用紙を給紙する

プリンタが一度に複数の用紙を給紙する

原因	解決方法
給紙トレイがいっぱいです。トレイを開き、用紙の量がトレイの上限線を超えていないことを確認します。	給紙トレイから余分な用紙を取り出します。
印刷された用紙が互いにくっついています。	用紙を取り出し、曲げたり、前後や上下を逆にした後、トレイに再びセットします。 **注記：**　用紙を扇形に広げないでください。用紙を扇形に広げると静電気が発生し、用紙が互いにくっつく原因になります。
用紙がこのプリンタの仕様に合っていません。	このプリンタの HP 仕様を満たす用紙のみを使用します。
トレイが正しく調整されていません。	用紙ガイドが、使用する用紙サイズと合っていることを確認します。

間違ったサイズの用紙が給紙される

間違ったサイズの用紙が給紙される

原因	解決方法
正しいサイズの用紙が給紙トレイにセットされていません。	給紙トレイに正しいサイズの用紙をセットします。
ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバで、正しいサイズの用紙が選択されていません。	ソフトウェア プログラムとプリンタ ドライバの設定が正しいかどうかを確認してください。ソフトウェア プログラムの設定は、プリンタ ドライバやコントロール パネルの設定よりも優先されます。また、プリンタ ドライバの設定は、コントロール パネルの設定よりも優先されます。詳しくは、69 ページの 「プリンタ ドライバ設定の変更 (Windows)」、または77 ページの 「プリンタ ドライバ設定の変更 (Macintoss)」 を参照してください。
コントロール パネルで、トレイ 1 用の正しいサイズの用紙が選択されていません。	コントロール パネルで、トレイ 1 用の正しいサイズの用紙を選択します。
給紙トレイの用紙サイズが正しく設定されていません。	設定ページを印刷するか、コントロール パネルを使用して、トレイに設定されている用紙サイズを調べます。
トレイ内のガイドが用紙に触れていません。	用紙ガイドが用紙に触れていることを確認してください。

間違ったトレイから給紙される

間違ったトレイから給紙される

原因	解決方法
別のプリンタのドライバを使用しています。	このプリンタのドライバを使用します。

間違ったトレイから給紙される

原因	解決方法
指定したトレイは空です。	指定したトレイに用紙をセットします。
給紙トレイの用紙サイズが正しく設定されていません。	設定ページを印刷するか、コントロール パネルを使用して、トレイに設定されている用紙サイズを調べます。
トレイ内のガイドが用紙に触れていません。	ガイドが用紙に触れていることを確認してください。

用紙が自動的に給紙されない

用紙が自動的に給紙されない

原因	解決方法
ソフトウェア プログラムで手差しが選択されています。	トレイ 1 に用紙をセットするか、既に用紙がセットされている場合は、[スタート] ボタンを押します。
正しいサイズの用紙がセットされていません。	正しいサイズの用紙をセットします。
給紙トレイは空です。	給紙トレイに用紙をセットします。
前回、紙詰まりした用紙が完全に取り除かれていません。	プリンタを開き、給紙経路にある用紙を取り除きます。
給紙トレイの用紙サイズが正しく設定されていません。	設定ページを印刷するか、コントロール パネルを使用して、トレイに設定されている用紙サイズを調べます。
トレイ内のガイドが用紙に触れていません。	後ろ側と幅の用紙ガイドが用紙に触れていることを確認します。
手差し印刷の設定が**常に使用** になっています。トレイに用紙が入っていても、手差しで給紙するようにというメッセージが表示されます。	トレイを開いて用紙をセットし直し、トレイを閉じます。 または、手差し印刷の設定を **セットしてから使用** に変更します。トレイが空の場合だけ、手差しのメッセージが表示されるようになります。
プリンタの **要求されたトレイを使用** 設定が **優先** に設定されていますが、要求されたトレイが空です。プリンタは別のトレイを使用しません。	要求されたトレイに用紙をセットします。 または、**デバイスの設定** メニューの設定を **優先** から **最初** に変更します。指定されたトレイに用紙がセットされていない場合は、プリンタが別のトレイを使用します。

トレイ 2、3、4、または 5 から給紙されない

トレイ 2、3、4、または 5 から給紙されない

原因	解決方法
正しいサイズの用紙がセットされていません。	正しいサイズの用紙をセットします。
給紙トレイは空です。	給紙トレイに用紙をセットします。
プリンタのコントロール パネルで、給紙トレイの用紙タイプが正しく選択されていません。	プリンタのコントロール パネルで、給紙トレイに合った用紙タイプを選択します。
前回、紙詰まりした用紙が完全に取り除かれていません。	プリンタを開き、給紙経路にある用紙を取り除きます。紙詰まりのフューザ領域を注意して調べます。

トレイ 2、3、4、または 5 から給紙されない

原因	解決方法
オプションのトレイが給紙トレイ オプションとして表示されません。	オプション トレイは、装着されている場合にしか表示されません。オプション トレイが正しく装着されているかどうか確認してください。プリンタ ドライバが、オプション トレイを認識できるように設定されていることを確認します。
オプションのトレイが間違って取り付けられています。	設定ページを印刷して、オプションのトレイが取り付けられていることを確認します。取り付けられていない場合は、トレイが正しくプリンタに接続されていることを確認します。
給紙トレイの用紙サイズが正しく設定されていません。	設定ページを印刷するか、コントロール パネルを使用して、トレイに設定されている用紙サイズを調べます。
トレイ内のガイドが用紙に触れていません。	ガイドが用紙に触れていることを確認してください。

OHP フィルムまたは光沢紙が給紙されない

OHP フィルムまたは光沢紙が給紙されない

原因	解決方法
ソフトウェアまたはプリンタ ドライバで正しい用紙タイプが指定されていません。	ソフトウェア アプリケーションまたはプリンタ ドライバで正しい用紙タイプが選択されていることを確認します。
給紙トレイがいっぱいです。	給紙トレイから余分な用紙を取り出します。トレイ 2、3、4、または 5 には、光沢紙または光沢 OHP フィルムを 200 枚以上、OHP フィルムを 100 枚以上セットしないでください。トレイ 1 については、高さの上限線を超えないようにしてください。
他のトレイにある用紙が OHP フィルムと同じサイズで、プリンタはデフォルトで他のトレイを使うように設定されています。	OHP フィルムまたは光沢紙のセットされた給紙トレイが、ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバで選択されていることを確認します。プリンタのコントロール パネルを使用して、セットした用紙タイプにトレイを設定します。
OHP フィルムまたは光沢紙をセットしたトレイがタイプに合わせて正しく設定されていません。	OHP フィルムまたは光沢紙のセットされた給紙トレイが、ソフトウェア プログラムまたはプリンタ ドライバで選択されていることを確認します。プリンタのコントロール パネルを使用して、セットした用紙タイプにトレイを設定します。
OHP フィルムまたは光沢紙が、サポートされている用紙の仕様を満たしていない可能性があります。	このプリンタの HP 仕様を満たす用紙のみを使用します。
湿度が高いために、光沢紙が給紙されなかったり、一度に複数枚給紙されることがあります。	最良の結果を得るには、トレイ 2、3、4、または 5 に光沢紙をセットします。 湿度の高い環境では、なるべく光沢紙に印刷しないようにしてください。光沢紙に印刷する場合は、用紙の包装を取り除き、数時間放置してから印刷すると、給紙しやすくなります。ただし、湿度の高いところに放置すると、ブリスタ (気泡状の印刷不良) が発生することがあります。

△ 注意： HP カラー レーザー プレゼンテーション用紙 (光沢) (Q2546A) は、このプリンタではサポートされていません。この用紙を使用すると、フューザで紙詰まりが発生し、フューザの交換が必要になる場合があります。この用紙の代わりに、HP Color LaserJet プレゼンテーション用紙 (ソフト光沢) (Q6541A) および HP Color LaserJet ブローシャ用紙 (光沢) (Q6611A、Q6610A) の使用をお勧めします。サポートされている用紙タイプの一覧については、102 ページの 「サポート対象の用紙タイプ」を参照してください。

封筒が詰まる、または封筒がプリンタに給紙されない

封筒が詰まる、または封筒がプリンタに給紙されない

原因	解決方法
封筒がサポートされていないトレイにセットされています。封筒を給紙できるのは、トレイ 1 のみです。	トレイ 1 に封筒をセットします。
封筒がめくれているか折れています。	別の封筒を試します。封筒は管理された環境で保存してください。
水分含有率が高すぎるため、封筒が密着しています。	別の封筒を試します。封筒は管理された環境で保存してください。
封筒の向きが間違っています。	封筒が正しくセットされていることを確認します。
このプリンタでは、封筒を使用できません。	*HP LaserJet Printer Family Print Media Guide* を参照してください。
トレイ 1 は封筒以外のサイズに設定されています。	トレイ 1 のサイズを封筒用に設定します。

印刷出力がめくれている、またはしわが寄っている

印刷出力がめくれている、またはしわが寄っている

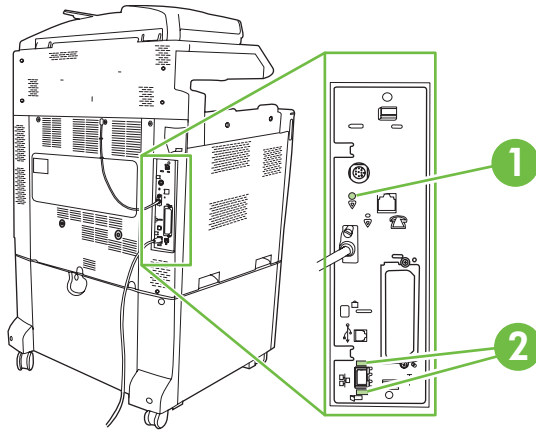
原因	解決方法
用紙がこのプリンタの仕様に合いません。	このプリンタの HP 仕様を満たす用紙のみを使用します。
用紙が折れているか汚れています。	用紙を給紙トレイから取り除き、良好な状態の用紙をセットします。
印刷速度を下げる必要があります。	[印刷品質] メニューの **用紙カール** オプションを **短縮** に設定し、最高速度を 10ppm (デフォルトは 40ppm)、3/4 速度を 7.5ppm (デフォルトは 30ppm) に下げます。
プリンタの動作環境の湿度が非常に高くなっています。	印刷環境の湿度が仕様範囲内かどうかを確認してください。
大きな塗りつぶされた領域を印刷しています。	大きな塗りつぶされた領域は、非常にめくれやすくなります。別のパターンを印刷してみます。
使用した用紙の保存状態が悪く、湿気を吸収しています。	用紙を取り除き、新しい、未開封の用紙と交換します。
用紙の端がぎざぎざです。	用紙を取り出し、曲げたり、前後や上下を逆にした後、給紙トレイに再びセットします。用紙を扇形に広げないでください。問題が解決しない場合は、用紙を交換します。
特定の用紙タイプがトレイに設定されていないか、ソフトウェアで選択されていません。	用紙に合わせてソフトウェアを設定します (ソフトウェアのマニュアルを参照)。用紙に対応するトレイの設定については、105 ページの 「用紙および印刷メディアをセットする」を参照してください。
以前印刷した用紙を使用しています。	用紙は再使用しないでください。

両面印刷できないか、正しく両面印刷しない

両面印刷できないか、正しく両面印刷しない

原因	解決方法
両面印刷しようとしている用紙はサポートされていません。	両面印刷する用紙がサポートされていることを確認します。
プリンタ ドライバが両面印刷に合わせて設定されていません。	プリンタ ドライバを設定して、両面印刷を有効にします。
印刷済みフォームまたはレターヘッドの裏面に最初のページが印刷されています。	レターヘッドのある面 (印刷面) を下向きにし、ページの上部が奥になるように、印刷済みフォームおよびレターヘッドをトレイ 1 にセットします。トレイ 2、3、4、および 5 の場合は、印刷面を上向きにし、ページの上部が奥になるようにセットします。
この機種では、自動両面印刷することはできません。	HP Color LaserJet CM6040 MFP では、自動両面印刷することはできません。
プリンタが両面印刷用に設定されていません。	Windows の場合は、次の手順に従って、自動設定機能を使用します。 1. **[スタート]** ボタンをクリックし、**[設定]** をポイントとして、**[プリンタ]** (Windows 2000 の場合) または **[プリンタと FAX]** (Windows XP の場合) をクリックします。 2. HP 製品のアイコンを右クリックし、**[プロパティ]** または **[印刷設定]** をクリックします。 3. **[デバイスの設定]** タブをクリックします。 4. **[インストール可能オプション]** で、**[自動設定]** リストの **[今すぐ更新]** をクリックします。

フォーマッタのランプについて

フォーマッタに付いている 3 つの LED には、プリンタが正しく機能しているかどうかが示されます。

1	電源確認 LED
2	HP Jetdirect LED (この LED は HP Jetdirect が取り付けられている場合にのみ存在します。)

HP Jetdirect LED

内蔵 HP Jetdirect プリント サーバーには 2 つの LED が備わっています。黄色の LED はネットワーク活動を示し、緑色の LED は接続状態を示します。黄色の LED が点滅している場合は、ネットワーク トラフィックがあることを意味します。緑色の LED が点灯していない場合は、接続が確立されなかったことを意味します。

接続エラーが発生した場合は、ネットワーク ケーブルのすべての接続箇所を確認します。また、プリンタのコントロールパネルのメニューを使用して、内蔵プリント サーバを手動で設定することもできます。

1. スクロールして [管理] を選択します。
2. [初期セットアップ] を選択します。
3. [ネットワークおよび I/O] を選択します。
4. [内蔵 Jetdirect] または [EIO <X> Jetdirect] を選択します。
5. [リンク速度] を選択します。
6. 適切なリンク速度を選択します。
7. [保存] を選択します。

電源確認 LED

電源確認 LED には、フォーマッタが正しく機能しているかどうかが示されます。プリンタの電源を入れた後の初期化中は、電源確認 LED がすばやく点滅した後、消えます。プリンタの初期化が完了すると、規則的にオンとオフを繰り返します。

電源確認 LED が消えている場合は、フォーマッタで問題が発生している可能性があります。HP の正規サービス代理店問い合わせてください。HP サポート パンフレットか、www.hp.com/go/cljcm6030mfp_software または www.hp.com/go/cljcm6040mfp_software を参照してください。

印刷品質とコピー品質に関する問題の解消

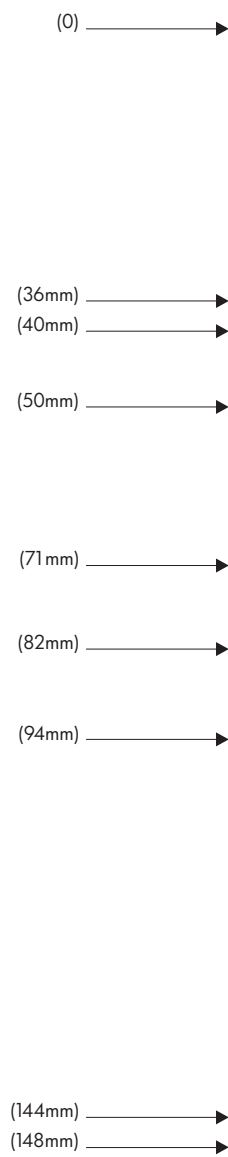
次の手順に従って、印刷品質の問題およびそれらの問題の修正方法を確認できます。印刷品質に関する問題は、多くの場合、プリンタが正しく保守されていることの確認、HP の仕様に合った印刷メディアの使用、クリーニング ページの印刷などによって簡単に解決できます。

さまざまな印刷品質の問題

不適切な用紙を使用すると、印刷品質の問題が発生することがあります。

- HP の用紙仕様を満たしている用紙を使用します。
- 用紙の表面が粗すぎます。HP 仕様を満たす用紙のみを使用します。
- プリンタ ドライバの設定または用紙トレイの設定が間違っている可能性があります。プリンタのコントロール パネルで用紙トレイを設定していること、および使用している用紙に合ったドライバ設定を選択していることを確認してください。
- プリント モードの設定に誤りがあるか、用紙が推奨仕様を満たしていない可能性があります。
- 使用している OHP フィルムのトナー定着は、使用目的に適していません。HP Color LaserJet プリンタ用の OHP フィルムだけを使用してください。
- 用紙の水分含有率にばらつきがあるか、高すぎるか、または低すぎます。別のソースまたは未開封の用紙を使用します。
- 用紙にトナーをはじく部分があります。別のソースまたは未開封の用紙を使用します。
- 使用しているレターヘッドが粗い用紙に印刷されています。なめらかなコピー用紙を使用します。これで問題が解決した場合は、レターヘッドを印刷した業者に、使用した用紙がこのプリンタの仕様に合っているかどうかを確認してください。
- 印刷の最適化モードを使用すると、印刷品質の問題が解決する場合があります。50 ページの「[印刷品質] メニュー」を参照してください。

連続した欠陥の定規

ページ上、欠陥が定期的に繰り返される場合は、この定規を使用して原因と欠陥を識別します。定規の一番上を最初の欠陥に置きます。次に発生する欠陥の横のマークは、どのコンポーネントが交換を必要としているかを示します。

36mm	イメージ ドラムの現像ローラー 4 つのイメージ ドラムのいずれかの欠陥により、印刷品質が劣化します。
40mm	イメージ ドラムの荷電ローラー 4 つのイメージ ドラムのいずれかの欠陥により、ラベル紙を給紙する際に斑点が現れる場合があります。
50mm	トランスファー ユニットのトランスファー 1 ローラー (トランスファー キット)
71mm	ローラー キットのトランスファー 2 ローラー (トランスファー キット)
82mm	トランスファー ユニットの張力 (トランスファー キット)
94mm	イメージ ドラム 4 つのイメージ ドラムのいずれかの欠陥により、印刷品質が劣化します。
144mm	フューザの圧力ローラー (フューザ キット)
148 mm	フューザの溶解ローラー (フューザ キット)

新しいイメージ ドラムを注文する前に、別の HP Color LaserJet CM6040 シリーズのイメージ ドラム (入手可能な場合) を装着して、問題の原因がインク ドラムにあるかどうかを確認します。

欠陥が 94.0mm 間隔で繰り返される場合は、フューザを交換する前にインク ドラムを交換します。

環境に関連する印刷品質の問題

プリンタの動作環境の湿度が非常に高いか、乾燥しすぎている場合は、印刷環境が仕様の範囲内かどうかを確認してください。309 ページの 「環境仕様」を参照してください。最適化モードを使用すると、環境による問題を解決できる場合があります。282 ページの 「手動印刷モードの使用」を参照してください。

紙詰まりに関連する印刷品質の問題

- すべての用紙が用紙経路から取り除かれていることを確認します。
- 紙詰まりを取り除いたすぐ後に、2 ～ 3 ページ印刷してプリンタをクリーニングします。
- 用紙がフューザを通過していない場合は、後続の文書のイメージが印刷されません。2 ～ 3 ページ印刷してプリンタをクリーニングしてください。

画質の最適化と改善

次に、画質の問題を解決する手順をいくつか示します。

これらの手順に従っても画質が上がらない場合は、www.hp.com/go/cljcm6030mfp_software または www.hp.com/go/cljcm6040mfp_software を参照してください。

仕様どおりの用紙を使う

プリンタでサポートされていない用紙や他のメディアを使用すると、さまざまなの問題の原因になります。

プリンタを校正する

校正とは、印刷の品質を最適化することです。画質に問題がある場合は、プリンタを校正してください。

コントロール パネルで、以下の手順に従います。

1. 管理 にタッチします。
2. スクロールして、印刷品質 にタッチします。
3. スクロールして、校正/クリーニング にタッチします。
4. クイック校正 または 完全校正 を選択します。
5. 校正 にタッチします。

正しい種類の用紙を選択する

印刷ジョブをプリンタに送信するときに、使用する用紙のタイプを指定します。

1. ソフトウェア プログラムの **[ファイル]** メニューで、**[印刷]** をクリックします。
2. プリンタを選択し、**[プロパティ]** または **[基本設定]** をクリックします。

注記： 手順は変わることがあり、共通ではありません。

3. **[用紙/品質]** タブを選択します。
4. **[用紙の種類]** ドロップダウン ボックスで、**[詳細....]** を選択し、プリンタにセットされている用紙に最適な種類を選択します。

フューザをクリーニングする

クリーニング ページを印刷して、フューザにトナーや用紙の細かいほこりがたまらないようにします。ほこりがたまると、印刷したページの表または裏に斑点が現れることがあります。

印刷の品質に問題がある場合は、クリーニング ページを使用することをお勧めします。

クリーニングが行われている間は、プリンタのコントロール パネルのディスプレイに **クリーニング中** と表示されます。

クリーニング ページは、コピー用紙に印刷してください (ボンド紙や厚手の用紙、粗めの用紙は使いません)。

クリーニング ページの作成と使用

1. スクロールして、管理 にタッチします。
2. スクロールして、印刷品質 にタッチします。
3. 校正/クリーニング にタッチします。
4. クリーニング ページの処理 にタッチします。

エラー メッセージが表示された場合の処置

イベント ログに「**54.<XX> エラー**」というメッセージがある場合は、印刷品質の問題を解決して、これ以上エラーが発生しないようにするために、プリンタの保守作業が必要になることがあります。

1. プリンタの右側のドアをいったん開いてから閉じ、イベント ログに「**54.<XX> エラー**」という最新イベントを記録させます。
2. スクロールして、管理 にタッチします。
3. スクロールして、トラブルシューティング にタッチします。
4. スクロールして、イベント ログ にタッチします。

5. 印刷 にタッチします。

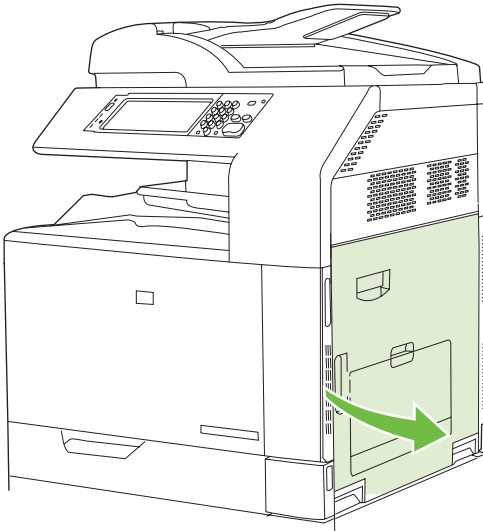
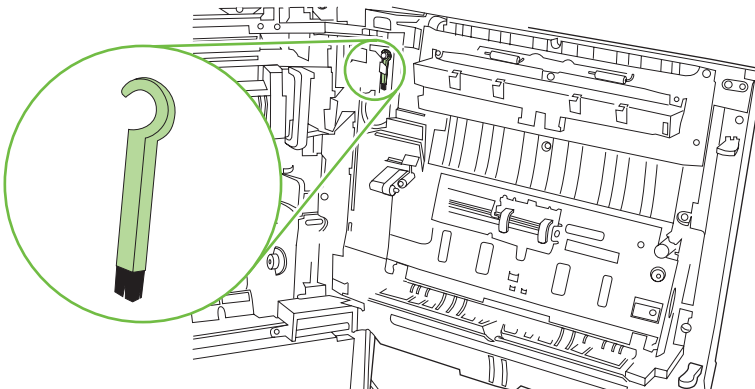
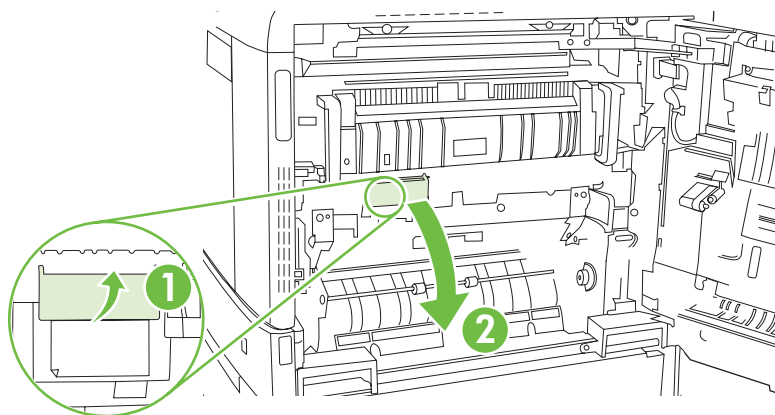
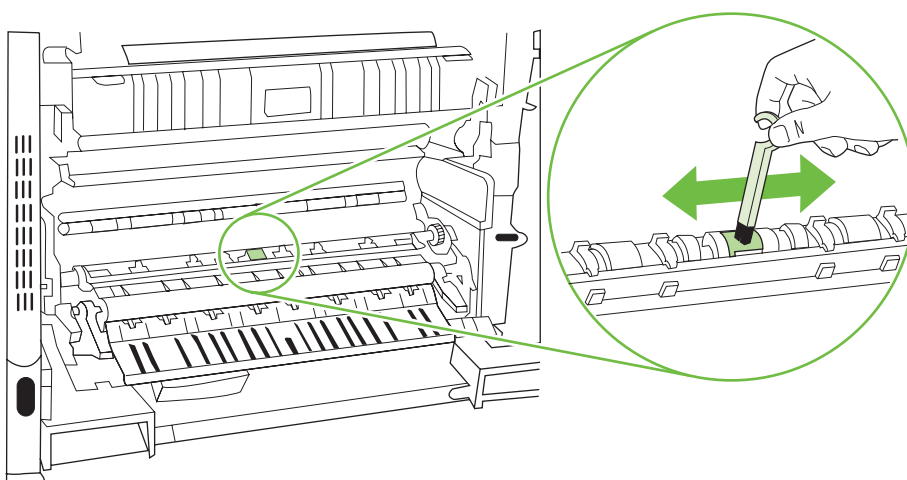
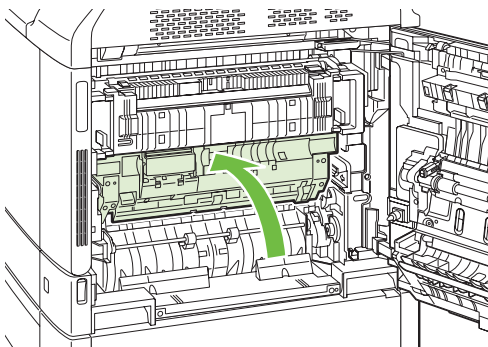
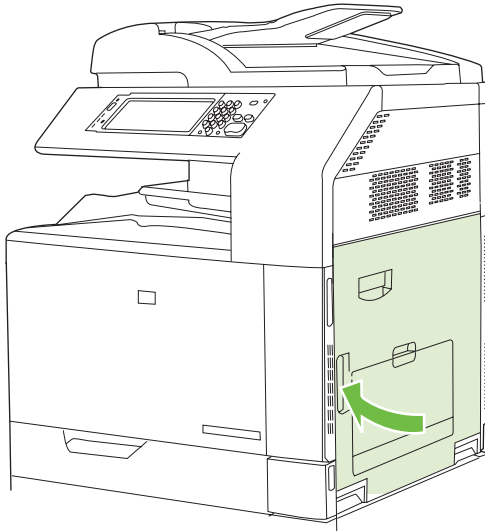
6. ログで最後に発生したイベントを確認します。

   - このイベントが「**54.OE.01 メディア センサー**」の場合は、レジストレーションの二次転写装置を交換する必要があります。HP サポート (www.hp.com/go/cljcm6030mfp_software または www.hp.com/go/cljcm6040mfp_software) にこのエラー コードを報告してください。

   - このイベントが「**54.OE.02 メディア センサー**」の場合は、レジストレーションの二次転写装置を交換する必要があります。HP サポート (www.hp.com/support/cljcm6040mfp または www.hp.com/support/cljcm6030mfp) にこのエラー コードを報告してください。

   - 「**54.OE.03 メディア センサー**」場合は、次の手順に従って、レジストレーションの 2 番目のトランスファー アセンブリとメディア センサーをクリーニングする必要があります。

レジストレーションの二次転写装置のクリーニング

1. 右のドアを開きます。

2. クリーニング ブラシを見つけて取り外します。

3. トランスファー アクセス パネルの緑色のハンドルを上げて、パネルを開きます。

4. クリーニング ブラシでメディア センサーをクリーニングします。

5. トランスファー アクセス パネルを閉じ、クリーニング ブラシをホルダに戻します。

6. 右のドアを閉じます。

手動印刷モードの使用

手動印刷モードを使用して、画質の問題を解決できるかどうかを確認します。このオプションは、コントロール パネルの [印刷品質] メニューの [最適化] サブメニューにあります。50 ページの 「[印刷品質] メニュー」を参照してください。

- **フューザ温度**： 印刷した画像が同じページの下部または次のページにぼんやりとした影となって繰り返し写る場合は、用紙タイプやプリント モードの設定がご使用の用紙と合っているかをまず確認します。それでもこの問題が解決しない場合は、フューザ温度機能を代替設定のいずれかに変更します。まず [代替 1] 設定を試し、問題が解決するかを確認します。解決しない場合は [代替 2]、[代替 3] の順に試します。[代替 2] や [代替 3] に設定すると、1 つの印刷ジョブから次のジョブまでの間隔が大幅に延びる場合があります。
- **薄手メディア**： 薄手の用紙への印刷や印字率の高い印刷で、特に、フューザ遅延またはフューザへの紙の巻き込みによる紙詰まりのメッセージが頻繁に表示される場合は、この機能を オン に設定します。
- **メディア温度**： 用紙がくっついて排紙される場合は、この機能を **短縮** に設定します。
- **環境**： 温度が低い場所に設置しているプリンタで、印刷した画像にブリスタ (気泡状の印刷不良) などの問題が発生する場合は、この機能を有効にします。
- **電源電圧**： 電圧が低い場所に設置しているプリンタで、印刷した画像にブリスタ (気泡状の印刷不良) などの問題が発生する場合は、この機能を有効にします。
- **背景**： 印刷したページの背景の陰影が濃い場合は、この機能をオンにします。オンにすると、光沢が下がることがあります。
- **用紙カール**： 排紙ビンの中で用紙が極端に丸まる場合は、この機能を **短縮** に設定します。この設定を行うことで、印刷速度が低下したり消耗品の交換頻度が上がる場合があります。
- **定義済みの回転**： ページに水平方向の線ができる場合は、この機能をオンにします。ただし、プリンタが起動するのに時間がかかります。
- **トレイ 1**： トレイ 1 から印刷しているときに用紙の裏面にしみができる、あるいは印刷時にトナーが出過ぎる場合は、モードを **代替** に設定します。代替モードに設定すると、トレイ 1 からジ

ョブが印刷されるごとに、クリーニング サイクルが実行されます。代替モードでは、通常モードの設定時より、全てのプリントカートリッジの消耗が早まります。

- **トラッキング コントロール**： この機能は常に**オン**に設定されている必要があります。
- **クリーニング頻度 (標準/代替)**: 出力したページに 38mm 間隔で繰り返し印刷不良が見られる場合は、**代替** に設定します。これにより、C ローラーのクリーニング頻度が上がります。逆に印刷速度が低下したり消耗品の交換頻度が上がることがあります。
- **ダブルブレード バイアス (標準/代替)**: 出力したページに白く短い縦線が現れる場合は、**代替** に設定します。これにより、印刷出力に黒っぽい点が発生することがあります。何回か印刷を行って、この設定が適切かどうかを確認してください。
- **ごみ箱 (標準/代替)**: 印字率の低い印刷ジョブで、特に、出力の長さ方向に縞模様が発生する場合は、**代替** に設定します。
- **放電ブラシ (オン/オフ)**: 薄い用紙を使って 10 ページ以上両面印刷を行ったときにトナーのしみが印刷紙面のあちこちに発生する場合は、この設定を有効にします (ご使用の環境が低温・低湿度の場合)。

印刷品質トラブルの解決ページ

印刷品質トラブルの解決ページを使用して、印刷品質の問題を診断して解決します。

1. スクロールして、管理 にタッチします。
2. スクロールして、トラブルシューティング にタッチします。
3. 印刷品質のトラブルの解決 にタッチします。
4. 印刷 にタッチします。

印刷が終わったら、プリンタが **印刷可** 状態に戻ります。印刷されたページの手順に従います。

性能に関する問題

問題	原因	解決方法
ページは印刷されるが、空白のまま排紙される。	プリント カートリッジに密封テープが残っている可能性があります。	プリント カートリッジから密封テープが完全にはがされていることを確認します。
	文書の空白ページを印刷した可能性もあります。	印刷した文書に白紙のページがないか確認します。
	製品が正しく機能していない可能性があります。	製品を調べる場合は、設定ページを印刷します。
ページの印刷に時間がかかる。	メディアのタイプが厚手の場合、印刷ジョブに時間がかかることがあります。	異なるタイプのメディアを印刷します。
	複雑なページは印刷に時間がかかることがあります。	最高の印刷品質を実現するために、熱処理が実行されますが、そのために印刷速度が低下することがあります。
	プリント ドライバの **[用紙/品質]** タブの **[HP real life technologies]** の下にある **[RLT 写真の修正]** オプションを選択すると、印刷が遅くなる場合があります。	印刷速度を改善するには、これらのオプションを選択解除してください。
ページが印刷されない。	メディアが正しく給紙されていない可能性があります。	用紙がトレイに正しくセットされていることを確認します。 問題が解決しない場合は、ピックアップ ローラーと仕分けパッドの交換が必要なことがあります。詳細については、302 ページの 「カスタマ サポート」を参照してください。
	デバイスで紙詰まりが発生しています。	紙詰まりを除去します。詳細については、239 ページの 「紙詰まり」を参照してください。
	USB ケーブルに不具合があるか、正しく接続されていない可能性があります。	● USB ケーブルを両端とも取り外し、接続し直します。 ● 以前に印刷したことのあるジョブを印刷します。 ● 別の USB ケーブルを使用します。
	コンピュータで別のデバイスが実行されています。	製品が USB ポートを共有していない可能性があります。製品と同じポートに外付けのハード ドライブまたはネットワーク スイッチボックスが接続されている場合は、他のデバイスが干渉している可能性があります。製品を接続して使用する場合は、他のデバイスの接続を切断するか、コンピュータの別々の USB ポートに接続する必要があります。

ファックスの問題の解決

ファックスの問題の解決に役立つ情報については、www.hp.com/go/mfpfaxaccessory300 を参照してください。

また、プリンタのユーザー CD に収録されている*『アナログ ファックス アクセサリ 300 ユーザー ガイド』*および*『アナログ ファックス アクセサリ 300 ファックス送信ドライバ ガイド』*を参照することもできます。

電子メールの問題の対策

デジタル送信機能を使用して、電子メールを送信できない場合、SMTP ゲートウェイ アドレスまたは LDAP ゲートウェイ アドレスを再設定しなければならない場合があります。設定ページを印刷して、現在の SMTP および LDAP ゲートウェイアドレスを確認してください。188 ページの 「情報ページ」を参照してください。次の手順で SMTP および LDAP ゲートウェイ アドレスが有効かどうかを確認します。

SMTP ゲートウェイ アドレスの検証

注記： この手順は Windows オペレーティング システムに適用されます。

1. MS-DOS コマンド プロンプトを開きます (**[スタート]** メニューの **[ファイル名を指定して実行]** をクリックし、「
cmd

   」と入力します)。

2. 「
telnet

   」と入力し、その後に SMTP ゲートウェイ アドレス、続いて 25 という番号を入力します。この番号は、プリンタが通信に利用するポートです。たとえば、「
telnet 123.123.123.123 25

   」と入力します。この場合、「123.123.123.123」は SMTP ゲートウェイ アドレスを表します。

3. Enter を押します。SMTP ゲートウェイ アドレスが*有効でない*場合は、「
Could not open connection to the host on port 25: Connect Failed

   (ポート 25 のホストに接続できませんでした。接続に失敗しました)」というメッセージが戻されます。

4. SMTP ゲートウェイ アドレスが有効でない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

LDAP ゲートウェイ アドレスの検証

注記： この手順は Windows オペレーティング システムに適用されます。

1. Windows エクスプローラを開きます。アドレス バーに、「
LDAP://

   」と LDAP ゲートウェイ アドレスを続けて入力します。たとえば、「
LDAP://12.12.12.12

   」と入力した場合、「12.12.12.12」は LDAP ゲートウェイ アドレスを表します。

2. Enter を押します。LDAP ゲートウェイ アドレスが有効な場合は、**[Find People]** ダイアログ ボックスが表示されます。

3. LDAP ゲートウェイ アドレスが有効でない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

ネットワーク接続に関するトラブルの解決

プリンタでネットワーク接続の問題が発生している場合は、このセクションの指示に従って解決してください。

ネットワーク印刷に関するトラブルの解決

注記： プリンタの CD-ROM を使って、ネットワーク上にプリンタをインストールしてセットアップすることをお勧めします。

- ネットワーク ケーブルがプリンタの RJ45 コネクタにしっかり差し込まれていることを確認します。
- フォーマッタ上のリンク LED が点灯していることを確認します。274 ページの 「フォーマッタのランプについて」を参照してください。
- I/O カードが使用可能な状態になっているかどうか確認します。設定ページを印刷します (188 ページの 「情報ページ」を参照)。HP Jetdirect プリント サーバがインストールされている場合、設定ページを印刷すると、2 ページ目にネットワーク設定とステータスが印刷されます。

  注記： HP Jetdirect プリント サーバーは、各種のネットワーク プロトコル (TCP/IP、IPX/SPX、Novell NetWare、AppleTalk、DCL/LLC など) をサポートしています。適切なプロトコルおよびネットワーク パラメータが正しく設定されていることを確認してください。

  HP Jetdirect の設定ページで、ご使用のプロトコルに関する次の項目を確認します。

  - HP Jetdirect 設定で、ステータスが「I/O Card Ready」になっている。
  - プロトコルのステータスが「Ready」になっている。
  - IP アドレスが記載されている。
  - 設定方法 (Config by:) が 正しく記載されている。どの方法が正しいか不明な場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 別のコンピュータからジョブの印刷を試行します。
- プリンタがコンピュータと正しく連動していることを確認するには、USB ケーブルを使用して、プリンタをコンピュータに直接接続します。印刷ソフトウェアを再インストールする必要があります。過去に印刷を正しく実行できたプログラムを使用して、ドキュメントを印刷します。正しく印刷される場合、問題はネットワークにあることが考えられます。
- サポートが必要な場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。

ネットワークの通信状態の検証

HP Jetdirect の設定ページにプリンタの IP アドレスが表示されている場合は、ネットワーク経由でプリンタと通信できることを、以下の手順に従って確認してください。

1. **Windows** の場合：**[スタート]** をクリックし、**[ファイル名を指定して実行]** をクリックして、「
   cmd

   」と入力します。MS-DOS のコマンド プロンプトが表示されます。

   または

   Mac の場合：**[アプリケーション]** をクリックし、**[ユーティリティ]** をクリックして、ターミナル アプリケーションを開きます。ターミナル ウインドウが表示されます。

2. 「
   ping

   」に続けて、IP アドレスを入力します。たとえば、「
   ping XXX.XXX.XXX.XXX

   」と入力します。"XXX.XXX.XXX.XXX" の部分には、HP Jetdirect の設定ページに表示されている IPv4 アドレスを入力してください。ネットワーク経由でプリンタと通信できる場合は、プリンタからの応答が一覧形式で出力されます。

3. IP アドレスがネットワーク上で競合していないかを、アドレス解決プロトコル (arp -a) コマンドを使用して確認します。プロンプトに「
   arp -a

   」と入力します。出力された一覧で該当する IP アドレスを探し、その物理アドレスを、HP Jetdirect の設定ページ ([HP Jetdirect 設定] セクション) に表示されているハードウェアのアドレスと比較します。両者のアドレスが一致した場合、ネットワーク通信はすべて正常に機能しています。

4. プリンタのネットワーク接続が正常に動作しているかどうかを確認できなかった場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。

Macintosh に関する一般的なトラブルの解決

このセクションには、Mac OS X で発生する可能性のある問題が表形式でまとめられています。

表 15-1 Mac OS X に関する問題

プリンタ ドライバが、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティに表示されれません。

原因	解決方法
プリンタ ソフトウェアがインストールされていないか、正しくインストールされていない可能性があります。	プリンタの PPD がハードドライブ フォルダ (Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<言語>.lproj) にあることを確認します。<言語> は、使用言語を表す 2 文字のコードです。必要であれば、ソフトウェアを再インストールします。手順については、『セットアップ ガイド』を参照してください。
PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイルが壊れています。	PPD ファイルをハードディスクの Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<lang>.lproj から削除します (<lang> は使用言語を表す 2 文字の言語コード)。ソフトウェアを再インストールします。手順については、『セットアップ ガイド』を参照してください。

プリンタ名、IP アドレス、または Rendezvous/Bonjour ホスト名が、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティのプリンタ リストに表示されません。

原因	解決方法
プリンタが使用可能な状態になっていない可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていること、プリンタの電源が入っていること、および印字可ランプが点灯していることを確認します。USB または Ethernet ハブ経由で接続している場合、コンピュータに直接接続するか、異なるポートを試してください。
間違った接続タイプが選択されている可能性があります。	プリンタとコンピュータの接続方法に応じて、USB、IP 印刷、または Rendezvous/Bonjour が選択されていることを確認します。
間違ったプリンタ名、IP アドレス、または Rendezvous/Bonjour ホスト名が使用されています。	設定ページを印刷して、プリンタ名、IP アドレス、または Rendezvous ホスト名を確認します。設定ページのプリンタ名、IP アドレス、および Rendezvous ホスト名が、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティに表示されたものと同じことを確認します。
インターフェイス ケーブルに不具合があるか、品質に問題がある可能性があります。	インターフェイス ケーブルを交換します。品質の良いケーブルを使用していることを確認します。

プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティで選択したプリンタが、プリンタ ドライバで自動的に設定されません。

原因	解決方法
プリンタが使用可能な状態になっていない可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていること、プリンタの電源が入っていること、および印字可ランプが点灯していることを確認します。USB または Ethernet ハブ経由で接続している場合、コンピュータに直接接続するか、異なるポートを試してください。
プリンタ ソフトウェアがインストールされていないか、正しくインストールされていない可能性があります。	プリンタの PPD がハードドライブ フォルダ (Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<言語>.lproj) にあることを確認します。<言語> は、使用言語を表す 2 文字のコードです。必要であれば、ソフトウェアを再インストールします。手順については、『セットアップ ガイド』を参照してください。

表 15-1 Mac OS X に関する問題 (続き)

プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティで選択したプリンタが、プリンタ ドライバで自動的に設定されません。

原因	解決方法
PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイルが壊れています。	PPD ファイルをハードディスクの Library/Printers/PPDs/Contents/Resources/<lang>.lproj から削除します (<lang> は使用言語を表す 2 文字の言語コード)。ソフトウェアを再インストールします。手順については、『セットアップ ガイド』を参照してください。
インターフェイス ケーブルに不具合があるか、品質に問題がある可能性があります。	インターフェイス ケーブルを交換します。品質の良いケーブルを使用していることを確認します。

印刷ジョブが選択したプリンタに送られませんでした。

原因	解決方法
プリント キューが停止している可能性があります。	プリント キューを再起動します。**[プリント モニタ]** を開き、**[ジョブを開始]** を選択します。
間違ったプリンタ名または IP アドレスが使用されています。まったく同じかよく似た名前、IP アドレス、または Rendezvous ホスト名を持つ別のプリンタが、印刷ジョブを受信した可能性があります。	設定ページを印刷して、プリンタ名、IP アドレス、または Rendezvous ホスト名を確認します。設定ページのプリンタ名、IP アドレス、および Rendezvous ホスト名が、プリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティに表示されたものと同じことを確認します。

Encapsulated PostScript (EPS) ファイルが正しいフォントで印刷されません。

原因	解決方法
この問題は一部のプログラムで発生します。	● EPS ファイル内に格納されているフォントを、印刷する前にプリンタにダウンロードしてみてください。 ● ファイルをバイナリ エンコードではなく ASCII フォーマットで送信してください。

サードパーティ製 USB カードから印刷できません。

原因	解決方法
このエラーは、USB プリンタ用のソフトウェアがインストールされていない場合に発生します。	サードパーティ製 USB カードを追加するときに Apple USB Adapter Card Support ソフトウェアが必要となる場合があります。このソフトウェアの最新版は Apple の Web サイトから入手できます。

表 15-1 Mac OS X に関する問題 (続き)

USB ケーブルで接続しているときに、ドライブを選択した後にプリント センターまたはプリンタ設定ユーティリティにプリンタが表示されません。	
原因	解決方法
この問題は、ソフトウェアとハードウェア コンポーネントのいずれかが原因で発生します。	**ソフトウェアで発生するトラブルの解決** ● お使いの Macintosh で USB がサポートされていることを確認します。 ● Macintosh のオペレーティング システムが Mac OS X バージョン 10.1 以降であることを確認します。 ● お使いの Macintosh に Apple 製の適切な USB ソフトウェアがインストールされていることを確認します。 **ハードウェアで発生するトラブルの解決** ● プリンタの電源が入っていることを確認します。 ● USB ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 ● 適切なハイスピード USB ケーブルが使用されていることを確認します。 ● チェーンにつながっている、電力を消費する USB デバイスが多すぎないことを確認します。チェーンに接続されているデバイスをすべて外し、ケーブルをホスト コンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。 ● チェーンにおいて、バスパワー動作の USB ハブが 3 つ以上連続して接続されていないかを確認します。チェーンに接続されているデバイスをすべて外し、ケーブルをホスト コンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。 注記： iMac のキーボードはバスパワー動作の USB ハブです。

A サプライ品とアクセサリ

パーツ、アクセサリ、サプライ品の注文

部品、サプライ品、およびアクセサリの注文にはいくつか方法があります。

- HP から直接注文
- サービス プロバイダまたはサポート プロバイダを通じて注文
- 内蔵 Web サーバーを通じて直接注文 (ネットワーク接続されたプリンタ向け)
- HP Easy Printer Care ソフトウェアを使って直接注文

HP から直接注文

以下のアイテムは HP から直接注文できます :

- **交換パーツ :** 米国で交換パーツを注文するには、www.hp.com/go/hpparts/ をご覧ください。米国以外では、お近くの HP 認定サービス センターにお問い合わせのうえ、パーツをご注文ください。
- **サプライ品とアクセサリ**： 米国からサプライ品を注文するには、www.hp.com/go/ljsupplies にアクセスしてください。その他の国/地域から注文するには、www.hp.com/ghp/buyonline.html にアクセスしてください。

サービス プロバイダまたはサポート プロバイダを通じて注文

パーツまたはアクセサリを注文するには、HP 認定のサービス プロバイダまたはサポート プロバイダにお問い合わせください。

内蔵 Web サーバーを通じて直接注文 (ネットワーク接続されたプリンタ向け)

次の手順で、内蔵 Web サーバーから直接印刷用のサプライ品を注文してください。

1. コンピュータ上の Web ブラウザで、デバイスの IP アドレスまたはホスト名を入力します。ステータス ウィンドウが表示されます。
2. **[その他のリンク]** 領域で **[サプライ品の注文]** をダブルクリックします。消耗品を購入するサイトの URL が提供されます。
3. 注文する商品のパーツ番号を選択し、画面の指示に従います。

HP Easy Printer Care ソフトウェアを使って直接注文

HP Easy Printer Care ソフトウェアは、プリンタの設定や監視、プリンタ用サプライ品の注文、トラブルシューティング、およびアップデートを簡単かつ効率的に行うためのプリンタ管理ツールです。HP Easy Printer Care ソフトウェアの詳細については、www.hp.com/easyprintercare を参照してください。

製品番号

注文に関する情報と在庫状況が、プリンタの耐用期間中に変更されることがあります。

アクセサリ

項目	説明	製品番号
HP 3 ビン ステイプラ/スタッカ アクセサリ	排紙アクセサリ ブリッジ ユニット付き 3 ビン ステイプラ/スタッカ	CC517A
HP 3 ビン ステイプラ/スタッカまたは HP ブックレット メーカー/フィニッシャ ステイプル カートリッジ (HP ブックレット メーカー/フィニッシャの上部カートリッジ)	5000 針入り予備カートリッジ	C8091A
HP ブックレット メーカー/フィニッシャ アクセサリ	排紙アクセサリ ブリッジ ユニット付き ブックレット メーカー フィニッシャ	CC516A
HP ブックレット メーカー/フィニッシャ 中綴じステイプル カートリッジ (下部カートリッジ)	2000 針入り予備カートリッジ (数量 2)	CC383A
HP LaserJet アナログ ファックス アクセサリ 300	プリンタにファックス機能を提供します。このアクセサリは、HP Color LaserJet CM6040f MFP モデルには内蔵されています。	Q3701A

プリント カートリッジ

項目	説明	製品番号
HP Color LaserJet プリント カートリッジ (黒)	19,500 ページ黒カートリッジ	CB390A
HP Color LaserJet プリント カートリッジ (シアン)	21,000 ページ シアン カートリッジ	CB381A
HP Color LaserJet プリント カートリッジ (イエロー)	21,000 ページ イエロー カートリッジ	CB382A
HP Color LaserJet プリント カートリッジ (マゼンタ)	21,000 ページ マゼンタ カートリッジ	CB383A

イメージ ドラム

品目	説明	製品番号
HP Color LaserJet イメージ ドラム (黒)	35,000 ページ黒イメージ ドラム	CB384A
HP Color LaserJet イメージ ドラム (シアン)	35,000 ページ シアン イメージ ドラム	CB385A

品目	説明	製品番号
HP Color LaserJet イメージ ドラム (イエロー)	35,000 ページ イエロー イメージ ドラム	CB386A
HP Color LaserJet イメージ ドラム (マゼンタ)	35,000 ページ マゼンタ イメージ ドラム	CB387A

保守キット

項目	説明	製品番号
イメージ フューザ キット	110V	CB457A
イメージ フューザ キット	220V	CB458A
ローラー キット		CB459A
トランスファー キット		CB463A
ADF ローラー キット		CE487A

メモリ

項目	説明	製品番号
200 ピン DDR メモリ DIMM (dual inline memory module) 大きなジョブや複雑なジョブの処理能力を上げます。	128 MB	Q7557A
	256 MB	Q7558A

ケーブルおよびインタフェース

項目	説明	製品番号
拡張 I/O (EIO) カード	HP Jetdirect 635n IPv6/IPsec プリント サーバー	J7961G
USB ケーブル	2m 標準 USB 互換デバイス コネクタ	C6518A

B サービスおよびサポート

Hewlett-Packard 社製品限定保証

HP 製品	限定保障期間
HP Color LaserJet CM6030 シリーズ MFP	1 年限定保証
HP Color LaserJet CM6040 シリーズ MFP	1 年限定保証

HP は、エンドユーザーに対して、購入日から上記の期間中、HP ハードウェアとアクセサリに材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。HP は、保証期間中にこのような不具合の通知を受けた場合は、自らの判断に基づき不具合があると証明された製品の修理または交換を行います。交換製品は新品か、または新品と同様の機能を有する製品のいずれかになります。

HP は、HP ソフトウェアを正しくインストールして使用した場合に、購入日から上記の期間中、材料および製造上の瑕疵が原因でプログラミング命令の実行が妨げられないことを保証します。HP は、保証期間中にこのような不具合の通知を受けた場合は、当該不具合によりプログラミング インストラクションが実行できないソフトウェアメディアの交換を行います。

HP は、HP の製品の動作が中断されないものであったり、エラーが皆無であることは保証しません。なお、HP が HP の製品を相当期間内に修理または交換できなかった場合、お客様は、当該製品を返却することで、当該製品の購入金額を HP に請求できます。

HP 製品には、新品と同等の性能を発揮する再生部品が無作為に使用されることがあります。

本保証は、以下に起因する不具合に対しては適用されません。(a)不適当または不完全な保守、校正に因るとき。(b) HP が供給しないソフトウェア、インタフェース、または消耗品に因るとき。(c) HP が認めない改造または誤用に因るとき。(d) 表示した環境仕様の範囲外での動作に因るとき。(e) 据付場所の不備または保全の不適合に因るとき。

特定目的のための適合性や市場商品力についての暗黙の保証は、上記で明記された保証の保証期間に限定されます。一部の国/地域では、暗黙の保証の保証期間を制限できない場合があるため、上記の制限や責任の排除はお客様に適用されない場合があります。本保証は特定の法律上の権利をお客様に認めるものです。また、お客様は、その国/地域の法律によっては、他の権利も認められる場合があります。

HP の限定保証は、HP が製品のサポートを提供し、かつ製品を販売している国/地域で有効です。お客様の受け取る保証サービスは、国/地域の標準規定によって異なる場合があります。HP は、法律または規制上の理由で製品を機能させる意図のなかった国/地域で動作するように製品の形態、整合性、または機能を変更しません。

現地の法律で許容されている範囲内において、本保証書の責任が、HP の唯一で排他的な責任です。現地の法律で許容されている範囲内において、契約あるいは法律に基づくか否かにかかわらず、いかなる場合であっても、直接的損害、特殊な損害、偶発的損害、結果的損害 (利益の逸失やデータの消失を含む) その他の損害に対して、HP およびそのサプライヤは一切責任を負いません。一部の国/地域では、付帯的または結果的な損害の排除や制限を認めない場合があり、上記の制限や排除はお客様に適用されない場合があります。

ここに含まれている保証条項は、法律により許される範囲を除いて、本製品の販売に適用されるお客様の必須の法的権利を除外、制限、変更するものではなく、それらの権利に追加されるものです。

プリント カートリッジの限定保証書条項

この HP 製品は、材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。

この限定保証は、(a) 補充、改変、再製または改ざんを施された製品、(b) 誤用、不適切な保管、またはプリンタ製品の公開されている環境仕様以外で操作した製品、(c) 通常の使用による疲弊した製品には適用されません。

限定保証サービスを受けるには、製品を購入店 (問題を記述した書面および印刷サンプルを添付) に返品するか HP カスタマ サポートにお問い合わせください。HP の裁量で、HP は、瑕疵があることが判明した製品を交換するか、またはお客様に購入代金を返金します。

現地の法律で許容されている範囲内において、上記の保証は排他的であり、その他の保証や条件は、書面または口頭を問わず、明示または黙示されることはありません。HP 社は、商品性、品質に対するお客様の満足、または特定目的に対する整合性を含むいかなる黙示的な保証または条件に対する責任も負いません。

現地の法律で許容されている範囲内において、契約あるいは法律に基づくか否かにかかわらず、いかなる場合であっても、直接的損害、特殊な損害、偶発的損害、結果的損害 (利益の逸失やデータの消失を含む) その他の損害に対して、HP およびその代理店は一切責任を負いません。

ここに含まれている保証条項は、法律により許される範囲を除いて、本製品の販売に適用されるお客様の必須の法的権利を除外、制限、変更するものではなく、それらの権利に追加されるものです。

Color LaserJet フューザ キット、トランスファー キット、およびローラー キットの限定保証条項

この HP 製品は、プリンタのコントロールパネルに耐用期限が近づいたことが表示されるまで、材料および仕上げに不具合がないことを保証します。

この限定保証は、(a) 改造、再生、または改ざんした製品、(b) 誤用、不適切な保管、またはプリンタ製品の公表されている環境仕様以外で使用した場合の問題、(c) 通常の使用により摩耗した製品には適用されません。

限定保証サービスを受けるには、問題を記述した書面を添付して製品を購入店に返品するか、HP カスタマ サポートにお問い合わせください。HP は、自らの判断で、不具合があると証明された製品を交換するか、またはお客様に購入価額を払い戻します。

現地の法律で許されている範囲内において、上記の保証は排他的であり、その他の保証や条件は、書面または口頭を問わず、明示および黙示されません。HP 社は、商品性、満足のゆく品質または特定の目的に対する適合性を含むいかなる黙示的な保証または条件に対する責任も負いません。

現地の法律で許されている範囲内において、契約あるいは法に基づくか否かにかかわらず、いかなる場合であっても、直接的損害、特殊な損害、間接的損害、必然的損害 (利益逸失やデータ消失を含む)、その他の損害に対して、HP 社およびその代理店は一切の責任を負いません。

ここに含まれている保証条項は、法律で許される範囲を除いて、本製品の販売に適用されるお客様の必須の法的権利を除外、制限、変更するものではなく、それらの権利に追加されるものです。

カスタマ自己修理の保証サービス

HP 製品には多くのカスタマ自己修理 (CSR) 部品が使用されているため、修理時間が最小限に抑えられ、欠陥部品の交換にも柔軟に対応できます。診断期間中に、CSR 部品を使用した修理が可能であると HP が判断した場合は、HP からお客様に直接その交換部品が発送されます。CSR 部品は、次の 2 つのカテゴリに分類されます。1) お客様ご自身が修理する義務のある部品。これらの部品交換を HP に依頼した場合は、このサービスに対する交通費および人件費はお客様が負担するものとします。2) お客様による修理がオプションである部品。これらの部品もカスタマ自己修理に含まれています。ただし、HP に交換を依頼しても、製品に指定されている保証サービスによっては、その一部とみなされ、無料で行われます。

部品の在庫状況および配達地域により、CSR 部品は翌営業日に届くように発送されます。配達地域によっては、当日配達または 4 時間以内の配達を指定できる場合がありますが、当日または 4 時間以内の配達には追加料金がかかります。サポートが必要な場合は、HP テクニカル サポート センターに電話でお問い合わせください。技術者がお客様の質問にお答えします。交換用の CSR 部品に同梱の資料には、欠陥部品を HP に返却いただく必要があるかどうかが指定されています。欠陥部品を HP に返却いただく必要がある場合は、定められた期間内 (通常、5 営業日以内) に欠陥部品を HP に発送しなければなりません。欠陥部品は、提供された梱包物に付属する文書とともに返却する必要があります。欠陥部品を返却されない場合は、交換部品の代金が HP から請求されます。カスタマ自己修理を利用した場合は、送料と部品返却料を HP が全額負担し、使用する宅配業者/運送業者は HP が決めるものとします。

カスタマ サポート

国/地域の電話サポートを受ける (保証期間中は無料) 製品名、シリアル番号、購入日、問題の説明をご用意ください。	各国/地域の電話番号については、パッケージに同梱されているお知らせ、または www.hp.com/support/ をご覧ください。
24 時間のインターネット サポートを受ける	www.hp.com/support/cljcm6030mfp または www.hp.com/support/cljcm6040mfp
Macintosh コンピュータと使用している製品のサポートを受ける	www.hp.com/go/macosx
ソフトウェア ユーティリティ、ドライバ、電子形式の情報をダウンロードする	www.hp.com/go/cljcm6030mfp_software または www.hp.com/go/cljcm6040mfp_software
サプライ品や用紙を注文する	www.hp.com/go/suresupply
HP 純正の部品やアクセサリを注文する	www.hp.com/buy/parts
追加の HP サービス契約または保守契約を注文する	www.hp.com/go/carepack

利用可能なサポートおよびサービス

HP は世界各地でさまざまなサービスおよびサポート オプションを販売しています。購入可能なサービスおよびサポート オプションは購入する国/地域によって異なります。

HP 社保守契約

HP 社では、幅広いサポートの需要を満たすため複数のタイプの保守契約をご用意しています。保守契約は標準保証に含まれていません。サポート サービスは国/地域によって異なります。ご利用可能なサービスについては、最寄りの HP 販売店にお問い合わせください。

オンサイト サービス契約

お客様のニーズに合ったサポートを提供するため、HP 社では 3 段階のオンサイト サービス契約で対応します。

優先オンサイト サービス

この契約では、HP 社の通常営業時間内にお電話を頂くと 4 時間以内に対応します。

翌日オンサイト サービス

この契約では、サービスを申し込まれた次の営業日までにサポートを提供します。対象時間の延長および HP 社が規定するサービス エリア外への出張は、ほとんどのオンサイト契約で可能です (追加料金)。

週間 (ボリューム) オンサイト サービス

この契約では、多数の HP 社製品をお持ちの企業を毎週定期的に訪問します。この契約は、プリンタ、プロッタ、コンピュータ、およびディスク ドライブを含む、25 台以上のワークステーション製品を使用している現場を対象としています。

C 製品の仕様

物理仕様

表 C-1 製品寸法

製品	高さ	奥行き	幅	重量 [1]
HP Color LaserJet CM6030 MFP	1194mm	635mm	704mm	140 kg
HP Color LaserJet CM6030f MFP	1194mm	635mm	704mm	145 kg
HP Color LaserJet CM6040 MFP	1194mm	635mm	704mm	140 kg
HP Color LaserJet CM6040f MFP	1194mm	635mm	704mm	145 kg

[1] プリント カートリッジなしでの重量

表 C-2 すべてのドアおよびトレイを完全に開いた状態での製品寸法

製品	高さ	奥行き	幅
HP Color LaserJet CM6030 MFP	1524mm	1079.5mm	983mm
HP Color LaserJet CM6030f MFP	1524mm	1079.5mm	983mm
HP Color LaserJet CM6040 MFP	1524mm	1079.5mm	983mm
HP Color LaserJet CM6040f MFP	1524mm	1079.5mm	983mm

電気的仕様

⚠ **警告！** 電源条件は、販売された国/地域によって異なります。動作電圧は変更しないでください。プリンタが損傷しても保証の対象にならない場合があります。

表 C-3 電源要件 (HP Color LaserJet CM6030/CM6040 MFP シリーズ)

仕様	110V モデル	220 ボルト対応モデル
電源条件	100 ～ 127V (± 10%) 50/60 Hz (± 2 Hz)	220 ～ 240V (± 10%) 50/60 Hz (± 2 Hz)
定格電流	10.5 A	5.5 A

表 C-4 HP Color LaserJet CM6030 CM6040 MFP シリーズ 消費電力 (平均値、単位は W)

製品モデル	印刷時	印字可時	スリープ時	オフ
HP Color LaserJet CM6030 MFP	1265W	251.7W	26.3W	0.72W
HP Color LaserJet CM6030f MFP	1265W	251.7W	26.5W	0.72W
HP Color LaserJet CM6040 MFP	1265W	251.7W	26.3W	0.72W
HP Color LaserJet CM6040f MFP	1265W	251.7W	21.5W	0.72W

数値は変更される場合があります。最新情報については、www.hp.com/support/cljcm6030mfp または www.hp.com/support/cljcm6040mfp を参照してください。

HP Color LaserJet CM6030/CM6040 MFP シリーズ の印刷およびコピー速度はレター サイズおよび A4 サイズで 40ppm です。

印字可モードからスリープ モードへのデフォルトの移行時間は 1 分です。

スリープ モードからの回復時間は 20 秒以内です。

稼動音仕様

表 C-5 音量と音圧のレベル [1] (HP Color LaserJet CM6030/CM6040 MFP シリーズ)

発生騒音レベル	ISO 9296 準拠宣言
印刷時 [1]	L_{WAd} = 6.9 ベル (A) [69dB(A)]
コピー時 [2]	L_{WAd} = 7.3 ベル (A) [73dB(A)]
印刷可	L_{WAd}= 5.8 ベル (A) [58 dB (A)]
音圧レベル	**ISO 9296 準拠宣言**
印刷時 [1]	L_{pAm}=53dB (A)
コピー時 [2]	L_{pAm}=57dB (A)
印刷可	L_{pAm}=40dB (A)

[1] 数値は変更される場合があります。最新情報については、www.hp.com/support/cljcm6030mfp または www.hp.com/support/cljcm6040mfp を参照してください。

[2] テスト時の構成 (HP Color LaserJet CM6030/CM6040 MFP シリーズ) ベース モデル、ADF からの A4 サイズの用紙による単純印刷)

環境仕様

環境条件	推奨	許容値	保管時/スタンバイ時
温度 (プリンタおよびプリント カートリッジ)	17° ～ 25° C (62.6° ～ 77° F)	10 ～ 30° C (50 ～ 86° F)	0 ～ 35° C (32 ～ 95° F)
相対湿度	相対湿度 (RH) 30 ～ 70%	10% ～ 80% RH	5 ～ 95%
高度	該当せず	0m ～ 2500m	該当せず

FCC 規定への準拠

本装置をテストした結果、Class A デジタル デバイスの基準に達し、FCC 規則の Part 15 に準拠していることが確認されました。これらの基準は、本番環境に装置を設置した場合の電波障害に対するしかるべき防止策を提供することを目的としています。本装置は、無線周波エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があります。指示に従って本装置を設置し使用していない場合、無線通信に支障をきたす場合があります。本装置を居住空間で使用すると、電波障害が発生する可能性があります。その場合は、ユーザーが自己の責任において適切な処置を講じる必要があります。

適合宣言

適合宣言
適合規格： ISO/IEC 17050-1 および EN 17050-1

製造元：	Hewlett-Packard Company DoC#: BOISB-0601-01-rel.2.0
製造元住所：	11311 Chinden Boulevard, Boise, Idaho 83714-1021, USA

次の製品の適合を宣言します。

製品名：	HP Color LaserJet CM6030 CM6040 MFP シリーズ
アクセサリ	CB473A - 1 x 500 枚給紙トレイ/スタンド CB474A - 3 x 500 枚給紙トレイ/スタンド CC516A - ブックレット メーカー CC517A - 3 ビン ステイプラ/スタッカ
規制モデル番号： 2)	BOISB-0601-01
製品オプション：	すべて
	トナー カートリッジ/イメージ ドラム： CB390A、CB381A、CB382A、CB383A、CB384A、CB385A、CB386A、CB387A

次の製品仕様に準拠しています。

安全性：	IEC 60950-1:2001 / EN60950-1 ： 2001 + A11 IEC 60825-1:1993 +A1 +A2 / EN 60825-1:1994 A1 +A2 (クラス 1 レーザー/LED 製品) GB4943-2001
EMC (電磁適合性)：	CISPR 22:2005 / EN 55022:2006 - クラス A[1)] EN 61000-3-2:2000 +A2 EN 61000-3-3:1995 + A1 EN 55024:1998+A1 + A2 FCC Title 47 CFR, Part 15 Class A / ICES-003, Issue 4 GB9254-1998, GB17625.1-2003

補足情報：

本製品は EMC Directive 2004/108/EC および Low Voltage Directive 2006/95/EC の要件に準拠し、それに基づいて CE マークを貼付しています。

本デバイスは FCC 規定 Part 15 に準拠しています。動作は次の 2 つの条件を前提とします。(1) 本デバイスによって有害な干渉が発生することはありません。(2) 本デバイスは予期しない動作の原因となる干渉も含め、あらゆる干渉を受け入れなければなりません。

1) 本製品は、Hewlett-Packard パーソナル コンピュータ システムの標準的な構成でテスト済みです。

2) 規制の対象として、この製品には規制モデル番号が割り当てられています。この番号を製品名または製品番号と混同しないでください。

Boise, Idaho , USA

2008 年 2 月 1 日

規制に関する問い合わせ先：

ヨーロッパでの問い合わせ先：	最寄りの Hewlett-Packard 販売代理店およびサービス事務所、または Hewlett-Packard GmbH, Department HQ-TRE / Standards Europe, Herrenberger Straße 140, D-71034 Böblingen, Germany, (ファックス： +49-7031-14-3143) www.hp.com/go/certificates
米国内の問い合わせ先：	Product Regulations Manager, Hewlett-Packard Company, PO Box 15, Mail Stop 160, Boise, Idaho 83707-0015, USA, (電話番号： 208-396-6000)

適合宣言

適合宣言

適合規格： ISO/IEC 17050-1 および EN 17050-1

製造元：	Hewlett-Packard Company DoC#: BOISB-0601-02-rel.2.0
製造元住所：	11311 Chinden Boulevard, Boise, Idaho 83714-1021, USA

次の製品の適合を宣言します。

製品名：	HP Color LaserJet CM6030f CM6040f MFP シリーズ
アクセサリ	CB473A - 1 x 500 枚給紙トレイ/スタンド CB474A - 3 x 500 枚給紙トレイ/スタンド CC516A - ブックレット メーカー CC517A - 3 ビン ステイプラ/スタッカ BOISB-0308-00 - ファックス モジュール
規制モデル番号： [2]	BOISB-0601-02
製品オプション：	すべて
	トナー カートリッジ/イメージ ドラム： CB390A、CB381A、CB382A、CB383A、CB384A、CB385A、CB386A、CB387A

次の製品仕様に準拠しています。

安全性：	IEC 60950-1:2001 / EN60950-1 ： 2001 + A11 IEC 60825-1:1993 +A1 +A2 / EN 60825-1:1994 A1 +A2 (クラス 1 レーザー/LED 製品) GB4943-2001
EMC (電磁適合性)：	CISPR 22:2005 / EN 55022:2006 - クラス A[1] EN 61000-3-2:2000 +A2 EN 61000-3-3:1995 + A1 EN 55024:1998+A1 + A2 FCC Title 47 CFR, Part 15 Class A / ICES-003, Issue 4 GB9254-1998, GB17625.1-2003
テレコム	ES 203 021; FCC タイトル 47 CFR、パート 68[4]

補足情報：

本製品は EMC Directive 2004/108/EC および Low Voltage Directive 2006/95/EC の要件、および R Directive 1999/5/EC (Annex II) に準拠し、それに基づいて CE マークを貼付しています。

本デバイスは FCC 規定 Part 15 に準拠しています。動作は次の 2 つの条件を前提とします。(1) 本デバイスによって有害な干渉が発生することはありません。(2) 本デバイスは予期しない動作の原因となる干渉も含め、あらゆる干渉を受け入れなければなりません。

1) 本製品は、Hewlett-Packard パーソナル コンピュータ システムの標準的な構成でテスト済みです。

2) 規制の対象として、この製品には規制モデル番号が割り当てられています。この番号を製品名または製品番号と混同しないでください。

3) 規制モデル番号 BOISB-0601-02 で Hewlett-Packard が取得したアナログ ファックス アクセサリに関する各国におけるモジュラーの承認には、Multi-Tech Systems MT5634SMI Socket Modem Module が組み込まれています。

4) 本製品には、上記の規制に加え、対象国/地域に該当する電気通信に関する承認および規格が適用されています。

Boise, Idaho , USA

2008 年 2 月 1 日

規制に関する問い合わせ先：

ヨーロッパでの問い合わせ先：	最寄りの Hewlett-Packard 販売代理店およびサービス事務所、または Hewlett-Packard GmbH, Department HQ-TRE / Standards Europe, Herrenberger Straße 140, D-71034 Böblingen, Germany, (ファックス： +49-7031-14-3143) www.hp.com/go/certificates
米国内の問い合わせ先：	Product Regulations Manager, Hewlett-Packard Company, PO Box 15, Mail Stop 160, Boise, Idaho 83707-0015, USA, (電話番号： 208-396-6000)

製品の環境適合化プログラム

環境の保護

Hewlett-Packard 社は環境保全を考慮した上で、高品質の製品をお届けしています。この製品は、いくつかの点で環境への影響を最小限に抑えるように設計されています。

オゾン放出

この製品はオゾン ガス (O_3) をほとんど発生しません。

消費電力

印字可モードおよびスリープ モードでは、消費電力を大幅に節約することができます。これにより、製品のパフォーマンスを維持したまま、天然資源の保護およびコストの削減を実現できます。本製品の ENERGY STAR® 適合性については、製品データ シートまたは仕様シートでご確認ください。ENERGY STAR® 適合製品は、次の Web サイトでもご覧いただけます。

http://h50146.www5.hp.com/info/company/environment/productdesign/energyefficiency.html

トナーの消費

エコノモードでのトナー使用量は通常より少なく、プリント カートリッジの寿命が長くなります。

用紙の使用

本製品のオプション機能である自動両面印刷機能 (用紙の両面に印刷する機能)、および N-up 印刷機能 (1 枚の用紙に複数のページを印刷する機能) を使用して用紙の使用量を減らすことで、天然資源の消費量も減らすことができます。

プラスチック

25g を超えるプラスチック部品には、国際規格に基づく材料識別マークが付いているため、プリンタを処分する際にプラスチックを正しく識別することができます。

HP LaserJet 用サプライ品

空になった HP LaserJet プリント カートリッジは、HP Planet Partners が無料で回収し、リサイクルします。新しい HP LaserJet プリント カートリッジおよびサプライ品の箱には多言語によるプログラムの説明が同梱されています。複数のカートリッジをまとめて回収すれば、環境税も節約できます。

HP は、製品の設計から製造、流通、使用、リサイクルに至るまで、環境保全に配慮した、独創的で高品質の製品およびサービスの提供に努めています。HP Planet Partners プログラムにお申し込みいただくと、弊社がお客様の使用済み HP LaserJet プリント カートリッジを適切にリサイクルいたします。使用済みカートリッジのプラスチックおよび金属部分から新しい製品を製造することで、数百万トンもの廃棄物削減を実現しています。カートリッジはご返却いたしかねますので、ご了承ください。環境保全にご協力いただき、ありがとうございます。

注記： 返却ラベルは、ご購入いただいた HP LaserJet プリント カートリッジを返却する場合にのみ使用してください。HP インクジェット カートリッジ、HP 製以外のカートリッジ、再充填または再生カートリッジ、および保証対象の返品にはこのラベルを使用しないでください。HP インクジェット カートリッジのリサイクルについては、www.hp.com/recycle をご覧ください。

回収およびリサイクル手順

米国およびプエルトリコ

HP LaserJet トナー カートリッジ ボックスの同梱されているラベルは、使用後の 1 つまたは複数の HP LaserJet プリント カートリッジの回収およびリサイクル用ラベルです。以下の該当する手順を実行してください。

カートリッジが複数 (2 個以上) の場合

1. HP LaserJet プリント カートリッジをそれぞれオリジナルのボックスおよびバッグに入れます。
2. 紐または梱包用テープを使用して、複数の箱をひとまとめにします。発送重量は、最大 31kg (70 ポンド) です。
3. 前払いの発送ラベルを 1 枚使用します。

または

1. 適切な箱を用意するか、www.hp.com/recycle から、または 1-800-340-2445 に連絡して、無料の回収専用箱を入手します (HP LaserJet プリント カートリッジを最大 31kg (70 ポンド) まで梱包可)。
2. 前払いの発送ラベルを 1 枚使用します。

1 個のカートリッジの回収

1. HP LaserJet プリント カートリッジをオリジナルのボックスおよびバッグに入れます。
2. 発送ラベルをボックスの前面に貼付します。

発送

リサイクル用に HP LaserJet プリント カートリッジを返却する場合は、必ず UPS を使用してください。次に UPS から配達があったとき、または UPS に集荷を依頼したときに担当者にお渡しください。または、正規の UPS 持ち込み場所まで荷物をお持ちください。お近くの UPS 持ち込み場所については、1-800-PICKUPS までご連絡いただくか、www.ups.com をご覧ください。USPS (米国郵政公社) ラベルを使用する場合は、USPS に集荷を依頼するか、USPS まで荷物をお持ちください。詳細をお知りになりたい場合、または追加のラベルや一括回収用の箱をご希望の場合は、www.hp.com/recycle をご覧になるか、1-800-340-2445 までご連絡ください。UPS の集荷料金には通常のレートが適用されます。この情報は、予告なしに変更される場合があります。

米国以外でのリサイクル品の回収

HP Planet Partners 返却およびリサイクル プログラムへのお申し込みについては、リサイクル ガイド (新しくご購入いただいたサプライ品に同梱されています)、または www.hp.com/recycle をご覧ください。お住まいの国/地域を選択すると、お使いの HP LaserJet 用サプライ品の返却方法が表示されます。

用紙

この製品では、用紙が『*HP LaserJet Printer Family Print Media Guide (HP LaserJet プリンタ ファミリー印刷メディアガイド)*』に記載されている基準に適合している場合に限り、再生紙を使用することができます。この製品には、EN12281:2002 に準拠する再生紙を使用することができます。

材料に関する規制

この HP 製品には、耐用期間経過後に特別な取扱いが必要になるバッテリが使用されています。

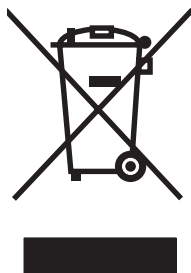
本製品に使用されているバッテリ

タイプ	フッ化炭素リチウム バッテリ
重量	0.8 グラム
実装位置	フォーマッタ ボード
ユーザーによる取り外し	不可

廢電池請回收

この製品には、コントロール パネルの液晶ディスプレイの蛍光灯に水銀が使用されているため、耐用期間経過後に特別な取扱いが必要になる場合があります。

リサイクル情報については、www.hp.com/go/recycle にアクセスするか、最寄りの代理店または米国電子工業会 (www.eiae.org) にお問い合わせください。

EU (欧州連合) が定める一般家庭の使用済み機器の廃棄

製品または製品のパッケージにこのマークが付いている場合、この製品を家庭廃棄物と一緒に捨てることは禁止されています。使用済み機器の廃棄は消費者が責任を負うものとし、電気・電子機器廃棄物のリサイクルを行うための指定された回収拠点に持って行く必要があります。使用済み機器の廃棄に分別収集およびリサイクルを実行することより、天然資源を保護し、人間の健康と環境を守るリサイクルを実現します。使用済み機器のリサイクルを行う回収拠点については、居住地区の市役所、家庭廃棄物の収集業者、または製品を購入した販売店にお問い合わせください。

化学物質安全性データシート (MSDS)

化学物質が使われているサプライ品 (トナーなど) の Material Safety Data Sheet (化学物質等安全データシート : MSDS) は HP の Web サイト www.hp.com/go/msds または www.hp.com/hpinfo/community/environment/productinfo/safety から入手可能です。

詳細について

これらの環境に関するトピック

- この製品やこの製品に関連する多くの HP 製品についての製品環境プロファイル
- HP 社の環境への貢献
- HP 社の環境管理システム
- HP 社の製品回収およびリサイクル プログラム
- 化学物質安全データ シート (MSDS)

www.hp.com/go/environment または www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment にアクセスしてください。

揮発性の証明

ここでは、メモリに格納されたユーザー データの揮発性について述べています。また、秘密データをデバイスから消去する方法についても説明します。

メモリのタイプ

揮発性メモリ

MFP では、印刷プロセスやコピー プロセス中、ユーザー データを保存するために揮発性メモリ (オンボード メモリ 64MB と換装メモリ 256MB の合計 320MB) が使用されます。MFP の電源を切ると、揮発性メモリの内容は消去されます。

不揮発性メモリ

MFP では、システムの制御データやユーザーの環境設定を保存するために、不揮発性メモリ (EEPROM) が使用されています。不揮発性メモリには、ユーザーの印刷データやコピー データは保存されません。コントロール パネルから [コールド リセット] または [出荷時のデフォルトの復元] を実行することにより、不揮発性メモリをクリアして、出荷時のデフォルト設定に戻すことができます。

ハードディスク ドライブ メモリ

MFP には、電源を切った後もデータを保持できる内蔵ハードディスク ドライブ (40GB 以上) が搭載されています。また、必要に応じてコンパクト フラッシュ ストレージや外付けの EIO ハードディスクを追加することもできます。これらのデバイスに格納されるデータとしては、着信/発信用のファックスや電子メール ファイル、コピー ジョブや印刷ジョブ、ファックスや電子メールのアドレス帳、サードパーティのソリューションなどがあります。このようなデータは、MFP のコントロール パネルから消去できる場合もありますが、通常は HP Web Jetadmin のセキュア ストレージ消去機能 (Secure Storage Erase) を使用して消去する必要があります。セキュア ストレージ消去機能は、米国国防総省 (DOD) の仕様 5220-22.M に準拠しています。

安全規定

レーザー製品の安全性

米国食品医薬品局の医療機器・放射線製品センタ (CDRH) では、1976 年 8 月 1 日以降に生産されたレーザ製品の規定を定めています。米国で販売される製品では規定への準拠が必須です。このデバイスは、1968 年の放射線規制法に基づく米国保健社会福祉省 (DHHS) の放射線性能基準のもと、「クラス 1」のレーザ製品に認定されています。このデバイス内で放射される放射線は保護用の筐体および外部カバー内に密封されているので、ユーザーの通常の使用状況ではレーザ ビームが漏れることはありません。

⚠ **警告！** このユーザーズ ガイドに指定されていない制御を使用したり、調整を行ったり、手順を実行したりすると、危険な放射線が漏れる場合があります。

Canadian DOC regulations (カナダ DOC 規格)

Complies with Canadian EMC Class A requirements.

《 Conforme à la classe A des normes canadiennes de compatibilité électromagnétiques. « CEM ». »

VCCI 規格（日本）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

電源コード規格 (日本)

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。
同梱された電源コードは、他の製品では使用出来ません。

EMI 規格 (韓国)

사용자 안내문 (A급 기기)

이 기기는 업무용으로 전자파장해검정를 받은 기기이오니,만약 잘못 구입하셨을 때에는 구입한 곳에서 비업무용으로 교환하시기 바랍니다.

EMI 規格 (台湾)

警告使用者：

這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

一般的な電気通信に関する宣言

HP Color LaserJet CM6030f MFP および CM6040 f MFP モデルには、ファックス機能用に公衆交換電話網 (PSTN) への通信を提供する HP LaserJet Analog Fax Accessory 300 が既に取り付けられています。ファックス機能およびファックス装置に関連した規制認可および規制に関するの注意事項の情報については、『*HP LaserJet Analog Fax Accessory 300 ユーザーズ ガイド*』を参照してください。

レーザー製品に関する規定 (フィンランド)

Luokan 1 laserlaite

Klass 1 Laser Apparat

HP LaserJet CM6030, CM6040, CM6030f, CM6040f, laserkirjoitin on käyttäjän kannalta turvallinen luokan 1 laserlaite. Normaalissa käytössä kirjoittimen suojakotelointi estää lasersäteen pääsyn laitteen ulkopuolelle. Laitteen turvallisuusluokka on määritetty standardin EN 60825-1 (1994) mukaisesti.

VAROITUS !

Laitteen käyttäminen muulla kuin käyttöohjeessa mainitulla tavalla saattaa altistaa käyttäjän turvallisuusluokan 1 ylittävälle näkymättömälle lasersäteilylle.

VARNING !

Om apparaten används på annat sätt än i bruksanvisning specificerats, kan användaren utsättas för osynlig laserstrålning, som överskrider gränsen för laserklass 1.

HUOLTO

HP LaserJet CM6030, CM6040, CM6030f, CM6040f - kirjoittimen sisällä ei ole käyttäjän huollettavissa olevia kohteita. Laitteen saa avata ja huoltaa ainoastaan sen huoltamiseen koulutettu henkilö. Tällaiseksi huoltotoimenpiteeksi ei katsota väriainekasetin vaihtamista, paperiradan puhdistusta tai muita käyttäjän käsikirjassa lueteltuja, käyttäjän tehtäväksi tarkoitettuja ylläpitotoimia, jotka voidaan suorittaa ilman erikoistyökaluja.

VARO !

Mikäli kirjoittimen suojakotelo avataan, olet alttiina näkymättömällelasersäteilylle laitteen ollessa toiminnassa. Älä katso säteeseen.

VARNING !

Om laserprinterns skyddshölje öppnas då apparaten är i funktion, utsättas användaren för osynlig laserstrålning. Betrakta ej strålen. Tiedot laitteessa käytettävän laserdiodin säteilyominaisuuksista: Aallonpituus 775-795 nm Teho 5 m W Luokan 3B laser.

成分表 (中国)

有毒有害物质表

根据中国电子信息产品污染控制管理办法的要求而出台

部件名称	有毒有害物质和元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
打印引擎	X	0	X	X	0	0
复印机组件	X	0	0	0	0	0
控制面板	0	X	0	0	0	0
塑料外壳	0	0	0	0	0	0
格式化板组件	X	0	0	0	0	0
碳粉盒	X	0	0	0	0	0

3046

0：表示在此部件所用的所有同类材料中，所含的此有毒或有害物质均低于 SJ/T11363-2006 的限制要求。
X：表示在此部件所用的所有同类材料中，至少一种所含的此有毒或有害物质高于 SJ/T11363-2006 的限制要求。

注：引用的“环保使用期限”是根据在正常温度和湿度条件下操作使用产品而确定的。

索引

そ

た

ち

つ

て